

共通教育

開設科目一覽

前期 - 初期教育

開設科目	基礎ゼミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人文 1 年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	村田裕一				
<p>授業概要 【調べて書く】 大学では、高校までの教科書を主体とした定型的な勉強とは異なり、全く未知の領域を様々な手段と方法を利用しながら自分の力で探索して、そして自分で考え、自分の考えをまとめ、それを人に伝えてゆくということが必要になってきます。この過程には、定型的な方法は存在せず、自分自身の工夫によって、目的とする情報にたどり着き、考察して成果を導き出さなくてはなりません。この過程を端的に表現するのが、この授業の表題である「調べて書く」ということです。もちろん、人に伝える手段は、書くだけではなく「話す」ということもあるわけですが、学問の世界では、最終的には「書く」ということによってこの過程を終結させることが一般的です。そして、みなさんのほとんども、やがては4年間の学部生活の集大成として、卒業論文を書くことになるのです。この授業では、「調べて書く」ということに必要な様々な知識や技術を紹介します。</p> <p>授業一般目標 1. 情報検索のための様々な手段・方法を習得する。 2. 自分の意見を明確化する習慣を身につける。 3. 文意の明確な文章とはどのようなものを理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業内レポートと授業外レポート(宿題をふくむ)によって行う。評価割合は、それぞれが50%となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語の作文技術, 本多勝一, 朝日新聞社(朝日文庫), 1982年; 教科書は必ず購入して下さい。大学前の文栄堂で販売しています。/ 参考書：理科系の作文技術, 木下是雄, 中央公論新社, 1981年; 実践・日本語の作文技術, 本多勝一, 朝日新聞社(朝日文庫), 1994年; 参考書は特に購入する必要はありません。大学図書館にも備え付けられています。</p> <p>教官連絡先 E-mail: h-murata@yamaguchi-u.ac.jp, オフィスアワー: 水曜日 5・6・7・8 時限</p>					

開設科目	基礎ゼミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人文 1 年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	山本真弓				
This section is intentionally left blank as per the image content					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人文1年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	橋本義則				

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人文1年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	田中誠二				
<p>授業概要 読んで(聞いて)・考えて・書く(話す)という基本的3要素を身につけていく授業である。哲学・史学・文学という人文学部の重要3分野について、書物ないし話題を読んで、考え、小論文にまとめていく。人文学部の学問への入門授業でもある。</p> <p>授業一般目標 1. 読んで(聞いて)その内容を正確に把握する。 2. 考えて、自分に引きつけて理解する(分かる)。 3. 考えたことを書く(文章に表現する)。 4. パソコンを使って表現する。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業のときに書く感想文・小論文の内容で評価を行う。出席点も加味する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：中原中也詩集, 大岡昇平編, 岩波書店</p> <p>教官連絡先 月曜日と金曜日の昼休み。</p>					

開設科目	基礎ゼミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人文1年	単位	2 単位	曜時間	金曜日 1・2 時限
担当教官	横田尚俊				
<p>授業概要 基礎ゼミナーは、主として新生が読解や文章構成、プレゼンテーションなどにかかわる基礎知識を身につける授業科目として設置されています。この授業では、人文学部生にとって興味をもてそうな、比較的平易な書物(テキスト)を皆で読みながら、自由に議論してみたいと思います。受講生の皆さんには、テキストの一部をそれぞれ分担してもらいます。皆さんはそれにしたがって、資料を作成・配付し、順番に報告することになります。毎回、授業の感想などの小レポートを提出してもらったほか、最後に課題レポートを提出してもらいます。ざっくばらんに発言できる授業になるよう、できるだけ工夫したいと思います。</p> <p>授業一般目標 (1) 人文系の書物を読み、その内容を理解するとともに、自ら作成した資料に基づいて、考えたことを論理的に表現できるようにする。(2) 自分の考えたことを積極的に発言するという学習態度を身につける。(3) 授業を通して、人文学部の友人や知己を少しでも増やしていく。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席 30%、報告 30%、発言および小レポート 20%、課題レポート 20%</p> <p>教科書・参考書 教科書: なぜ私はここに「いる」のか、小浜逸郎, PHP(新書), 2003年; 下流志向, 内田樹, 講談社, 2007年/ 参考書: 参考文献は、授業の中で適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 物怖じせず、自由に発言し、議論をしましょう。</p> <p>教官連絡先 人文棟3階307室、メールアドレス n.y@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	基礎ゼミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人文1年	単位	2 単位	曜時間	金曜日 1・2 時限
担当教官	森野正弘				
<p>授業概要 人文学部1年生を対象とした大学教育を受けるための導入の授業。</p> <p>授業一般目標 日本語を正確に理解し論理的な文章を書くと同時に、課題に対する自らの見解を分かりやすく伝達するための方法を知り、実践できるようにする。</p> <p>教官連絡先 水曜日 5・6 時限</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(国))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	村上林造、吉村誠、藤原マリ子、中野伸彦、南部英彦、岸本憲一良				

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(社))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	外山秀昭、貞方昇、岩崎好成、吉川幸男、森下徹、荒木一視、山本薫子、松原幸恵				

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(数))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	関口靖広, 笠井伸一, 佐藤好久				
<p>授業概要 新入生のための学部数学教育へのガイダンスを行う。</p> <p>授業一般目標 大学において数学・数学教育等を学ぶためには どうしたらよいかについての初期教育。</p> <p>成績評価方法(総合) 態度 出席状況</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(理))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	阿部弘和、池田幸夫、村上清文、和泉研二、武田賢治、千々和一豊、佐伯英人、源田智子、北沢千里				
<p>授業概要 理科教育教室でこれから4年間学ぶ授業の内容(理科教育や自然科学)の概略、学生生活に必要な事項をを説明します。合わせて各教官が今取り組んでいる研究課題などについて講話も行います。また、レポートや論文作成の基本的な技能についても指導します。</p> <p>授業一般目標 自分の専門とする学習内容、学問領域の概略を理解し、以後の就学や学生生活に必要な基本的事項を身に付けることを目標とする。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(音))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	池上敏、西村順子、朴成泰、成川ひとみ、高橋雅子、斎藤完、林満理子				

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(美))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	河野令二、福田隆眞、中野良寿、上原一明、吉田貴富				
<p>授業概要 美術科教育(図画工作科教育や就学前教育を含む)を学ぶ上で必要な資質・能力について考える。2年次後期「教科教育法 図画工作」を履修するまでに大学生として身につけておいてもらいたいことを話す。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(保))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	保健体育教室全教員				
<p>授業概要 保健体育教室について紹介するとともに、共通教育および専門教育の履修計画・方法について指導する。また、保健体育教室に関する学習・研究領域に関して概説する。教室に所属する教員全員がリレー方式で授業を担当する。</p> <p>授業一般目標 所属する保健体育教室のスタッフ(教員・学生)との交流を行い、キャンパスライフに慣れること、およびスムーズにカリキュラム・授業の履修ができること、そして関係する学習・研究領域に触れることを目的とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として授業への出席が条件。担当する教員のそれぞれでミニレポートや授業への参加態度等を元に総合的に判定する。</p> <p>メッセージ 保健体育教室のスタッフと空気に早く溶け込み、大学での新しい学びに触れてください。</p> <p>教官連絡先 yunno@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(技))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	澤本章、岡村吉永、森岡弘、阿濱茂樹、古賀和利				

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(家))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	入江和夫, 友定啓子, 某				

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(英))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	高橋俊章、松谷緑、猫田和明				

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教 (幼児)	単位	2 単位	曜時間	金曜日 1・2 時限
担当教官	越中康治, 原昭徳、白石敏行				
<p>授業概要 幼児教育コースの概要を紹介し、履修指導を行う。</p> <p>授業一般目標 幼児教育コースのスタッフと新入生の親睦を図る。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、授業や合宿研修への参加、および授業内での保育参加レポートをもとに総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：履修の手引き、シラバス</p> <p>メッセージ 学外研修ならびに保育参加は必ず参加すること。</p> <p>教官連絡先 越中康治：etchu@yamaguchi-u.ac.jp 電話 5443 研究室 406 OH 随時 原昭徳：kuwahara@yamaguchi-u.ac.jp 電話 5441 研究室 402 OH 金 11:50-12:40 白石敏行：t-shira@yamaguchi-u.ac.jp 電話 5330 研究室 404 OH 随時</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教 (障害)	単位	2 単位	曜時間	金曜日 1・2 時限
担当教官	吉田一成、松田信夫、松岡勝彦				
<p>授業概要 和やかな雰囲気のもとで、今後の大学生活 (免許状取得、講義・演習、生活全般) に見通しを持つことを目指したセミナーである。また、講義・演習形式の授業に加え、附属特別支援学校等における諸活動への参加を通し、幼児・児童・生徒一人ひとりの障害や二 - ズに応じた指導について具体的に学ぶ。</p> <p>授業一般目標 今後の大学生活 (免許状取得、講義・演習、生活全般) に見通しを持つことができる。また、特別支援教育の諸学校、諸学級に在籍する (幼児) 児童・生徒一人ひとりの障害や二 - ズに応じた指導について、基礎的な知識・技能・態度を養うことができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 附属特別支援学校からの評価や、討論への参加、レポート内容、出席回数等を総合的に評価する。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教 (国理)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	小粥良、石井由理				
<p>授業概要 大学で学ぶための基礎となるスキル、具体的には論述の仕方、発表の仕方等を学ぶ。授業はコースの教員 2 名が分担して行う。</p> <p>授業一般目標 レポート等の論述文を論理的に構成することができるようになる。注のつけ方、引用の仕方などの一般的な決まりを習得する。発表を効果的に時間内に行うことができるようになる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業時の発表と提出レポートによる。</p> <p>メッセージ 基礎セミナーでは、今後 4 年間の勉学のために非常に大切な態度とスキルを学びます。大変重要なので、全部きちんと出席することを心掛けてください。</p> <p>教官連絡先 石井研究室、小粥研究室</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	実践 (人間)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	杉山緑、西村正登、福田修、佐々木司、田中理絵				

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	実践(心理)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	福田廣, 名島潤慈, 田邊敏明, 大石英史, 恒吉徹三, 小杉考司				
<p>授業概要 このセミナーの目的は、教育心理学コースの学生が、広い視野から心理学を学ぶことによって、心理学に対する関心の幅を広げることにある。さらに、大学生活を送る上で必要なことについても学ぶことを目的としている。具体的には、(1)教育心理学コースのカリキュラムや4年間の学生生活を送るために必要な事柄について説明する。(2)将来、心理学に関連した職業につくことを希望する学生のために、認定心理士、学校心理士、臨床心理士などの資格取得および心理学が生かせる職場についても、その概要を説明する。(3)「心理学と自分」というタイトルのもとに、教育心理学教室の各教官の専門領域や研究内容について講義し、質疑を受ける。(4)夏季研修を実施する。</p> <p>授業一般目標 心理学についての理解の幅を広げ、大学生活において必要な事項について学ぶことが、本セミナーの主な目標である。また、各教官の講義および質疑をめぐるディスカッションを通して、学生のコミュニケーションの活性化を図ることも狙いとしている。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席を重視する。さらに、夏季研修への参加により評価する。出席し講義へも積極的に参加すること。この夏季研修への出席が単位取得には必要である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：指定しない。必要に応じてプリントを配布する。/ 参考書：適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 積極的な講義への参加を期待します。</p>					

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	情報(表現)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	池上敏, 古賀和利, 葛崎偉, 中田充, 熊谷武洋				
<p>授業概要 大学生としての生活態度や学習態度などについて基本的な指針を示すと共に当コースにおけるコンピュータ機器の基本操作について概説を行う</p> <p>授業一般目標 大学生としての責任と将来の目標についての内省機会を与える。 OS、ワード、エクセル、ペイント等の基本オペレーションを理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) レポートにおける課題理解度、および出席、意欲等で総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：選定中なので、授業時に購入について指示する。/ 参考書：必要に応じ、適宜紹介します。</p> <p>メッセージ 学生生活でつまづくと、それが学生生活全体に影響します。基礎、基本を大切に。遅刻、無断欠席は厳に慎むこと。</p> <p>教官連絡先 学年担任(池上教員)まで。連絡先、オフィスアワー等については授業時に告知します。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	情報(数情)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	渡辺正、糸長雅弘、北本卓也、野村厚志、飯寄信保				
<p>授業概要 数理情報コースに関する学習、研究領域について概説するとともに、大学生活に関するガイダンス、授業の受け方等を講義します。講義は担当教員のリレー講義形式で行います。</p> <p>授業一般目標 数理情報コースで学ぶ学習、研究領域についての理解を広げ、大学生活について必要な事柄を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席回数、レポート内容、受講態度等を総合的に判断する。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	健康(スポ健)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	森田俊介、塩田正俊、杉浦崇夫、丹信介、曾根涼子				
<p>授業概要 この授業は以下の2部門から構成されている。第1部 今後の専門授業の学習効果を高めるために、(1)図書館の利用方法、文献検索の方法、(2)レポートの書き方、(3)コンピュータを用いた統計処理の方法、などを教授する。また(4)運動時の生体反応の実習を通して、実際にレポートの作成及びプレゼンテーションを行い、添削・指導を行う。第2部 健康づくりや生きがいづくりを実践している学外スポーツ・健康づくり施設を見学することで、身体運動が健康づくりに果たす役割、各施設における地域住民との関わり、などを解説する。</p> <p>授業一般目標 この授業は以下の2部門から構成されている。第1部 今後の専門授業の学習効果を高めるために、(1)図書館の利用方法、文献検索の方法、(2)レポートの書き方、(3)コンピュータを用いた統計処理の方法、などを学習する。また(4)運動時の生体反応の実習を通して、実際にレポートの作成及びプレゼンテーションを行う。第2部 健康づくりや生きがいづくりを実践している学外スポーツ・健康づくり施設を見学することで、身体運動が健康づくりに果たす役割、各施設における地域住民との関わり、などを体験・学習する。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として全出席であること。レポート・プレゼンテーション(70%)と学習意欲(30%)より総合的に判断する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：参考書備考：必要に応じて紹介する。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワーは教員によって異なるので各教員に問い合わせること。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	健康(生活)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	五島淑子、山田次郎、山本善積、星野裕之				
<p>授業概要 生活健康科学コースの履修プログラムや学生生活の注意事項等を説明するとともに、履修する各分野の入門について述べる。次いで受講生によるグループ演習とその成果のプレゼンを行う。</p> <p>授業一般目標 本コースで履修する諸分野の入門講義のポイントを述べる事ができる。また、学習への関心を広げて、仲間と協力して調査を行い、結果をまとめることができる。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は、入門講義等に関するレポート、グループ学習の成果発表、出席状況を総合的にみて評価する。</p> <p>メッセージ この授業は、健康科学入門として、受講生の皆さんと教員とでつくる授業です。積極的に参加して、健康科学を学ぶ意義や楽しさをつかんで下さい。なお、授業計画の順番は変更になることがありますので、初回授業時に日程の詳細をお知らせします。</p> <p>教官連絡先 授業に関する問い合わせは五島まで(2008年度の担当) E-mail:goto@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	総文(国文)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	北西功一、岡村康夫 ミホバ, D. J.				
<p>授業概要 大学生として必要な能力に、レポート作成能力がある。この授業ではこの能力の基礎的な部分を身につける。</p> <p>授業一般目標 大学生として適切なレベルのレポートを書く能力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 各自の作成したレポートによって評価する。特別な理由なく2回以上欠席したものは失格とする。</p> <p>教官連絡先 kitanisi@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー 随時</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	総文(文芸)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	菊屋吉生、有元光彦、斎藤完、堀家敬嗣				

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	数理	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	吉村浩				

授業概要 高校で学んだ数学とこれから皆さんが大学で学ぶ数学との大きな違い。それは、扱う数学の対象がより抽象化され、また数学的内容がより厳密に論理的に表現されることです。その基礎となるのが「論理」と「集合」です。これらは、大学で数学を学んでいくためには、どうしても必要となるものなのです。この授業では、「論理」と「集合」の基本的事項を学びます。

授業一般目標 この授業では、「論理」と「集合」の基本的事項を身につけることを目標とします。また、第一回目の授業では、数理科学科の教育内容、カリキュラム、授業形態、単位の取り方、時間割、数理科学科の授業支援等についての解説も行います。各自、時間割を組むための参考にしてください。

成績評価方法(総合) 中間・期末2回の筆記試験(70%)と演習・レポート(30%)により判定します。なお、出席が所定の回数に満たないものは欠格とします。詳細は初回の授業で説明します。

教科書・参考書 参考書: プリントを配布する。

メッセージ 毎回授業に出て、手を動かし演習・レポートに取り組むことが肝要です。

教官連絡先 理学部 1 4 3 号室、Tel 933-5662

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	物情	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	各担当教員				
<p>授業概要 日本語による基本的な作文法を学習する。論理的な筋道で物事を説明するための基本作文技術を習得する。与えられたテーマに対して、自分の意見をまとめて作文する。また、与えられたテーマに関してのディスカッションを行い、グループ内の他の人の異なる意見を知るとともに、相互の理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・自分の考えていることを作文することによって、日本語の読み書き能力の向上をはかる。 ・ディスカッションにより、自分の意見を話す能力、特に論理的な筋道で説明する能力を身につける。 ・他人の意見を聞き、理解し、自分の意見と比較分析する能力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) レポートで評価する。</p> <p>メッセージ 出席は必須。課題レポートには積極的に取り組むこと。</p> <p>教官連絡先 kenta@yamaguchi-u.ac.jp 理学部本館南棟 231 オフィスアワー随時</p>					

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生化	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	各担当教員				
<p>授業概要 近年の生命科学の急速な進展により、生物・化学を学ぶために必要な知識量も著しく増大している。常にこれら分野の発展に伴う新しい知識の集積に注意を払いつつ学ぶ必要があるが、大学の授業にその全てを盛り込むことは不可能である。言い換えれば、大学において生物・化学の基礎を学ぶためには、自主的な選択による情報や資料の収集・解析能力、文章表現力や他の人と議論する能力が必要である。</p> <p>授業一般目標 この授業は、最近の生物・化学の先端的研究に触れると同時に、大学での自主的な学習の進め方について理解を深めることを目的としている。授業を通して、各自が科学する面白さを理解し、自主的に学習できるようになることを目指す。</p> <p>成績評価方法 (総合) 宿題/授業外レポート = 80 100 %未満 出席 = 20 %未満 出席回数 80 %以上を単位取得の必要条件とする。</p> <p>メッセージ 最初のオリエンテーションにおいて講義計画・到達目標・成績評価について説明する。教官の講義内容、担当日を変更することがある。</p> <p>教官連絡先 田頭昭二 taga@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	地球	単位	2 単位	曜時間	火曜日 1・2 時限
担当教官	君波和雄, 加納隆, 金折裕司, 今岡照喜, 福地龍郎, 鎌田祥仁				
<p>授業概要 地球圏システム科学科の学習・教育目標をわかり易く解説するとともに、野外観察などの実体験を通じて地球科学が対象とすることがらに興味を深め、地球科学の役割を理解できるようにする。さらに、自らの観察と考察に基づいた問題提起やプレゼンテーション、グループ討議を行う。</p> <p>授業一般目標 (1)地球科学が対象とすることがらやそれをどのように人間生活へ貢献するかについて理解する。(2)実体験を通じて野外観察や試料・標本の重要性を理解する。(3)自分で積極的に学問に取り組む姿勢を見につける。(4)自分の頭で考え、問題提起や議論ができるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 各教員から提示された課題による学習態度とレポートを対象として、以下の観点・割合で評価する。</p> <p>メッセージ 高校教育から大学の教育に早く慣れ、自分で考え自分の判断で行動できるようになってください。</p> <p>教官連絡先 学科長</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	医学入門 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	川崎勝 他 15 名				
<p>授業概要 医学科全 85 名の入学生は担任教官が所属する基盤系講座に所属し、少人数(5, 6 名)で日本語論述とディスカッション(ディベート)を主体としたセミナーを行う。</p> <p>授業一般目標 今後、医学とコミュニケーション技法を学ぶ上で必須のリテラシー能力を養うために、日本語論述と小グループでのディスカッションを中心に演習を行うことを通じて高度な日本語運用能力と問題探究能力を修得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 真にやむを得ない事情がある場合を例外として、原則として全回出席していることを成績評価の前提とし、各自の演習への積極的な参加態度と小レポートの内容を中心に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 実践・言語技術入門, 言語技術の会, 朝日新聞社; 日本語の作文技術, 木下是雄, 中央公論新社, 1981 年</p> <p>メッセージ 医学入門 I の内容は、前期毎週火曜夕方に設けられた「フレックスタイム」の時間帯に補足されます。</p> <p>教官連絡先 各自、オリエンテーション時に担任教員に確認すること。</p>					

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	野垣宏、清水昭彦				
<p>授業概要 人間と医療との関わり、医療の現状、医療の質の変遷と展望、及び医療人としてのあり方を考える。</p> <p>授業一般目標 現代医療の抱えるさまざまな問題について、看護師を目指す者として、自ら問い、考える 基盤を築くことを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) レポート、出席率などによる (単位認定の最低条件: 総授業数の 2/3 以上の出席およびレポート提出)。</p> <p>メッセージ 知識の習得ではなく、自分の問題として考えて欲しい。日常の中の医療問題に関心を向けて欲しい。</p> <p>教官連絡先 nogaki@yamaguchi-u.ac.jp ashimizu@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	検査	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	”山田治, 市原清志”				
<p>授業概要 21 世紀になり、日本は今までにない長寿社会を迎えている。そのため現在の医学は、医の倫理、患者の権利、インフォームドコンセント (説明と同意)、病名告知に始まり、遺伝子治療、脳死、臓器移植、終末期医療まで 幅広い領域で多くの問題を抱えている。本講義では、これらのテーマを含めながら、医学の歴史、現代医学の構成、医学検査の役割、現代医学の問題点などを学び、臨床検査技師として他の医療従事者とのチーム医療を行うために必要となる、知識とモラルを学ぶことを目的とする。さらに、自分の考えを人に伝えるための文章表現法、発表方法を紹介する。</p> <p>授業一般目標 日本の医療システムの歴史と現状を知り、その問題点を指摘できる。人のライフスタイルや環境が健康におよぼす影響をの部、その予防・啓発を行うことができる。医療従事者の役割を知りチームワークに必要な事項と問題点を指摘できる。与えられた課題に対して、限られた時間内に正確な言葉で解説、論述および自分の考えを文章で表すことを修得する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 【全体】毎回セミナーとタイトルを提示しグループディスカッションを行いますので、その時の参加態度を評価します。また、一部は期末試験で評価します。【観点別】知識の理解度および思考の判断力は発表内容と期末試験で評価します。関心・態度、表現力は発表内容から評価します。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 理科系の作文技術, 木下是雄, 中央公論新書 624, 2000 年; 学生のための医療概論, 千代豪昭黒田研二, 医学書院, 1999 年</p> <p>メッセージ 疑問に思ったら、自分の意見を述べながら質問して下さい。</p> <p>教官連絡先 山田治: E-mail は osamuymd@yamaguchi-u.ac.jp、電話は 0836-22-2803。 服部幸夫: E-mail は hattori-ygc@umin.ac.jp、電話は 0836-22-2807</p>					

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	機械	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	望月信介、大木順二、三上真人、亀田孝嗣				
<p>授業概要 機械工学を修得したエンジニアとして社会に貢献するには、科学としての学問と技術としても活動、それを支える基礎学力が必要です。機械工学では何を学べば基礎学力がつくのか、どのような行動を取れば発展させることができるのか、どのような価値観により判断すればよいのか、といったことを学ぶ必要があります。これらのことをふまえ、将来のエンジニアを目指して、大学において学んでいくための基礎を講義します。</p> <p>授業一般目標 大学において学ぶ上での、動機付け、目標、手法、および到達レベルの把握 友人、先輩および教職員とのコミュニケーション力の必要性の認識と取得 目標達成のための PDCA サイクルを含めた行動力の実践的修得</p> <p>成績評価方法 (総合) 課題に関するレポートおよび発表に基づき行います。</p> <p>メッセージ 大学における勉強は高等学校とはどう違うのか、将来の自分を形成するには、リーダーシップを取るにはどのように行動すればよいのか、協調性の役割と方法など、常に考えながら学んでください。</p> <p>教官連絡先 まとめ役：望月信介 工学部機械社建棟 B309 電話 0836-85-9117 メール：shinsuke@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	社建	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	関根雅彦・田村洋一・榊原弘之				
<p>授業概要 大学の学習において重要な、日本語による的確な表現力とは何かについて説明し、それを身につけるための実習を実施する。また、大学生活を有意義なものとするために、ステップアップノートを用いて今後の目標を明確化する。</p> <p>授業一般目標 大学でさまざまな内容を学習していく上で重要な日本語による表現力を身につける。具体的には (1) レポート・レジュメ作成に必要な文章力 (2) 内容をわかりやすく口頭で説明する表現力 を身につける。本科目は、本プログラムの学習・教育目標のうち、以下の目標に対応している。(A) 確かな基礎力を有する技術者を目指して以下の能力を身につける A-3 日本語による的確な表現力</p> <p>成績評価方法 (総合) 本講義は演習を重視しており、授業内外のレポート及び定期試験の総合演習によって成績を評価する。そのため、出席して演習を実施することが単位認定の前提条件となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語表現のレッスン 文章技法からイベント・プレゼンの企画と実施まで、長沼行太郎、入部明子、幸田国広、青島康文、向後千春、教育出版、2003 年</p> <p>メッセージ 大学では、自発的に学習することが重要です。この講義では、社会建設工学科で 4 年間学習してゆくための準備を行います。講義への出席の積み重ねは有意義な大学生活を送る上での重要な第一歩です。そのため、全講義出席、全課題提出を原則とします。ただし体調不良などによりやむなく欠席する場合は、必ず教員に連絡してください。</p> <p>教官連絡先 関根：ms@env.civil.yamaguchi-u.ac.jp 田村：ytamura@yamaguchi-u.ac.jp 榊原：sakaki@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	応化	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	山本修一, 大石 勉, 笠谷和男, 赤田倫治, 堤 宏守, 中山雅晴, 中塚晃彦, 鬼村謙二郎				
<p>授業概要 ・さまざまな方式で大学における学習の意味と目的を理解するためのセミナーです。オリエンテーションとしては、どのように講義・演習を履修して卒業していくのか、あるいは、学科の目標目的、さらには、技術者として社会にどのように貢献していくかなどについても学びます。 ・与えられた課題について調査してレポートを作成し、プレゼンテーションをします。</p> <p>授業一般目標 ・工学部応用化学工学科の学習目的・目標を理解する。 ・技術者として社会にどのように貢献していくかを理解する。 ・与えられた課題について調査してプレゼンテーションとレポートを作成します。 ・工学基礎についての学習もします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は、特に使用しないが、必要に応じてプリント配布などを行う。また、講義時間内に、指示する場合もある。</p> <p>メッセージ 授業に関する連絡などを、共通教育の掲示板などに掲示することもあるので、掲示板を必ず毎日確認するようにして下さい。</p>					

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	電気	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	羽野光夫, 三木俊克, 只友一行, 田中幹也, 三好正毅				
<p>授業概要 大学の授業に慣れるために模擬授業を行って、ノートのとり方を訓練する。さらに、ノート・パソコンを活用した文書作成やネットワークを利用した情報検索を基礎として、与えられた課題をまとめ、プレゼンテーションを行う。少人数グループに分かれ、キャリアデザインや知的財産、最新技術の紹介、関連事項の調査、発表などを行う。C 言語の基礎を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 このセミナーは、電気電子工学の分野を今から学ぼうとする学生を対象としたフレッシュマン・セミナーであって、この分野の学問を学ぶ上で必要となるインセンティブを育てることを目的としている。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (20%程度) 小テスト・授業内レポート (20%程度) 宿題・授業外レポート (20%程度) 授業態度・授業への参加度 (20%程度) 受講者の発表 (プレゼン) (20%程度)</p> <p>教科書・参考書 教科書：知へのステップ - 改訂版 -, 学習技術研究会, くらしお出版, 2006 年; ザ・C 第 2 版, 戸川隼人, サイエンス社, 1997 年</p> <p>教官連絡先 羽野 hano@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	知能	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	瀧本浩一、河村圭、平林晃				
<p>授業概要 本講義は本学科の導入教育の一環として位置付けられているもので、現在の情報技術の動向を意識しつつ、今後専門科目を履修するにあたり必要となる諸問題解決のための基礎的な知識および計算機リテラシーの習得を行う。</p> <p>授業一般目標 情報系の学生として必要なリテラシーを指導しつつ、専門科目と情報技術の関係および、現在の情報技術分野の動向を理解させることにより、この分野の学問を学ぶ上で必要となるインセンティブを育てることを目的としている。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績の評価はレポート、プレゼンテーションの内容を総合的に判断して決定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義内容に応じて資料を配布します。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	感性	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	松田 憲 他				
<p>授業概要 初回のオリエンテーション、2 回目の学科紹介で、本学科で学べることを紹介。研究を行うにあたって求められる基礎的なノウハウの習得。現在学科で行われている研究を体験。在学中および卒業後のライフプラン作成。最後に、知財教育と総括。</p> <p>授業一般目標 高校生から大学生になるために必要なリテラシー(情報検索、口頭発表のやり方、レポートの書き方)を指導し、また自分の意見を持ち、それを発表する技術を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、発表、レポート</p> <p>メッセージ 必ず出席して単位を取る。宇部では開講されないで、これを落とすと大変なことになる。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	循環	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	喜多英敏				
<p>授業概要 平成18年度に新設された循環環境工学科は、多角化する環境問題と循環型社会の構築について取り組む幅広い教育を行います。本セミナーでは開講される講義の概要とその関連について説明し、履修の仕方について解説、指導します。またステップアップノートや知的財産、ノートパソコンのレトラシーについて説明します。</p> <p>授業一般目標 (1) 学科の概要を理解し、目的を持った講義の履修計画をたてる。(2) 循環型社会の構築にどのように関わっていくかを理解する。(3) ステップアップノートや知的財産、ノートパソコンのレトラシー、知的財産について理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席を重視し、レポート(宿題)や授業態度などと共に総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 適宜資料を配布する。/ 参考書: 適宜講義の中で紹介する。</p> <p>メッセージ これからの勉学の道筋を付けるために非常に重要なセミナーです。目的意識を持って、しかし、一方では広い視野をもって、意欲的に取り組んでください。</p> <p>教官連絡先 4人の循環環境工学科の教官が常盤キャンパスから本セミナーのために吉田キャンパスにやってきます。質問などは授業の終わりか、後日、メールなどで行ってください。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	農(生資)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官					
<p>授業概要 基礎セミナーでは、新入生が2年次から受講する専門教育への関心を持つようになり、自覚と知的好奇心を持って卒業研究の素材づくりを目指せるように、生物科学や環境科学等を含む、広い意味での総合的応用科学である農学に関連した諸研究について、学科の全教員がそれぞれの専門分野から分かりやすく解説するとともに、最新の研究トピックスを紹介する。</p> <p>授業一般目標 受講者は、講義を通して、まず講義や実験・演習の場で課せられるレポートの書き方の基礎を習得する。あわせて、農学研究の一端に触れるとともに、探究心や知的好奇心を養い、農学にまつわる諸問題に対して主体性を持って自分で考える習慣を体得する。さらには、研究者のプレゼンテーションを体験するだけでなく、プレゼンテーションの技術・技能の基礎を演習を通して習得する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席及びプレゼンテーションに最大限の重点を置く。ただし、出席にはレポート提出が必修条件である。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 資料配布(学科教員の研究紹介)/ 参考書: (必要に応じて、学科教員の発表時に指示があります。)</p> <p>メッセージ 必ず全出席して、単位を取ることに。</p> <p>教官連絡先 農学部 326号室(代表 進藤)</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	農(生機(1-25))	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	山田守, 内海俊彦				
<p>授業概要 専門教育への自覚ならびに素地づくりをめざし、生命科学および生命環境科学に関連した諸問題について最新のトピックスを中心に討論する。特に、バイオテクノロジーの有効性と技術的な問題点、環境の問題点とその生物を利用した解決策、生命科学に関連した科学技術の功罪について各自で調査し、発表する。</p> <p>授業一般目標 生命科学および生命環境科学に関連した諸問題について理解を深めると同時に、この授業の過程で、資料作成、発表、討論によって、口頭発表の仕方、技術等を身につかせ、主体性をもって自分で考え研究するスタイルを身につけさせることを目指す。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜紹介するとともに、一部プリントを使用する</p> <p>教官連絡先 山田守：電話 933-5869, オフィスアワー 17 時-18 時 内海俊彦：電話 933-5856, オフィスアワー 17 時-18 時</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	農(生機(26-))	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官					
<p>授業概要 専門教育への自覚ならびに素地づくりをめざし、生命科学および生命環境科学に関連した諸問題について解りやすく解説するとともに、最新のトピックスを紹介する。さらに、バイオテクノロジーの有効性と技術的な問題点、環境の問題点とその生物を利用した解決策、生命科学に関連した科学技術の功罪について各自で調査し、発表する。</p> <p>授業一般目標 この授業の過程で、資料作成、発表、討論で議論を深めるとともに、口頭発表の仕方、技術等を身につけさせるとともに、主体性をもって自分で考え研究するスタイルを身に付けさせることを目指す。</p> <p>成績評価方法(総合) 発表の方法、内容、そして討論への参加状況から判断する</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜紹介するとともに、一部プリントを使用する</p> <p>教官連絡先 月～金 10～17 時</p>					

開設科目	基礎セミナー 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	農(獣医)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	岩田祐之・音井威重・利部聡				
<p>授業概要 獣医学一般における基礎的な知識について学び、獣医学倫理を考える。授業形態としては、講義、意見発表、討論、レポート作成などを行い、自分の考えを論理的に発表あるいは論述する訓練も併せて行う。</p> <p>授業一般目標 獣医学を学ぶものとしての自覚を持たせるとともに、論理的思考を習得させることを目的とし、獣医学で学ぶべきこと、獣医師の社会における活動分野、学際領域における獣医学、獣医学と自然・社会・文化・環境保全、人と動物の関係学などについて学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト/授業内レポート 授業態度や授業への参加度 出席</p> <p>教科書・参考書 教科書：一部プリント使用</p> <p>メッセージ 意見発表・討論は積極的に行う。レポートは推敲した文章とする。</p> <p>教官連絡先 岩田祐之 5899, hiwata@yamaguchi-u.ac.jp 音井威重 5904, otoi@yamaguchi-u.ac.jp 利部聡 5910, espero@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	人社(1~50)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	小川 勤				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	人社(51～、過年度)	単位	1単位	曜時限	木曜日 9・10時限
担当教官	岡田耕一				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	言語(01～50)	単位	1単位	曜時限	木曜日 7・8時限
担当教官	小川 勤				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	言語 (51～、過年度)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	木下 真				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。/ 参考書：情報セキュリティ読本, 独立行政法人情報処理推進機構, 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (1-70)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	木下真				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。/ 参考書：情報セキュリティ読本, 独立行政法人情報処理推進機構, 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (71-140)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	成富敬				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (141-210)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	成富 敬				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (211-280)	単位	1 単位	曜時間	木曜日 1・2 時限
担当教官	陳建平				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (281-350)	単位	1 単位	曜時間	金曜日 5・6 時限
担当教官	陳建平				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (351-)	単位	1 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	木下真				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。/ 参考書：情報セキュリティ読本, 独立行政法人情報処理推進機構, 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	数理	単位	1 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	廣澤史彦				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	物情	単位	1 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	浦上直人				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>成績評価方法(総合) レポートの提出、出席等で判断する</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生化	単位	1 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	原田由美子				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	地球	単位	1 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	福地龍郎				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>成績評価方法（総合） 毎回必ず出席し、全ての課題を達成し、提出を行っていることを単位習得の必要条件とする。受講態度および提出された課題により成績を評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p> <p>教官連絡先 連絡先：E-mail fukuchi@yamaguchi-u.ac.jp, 理学部本館南棟 449 号室 オフィスアワー：火曜日 13:00～14:30</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	看護 (1-60)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	篠原紀幸				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>成績評価方法（総合） 成績は、毎回の実技レポートにより判定する。したがって、出席も評価対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	看護(61-), 検査	単位	1 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	篠原紀幸				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は、毎回の実技レポートにより判定する。したがって、出席も評価対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	機械	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	安田利貴				
<p>授業概要 近年、コンピュータの発達、インターネットや電子メールの発達により瞬時に情報を伝えることが可能であるが、セキュリティの問題やネットワークのエッチケットに関する理解が必要不可欠となる。一方、コンピュータを活用するには、様々なソフトウェアの使用方法を習得する必要がある。特に、工学分野では、物理現象を視覚的に理解・解析する道具として、コンピュータの活用が必要不可欠となる。そこで本演習では、ネチケット(ネットワーク・エチケット)の理解およびコンピュータ利用技術を身につけることを目的として、ワードプロセッサ、表計算ソフトの利用法について説明し、実際にその活用法について演習を行う。</p> <p>授業一般目標 コンピュータの基本操作やネチケットを習得する。コンピュータの利用方法としては、機械工学で取扱う物理現象を例題にレポート作成手順の習得とする。具体的には、物理現象のグラフ化(表計算ソフト：数値解析と解析手解法の比較)物理現象を説明する文章(報告書)の作成(ワープロソフト)を行う。また、作成した報告書の内容を視覚的に発表する方法(プレゼンテーションソフト)も学ぶ。そして、プログラミング言語(C言語)を用いた例題の計算方法の基礎を学ぶ。</p> <p>教科書・参考書 参考書：情報処理テキスト(web版)</p> <p>メッセージ コンピューターは道具であり、その利用法の習得には自分で作業をしてみるしかないので、積極的な受講態度で臨むこと。</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	社建	単位	1 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	榊原弘之				
<p>授業概要 道具としてのコンピュータおよびネットワーク利用の観点から、ノートパソコンの基本操作、ワードプロセッシング、表計算、ファイル管理、およびネットワークを利用した電子メール、ブラウザを利用した様々な情報入手方法の実習を中心に講義する。</p> <p>授業一般目標 道具としてのコンピュータおよびネットワーク利用の観点から、ノートパソコンの基本操作、ワードプロセッシング、表計算、ファイル管理、およびネットワークを利用した電子メール、ブラウザを利用した様々な情報入手方法の修得し、道具としてのコンピュータを使いこなすことができるようになる。この科目は社会建設工学科 社会建設工学コース及び東アジア国際コースの以下の学習・教育目標に対応する。(A) 確かな基礎力を有する技術者を目指して以下の能力を身につける。A-1 数学、自然科学、情報処理の基礎力</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 演習講義には毎回出席し課題をすべて提出すること(出席は欠格条件です。ただし、病気などやむを得ない理由で欠席した場合には必ず次の講義時に欠席届を提出し、指示(欠席分に相当する課題を課す)を受けること。) 2. 第8週の講義で最終課題を課します。最終課題で「ワード文書、エクセルのグラフが作成でき、グラフをワード文書に貼り付けることができる」ことを、単位認定の必要条件とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 講義中に必要に応じて資料を配布します。/ 参考書: 講義中に必要に応じて資料を配布します。</p> <p>メッセージ この講義には、ノートパソコンが必要です。・いろいろな機能について、実際に試して、体得して下さい。</p> <p>教官連絡先 榊原: sakaki@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	電気	単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	長 篤志				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験 50%、授業内小テスト 20%、宿題 20%、出席 10%で成績を評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 山口大学「情報処理テキスト Web 版」</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p> <p>教官連絡先 長 篤志 (osaa@yamaguchi-u.ac.jp)</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	知能	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	河村 圭				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>成績評価方法（総合） 成績の評価は、レポートの内容を総合的に判断して決定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」</p> <p>メッセージ コンピュータを使い慣れている学生は、WEB テキスト等を活用して、自学自習によりさらに高い知識技術を身につけてほしい。また、クラスには初心者もいるので、助け合って学びましょう。</p> <p>教官連絡先 河村 圭 工学部総合研究棟 8 階、TEL:0836-85-9530 e-mail:kay@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日 17:30-19:00</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	感性	単位	1 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	山本正幸				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>成績評価方法（総合） 毎講義後のレポート提出とペーパー試験</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	循環	単位	1 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	河村圭				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>成績評価方法（総合） 成績の評価は、レポートの内容を総合的に判断して決定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」</p> <p>メッセージ コンピュータを使い慣れている学生は、WEB テキスト等を活用して、自学自習によりさらに高い知識技術を身につけてほしい。また、クラスには初心者もいるので、助け合って学びましょう。</p> <p>教官連絡先 河村 圭 工学部総合研究棟 8 階、TEL:0836-85-9530 e-mail:kay@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日 17:30-19:00</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生資	単位	1 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	荊木康臣				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生機	単位	1 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	荊木康臣				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	獣医	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	岡田耕一				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	人社	単位	1 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	杉井 学				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）／参考書：情報セキュリティ読本改訂版、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	言語	単位	1 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	赤井光治				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）／参考書：情報セキュリティ読本改訂版、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	経 (1-70)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	佐伯哲郎				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	経 (71-140)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	市川哲彦				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	経 (141-210)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	永井好和				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p> <p>教官連絡先 E-mail : ynagai@yamaguchi-u.ac.jp メール の件名(タイトル) 欄の先頭に【 科目; 情報セキュリティ】と記入しておいてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	経 (211-280)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	永井好和				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p> <p>教官連絡先 E-mail : ynagai@yamaguchi-u.ac.jp メール の件名(タイトル) 欄の先頭に【 科目; 情報セキュリティ】と記入しておいてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	経 (281-350)	単位	1 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	小柏香穂里				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	経 (351-)	単位	1 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	小柏香穂里				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	数理	単位	1 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	岡田耕一				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	物情	単位	1 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	佐伯哲郎				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	生化	単位	1 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	永井好和				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）/ 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p> <p>教官連絡先 E-mail : ynagai@yamaguchi-u.ac.jp メール の件名（タイトル）欄の先頭に【科目；情報セキュリティ】と記入しておいてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	地球	単位	1 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	佐伯哲郎				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）/ 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	看護 (1-60)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	王 躍				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 2回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	看護 (61-), 検査	単位	1 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	王 躍				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 2回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	機械	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	岡田耕一				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）／参考書：情報セキュリティ読本改訂版、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	社建	単位	1 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	赤井光治				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）／参考書：情報セキュリティ読本改訂版、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	電気	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	刈谷丈治				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）／参考書：情報セキュリティ読本改訂版、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	知能	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	市川哲彦				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）／参考書：情報セキュリティ読本改訂版、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	感性	単位	1 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	杉井 学				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）/ 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	循環	単位	1 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	赤井光治				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）/ 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	生資	単位	1 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	市川哲彦				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）/ 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	生機	単位	1 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	久長 穰				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）/ 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	獣医	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	王 躍				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：情報セキュリティ読本改訂版, IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 実教出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(数・理))・情報(数理)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	野村厚志				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつある今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式(情報モラル)を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験、レポート課題及び出席により成績を評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材(PowerPoint 配布資料ダウンロード版) / 参考書：IPA(独立行政法人情報処理推進機構), 情報セキュリティ読本改訂版, 実教出版, 2006 年 11 月</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p> <p>教官連絡先 教育学部 226 号室/水曜日 5-6 時限/anomura@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(保・英)・国理)・実践	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	鷹岡亮				

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(国・社・音・美))・総文(文芸)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	吉村誠				

授業概要 情報リテラシー
 授業一般目標 パソコンを使えるようにする。
 成績評価方法(総合) 単元ごとにレポートを提出

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(技))・健康(スポ健)・総文(国文)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	林川基治、古賀和利				
<p>授業概要 本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。実習に当たっては、受講者と相談の上、通常の時間割りの前後あるいはそれ以外の時間帯にも時間を設けて十分な実習時間を確保する。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	講義	開設期	前期
対象学生	情報(表現)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	葛崎偉				
<p>授業概要 コンピュータの基本ソフトウェアの一つであるUNIXの基本コマンド、エディタの使い方、メールやニュース等のインターネットの利用法、また種々のアプリケーション・ソフトウェアの使い方を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 本講義は高度情報化社会に必要な不可欠なコンピュータの基本操作法とソフトウェアの利用法を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席状況、履修状況、レポートなどで総合評価する。= 100 %</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(家)・幼児・障害)・健康(生活)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	中田充				
<p>授業概要 Windows PC の利用方法，情報セキュリティについて学習する．</p> <p>授業一般目標 Word, Excel 等のソフトウェアの基本的な使い方をマスターする．情報セキュリティの基礎を理解する．</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学(1-43)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	石田博				
<p>授業概要 情報技術の発展により様々な領域でコンピュータの活用が広く求められ、インターネットなどネットワーク上の情報交換は日常的になっている。そのため、コンピュータの基本動作、基本的なソフトの活用方法の早期の習得は、その後の公私の活動に必須となっている。この演習では、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、WindowsOS でのパソコンおよびその上で使われる基本的ソフトの使い方を修得し(情報リテラシー)、情報ネットワークに対応するための知識、セキュリティ、モラルなど電子情報の活用の基本を身につける。</p> <p>授業一般目標 1) パソコンの使用方法、ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトの基本的な使い方、インターネット上で用いる基本ツールの利用方法、ネットワークの仕組みについて修得する。2) 社会生活における情報や情報技術役割および影響を理解し、情報モラルやセキュリティに対する責任の認識とともにネットワーク社会に対する態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 演習中の積極性、態度および、レポート、発表により評価します。演習のため、遅刻するとそれまでの部分がわからなくなりますので注意して下さい。レポートにおいては、他者のコピーとわかるものはいずれも0点と評価します。演習 = 欠格条件 出席 = 欠格条件</p> <p>教科書・参考書 教科書：演習の内容により、必要に応じて資料を配布する。</p> <p>メッセージ 講義時間を有効に活用して、基本ソフトの使い方をマスターください。また、ネットワーク環境など大学であるからこそ使いやすい機能と危険性を理解してください。出席は必ずしてください。理解度、レポート、作成したものを評価対象とします。</p> <p>教官連絡先 E-mail : hishida@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学(44-)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	唐澤肇				
<p>授業概要 現代社会において、パソコンやインターネットを利用できるという能力はもはや特別な ものではなくなり、むしろ全ての人間にとって必要不可欠なものとなってきている。この講義では、学生個人のパソコンをネットワークに接続させ、それを使った実習を通してパソコンやネットワークの基本的な仕組みと利用方法、また、ネットワーク上でのモラルについて説明する。講義と実習の難易度は初級～中級者レベルで行なう。</p> <p>授業一般目標 1) パソコンの使用方法、ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトの基本的な使い方、インターネット上で用いる基本ツールの利用方法、ネットワークの仕組みについて修得する。2) 社会生活における情報や情報技術役割および影響を理解し、情報モラルやセキュリティに対する責任の認識とともにネットワーク社会に対する 態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 各回の課題・レポートにて実習内容の要素毎の理解度・達成度を判断、最終レポートにて総合的理解度を判断する。遅刻、早退および課題の提出期限遅れは減点する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じて資料を配布する。/ 参考書：WEB 情報処理テキスト</p> <p>メッセージ 授業の際は必ずノートパソコンを持参すること。課題およびレポートは必ず提出すること。期末試験は行なわない。</p> <p>教官連絡先 E-mail:kara@yamaguchi-u.ac.jp URL:http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/ kara/index.html</p>					

前期 - 外国語教育

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	実践(教育)・総文	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	大野厚子				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	医 (1-45)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	医 (46-)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	高橋俊章				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	看 (1-40)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	松谷緑				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 mmatsu@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	看 (41-)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	鴨川 啓信				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	学教(教科(国・社・数・理・音・美))	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	高橋博美				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 hiromi.t@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	学教(教科(保・技・家・英)・幼児・障害)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	堤千佳子				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	学教(国際)・情報	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	実践(人間)・健康	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経(1-50)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (51-100)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	池園宏				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (101-150)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	高橋俊章				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (151-200)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	太田聡				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 ohta@... (... は yamaguchi-u.ac.jp)</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (201-250)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	猫田和明				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (251-300)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	鴨川 啓信				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test) の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (301-355)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	武本ティモシー				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test) の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (356-)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生資 (1-45)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	高橋博美				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 hiromi.t@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生資 (46-)・生機 (1-40)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生機 (41-)・獣医	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	大野厚子				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	人社 (1-50)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	宮崎充保				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	人社 (51-)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	皆尾麻弥				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test (TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki, Seibido, 2007 年</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	言語 (1-45)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	池園宏				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	言語 (46-)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	猫田和明				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	数理・物情 (1-5)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	鴨川 啓信				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test) の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	物情 (6-)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	高橋博美				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test) の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生化 (1-55)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	矢野紀子				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生化 (56-)・地球	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	検査	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	機械 (1-50)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	池園宏				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	機械 (51-)	単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	宮原一成				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認するために、TOEIC テストの全貌について学ぶ。そのテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施される、最初の半分の45分のListening Comprehensionに当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。ただし、TOEIC というテストで高得点をあげるコツを教授する授業ではない。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を各自設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・オンライン自習課題は、課題の実行状況(課題をきちんとやっているか、復習をきちんとやっているかなど)をもとに欠席回数(-0.25回)に換算して評価する。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。</p> <p>教科書・参考書 教科書: TOEIC テストインテンシブトレーニング、宮崎充保、成美堂、2006年; 山口大学1年生向け統一教科書です。第1回授業以前に必ず購入しておくこと。教科書持参でなければ、初回授業はたとえ教室にいても問答無用で欠席と見なす。</p> <p>メッセージ ・初回授業時にも、予習してくることがすでに要求されている。教科書の指示をよく読んでおくこと。・「TOEIC の問題形式や実用文に慣れること」が目標で、何らかの水準点を旨とする授業ではありません。それよりも、基本的な聞き取り、読み取りの地道な鍛錬を目指しています。・言わずもがなだが、遅刻厳禁。無断での途中退席厳禁。これらはちゃんと1回分出席したとは見なさない。</p> <p>教官連絡先 初回の授業で受講者には通知します。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	社建 (1-50)	単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	皆尾麻弥				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分のListening Comprehensionに当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test (TOEIC テストインテンシブトレーニング), Mitsuyasu Miyazaki, Seibido, 2007年</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	社建 (51-) 応化 (1-20)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	石井由里				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 yuri@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	応化 (21-70)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	応化 (71-)、電気 (1-30)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	岡紘一郎				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	電気 (31-)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	矢野紀子				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	知能 (1-50)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上 (欠席届による公欠を含む) 欠席した学生の成績は不可となる。・ 自習課題ノートオンライン版 (Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test) の実行状況・達成率を評点に換算する (より詳しくは、授業時に説明する)。・ TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる (この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・ 自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など (利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	知能 (51-)・感性 (1-20)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上 (欠席届による公欠を含む) 欠席した学生の成績は不可となる。・ 自習課題ノートオンライン版 (Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test) の実行状況・達成率を評点に換算する (より詳しくは、授業時に説明する)。・ TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる (この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・ 自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など (利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	感性 (21-)・循環 (1-15)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	太田聡				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 ohta@... (... は yamaguchi-u.ac.jp)</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	循環 (16-)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	Ⅱ 2 年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	内海俊祐				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・ 自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・ TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・ 自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	Ⅱ 2 年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	内海俊祐				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・ 自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・ TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・ 自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	岩部浩三				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。・授業時間中はリスニング能力をのばすことを重点的に行います。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。・8 月の TOEIC TOEIC Bridge 試験の受験を成績評価に加えします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Tactic Listener, N. yamauchi, T. Kitabayashi, Kinseido, 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 iwabe@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	堤千佳子				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Cultural Leaders in America Today, 町田哲司, 朝日出版, 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：An Intensive Approach to the TOEIC Test, 松岡昇, 金星堂, 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効となります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。クォーター講義で学べる時間は限られています。初回までに教科書は購入しておいてください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	大野厚子				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Successful Keys to the TOEIC Test 1 Goal 500 Atsushi Mizumoto/Mark D. Stafford Longman, Atsushi Mizumoto/Mark D.Stafford, Longman</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効となります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	岩部浩三				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。・授業時間中はリスニング能力をのばすことを重点的に行います。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。・8 月の TOEIC TOEIC Bridge 試験の受験を成績評価に加えします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Tactic Listener, N. yamauchi, T. Kitabayashi, Kinseido, 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 iwabe@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	大野厚子				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Successful Keys to the TOEIC Test 1 Goal 500, Atsushi Mizumoto/Mark D.Stafford, Longman</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	矢野紀子				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 / 参考書：プリント配布</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	大野厚子				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Successful Keys to the TOEIC Test 1 Goal 500, Atsushi Mizumoto/Mark.D. Stafford, Longman</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	宮崎充保				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：An Intensive Approach to the TOEIC Test, 松岡昇, 金星堂, 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。クォーター講義で学べる時間は限られています。初回までに教科書は購入しておいてください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	岡紘一郎				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Othello, J.Y.K.Kerr, Nanun-do, 1992 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	矢野紀子				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 / 参考書：プリント配布</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Now You're Talking!, Chris Elvin, EFL Press, 1998 年；Reading 用の資料を別途配布します。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 連絡先：(090)4654-8264 E-mail: oneworld@international.name 英語の力をつけるコツは簡単です。英語が好きになり、英語を使えばよいのです。明らかに、英語が好きになるかどうかは強制できませんが、この授業では、4 技能を用いて英語をなるべく使う (特に聞く・話す) ことを主旨とします。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書: An Intensive Approach to the TOEIC Test, 松岡昇, 金星堂, 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効となります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。クォーター講義で学べる時間は限られています。初回までに教科書は購入しておいてください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	鴨川 啓信				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。授業時間内には、短編物語を教材として、読解力の向上、語彙の強化を目指します。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 授業時間内の教材は、プリントで配布します。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効となります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	池園宏				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：TOEIC Test Fundamentals, Christofer Bullsmith 他, 南雲堂, 2007 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	皆尾麻弥				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：The Story of Doctor Dolittle, Hugh Lofting, Red Fox Classics</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 包括

開設科目	海外英語研修	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	全	単位	4 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	石井由理、STEVENT. GARDNER				
<p>授業概要 約 4 週間の英語圏（リジャイナ [カナダ]、ニュー・カッスル [オーストラリア]、ロンドン [イギリス]）での語学研修プログラム（研修費等は受講者が負担）に参加して、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。また同時に、滞在先の人々との交流を通じて、異文化理解を深める。この科目の単位を取得するためには、学務係（工学部は教務課）に受講票を提出のうえ、研修直前のクォーターに開講される事前指導（週 1 回 90 分× 7 回の授業）を受講しなければならない。（注意！事前指導を受講しなければ、語学研修プログラムに参加しても、単位は認められません。）海外英語研修プログラムは、リジャイナ、ニュー・カッスルは夏と春に、ロンドンは夏に実施される。それぞれ 4 月末頃、10 月末頃に説明会が開かれるので、プログラムの詳細はそちらを参照すること。事前指導は第 2 クォーターと第 4 クォーターに開講される。より詳しくは説明会や掲示で連絡する。</p> <p>授業一般目標 海外（英語圏）での語学研修プログラムで学習することにより、また現地での生活の中で、実践的英語コミュニケーション能力を身に付ける。滞在先の地域文化に触れ、現地の人々との交流を通じて、国際的な視野を広げる。</p> <p>成績評価方法（総合） 事前指導での出席状況、授業態度、英語習熟度、および、研修先の大学から送られてくるスコア等を合わせて、総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 海外短期語学研修プログラム説明会の案内等は掲示にて行います。履修希望者は注意しておいて下さい。</p> <p>教官連絡先 海外短期語学研修プログラムについては留学生センターに問い合わせる。事前指導については共通教育係に問い合わせる。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 包括

開設科目	海外英語研修	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	医・工 2 年	単位	4 単位	曜時限	火曜日 11・12 時限
担当教官	石井由理、STEVENT. GARDNER				
<p>授業概要 約 4 週間の英語圏（リジャイナ [カナダ]、ニュー・カッスル [オーストラリア]、ロンドン [イギリス]）での語学研修プログラム（研修費等は受講者が負担）に参加して、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。また同時に、滞在先の人々との交流を通じて、異文化理解を深める。この科目の単位を取得するためには、学務係（工学部は教務課）に受講票を提出のうえ、研修直前のクォーターに開講される事前指導（週 1 回 90 分× 7 回の授業）を受講しなければならない。（注意！事前指導を受講しなければ、語学研修プログラムに参加しても、単位は認められません。）海外英語研修プログラムは、リジャイナ、ニュー・カッスルは夏と春に、ロンドンは夏に実施される。それぞれ 4 月末頃、10 月末頃に説明会が開かれるので、プログラムの詳細はそちらを参照すること。事前指導は第 2 クォーターと第 4 クォーターに開講される。より詳しくは説明会や掲示で連絡する。</p> <p>授業一般目標 海外（英語圏）での語学研修プログラムで学習することにより、また現地での生活の中で、実践的英語コミュニケーション能力を身に付ける。滞在先の地域文化に触れ、現地の人々との交流を通じて、国際的な視野を広げる。</p> <p>成績評価方法（総合） 事前指導での出席状況、授業態度、英語習熟度、および、研修先の大学から送られてくるスコア等を合わせて、総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 海外短期語学研修プログラム説明会の案内等は掲示にて行います。履修希望者は注意しておいて下さい。</p> <p>教官連絡先 海外短期語学研修プログラムについては留学生センターに問い合わせる。事前指導については共通教育係に問い合わせる。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時間	月曜日 3・4時限
担当教官	堤千佳子				
<p>授業概要 世界の異なる文化を背景に様々な分野の中の思想や業績を取り上げ、総合的な英語力、特に読解力を身につける。多岐に渡る分野を網羅しているので、関心を持ち、英語力の向上を目指し、多角的にそして複眼的に英語運用能力を培う。</p> <p>授業一般目標 総合的な英語力、特に読解力の向上を目指す。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Wisdom Explorer, 岩永道子, 朝日出版, 2008年</p> <p>メッセージ しっかり予習をしてから、授業に臨むこと。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時間	火曜日 5・6時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 TOEIC スコア 500 点程度を対象とし、450-550 点レベル程度の英文を読む。従来学校で強調されてきた精読だけでなく、速読・多読の力もつける。幅広い内容の英文を読んで、世界観を広げ、創造力を養う。教科書のために書かれた英語（つまり英語学習者を対称に書いたもの）だけでなく、本格的な英文（authentic text）にも挑戦する。翻訳をせずに英語のまま理解する力を養成する。また、読んだ後の読解テストなどから完全に解放された、「自由に楽しく読む」ための「多読プロジェクト」にも取り組む。楽しくたくさん読むことで基礎的な読解力をつけ、読む速度を倍増させる。読む速度の目標は 1 分間に 100-150 単語を目指す。</p> <p>授業一般目標 1. 1 分間に 100～150 単語読めるようになる（速読）。2. 和訳をせずに、英語のままメインアイデアを理解できるようにする（即解）。3. 1 時間に 6,000～9,000 語の本（見出し語 1,000 語）を辞書を使わないで読めるようになる（多読）。4. 1 学期（4ヶ月）間に 350 - 700 ページ分の英書（見出し語 1,000 語）を読めるようになる。5. 読んだ内容の意味を正確に理解できるようにする。6. 読んだ内容についてクラスメートと英語または日本語でディスカッションできる。7. 読んだ内容を用いて実用的な用途に用いる。8. 次の能力を用いて読めるようになる：推論、予期・予想、スキミング、スキャニング。9. 文章・パラグラフ構成について理解し、読解に当てはめる：トピック・センテンス、サポート・センテンス、結論センテンス、命題となるセンテンス（thesis）、導入・本体・結論。10. パラグラフの論理を理解し、読解に応用する：時間、比較対照、因果関係、論理的分類。11. 重要語・用語の定義を見つける。12. 語彙の予測をする。13. 出来事の流れを認識する。14. 詳細・数字を探してスキミングする。15. 全体的なアイデアまたはメインアイデアを探してスキミングする。16. 大意を把握するためにスキミングする。17. 題名を用いてメインアイデアを理解する。18. パラグラフを読んで要約ができる。19. 文章の言い換えができる。20. バラバラの文章やパラグラフを読んで適切に並べ替えられる。21. トップダウンとボトムアップ両方の方法で読む力をつける。22. シャドーイングができる。23. 書き取りができる。24. 音読ができる。</p> <p>成績評価方法（総合） 1. 授業内演習活動（50%）2. 宿題（25%）3. 中間期末プロジェクト（25%）</p> <p>教科書・参考書 教科書：Active Skills for Reading: Book 2, Neil Anderson, Cengage Learning, 2007年</p> <p>メッセージ 英語読解力は、読むことで伸びていきます。ただし、鍵は「適切なレベルであること」（やや易しいと感じる程度）、「英語のまま理解すること」（和訳に頼らない・辞書を乱用しない）、「たくさん読むこと」（最低 1 週間に 5000-10,000 単語 = Graded Reader1 冊！）そして「リーディングを楽しむこと」です。Let's have fun reading!</p> <p>教官連絡先 連絡先：(090)4654-8264 E-mail: oneworld@international.name</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開 1

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	谷國晶洋				
<p>授業概要 世界の異なる文化を背景に、様々な分野で活躍した人達の知恵や思想の詰まった英文を読み、英語の読解力をつけると共に、練習問題で英語の運用能力を高める。</p> <p>授業一般目標 英文講読を通して読解力を高め、さまざまなテーマに対して知的好奇心を刺激し、問題意識を持つきっかけとしたい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業への参加度 (出席 2/3 以上、発表点) 及び、定期試験による総合評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Wisdom Explorer-12 Inspiring Passages-, 岩永道子 他, 朝日出版社, 2008 年</p> <p>メッセージ 辞書をしっかり引いて、予習を十分にしておいて来て下さい。</p> <p>教官連絡先 blakist@ezweb.ne.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開 1

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 5・6時限
担当教官	Higgins Michael				
<p>授業概要 This class is designed to give the students a wide range of reading experiences in English.</p> <p>授業一般目標 Students will learn to read English stories faster with greater understanding and pleasure.</p> <p>成績評価方法 (総合) Students will take an entry-level reading test of speed and understanding. They will take an exit-level test that will measure against the entry-level test to show improvement as part of the evaluation. Students will also write a report on all of the books they have read during the course of this class. Their understanding of the story, plot, characters, and their own evaluation of the books will also be used towards their evaluation. Attendance is mandatory.</p> <p>メッセージ Students should always bring an English-English dictionary to class, either in electronic or book form.</p> <p>教官連絡先 Professor Michael Higgins 研究1号館 # 304 Tel/Fax: 81-83-933-5086 Email: higginsm@yamaguchi-u.ac.jp My office hours are: Tuesday 2:30-4:00</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時間	金曜日 3・4時限
担当教官	細木孝雄				
<p>授業概要 全15ユニットについて、それぞれ次の流れによって授業は進められる。1－ Pre-reading Information (学習者の知識・経験を活性化させ、本文の内容に関心を持つ。) 2－ Reading (問題意識を持ちながら、内容を把握していく。) 3． Word Check (Reading に出てきた語句の定着、和英辞典や英英辞典を活用する。) 4． Comprehension (設問によって Reading の内容をまとめ、理解を確認する。) 5． Activity (トピックに関して、関連事項を調べたり、自分の意見をまとめたりできるようにする。)</p> <p>授業一般目標 授業を通して、Reading 力の増強に留まらず、現代社会の諸相について問題意識を持ち自己解決をしていくきっかけにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業への積極的参加状況、課題提出、試験により、総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書： Reading Forerunner, Hideki Matsuo, KINSEIDO, 2008 年</p> <p>メッセージ 一般の出来事に広く関心を持ち、背景知識を身につけよう。英和辞典必携。</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時間	金曜日 5・6時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 英語のライティングで一番肝心なのは「内容」である。まずは自分が伝えたい内容があり、それを英語でどこまで表現できるかということが重要と言える。この授業では、書く用途に合わせた語彙や文法についても学習するが、とにかく自分の思うことを書いてみるということを授業のスタンスとする。様々なテーマで実際に英文を書き、その英文をもとにより良い英文を書くためにはどうすべきかをディスカッションなどを通じて考える。</p> <p>授業一般目標 平易な語彙・文法を用いながら、自分の伝えたいことが英文で書ける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 期末テスト ・ 小テスト ・ 授業内外の課題 ・ 授業への参加 ・ 出席 以上の総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書： 初回授業時に指示する</p> <p>メッセージ 与えられた課題をきちんとこなし、授業に積極的に参加しましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時間	火曜日 3・4時限
担当教官	EDWARDS NATHANIEL TYLER				
<p>授業概要 1) Students will read many different types of English writing as models for their own writing. 2) Useful writing skills and strategies will be reviewed and practiced. 3) Key grammar points will be reviewed and practiced. 4) Students will increase their vocabulary on a variety of topics. 5) Students will learn and use new study techniques. 6) Students will also practice some speaking and listening by discussing their writing in pairs and small groups.</p> <p>授業一般目標 This course is for students who wish to improve their English writing and reading skills, using a variety of different types of writing.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Written Exam: 20 % of Final Grade. Homework and Reports: 60 % Attitude and Participation: 20 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Success with College Writing: From Paragraph to Essay, Dorothy E. Zemach & Lisa A. Rumisek, MacMillan Language House, 2003年</p> <p>メッセージ Bring your dictionary and textbook to every class.</p> <p>教官連絡先 ca72@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時間	火曜日 5・6時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 英語のライティングで一番肝心なのは「内容」である。まずは自分が伝えたい内容があり、それを英語でどこまで表現できるかということが重要と言える。この授業では、書く用途に合わせた語彙や文法についても学習するが、とにかく自分の思うことを書いてみるということを授業のスタンスとする。様々なテーマで実際に英文を書き、その英文をもとにより良い英文を書くためにはどうすべきかをディスカッションなどを通じて考える。</p> <p>授業一般目標 平易な語彙・文法を用いながら、自分の伝えたいことが英文で書ける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・期末テスト ・小テスト ・授業内外の課題 ・授業への参加 ・出席 以上の総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書: 初回授業時に指示する</p> <p>メッセージ 与えられた課題をきちんとこなし、授業に積極的に参加しましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 9・10時限
担当教官	EDWARDS NATHANIEL TYLER				
<p>授業概要 1) Students will read many different types of English writing as models for their own writing. 2) Useful writing skills and strategies will be reviewed and practiced. 3) Key grammar points will be reviewed and practiced. 4) Students will increase their vocabulary on a variety of topics. 5) Students will learn and use new study techniques. 6) Students will also practice some speaking and listening by discussing their writing in pairs and small groups.</p> <p>授業一般目標 This course is for students who wish to improve their English writing and reading skills, using a variety of different types of writing.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Written Exam: 20 % of Final Grade. Homework and Reports: 60 % Attitude and Participation: 20 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Success with College Writing: From Paragraph to Essay, Dorothy E. Zemach & Lisa A. Rumisek, MacMillan Language House, 2003年</p> <p>メッセージ Bring your dictionary and textbook to every class.</p> <p>教官連絡先 ca72@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 11・12時限
担当教官	JOHNSONJUDITH ANN				
<p>授業概要 This course is for students who want to learn and improve skills in writing for science and technology (lab reports, abstracts, summaries, and research papers). Students who take this class must have a TOEIC score of 400 or higher.</p> <p>授業一般目標 Students will write about topics related to themselves, society, science and technology.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Materials will be provided by the teacher.</p> <p>メッセージ Bring your dictionary to EVERY CLASS. Anyone who is absent more than 3 times CANNOT pass this course.</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 5・6時限
担当教官	谷國晶洋				
<p>授業概要 日本語と英語の構造を比較、対照し、コミュニケーション能力を高めるために必要な項目を学び、文法問題やディクテーションも取り入れ、総合的に英作文を学習していく。</p> <p>授業一般目標 これまで習った文法的なルールをもう一度整理し、ルールを自在に使いこなして、口語表現と文法事項を学びながら、英語によるコミュニケーション能力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業への参加度(出席2/3以上、発表点)及び、定期試験による総合評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Communicative English Composition., 船田秀佳, 鷹書房弓プレス, 2005年</p> <p>メッセージ 必ず予習をして授業に臨むこと。</p> <p>教官連絡先 blakist@ezweb.ne.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	金曜日 1・2時限
担当教官	細木孝雄				
<p>授業概要 あるまとまった「文章」が書けるようになる力をつけるために1.意見サポート型 2.比較列挙型 3.直線的展開型 4.多面的展開型の4つのエッセイ・パターンを扱う。また英語式エッセイの基本構成を学び、取り上げるトピックの内容について論理的展開ができる練習を行う。</p> <p>授業一般目標 英文エッセイでは「構成」が非常に大きな役割を果たすので、その「構成」を理解し、短くてもひとつの内容のあるまとまった「エッセイ」が書けるようにする。文章をフォーマルに見せる英語表現を重視し、文体や論理展開を支えるつながりの言葉などを効果的に活用しながら、自分なりのオリジナル・エッセイを完成させる。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業への積極的参加状況、課題提出、試験により総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Skills for Better Writing, Yumiko Ishitani, NAN'UN-DO, 2008年</p> <p>メッセージ 興味のあることについて英語で自由に表現してみよう。和英辞典必携。</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 テレビのまんがを使って、英語に触れることが目標です。まんがと言っても結構、英語は難しいときがあります。</p> <p>授業一般目標 英語の読解力とリスニング力をつける。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験+出席で決めます。詳細は最初の授業でお伝えします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：自作コピーを配布します。/ 参考書：参考書は使用しません。</p> <p>メッセージ 予習は必ず、やってきてください。辞書ももってきてください。辞書がないと作業ができません。</p>					

開設科目	Comprehensive English Pre-Intermediate	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	Higgins Michael				
<p>授業概要 This course is open to students with a TOEIC score of over 450, but is especially recommended for students who have a TOEIC score of 500 or higher, or who have completed the Comprehensive English Fundamental course.</p> <p>授業一般目標 To improve the student's English communication skills, we will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>教科書・参考書 教科書：Comprehensive English For Global Understanding-Advanced Course Book 5, Johnson, Higgins, Higgins, IEL, Inc., 2007年；The Sound Approach Pronunciation Workbook 4th Revised Edition, Higgins, Higgins, Shima, IEL, Inc., 2008年</p> <p>メッセージ Students should always have an English-English dictionary with them in class. It can be an electronic dictionary or in book form.</p> <p>教官連絡先 Professor Michael Higgins 研究1号館 # 304 Tel/Fax: 083-933-5086 Email: higginsm@yamaguchi-u.ac.jp Office Hours: Tuesday 2:30-4:00PM</p>					

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		前期	
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 5・6時限				
担当教官	HIGGINS MICHAEL								
<p>授業概要 The students will develop their communication skills in English. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign-in to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students MUST take.</p> <p>授業一般目標 The students will increase their English vocabulary through high-interest readings that are grouped thematically. The readings will provide the grammatical basis for improving their listening, speaking, and writing skills.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Book 3, Johnson, Higgins, Higgins, IEI, Inc., 2007年; The Sound Approach Pronunciation Workbook 4th Revised Edition, Higgins, Higgins, Shima, IEI, Inc., 2008年</p> <p>メッセージ Students should always bring an English-English dictionary to class. It can be an electronic dictionary or in book form. Students are also required to be on-line for some of their homework and for mandatory on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 Professor Michael Higgins 研究1号館 # 304 Tel/Fax: 81-83-933-5086 Email: higginsm@yamaguchi-u.ac.jp Office Hours: Tuesday 2:30-4:00PM</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		前期	
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 9・10時限				
担当教官	JOHNSONJUDITH ANN								
<p>授業概要 The students will develop their communication skills in English. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign-in to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students MUST take.</p> <p>授業一般目標 The students will increase their English vocabulary through high-interest readings that are grouped thematically. The readings will provide the grammatical basis for improving their listening, speaking, and writing skills.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Book 3, Johnson, Higgins, Higgins, IEI, Inc., 2007年; The Sound Approach Pronunciation Workbook 4th Revised Edition, Higgins, Higgins, Shima, IEI, Inc., 2008年</p> <p>メッセージ Students should always bring an English-English dictionary to class. It can be an electronic dictionary or in book form. Students are also required to be on-line for some of their homework and for mandatory on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 Professor Michael Higgins 研究1号館 # 304 Tel/Fax: 81-83-933-5086 Email: higginsm@yamaguchi-u.ac.jp Office Hours: Tuesday 2:30-4:00PM</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 5・6時限
担当教官	STEVEN T. GARDNER				
<p>授業概要 This course is a combined four skills course (reading, writing, listening, and speaking) which helps students acquire and use academic skills and thinking skills necessary for communication and understanding in today's global society. Several important issues will be studied through readings, listening passages and discussions. These activities will help students to increase vocabulary and understand structure and grammar patterns that are important in academic and business English communication. This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take. Students will also receive important intensive training in pronunciation.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Course - Book 3, Johnson, Higgins and Higgins, I.E.I., Inc., 2007年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes. Find ways to experience using English by talking to people, having pen friends, watching movies and TV programs in English and singing English songs.</p> <p>教官連絡先 gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>					

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 7・8時限
担当教官	STEVEN T. GARDNER				
<p>授業概要 This course is a combined four skills course (reading, writing, listening, and speaking) which helps students acquire and use academic skills and thinking skills necessary for communication and understanding in today's global society. Several important issues will be studied through readings, listening passages and discussions. These activities will help students to increase vocabulary and understand structure and grammar patterns that are important in academic and business English communication. This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take. Students will also receive important intensive training in pronunciation.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Course - Book 3, Johnson, Higgins and Higgins, I.E.I., Inc., 2007年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005年 / 参考書: 参考書備考: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes. Find ways to experience using English by talking to people, having pen friends, watching movies and TV programs in English and singing English songs.</p> <p>教官連絡先 gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	2 年	単位	1 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	正宗聡				

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	医・工 2 年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	池田守				

授業概要 この授業では TOEIC 受験を前提とした授業を行う。TOEIC 試験でスコアを上げ、コミュニケーション能力を高めるため、リスニング及びリーディングの力を身に付けさせる。特に、TOEIC 試験パート 1(写真描写問題)、パート 2(応答問題)、パート 5(単文穴埋め問題)、パート 6(長文穴埋め問題) に答えられる英語力を養う。

授業一般目標 TOEIC テストにおいて 350 点以上を取ることを目標とする。英語の文法の基本を理解し、語彙を拡大する。英語を聞き取り、内容を正しく判断する力を育てる。速読直解の習慣を身に付ける。

成績評価方法 (総合) TOEIC スコアに基づき算出する。(2 回以上の欠席は認められない。)

教科書・参考書 教科書: Total Strategy for the TOEIC Test, 石井隆之・他, 成美堂, 2006 年 / 参考書: TOEIC Test 英文法出るところだけ, 小石裕子, アルク, 2003 年

メッセージ 予習をして授業に出よう。英語の CD を毎日聞いて、リスニングの力を伸ばそう。

教官連絡先 E-mail: ikeda@frontier-u.jp

備考 工学部 JABEE 対応科目

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	2 年	単位	1 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	正宗聡				

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	医・工 2 年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	池田守				

授業概要 この授業では TOEIC 受験を前提とした授業を行う。TOEIC 試験でスコアを上げ、コミュニケーション能力を高めるため、リスニング及びリーディングの力を身に付けさせる。特に、TOEIC 試験パート 1(写真描写問題)、パート 2(応答問題)、パート 5(単文穴埋め問題)、パート 6(長文穴埋め問題) に答えられる英語力を養う。

授業一般目標 TOEIC テストにおいて 350 点以上を取ることを目標とする。英語の文法の基本を理解し、語彙を拡大する。英語を聞き取り、内容を正しく判断する力を育てる。速読直解の習慣を身に付ける。

成績評価方法 (総合) TOEIC スコアに基づき算出する。(2 回以上の欠席は認められない。)

教科書・参考書 教科書: TOEIC Test: Subjects and Strategies, Jim Knudsen & Kei Mihara, 南雲堂, 2006 年 / 参考書: TOEIC Test 英文法出ることだけ, 小石裕子, アルク, 2003 年

メッセージ 予習をして授業に出よう。英語の CD を毎日聞いて、リスニングの力を伸ばそう。

教官連絡先 E-mail: ikeda@frontier-u.jp

備考 工学部 JABEE 対応科目

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開2

開設科目	実践総合英語	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工(平成14・15年度入学者)	単位	2単位	曜時限	火曜日 11・12時限
担当教官	池田守				
<p>授業概要 この授業では英語でコミュニケーションを図る際に必要とされる本格的なリスニング力や読解力を養う授業を行う。英語による写真説明、応答や会話を聞き、内容を正しく判断する力を身に付けさせる。また、英語の文法理解を深めると共に、語彙を拡大させる。さらに、英文の速読直解力を向上させる。</p> <p>授業一般目標 英語の文法を理解すると共に、ネイティブによる会話、応答、写真描写の説明を聞き、英語が使われている状況を正しく判断できる能力を身に付ける。英文の音読及び速読直解を通し、実践的コミュニケーション能力を高める。この授業では、TOEICテストの400点以上に相当する英語力を身に付けることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験は中間及び期末の2回実施する。宿題を3回出す。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Making Progress with the TOEIC Test, Kanako Kojima / Robert J. Trader, 金星堂, 2006年 / 参考書: TOEIC TEST 英文法出るとこだけ! : 出題パターンを見抜く鉄則 32, 小石裕子著, アルク, 2003年</p> <p>メッセージ ・受講にあたり、自分の持つTOEICスコアを提示すること。・成績評価は「成績評価方法(総合)」欄で記したことの他に、与えられた課題を学習し終え、期間中に受験したTOEICテストで、スコアの伸びが50点以上あった場合、合格とする。</p> <p>教官連絡先 E-mail: ikeda@frontier-u.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開2

開設科目	実践総合英語	区分	講義	開設期	前期
対象学生	平成14・15年度入学者	単位	2単位	曜時限	水曜日 1・2時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 テキスト中の dialogue, passage を通してリスニング、リーディング演習を行う。また、3週間に1回小テストを実施し、理解の徹底をはかり、英語の基礎全般の能力増強をはかる。</p> <p>授業一般目標 TOEIC400点をとれる力をつける。</p> <p>成績評価方法(総合) ・定期試験(1回) 80% ・小テスト(3週に1回) 10% ・出席 10%</p> <p>教科書・参考書 教科書: イギリスへ行きたい!(Exploring Great Britain), 相澤一美・伊藤典子・寺内一・羽井佐昭彦, 朝日出版社</p> <p>メッセージ 出席は必ずすること</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工 2年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	JimRebstock				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工 2年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	月曜日 9・10時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	月曜日 9・10時限
担当教官	JimRebstock				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 5・6時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 7・8時限
担当教官	CHRISTAlan Robert				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工 2年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工 2年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 11・12 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	金曜日 5・6時限
担当教官	TAKEMOTOTIMOTHY ROLAND SCOT				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階, HP: http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	金曜日 7・8時限
担当教官	STEVENT. GARDNER				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP: http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開2

開設科目	Comprehensive English(By Native Speakers[1])	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(平成14・15年度入学者)	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	HIGGINS MICHAEL				
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of between 300-395.</p> <p>授業一般目標 To improve the student's English communication skills.</p> <p>成績評価方法(総合) Final Evaluation (50% of total grade): Speaking: 40%; Listening: 20%; Writing: 20%; Content: 10%; Pronunciation (Sound Approach): 10%. Internal/External Criteria (50% of total grade): Group/class work (classroom assignment, quizzes, or activity scores): 35%; Class Participation: 20%; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35%; Attendance: 10%.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Fundamental Book 1, Johnson and Higgins, IEI, Inc., 2007年; Sound Approach Pronunciation Book 4th Revised Edition, Higgins, Higgins, Shima, IEI, Inc., 2008年 / 参考書: Use an English - English dictionary and always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 My office hours are Tuesday from 2:30 to 4:00.</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

開設科目	教養英語(再)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(平成13年度以前入学者)	単位	2単位	曜時限	月曜日5・6時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 現代の生活環境を学ぶのに適したトピックを英語で読み、環境問題について考える手掛かりを与える。</p> <p>授業一般目標 現代の科学・環境系の分野で比較的好く目にするトピックを英語で理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験・レポート</p> <p>教科書・参考書 教科書: 地球時代を読み解く, A.Selick 他,</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

開設科目	教養英語 (再)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 (平成 13 年度以前入学者)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	JOHNSONJUDITH ANN				
<p>授業概要 This is a course for students who desire to increase their reading speed and comprehension, especially when reading technical and scientific texts. Students will learn a variety of basic thinking skills and use them to improve their reading skills.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their reading speed and comprehension.</p> <p>教科書・参考書 教科書： Materials will be provided in class. You will need an English-Japanese-English dictionary. You will be required to complete on-line reading assignments outside of class.</p> <p>メッセージ BRING YOUR DICTIONARY TO EVERY CLASS. Anyone with more than 3 absences will not pass this course.</p> <p>教官連絡先 Wednesday 14:30 - 16:00</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

開設科目	基礎英語 (再)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 (平成 13 年度以前入学者)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	唐下笑美子				
<p>教科書・参考書 教科書： Visions, Lensey Namioka 他, 松柏社, 1994 年</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

開設科目	英語 I I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 (平成 13 年度以前入学者)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	JOHNSONJUDITH ANN				
<p>授業概要 This course is for students who desire to improve their communication, research and presentation skills, using English.</p> <p>授業一般目標 Students will use English to communicate, carry out simple research, and give short presentations.</p> <p>成績評価方法 (総合) In-class activities; Computer assignments; Tests; Research Project; Oral Presentation; Written Evaluation</p> <p>教科書・参考書 教科書: Materials will be provided by the teacher.</p> <p>メッセージ BRING YOUR DICTIONARY TO EVERY CLASS. Anyone who is absent more than 3 times, will not pass the course.</p>					

系列 外国語教育

分野 専門英語

科目類型 展開 2

開設科目	医学英語 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学 3 年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	谷田憲俊				
<p>授業概要 医学・生命科学に関する英文の著書や論文などを読解し、討論して医学の基礎知識を習得し、英語力を高めるとともに最新の医学研究成果を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 英文の著書や論文などから基本的な医学用語や生命科学用語を学び医学英語の語彙数、読解力、作文力を高めるとともに、最新の医学情報を得て医学・生命科学に対する知識及び理解を深め、それらの学習した知識を基盤として、さらには会話能力の向上にも繋がり国際感覚を身につけられるような指導を目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト・授業内レポート = 20~40% 授業態度や授業への参加度 = 20~40% 受講生の発表 (プレゼン) や授業内での製作作業 (作品) = 20~40% 出席 = 20~40% 観点別成績評価法は主な視点を示し、評価割合は上記のそれぞれから適宜合計して成績とする。なお、出席は欠格条件である。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 医学英和大辞典, 加藤 勝治, 南山堂, 2000 年; Words of Science, ,</p> <p>メッセージ 原則、全回出席のこと。英和辞典・医学英語辞典を持参のこと。継続は力なり、頑張りましょう。英語で話すことを恐れずに、積極的に参加しよう。</p>					

開設科目	医療英語	区分	講義	開設期	前期
対象学生	検査2年	単位	2単位	曜時間	月曜日 5・6時限
担当教官	服部幸夫				
<p>授業概要 「英辞郎」を用いて、医療一般に関する英文(デジタル化)を速読します。その英文要旨を作成し、レポートとして e-mail で教官へ送ってもらいます。毎回、前回に読んだ文章に出た英単語をリスニング形式で小テストを行い、医療英単語の獲得を図ります。</p> <p>授業一般目標 医療一般に関する知識を英文速読で得る。医療英単語の獲得を図る。読んだ文章の英文要旨の作り方を獲得する。理解した英文のリスニングにより、英語リスニング力を高める。</p> <p>成績評価方法(総合) 本試験(英単語)、小試験、レポート</p> <p>メッセージ IT 授業なので、パソコン必携です。</p> <p>教官連絡先 hattori-ygc@umin.ac.jp</p>					

開設科目	医療英語	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護(1-40)2年,看護(編入学者1-5)3年	単位	2単位	曜時間	木曜日 1・2時限
担当教官	Sue Turale				
<p>授業概要 Medical terms can be best understood if they are analysed into their roots, prefixes and suffixes, and then integrated. In this class students will gain understanding and utilization of approximately 101 basic components of medical English terms, and their use in various combinations in everyday health situations. Students will have exposure to these terms by a native speaker, and will learn to pronounce them accordingly.</p> <p>授業一般目標 Students will learn the basic components of medical English terms and their application in everyday health and nursing conversation.</p> <p>成績評価方法(総合) The Responsibilities of Students: 1. This is a Medical English conversation course, so all students are expected to actively converse using as much English as possible in class. 2. Every student is expected to undertake lesson reading(s) from the required texts before each class as requested by the Professor 3. Progressive learning in this course is important, so an emphasis will be placed on regular quizzes to determine progress. 4. Students are expected to attend all classes: Absences of five (5) or more days will result in automatic Fail Grade (D); Absences of four (4) days or less require emergency or medical reasoning. Gradings: A: 80-100 %, B: 70-79 %, C: 60-69 %, and D: Fail Grade Below 60 % If you fail this course the decision to give one compensatory examination rests with the Professor teaching the course. It is not automatic that a compensatory examination is given. Students will be Assessed by: Verbal and Written Quizzes 60 % Final Exam 40 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Bailli & # 279;re 's Nurses Dictionary, Weller, B. (Ed.), Elsevier Science, Edinburgh, 2002 年; Medical Terminology, Noreau, R., ELS, Tokyo, 2002 年</p> <p>教官連絡先 e-mail: sturale@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	医療英語	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護(41-)2年,看護(編入学者6-)3年	単位	2単位	曜時限	金曜日5・6時限
担当教官	Sue Turale				
<p>授業概要 Medical terms can be best understood if they are analysed into their roots, prefixes and suffixes, and then integrated. In this class students will gain understanding and utilization of approximately 101 basic components of medical English terms, and their use in various combinations in everyday health situations. Students will have exposure to these terms by a native speaker, and will learn to pronounce them accordingly.</p> <p>授業一般目標 Students will learn the basic components of medical English terms and their application in everyday health and nursing conversation.</p> <p>成績評価方法(総合) The Responsibilities of Students: 1. This is a Medical English conversation course, so all students are expected to actively converse using as much English as possible in class. 2. Every student is expected to undertake lesson reading(s) from the required texts before each class as requested by the Professor 3. Progressive learning in this course is important, so an emphasis will be placed on regular quizzes to determine progress. 4. Students are expected to attend all classes: Absences of five (5) or more days will result in automatic Fail Grade (D); Absences of four (4) days or less require emergency or medical reasoning. Gradings: A: 80-100 %, B: 70-79 %, C: 60-69 %, and D: Fail Grade Below 60 % If you fail this course the decision to give one compensatory examination rests with the Professor teaching the course. It is not automatic that a compensatory examination is given. Students will be Assessed by: Verbal and Written Quizzes 60 % Final Exam 40 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Bailli & # 279;re 's Nurses Dictionary, Weller, B. (Ed.), Elsevier Science, Edinburgh, 2002年; Medical Terminology, Noreau, R., ELS, Tokyo, 2002年</p> <p>教官連絡先 e-mail: sturale@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	基礎医療英会話	区分	講義	開設期	前期
対象学生	検査3年	単位	2単位	曜時限	木曜日1・2時限
担当教官	Amy Azuma				
<p>授業概要 1.Review 2.Weekly Quiz 3.Unit lesson 4.Pair practice</p> <p>授業一般目標 Students will learn to communicate in English simply and affectively with English speaking patients,their family members,and significant others.</p> <p>成績評価方法(総合) Regular exams 40 % Small tests,reports(Quiz) 20 % Homework,reports 10 % Class manner/attitude,participation in class .. 10 % Class presentations 10 % Exercises/drills 10 % Total 100 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Christine's Easy English Conversation for Nurses, Christine Lee Chinen, / 参考書: English-Japanese / Japanese-English dictionary, book or electronic</p> <p>メッセージ students are required to read and do the weekly text unit before each classes.</p> <p>教官連絡先 amy_azuma@yahoo.com</p>					

開設科目	ドイツ語初歩	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	本田義昭				
<p>授業概要 本授業では、現代ドイツ語の初歩を学びます。EU(欧州連合)の牽引車の一つであるドイツの言語を学んで、国際的な視野を広げましょう。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語のごく基本的な文章を読み、書き、話せるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験(35%) + 期末試験(35%) + 授業への積極的な参加度(30%)で評価します。出席率が8割未満の場合は失格とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 300語で話すドイツ語, 入谷幸江(他), 三修社, 2001年 / 参考書: 第1回目の授業で、初級用の独和辞典をいくつか紹介します。</p> <p>メッセージ こつこつ頑張れば、誰でもかなりのレベルに到達します。さらにドイツ語の勉強を続ければ、将来はドイツ留学も夢ではありません。</p> <p>教官連絡先 honda@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	ドイツ語初歩	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2単位	曜時限	水曜日3・4時限
担当教官	下寄正利				
<p>授業概要 授業のタイトルが示しているように、ドイツ語の最も初歩的な部分を勉強します。併せて、ドイツに関する話もしていきます。</p> <p>授業一般目標 ドイツとドイツ語に関し、最も初歩的な知識を身につけている。</p> <p>成績評価方法(総合) 演習点および期末テストの点数を基に、総合的に評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書: ニューエクスプレス ドイツ語, 太田 達也, 白水社</p>					

開設科目	ドイツ語初歩	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2単位	曜時限	金曜日 1・2時限
担当教官	Franz Hintereder-Emde				
<p>授業概要 ドイツ語初歩は、ドイツ語とドイツ語文化圏の総合的な紹介です。ドイツ語の初歩的なことを勉強しながら、ドイツ語の現場であるドイツ語文化圏の事情も調べていきます。参加者は、自らの興味のあるテーマについて調べて、発表します。</p> <p>授業一般目標 この授業は、本格的な語学コースではありません。従って、コミュニケーション能力は得られません。外国語の苦手な人、または、どの外国語にしたらいいのか、と迷っている人には、オリエンテーションになると思います。そして、別な外国語に取り組んでいるが、ドイツ語・文化をも知りたい人にも適した授業です。ドイツの話題として、映画、ポップス、環境、食文化、そして、参加者からの提案したテーマを取り上げる予定です。発見の多い授業にしたいと思います。</p> <p>教科書・参考書 教科書：コピーを配布します</p> <p>メッセージ ドイツ語勉強の下準備として考えて下さい。</p> <p>教官連絡先 tel/fax: 933-5287 mail: emde@yamaguchi-u.ac.jp office hour： 月曜日 7・8時限(16:00~17:40)</p>					

開設科目	ドイツ語初歩	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2単位	曜時限	金曜日 3・4時限
担当教官	Franz Hintereder-Emde				
<p>授業概要 ドイツ語初歩は、ドイツ語とドイツ語文化圏の総合的な紹介です。ドイツ語の初歩的なことを勉強しながら、ドイツ語の現場であるドイツ語文化圏の事情も調べていきます。参加者は、自らの興味のあるテーマについて調べて、発表します。</p> <p>授業一般目標 この授業は、本格的な語学コースではありません。従って、コミュニケーション能力は得られません。外国語の苦手な人、または、どの外国語にしたらいいのか、と迷っている人には、オリエンテーションになると思います。そして、別な外国語に取り組んでいるが、ドイツ語・文化をも知りたい人にも適した授業です。ドイツの話題として、映画、ポップス、環境、食文化、そして、参加者からの提案したテーマを取り上げる予定です。発見の多い授業にしたいと思います。</p> <p>教科書・参考書 教科書：コピーを配布します</p> <p>メッセージ ドイツ語勉強の下準備として考えて下さい。</p> <p>教官連絡先 tel/fax: 933-5287 mail: emde@yamaguchi-u.ac.jp office hour： 月曜日 7・8時限(16:00~17:40)</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	フランス語初歩	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2単位	曜時限	木曜日 7・8時限
担当教官	平山豊				
<p>授業概要 初習外国語には十分な時間が当てられない、主に理系の学生さんのために開講される速習のフランス語の授業です。フランス語は私たちの日常生活に馴染みのある言葉が多くありますが、アンケートのように学術用語も少なからずあります。そうしたフランス語のあらしをざっと学ぶだけでなく、短文スケッチを通して文化の一端にも触れます。</p> <p>授業一般目標 基本表現を覚え、自己紹介など片言の会話が出来ること。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験70% 平常点30%</p> <p>教科書・参考書 教科書: 新・えすかるご 1, 藤田裕二, 朝日出版社, 2008年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初歩	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2単位	曜時限	火曜日 5・6時限
担当教官	齋藤匡史				
<p>授業概要 本科目は半期完結の中国語授業で、中国語の発音や平易な表現を学習し、あわせて中国事情理解を進める。半期という時間では基礎全般を学ぶことは不可能であるが、本科目の受講を通じて、中国語学習への興味をもってもらいたい。</p> <p>授業一般目標 ・中国語学習での発音の重要性を学び、正確な発音が出来るよう努力する。 ・中国語の基本文型を理解し、やさしい表現を身に着ける。 ・中国について理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績と日常の授業への出席と受講態度で成績を評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 新版 中国語 10課, 方如偉ほか, 白水社, 2003年; 販売: 文栄堂山大前店</p>					

開設科目	中国語初歩	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 この授業では、中国語の学習ばかりでなく、ことばの背景となる中国の文化や最新の中国事情をビデオや資料を使って紹介し、いまの中国を理解するための手掛かりとなる授業を行う。</p> <p>授業一般目標 中国語であいさつや自己紹介ができ、また自分の考えを表現するなど、中国語を使って簡単なコミュニケーションをとることができることを目指す。また、中国社会や文化に関心を持ち、日本との違いや関係を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の他に、授業中に行う小テスト、授業への参加態度などによる総合評価。出席が 2 / 3 に満たない者は定期試験を受けられない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 / 参考書：適宜プリント配布</p>					

開設科目	ハンゲル初歩	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 この授業では韓国語の文字を学びます。簡単なあいさつを学びます。</p> <p>授業一般目標 韓国語の文字を覚えて、簡単なあいさつを覚えることを目標とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期テストで成績を評価します。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	月曜日1・2時限
担当教官	時田郁子				
<p>授業概要 ドイツ語の基本的な会話を学びながら、文法と語彙を身につけてゆく。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語による基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、期末テストの点数により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイチュ・インタラクティブ Ver.3, 筑和正格ほか, 郁文堂, 2007年 / 参考書：辞書を用意し(出版社は指定しないが、電子辞書は不可) 授業に毎回持参すること。</p> <p>メッセージ 語学学習に予習・復習は欠かせませんが、積極的に学べば学ぶほど身につきます。楽しく学んでいきましょう。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	月曜日3・4時限
担当教官	時田郁子				
<p>授業概要 ドイツ語の基本的な会話を学びながら、文法と語彙を身につけてゆく。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語による基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、期末テストの点数により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイチュ・インタラクティブ Ver.3, 筑和正格ほか, 郁文堂, 2007年 / 参考書：辞書を用意し(出版社は指定しないが、電子辞書は不可) 授業に毎回持参すること。</p> <p>メッセージ 語学学習に予習・復習は欠かせませんが、積極的に学べば学ぶほど語学は身につきます。楽しく学んでいきましょう。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・ 工・農	単位	2単位	曜時間	月曜日5・6時限
担当教官	重竹 芳江				
<p>授業概要 ドイツ語の基礎能力を養う。習得したドイツ語を実際に活かせるよう、ドイツの大学で開講される語学講習や留学の方法を紹介する。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法項目と日常表現に習熟することが第一の目標である。またドイツ社会一般に関する理解を深め、旅行、留学など実際にドイツに触れる意欲を高めることも目標とする。学生時代に是非現地でドイツ文化を体験し、今後の人生に活かしてほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 独作文を中心とする学期末試験。</p> <p>教科書・参考書 教科書：新・問いかけるドイツ語、大谷 弘道、三修社、2006年；アポロン独和辞典、根本、恒吉他、同学社、2000年</p> <p>メッセージ 受講者多数の場合、受講者数を制限します。辞書と教科書は2回目から使用します。(1回目の授業では使いません。)1回目の授業の後、受講決定者のみ購入してください。受講者は辞書も毎時間持ってきてください。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・ 工・農	単位	2単位	曜時間	月曜日7・8時限
担当教官	重竹 芳江				
<p>授業概要 ドイツ語の基礎能力を養う。習得したドイツ語を実際に活かせるよう、ドイツの大学で開講される語学講習や留学の方法を紹介する。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法項目と日常表現に習熟することが第一の目標である。またドイツ社会一般に関する理解を深め、旅行、留学など実際にドイツに触れる意欲を高めることも目標とする。学生時代に是非現地でドイツ文化を体験し、今後の人生に活かしてほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 独作文を中心とする学期末試験。</p> <p>教科書・参考書 教科書：新・問いかけるドイツ語、大谷、三修社、2006年；アポロン独和辞典、根本、恒吉他、同学社、2000年</p> <p>メッセージ 受講者多数の場合、受講者数を制限します。辞書と教科書は2回目から使用します。(1回目の授業では使いません。)1回目の授業の後、受講決定者のみ購入してください。受講者は辞書も毎時間持ってきてください。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	火曜日5・6時限
担当教官	能木 敬次				
<p>授業概要 ドイツ語の基礎的な読解能力を養成する。まずはドイツ語を発音しドイツ語の短文を音読することに力点を置く。同時に基本文型の短文を繰り返し練習することによって、簡単なドイツ語の文章を書くことに慣れるように努める。宿題も積極的に利用しながら、集中的に授業展開をしてゆきたい。</p> <p>授業一般目標 近年、ドイツの社会経済・政治における役割の増大は目をみはるものがある。工業技術や医療技術、また福祉政策や環境政策においてドイツは世界をリードしている。近代日本の政治・教育文化・科学技術の発展におけるドイツの貢献度の大きさは言うまでもない。本講義はドイツ語文を「読む」ための第一段階の知識を提供する。将来、英語とともに第二の情報収集手段として、また研究のためのドイツ語文献の読解に役立ててほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講態度・出席率・小テスト・定期テスト等全てを考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『エレメンテ』-ドイツ語の文法と表現(Grammatik und Formeln der deutschen Sprache), 新田 春夫 他, 郁文堂, 2008年 / 参考書：新アポロン独和辞典(第4版), 根本道也 [ほか] 編集執筆, 同学社, 2003年 ; 辞書は他のものでも構わないが必携のこと。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	火曜日7・8時限
担当教官	能木 敬次				
<p>授業概要 ドイツ語の基礎的な読解能力を養成する。まずはドイツ語を発音しドイツ語の短文を音読することに力点を置く。同時に基本文型の短文を繰り返し練習することによって、簡単なドイツ語の文章を書くことに慣れるように努める。宿題も積極的に利用しながら、集中的に授業展開をしてゆきたい。</p> <p>授業一般目標 近年、ドイツの社会経済・政治における役割の増大は目をみはるものがある。工業技術や医療技術、また福祉政策や環境政策においてドイツは世界をリードしている。近代日本の政治・教育文化・科学技術の発展におけるドイツの貢献度の大きさは言うまでもない。本講義はドイツ語文を「読む」ための第一段階の知識を提供する。将来、英語とともに第二の情報収集手段として、また研究のためのドイツ語文献の読解に役立ててほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講態度・出席率・小テスト・定期テスト等全てを考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『> Dialog < 対話で学ぶドイツ文法』, 三室 次雄, 郁文堂, 2008年 / 参考書：新アポロン独和辞典(第4版), 根本道也 [ほか] 編集執筆, 同学社, 2003年 ; 辞書は他のものでも構わないが必携のこと。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	水曜日5・6時限
担当教官	野口 達人				
<p>授業概要 本授業では、ドイツ語を話し、聴き、読み、書く技能の育成を通じ、基礎的なコミュニケーション力を養成する。そのために、基本的な発音の規則と文法事項を説明し、実際の会話の練習、パートナー練習、聴き取り練習、学習した文法事項についての練習などを課す。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の発音の基本を習得し、正しい発音ができるようになる。動詞の人称変化、名詞・冠詞・冠詞類の性・数・格変化などを習得することにより、ドイツ語の文法体系を理解する。さらに基本単語・表現を覚えて、簡単なドイツ語を話したり、聴いたりすることができ、簡単な文を作れるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)各課の練習問題を口頭または板書にて行い、これを演習として評価。(2)授業の中で各課ごとの小テストを行う。(3)筆記試験を定期試験期間中に行う。以上を別記の観点・割合で評価する。なお、総授業数の80%以上の出席を必須要件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：はじめてのドイツ 使えるドイツ語表現(三訂版)、河合節子、林良子、四ツ谷亮子、三修社、2008年 メッセージ 授業への積極的な参加(全回出席して宿題を忘れないこと)と自主的な反復練習が要求される。授業には必ず独和辞典を携帯すること。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	水曜日7・8時限
担当教官	野口 達人				
<p>授業概要 本授業では、ドイツ語を話し、聴き、読み、書く技能の育成を通じ、基礎的なコミュニケーション力を養成する。そのために、基本的な発音の規則と文法事項を説明し、実際の会話の練習、パートナー練習、聴き取り練習、学習した文法事項についての練習などを課す。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の発音の基本を習得し、正しい発音ができるようになる。動詞の人称変化、名詞・冠詞・冠詞類の性・数・格変化などを習得することにより、ドイツ語の文法体系を理解する。さらに基本単語・表現を覚えて、簡単なドイツ語を話したり、聴いたりすることができ、簡単な文を作れるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)各課の練習問題を口頭または板書にて行い、これを演習として評価。(2)授業の中で各課ごとの小テストを行う。(3)筆記試験を定期試験期間中に行う。以上を別記の観点・割合で評価する。なお、総授業数の80%以上の出席を必須要件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：はじめてのドイツ 使えるドイツ語表現(三訂版)、河合節子、林良子、四ツ谷亮子、三修社、2008年 メッセージ 授業への積極的な参加(全回出席して宿題を忘れないこと)と自主的な反復練習が要求される。授業には必ず独和辞典を携帯すること。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	木曜日 5・6時限
担当教官	坂本貴志				
<p>授業概要 ドイツ語の基本的な文法と語彙を学び、併せて初歩的なドイツ語運用能力の訓練を行う。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基本的な文法と語彙を身につけ、そしてそれらの基礎の上に、初歩的なドイツ語を聞き、話し、読み、書けるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、課題(宿題)、期末テストの点数により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語 スイッチオン! Ver.2, 櫻井麻実・信岡資生, 郁文堂, 2008年 / 参考書：独和辞典は必ず一冊購入してください。(出版社は指定しません。電子辞書は不可。)</p> <p>メッセージ 教育テレビや教育ラジオのドイツ語講座も録画、録音して利用することをお勧めします。(語学学習は反復して聞くことが大変重要です。)</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	木曜日 5・6時限
担当教官	江波昌子				
<p>授業概要 この授業では、基礎的なドイツ語を読み、書き、話し、聞く力を養う。そのために、基礎的な文法事項を説明する。また、くり返しドイツ語を聞いて、発音やイントネーション、言葉のリズムを身につけ、基本的な表現を覚えて実際に使えるように、練習問題や暗唱など様々な課題を与える。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の発音の基本を習得する。名詞、冠詞、人称代名詞、動詞等の品詞の理解を通して、ドイツ語文法の基礎構造を認識する。また、いろいろなフレーズを覚えて、簡単な日常会話が表現できると同時に、平易なドイツ語を聞き取れるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 出席と小テストを含めた平常点を50%とし、定期試験の50%と合わせて評価する。2. 宿題は授業中に成果を発表することで、平常点として評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語の時間, 清野智昭, 朝日出版社, 2007年 / 参考書：「自分にとって使いやすい」と思う独和辞典を用意すること。出版社は特に指定しないが、最初の授業のときに選び方についてアドバイスする。</p> <p>メッセージ 語学を学ぶということは、新しい世界を知ることです。楽しく学習しましょう。辞書は毎回、必ず持参して下さい。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時間	木曜日7・8時限
担当教官	江波 昌子				
<p>授業概要 この授業では、基礎的なドイツ語を読み、書き、話し、聞く力を養う。そのために、基礎的な文法事項を説明する。また、くり返しドイツ語を聞いて、発音やイントネーション、言葉のリズムを身につけ、基本的な表現を覚えて実際に使えるように、練習問題や暗唱など様々な課題を与える。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の発音の基本を習得する。名詞、冠詞、人称代名詞、動詞等の品詞の理解を通して、ドイツ語文法の基礎構造を認識する。また、いろいろなフレーズを覚えて、簡単な日常会話が表現できると同時に、平易なドイツ語を聞き取れるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 1.出席と小テストを含めた平常点を50%とし、定期試験の50%と合わせて評価する。2.宿題は授業中に成果を発表することで、平常点として評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語の時間、清野智昭、朝日出版社、2007年 / 参考書：「自分にとって使いやすい」と思う独和辞典を用意すること。出版社は特に指定しないが、最初の授業のときに選び方についてアドバイスする。</p> <p>メッセージ 語学を学ぶということは、新しい世界を知ることです。楽しく学習しましょう。辞書は毎回、必ず持参して下さい。</p>					

開設科目	フランス語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時間	火曜日1・2時限
担当教官	井上三朗				
<p>授業概要 この授業科目は、週1回の授業を受けることによって、フランス語を習得するものである。使用する教科書は、会話テキストと、文法の例文と解説、練習問題、文化説明とから成り立つ。フランス語の基本的な文法事項を学ぶだけでなく、「読み・書き・話す」力がつくような授業をおこないたい。また、教科書にはビデオがついていて、ビデオを有効に活用することによって、授業をできるだけ楽しいものにするともに、背景としてのフランス文化をかいま見ることができれば幸いである。</p> <p>授業一般目標 フランス語の基本的な文法事項を習得するとともに、会話テキストを読み、練習問題を解くことによって、「読み・書き・話す」力、つまり実践的な運用能力が身につくことを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験の点数(70%)と平常点(30%)との総合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：どこにいるの?、石野好一、朝日出版社、2008年; 生協にて販売。後期のフランス語入門2でも、引き続きこの教科書を用いる。 / 参考書：クラウン仏和辞典、三省堂、2006年; プチロワイヤル仏和辞典、旺文社、2003年</p> <p>メッセージ 授業への積極的な参加を望む。また、毎回新しい文法事項を学んでいくので、休まずに出席すること。</p> <p>教官連絡先 人文学部613研究室、月曜日14時30分~16時00分。</p>					

開設科目	フランス語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時間	木曜日 5・6時限
担当教官	武本雅嗣				
<p>授業概要 フランス語の基本文法を学びながら、運用能力が身につくようになることを目指して授業を進めていく。</p> <p>授業一般目標 フランス語の基本文法を習得し、実践的な運用能力が身につくようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 主として、期末試験とほぼ毎回行う小テストの成績によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：どこにいるの？、石野好一、朝日出版社、2008年；生協にて販売(2500円)後期のフランス語入門2でも、引き続きこのテキストを使います。/参考書：クラウン仏和辞典、三省堂、2006年；プチロワイヤル仏和辞典、旺文社、2003年；プログレッシブ仏和辞典、小学館、2008年；辞書は上記のうちから選んでください。</p> <p>メッセージ 毎回新しい文法事項を学んでいくので、休まず出席すること。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文 612 オフィスアワー：木曜日 3:00-4:30</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時間	月曜日 7・8時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005年；販売：文栄堂山大前店/参考書：辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	月曜日7・8時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時間	水曜日 3・4時限
担当教官	宇芳				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時間	水曜日 5・6時限
担当教官	呉菲				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時間	水曜日 5・6時限
担当教官	宇芳				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医2年生	単位	2単位	曜時間	水曜日 5・6時限
担当教官	崔丹				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	水曜日7・8時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	水曜日9・10時限
担当教官	永富健史				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年; 辞書については、授業中に紹介する。/ 参考書:参考書備考:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時間	木曜日 3・4時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年生	単位	2単位	曜時間	木曜日 5・6時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:工学部生協/ 参考書:辞書については授業で紹介する</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	木曜日7・8時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	金曜日5・6時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	ハングル入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 この授業では、韓国/朝鮮語の文字と発音を中心にしながら、基本的なあいさつの表現、初歩的な構文を学びます。</p> <p>授業一般目標 この言語の文字と発音の正確な習得と、発音の規則、初歩的な文法を習得し、簡単な会話ができるようにします。この目的のため、毎回授業の内外で課題を課します。また、基礎語彙を習得も課し、不定期に試験を行います。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 定期試験と(2) 不定期の小テストで成績を評価します。(3) 欠席、宿題の未提出が所定の回数を超えた場合には単位を与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書:コスモス朝和辞典, 菅野裕臣他, 白水社, 1988年; 基礎韓国語, 金恵鎮, 白帝社, 2007年; 辞書については授業中に指示します。</p> <p>教官連絡先 連絡先:wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp, 研究室:人文棟2階、オフィスアワー:木曜日 10:00-17:00</p>					

開設科目	ハンゲル入門 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	桂文姫				
<p>授業概要 この授業では、韓国/朝鮮語の文字と発音を中心にしながら、基本的なあいさつの表現、初歩的な構文を学びます。</p> <p>授業一般目標 この言語の文字と発音の正確な習得と、発音の規則、初歩的な文法を習得し、簡単な会話ができるようにします。この目的のため、毎回授業の内外で課題を課します。また、基礎語彙を習得も課し、不定期に試験を行います。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 定期試験と(2) 不定期の小テストで成績を評価します。(3) 欠席、宿題の未提出が所定の回数を超えた場合には単位を与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書: コスモス朝和辞典, 菅野裕臣他, 白水社, 1988 年; 基礎韓国語, 金恵鎮, 白帝社, 2007 年; 辞書については授業中に指示します。</p> <p>教官連絡先 連絡先: wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp, 研究室: 人文棟 2 階、オフィスアワー: 木曜日 10:00-17:00</p>					

開設科目	ドイツ語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	小粥良				
<p>授業概要 ドイツ語の初歩を丁寧に学ぶ。文法を体系的に学ぶ。ビデオ等を用いて、ドイツの文化についても紹介する。水曜日 3・4 時限のドーブラ先生のドイツ語初級 1 B とセットになっている授業なので、原則として両方履修すること。(注意: 他の先生のドイツ語初級 1 B を履修すると、教科書をもう一冊買う必要が生じるうえ、授業で文法事項が出てくる順序も違います。)</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を一通り学習するとともに基礎語彙を習得し、そしてそれらの基礎の上に初歩的なドイツ語読解力を身につける。またドイツ語圏の国々の文化等について知識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 主として期末テストの点数により評価するが、普通の授業での学習態度も考慮する。出席は欠格事項としてのみ扱い、全授業の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: グーテ・ライゼ! [新改訂版], 伊藤直子 他, 郁文堂, 2006 年; 生協で販売。水曜日 3・4 時限のドーブラ先生のドイツ語初級 1 B と共通教科書。/ 参考書: 独和辞典は必携。授業開始時に紹介するが、どの出版社のものでもよい。電子辞書の独和・和独付きのものでよい。</p> <p>メッセージ 水曜日 3・4 時限のドーブラ先生のドイツ語初級 1 B とセットになっている授業なので、原則として両方履修すること。CD 付きの教科書なので、家で CD をよく聞くようにしてください。予習・復習をしっかりと行ってください。</p> <p>教官連絡先 教育学部 2 階 200-4 番の研究室。オフィスアワーは木曜 16:30-17:30。</p>					

開設科目	ドイツ語初級1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	小粥良				
<p>授業概要 ドイツ語の初歩を丁寧に学ぶ。文法を体系的に学ぶ。ビデオ等を用いて、ドイツの文化についても紹介する。木曜日1・2時限のドーブラ先生のドイツ語初級1 Bとセットになっている授業なので、原則として両方履修すること。(注意：他の先生のドイツ語初級1 Bを履修すると、教科書をもう一冊買う必要が生じるうえ、授業で文法事項が出てくる順序も違います。)</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を一通り学習するとともに基礎語彙を習得し、そしてそれらの基礎の上に初歩的なドイツ語読解力を身につける。またドイツ語圏の国々の文化等について知識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 主として期末テストの点数により評価するが、普通の授業での学習態度も考慮する。出席は欠格事項としてのみ扱い、全授業の3分の2以上の出席を必要とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：シュトラッセ・ノイ, Britta Schellens 他, 朝日出版社, 2007年; 生協で販売。木曜日1・2時限のドーブラ先生のドイツ語初級1 Bと共通教科書。/ 参考書：独和辞典は必携。授業開始時に紹介するが、どの出版社のものでもよい。電子辞書の独和・和独付きのものでもよい。</p> <p>メッセージ 木曜日1・2時限のドーブラ先生のドイツ語初級1 Bとセットになっている授業なので、原則として両方履修すること。CD付きの教科書なので、家でCDをよく聞くようにしてください。予習・復習をしっかりと行ってください。</p> <p>教官連絡先 教育学部2階200-4番の研究室。オフィスアワーは木曜16:30-17:30。</p>					

開設科目	ドイツ語初級1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	本田義昭				
<p>授業概要 本授業では、現代ドイツ語の初級文法を学びます。EU(欧州連合)の牽引車の一つであるドイツの言語を学んで、国際的な視野を広げましょう。</p> <p>授業一般目標 現代ドイツ語の発音の基本を習得する。名詞の変化・動詞の現在形などの文法項目を学習することで、ドイツ語の基礎構造を認識する。さらに、ドイツ語の基本的な文章を読み、書けるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験(35%) + 期末試験(35%) + 授業への積極的な参加度(30%)で評価します。出席率が8割未満の場合は失格とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：フィールシュパース!, 西村佑子, 朝日出版社, 2008年 / 参考書：第1回目の授業で、初級用の独和辞典をいくつか紹介します。</p> <p>メッセージ こつこつ頑張れば、誰でもかなりのレベルに到達します。継続は力なり! 将来はドイツ留学も夢ではありません。</p> <p>教官連絡先 honda@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	ドイツ語初級1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	下寄正利				
<p>授業概要 この授業は、金曜 5・6 時限の Berger 先生担当のドイツ語初級1 B とセットになっています。この授業では、ドイツ語の文法を中心に学習します。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語初級文法をしっかりと身につけている。</p> <p>成績評価方法(総合) 演習点、中間テスト・期末テストの評点を総合して成績をつけます。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ワンポイント・ドイツ文法、藤代幸一、保阪靖人、郁文堂</p> <p>メッセージ 語学は毎日の学習の積み重ねが大切です。</p>					

開設科目	ドイツ語初級1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	坂本貴志				
<p>授業概要 この授業は、ドイツ語のネイティブスピーカーの担当する初級B とセットである。ドイツ語を体系的に理解することを目指し、そのために文法を根底から学ぶ方法をとる。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を一通り学習するとともに基礎語彙を習得し、そしてそれらの基礎の上に初歩的なドイツ語読解力を身につける。またドイツ語圏の国々の文化等について知識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、レポート、期末テストの点数により評価する。出席は欠格事項としてのみ扱う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：新ドイツ文法、常木実、郁文堂、1966 年 / 参考書：辞書は授業開始時に紹介する。</p>					

開設科目	フランス語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	武本雅嗣				
<p>授業概要 この科目の履修者は、フランス語初級 1B(フランス人教員のクラス)と合わせて、週 2 回フランス語の授業を受けることになります。フランス語初級 1A のほうでは、基本文法をしっかり習得したうえで、フランス語の運用能力が身につくようになることを目指して授業を進めていきます。使用するテキストには、文法の例文と説明だけでなく、「読み・書き・話す」能力を高めるのに効果的な練習問題が含まれています。</p> <p>授業一般目標 フランス語の基本文法を体系的に習得し、実践的な運用能力が身につくようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 主として、期末試験とほぼ毎回行う小テストの成績によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プチボン, 金子美都子, 白水社, 2008 年; 生協にて販売(2300 円)。後期のフランス語初級 2A でも、引き続きこのテキストを使います。/ 参考書：クラウン仏和辞典, 三省堂, 2006 年; プチロワイヤル仏和辞典, 旺文社, 2003 年; プロGRESSIF 仏和辞典, 小学館, 2008 年; 辞書は上記のうちから選んでください。</p> <p>メッセージ 毎回新しい文法事項を学んでいくので、休まず出席すること。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文 612 オフィスアワー：木曜日 3:00-4:30</p>					

開設科目	フランス語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	井上三朗				
<p>授業概要 この科目の履修者は、フランス語初級 1 B(フランス人教員のクラス)と合わせて、週 2 回フランス語の授業を受けることになる。フランス語初級 1 A のほうでは、基本的な文法事項をしっかり習得したうえで、フランス語の運用能力が身につくようになることを目指して授業を進めていく。使用する教科書には、文法の例文と説明だけでなく、「読み・書き・話す」能力を高めるのに効果的な練習問題が含まれている。</p> <p>授業一般目標 フランス語の基本的な文法事項を体系的に習得し、実践的な運用能力が身につくようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験の点数(70%)と日常点(30%)との総合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プチボソン, 金子美都子, 白水社, 2008 年; 生協にて販売。後期のフランス語初級 2 A でも、引き続きこの教科書を用いる。/ 参考書：クラウン仏和辞典, 三省堂, 2006 年; プチロワイヤル仏和辞典, 旺文社, 2003 年</p> <p>メッセージ 授業への積極的な参加を望む。また、毎回新しい文法事項を学んでいくので、休まずに出席すること。</p> <p>教官連絡先 人文学部 6 1 3 研究室、月曜日 14 時 30 分～16 時 00 分。</p>					

開設科目	フランス語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	金曜日 7・8 時限
担当教官	平山豊				
<p>授業概要 この科目の履修者は、フランス語初級 1B(フランス人教員のクラス)と合わせて、週 2 回フランス語の授業を受けることになります。フランス語初級 1A のほうでは、基本文法をしっかり習得したうえで、フランス語の運用能力が身につくようになることを目指して授業を進めていきます。使用するテキストには、文法の例文と説明だけでなく、「読み・書き・話す」能力を高めるのに効果的な練習問題が含まれています。</p> <p>授業一般目標 フランス語の基本文法を体系的に習得し、実践的な運用能力が身につくようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 主として、期末試験とほぼ毎回行う小テストの成績によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プチボン、金子美都子、白水社、2008 年；生協にて販売(2300 円)。後期のフランス語初級 2A でも、引き続きこのテキストを使います。/ 参考書：クラウン仏和辞典、三省堂、2006 年；プチロワイヤル仏和辞典、旺文社、2003 年；プログレッシブ仏和辞典、小学館、2008 年；辞書は上記のうちから選んでください。</p> <p>メッセージ 毎回新しい文法事項を学んでいくので、休まず出席すること。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文 214 オフィスアワー：</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	齋藤匡史				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齋藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	富平美波				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齋藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文学部 5 階 Tel.933-5251 オフィスアワー：月曜日 12:50-16:00</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	富平美波				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文学部 5 階 Tel.933-5251 オフィスアワー：月曜日 12:50-16:00</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	更科慎一				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	永富健史				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 3・4 時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	根ヶ山徹				
<p>授業概要 現代中国語の発音、基本的な文系や文法を習得するための授業。</p> <p>授業一般目標 中国語 1a・2a・1b・2b と合わせて履修することにより、入門期に必要な中国語の理解・運用能力を養成する。また、中国語との出会いと交流を通じて、異文化を受け入れるこころを養い、国際社会への責任感を培う。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績を 100%として成績評価を行う。出席は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書：北京の風(改訂版)、木村英樹・小野秀樹・陳蓉、白帝社、2002 年</p> <p>メッセージ 「中国語は同じ漢字表記なので楽だ」と考えがちであるが、それなりの努力をしなければ習熟することは難しいので、真剣に取り組んで欲しい。なお、上記の授業計画は予定であり、進度ならびに授業日程により、変更されることがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 7・8 時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 7・8 時限
担当教官	更科慎一				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 2 年生	単位	2 単位	曜時間	木曜日 7・8 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	金曜日 3・4 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	金曜日 5・6 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 この授業では韓国語の初歩を学びます。前半では文字と発音、後半では簡単な文法を学びます。</p> <p>授業一般目標 文字と発音を確実に覚えて、簡単な会話ができるようになることを目標とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と毎回の小テストで評価します。欠席、宿題の不提出は欠格事項です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎から学ぶ韓国語講座, 木内明, 国書刊行会, 2002 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	山田寛人				
<p>授業概要 この授業では韓国語の初歩を学びます。前半では文字と発音、後半では簡単な文法を学びます。</p> <p>授業一般目標 文字と発音を確実に覚えて、簡単な会話ができるようになることを目標とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と毎回の小テストで評価します。欠席、宿題の不提出は欠格事項です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎から学ぶ韓国語講座, 木内明, 国書刊行会, 2002 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	桂文姫				
<p>授業概要 この授業では韓国語の初歩を学びます。前半では文字と発音、後半では簡単な文法を学びます。</p> <p>授業一般目標 文字と発音を確実に覚えて、簡単な会話ができるようになることを目標とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と毎回の小テストで評価します。欠席、宿題の不提出は欠格事項です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎から学ぶ韓国語講座, 木内明, 国書刊行会, 2002 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	山田寛人				
<p>授業概要 この授業では韓国語の初歩を学びます。前半では文字と発音、後半では簡単な文法を学びます。</p> <p>授業一般目標 文字と発音を確実に覚えて、簡単な会話ができるようになることを目標とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と毎回の小テストで評価します。欠席、宿題の不提出は欠格事項です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎から学ぶ韓国語講座, 木内明, 国書刊行会, 2002 年</p>					

開設科目	ドイツ語初級1B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2単位	曜時間	火曜日3・4時限
担当教官	Felicitas Dobra				
<p>授業概要 本授業は、まず第一に基礎的なコミュニケーション能力を身につけさせることを目的とする。文型が提示される。これらの文型は、学生によって練習され、学生の生活に関連する文例によって補強される。教科書の文章は、ドイツ事情を伝える内容である。各課の終わりに、日本語による文法の説明がある。ドイツ語の初級文法の習得をめざす。文法を中心とした練習問題をこなすとともに、発音、聞き取り、話すこと、語彙力、作文力、読解力をつける。CDを活用し、パートナー練習を加えて、簡単な会話に挑戦する。</p> <p>授業一般目標 学生は提示された文型に従って、簡単な会話を行える程度の知識を習得することができる。話すことと発音練習がこの授業の重点である。文法は授業の目的ではないが、目標に到達するために通らねばならぬ道である。したがって、各課の文法も教授され、習得されたかどうか吟味される。文法は、コミュニケーションに有意義な練習を通じて伝えられる。学生は教科書の中に描写されたいくつかのシチュエーションによって、文化間の相違を確認することができる。</p> <p>教科書・参考書 教科書： Szenen 1 integriert, Shuko Sato et al, Sanshusha, 2006年 メッセージ 頑張りましょう 教官連絡先 ドーブラ研究室 (共通教育 3F) 水曜日12:30~13:30</p>					

開設科目	ドイツ語初級1B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2単位	曜時間	水曜日3・4時限
担当教官	Felicitas Dobra				
<p>授業概要 ドイツ語の初級文法の習得をめざす。文法を中心とした練習問題をこなすとともに、発音、聞き取り、話すこと、語彙力、作文力、読解力をつける。CDを活用し、パートナー練習を加えて、簡単な会話に挑戦する。月曜日3・4時限の小粥先生のドイツ語初級1Aとセットになっている授業である。同一教科書で、二人で分担して教えるので、原則として両方を取る。(別の先生の初級1Aを取る場合は、教科書がもう一冊必要になります。)</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を学習する。初歩的なドイツ語読解力を身につける。ドイツ語圏の文化についても知識を深める。</p> <p>教科書・参考書 教科書： Gute Reise! neu グーテ・ライゼ! [新改定版], 伊藤直子 他, 郁文堂, 2006年; 生協で販売。月曜日3・4時限の小粥先生のドイツ語初級1Aと共通教科書。</p> <p>メッセージ ドイツ語勉強を楽しんで。 教官連絡先 ドーブラ研究室 共通教育3F 水曜日12:30~13:30</p>					

開設科目	ドイツ語初級1B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2単位	曜時限	木曜日1・2時限
担当教官	Felicitas Dobra				
<p>授業概要 ドイツ語の初級文法の習得をめざす。文法を中心とした練習問題をこなすとともに、発音、聞き取り、話すこと、語彙力、作文力、読解力をつける。CDを活用し、パートナー練習を加えて、簡単な会話に挑戦する。小粥先生の月曜日7・8時限のドイツ語初級1Aとセットになっている授業である。同一教科書で、二人で分担して教えるので、原則として両方を取る。(別の先生の初級1Aを取る場合は、教科書がもう一冊必要になる。)</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を学習する。初歩的なドイツ語読解力を身につける。ドイツ語圏の文化についても知識を深める。</p> <p>教科書・参考書 教科書：シュトラッセ・ノイ, Britta Schellens 他, 朝日出版社, 2007年; 生協で販売。月曜日7・8時限の小粥先生のドイツ語1Aと共通教科書。</p> <p>メッセージ ドイツ語を楽しんで。</p> <p>教官連絡先 ド-ブラ研究室 共通教育3F 水曜日12:30~13:30</p>					

開設科目	ドイツ語初級1B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2単位	曜時限	金曜日5・6時限
担当教官	Angelika Watanabe-Berger				
<p>授業概要 英語を話せて当たり前の時代になりました。この授業ではヨーロッパで2番目に大きい国ドイツの言葉や文化をABCから学び、日本以外の国に関心を持って、色々なメディアを通じてドイツを"体験"し、身近に感じてもらうのはねらいです。初級Aで学んだ文法を繰り返し練習し、特に発音、聞く力、会話力に重点をおきたいと思います。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基礎文法を理解し、簡単な日常会話を練習して、外国語で話すことへの抵抗を減らして、最終的にドイツ語初級の読み書き、聞き取り、話すことをできるようになります。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席 授業への参加 宿題 テスト</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語インフォメーション, 秋田静男他, 朝日出版, 2007年; 教科書を1回目の授業で教室で販売します。(2520円) その他プリントを配布します。/ 参考書：プリントを配布します</p> <p>メッセージ 毎回ドイツへ行った気分で、恥ずかしがらずに会話や歌、ロールプレイ etc. に挑戦しましょう。</p> <p>教官連絡先 mail: palette@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	ドイツ語初級1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	Angelika Watanabe-Berger				
<p>授業概要 英語を話せて当たり前の時代になりました。この授業ではヨーロッパで 2 番目に大きい国ドイツの言葉や文化を ABC から学び、日本以外の国に関心を持って、色々なメディアを通じてドイツを "体験" し、身近に感じてもらうのはねらいです。初級 A で学んだ文法を繰り返し練習し、特に発音、聞く力、会話力に重点をおきたいと思います。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基礎文法を理解し、簡単な日常会話を練習して、外国語で話すことへの抵抗を減らして、最終的にドイツ語初級の 読み書き、聞き取り、話すことをできるようになります。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 授業への参加 宿題 テスト</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語インフォメーション, 秋田静男他, 朝日出版, 2007 年; 教科書を 1 回目の授業で教室で販売します。(2 5 2 0 円) その他プリントを配布します。 / 参考書：プリントを配布します</p> <p>メッセージ 毎回ドイツへ行った気分で、恥ずかしがらずに会話や歌、ロールプレイ etc. に挑戦しましょう。</p> <p>教官連絡先 mail: palette@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	フランス語初級1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	Emde Angelika				
<p>授業概要 このコースではフランス語の根本的な構造を理解し、自力で簡単な文書を作り、日常的な会話をこなせることがねらいです。</p> <p>授業一般目標 様々なコミュニケーションの場面に応じて、基本的なパターンを練習します。必要な文法を説明し、多くの例を応用しながら、身に付けます。語彙はそれぞれの分野に合わせて導入し、段階的に増やします。聞く力や発音を特に鍛えます。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教材のプリントを授業で配付します</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	フランス語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	BEAUSIRJEAN CLAUDE				
<p>授業概要 この授業では、会話を取り入れながらフランス語の基本的な文法事項を学習します。毎回授業の終わりには「フランス雑学コーナー」を設けてシャンソン、漫画、フランス映画等を紹介しします。授業は日本語でも行います。</p> <p>授業一般目標 簡単な挨拶から徐々に基礎フランス語を習得し会話を中心に総合的なレベルアップを目指します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業の出席状況、授業態度、試験の成績で総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: SPIRALE (スピラル)日本人初心者のためのフランス語教科書, GAEL CREPIEUX その他, HACHETTE, 2006 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	フランス語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	BEAUSIRJEAN CLAUDE				
<p>授業概要 この授業では、会話を取り入れながらフランス語の基本的な文法事項を学習します。毎回授業の終わりには「フランス雑学コーナー」を設けてシャンソン、漫画、フランス映画等を紹介しします。授業は日本語でも行います。</p> <p>授業一般目標 簡単な挨拶から徐々に基礎フランス語を習得し会話を中心に総合的なレベルアップを目指します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業の出席状況、授業態度、試験の成績で総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: SPIRALE (スピラル)日本人初心者のためのフランス語教科書, GAEL CREPIEUX その他, HACHETTE, 2006 年</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	呉 毅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	田 梅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>教官連絡先 共通教育棟 3F 田研究室 tian@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日・火曜日 16:00 18:00</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	呉 毅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	呉 毅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	田 梅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>教官連絡先 共通教育棟 3F 田研究室 tian@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日・火曜日 16:00 18:00</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	袁麗暉				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	呉菲				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	田梅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>教官連絡先 共通教育棟 3F 田研究室 tian@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日・火曜日 16:00 18:00</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 9・10 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	田梅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>教官連絡先 共通教育棟 3F 田研究室 tian@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日・火曜日 16:00 18:00</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	金曜日 7・8 時限
担当教官	何曉毅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	中国語初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年；販売：文栄堂山大前店/参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	ハンゲル初級 1 B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	山田寛人				
<p>授業概要 この授業はハンゲル初級 1b とセットの授業です。従って週 2 回の授業ですから、相当に厳しい授業となります。</p> <p>授業一般目標 文字と発音、基本的な文法、語彙、会話能力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と毎回の小テストの合計で評価します。宿題の不提出、欠席は欠格事項です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎から、木内明、国書刊行会、2002年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハンゲル初級1B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2単位	曜時限	木曜日3・4時限
担当教官	山田寛人				
<p>授業概要 この授業はハンゲル初級1bとセットの授業です。従って週2回の授業ですから、相当に厳しい授業となります。</p> <p>授業一般目標 文字と発音、基本的な文法、語彙、会話能力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と毎回の小テストの合計で評価します。宿題の不提出、欠席は欠格事項です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎から、木内明, 国書刊行会, 2002年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハンゲル初級1B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2単位	曜時限	木曜日5・6時限
担当教官	桂文姫				
<p>授業概要 この授業はハンゲル初級1bとセットの授業です。従って週2回の授業ですから、相当に厳しい授業となります。</p> <p>授業一般目標 文字と発音、基本的な文法、語彙、会話能力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と毎回の小テストの合計で評価します。宿題の不提出、欠席は欠格事項です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎から、木内明, 国書刊行会, 2002年</p>					

開設科目	ハンゲル初級1B	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2単位	曜時間	金曜日1・2時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 この授業はハンゲル初級1bとセットの授業です。従って週2回の授業ですから、相当に厳しい授業となります。</p> <p>授業一般目標 文字と発音、基本的な文法、語彙、会話能力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と毎回の小テストの合計で評価します。宿題の不提出、欠席は欠格事項です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎から、木内明、国書刊行会、2002年</p>					

開設科目	中国語会話1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・工	単位	2単位	曜時間	水曜日7・8時限
担当教官	宇芳				
<p>授業概要 この授業は中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法(総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：一年生のコミュニケーション中国語、塚本 慶一 劉 穎、白水社、2006年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p>					

開設科目	ドイツ語会話 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	Felicitas Dobra				
<p>授業概要 本授業は、まず第一に基礎的なコミュニケーション能力を身につけさせることを目的とする。文型が提示される。これらの文型は、学生によって練習され、学生の生活に関連する文例によって補強される。教科書の文章は、ドイツ事情を伝える内容である。各課の終わりに、日本語による文法の説明がある。</p> <p>授業一般目標 学生は提示された文型に従って、簡単な会話を行える程度の知識を習得することができる。話すことと発音練習がこの授業の重点である。文法は授業の目的ではないが、目標に到達するために通らねばならぬ道である。したがって、各課の文法も教授され、習得されたかどうか吟味される。文法は、コミュニカティブに有意義な練習を通じて伝えられる。教科書では、文法事項は「Bausteine」という見出しの下に現れる。学生は教科書の中に描写されたいくつかのシチュエーションによって、文化間の相違を確認することができる。次年度にも更にドイツ語を継続して学習することを希望している学生のために、次年度には同じ教科書の第二部を使用することを指摘しておく。</p> <p>教科書・参考書 参考書：教科書 Farbkasten. Situationen. Informationen.1. 自己表現のためのドイツ語 CD 付き, 板山真由美 / 潮路ウルスラ / 本河裕子 / 吉満たか子, 三修社, 2005 年</p> <p>メッセージ 頑張りましょう</p> <p>教官連絡先 ドーブラ研究室 共通教育 3 F 水曜日 12:30~13:30</p>					

開設科目	フランス語会話 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	Emde Angelika				
<p>授業概要 この授業では会話が中心です。日常的な場面を簡単な言い方や文法のパターンで訓練します。フランスの音楽、映画や生活文化も紹介します。</p> <p>授業一般目標 様々なコミュニケーションの場面に応じて、基本的なパターンを練習します。必要な文法を説明し、多くの例を応用しながら、身に付けます。語彙はそれぞれの分野に合わせて導入し、段階的に増やします。聞く力や発音を特に鍛えます。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験やテストは行いませんが、定期的な出席と積極的な参加により評価します。出席：50%、参加や授業への貢献：20%、宿題・授業外レポート：30%。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教材のプリントを授業で配付します。</p> <p>メッセージ 出席は非常に大事で、積極的な参加は、成功へのカギです。</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 展開2

開設科目	ハングル会話 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 文法の説明などは最小限とし、ひたすら反復練習をします。また、会話のためには語彙力が必要です。半期で数百の語彙を覚えてもらいます。</p> <p>授業一般目標 簡単な会話ができるようになることを目標とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験は聞き取りを中心とします。また、毎回小テストを実施し、成績に反映させます。欠席、宿題の不提出は欠格事項です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：スタート！韓国語初級，金恵鎮，白帝社，2007 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 包括

開設科目	海外中国語研修	区分	講義	開設期	
対象学生		単位	4 単位	曜時限	
担当教官	田梅				
<p>授業概要 本授業は本年度夏期に実施予定の4週間の中国の大学における中国語語学研修とその事前研修(前期第2機澄爾乏 差縦輪 1回で全7回を予定)からなる。語学研修の説明会、事前研修については別途通知するので、掲示に注意すること。単位取得には、事前研修への出席が必要である。このプログラムの中国での研修には参加しない学生で事前研修のみを受講する者も歓迎する。</p> <p>授業一般目標 事前研修 - 中国語研修に最低限必要な会話を習得し、留学に関連する必要事項を学ぶ。語学研修 - 入門期の発音、初級程度の中国語の習得を目指す。あわせて現地での文化講座、見学、交流などを通じて、中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 事前研修の出席、中国の大学における研修状況と試験の成績をもとに評価する。</p> <p>メッセージ 積極的な参加を期待する</p> <p>教官連絡先 共通教育棟 3F 田研究室 tian@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日・火曜日 16:00 18:00</p>					

系列 外国語教育

分野 中国語

科目類型 展開 1

開設科目	中国語中級 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教 2 年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 中級レベルの中国語を学習する。</p> <p>授業一般目標 中級レベルの中国語を総合的な習得を目指す。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験の成績を 80%、小テストの成績を 20%として成績評価を行う。小テストによる評価は、教員の裁量により、宿題や授業への参加度(与えられた課題に対する解答など)による評価によって替えることができる。出席は欠格事項とする</p> <p>教科書・参考書 教科書: 場面別・機能別 実用中国語会話, 呉川・文光苑, 郁文堂 / 参考書: 中日辞典</p> <p>メッセージ この授業を受講するためには、中日辞典を準備する必要があります。</p> <p>教官連絡先 yimu@yahoo.co.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 展開 1

開設科目	ハングル中級 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教 2 年	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 この授業では 1 年次の初級の授業で学んだことを更に定着させると共に、更に多様な表現を学びます。同時に、語彙についてもより高度な語彙を身に付けます。この目的のために、毎回、授業の内外での課題を課します。</p> <p>授業一般目標 基本となる文法事項を確実にし、更に、多様な構文を学びます。また、語彙力をつけることにより、簡単な文章なら辞書の助けがほとんどなくとも、読めるようにします。また、様々な場面での会話ができるようになります。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 韓国語中級, 李昌圭, 白帝社, 2000 年</p> <p>教官連絡先 連絡先: wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp、研究室: 人文棟 2 階、オフィスアワー: 木曜日 10:00-17:00</p>					

系列 外国語教育

分野 中国語

科目類型 展開1

開設科目	中国語中級会話1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年	単位	2単位	曜時限	水曜日5・6時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 異文化間のコミュニケーションの手段として中国語を学ぶ。中級会話の完成を目指す。実際に中国で日常に用いられる会話を自然な速度で話せるようになるまで指導する。併せて中国文化、中国事情の紹介に努める。</p> <p>授業一般目標 主に話す能力と聞く能力をマスターさせる。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験及び小テスト、受講態度により総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：新版 中国語さらなる一歩、尹景春など、白水社、2002年；販売：文栄堂山大前店</p> <p>メッセージ 予習復習が必要です。単語と文型を覚え、そして繰り返し練習してください。</p> <p>教官連絡先 zhangling414@ybb.ne.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2単位	曜時限	月曜日1・2時限
担当教官	今井新悟				
<p>授業概要 Basic Japanese Japanese 1A, 2A and 3A should be taken together. 日本語初級 日本語1 A,2A,3A は一緒に受講してください。</p> <p>授業一般目標 Learn basic grammar and vocabulary, and communication strategy. 日本語の基礎的な文法、語彙、コミュニケーション方法について学習します。</p> <p>成績評価方法(総合) Evaluation is based on participation, quizzes, homework, and tests 出席、クイズ、宿題と試験によって評価します。</p> <p>メッセージ Japanese 1A, 2A and 3A should be taken together. 日本語1 A,2A,3A は一緒に受講してください。</p> <p>教官連絡先 083-933-5088 Office hour: Monday 13:00-15:00</p> <p>備考 初級前半レベル・1 A ~ 3 A の同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 2 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	今井新悟				
<p>授業概要 Basic Japanese Japanese 1A, 2A and 3A should be taken together. 日本語初級 日本語 1 A,2A,3A は一緒に受講してください。</p> <p>授業一般目標 Learn basic grammar and vocabulary, and communication strategy. 日本語の基礎的な文法、語彙、コミュニケーション方法について学習します。</p> <p>成績評価方法 (総合) Evaluation is based on participation, quizzes, homework, and tests 出席、クイズ、宿題と試験によって評価します。</p> <p>メッセージ Japanese 1A, 2A and 3A should be taken together. 日本語 1 A,2A,3A は一緒に受講してください。</p> <p>教官連絡先 083-933-5088 Office hour: Monday 13:00-15:00</p> <p>備考 初級前半レベル・1 A ~ 3 A の同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 3 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	今井新悟				
<p>授業概要 Basic Japanese Japanese 1A, 2A and 3A should be taken together. 日本語初級 日本語 1 A,2A,3A は一緒に受講してください。</p> <p>授業一般目標 Learn basic grammar and vocabulary, and communication strategy. 日本語の基礎的な文法、語彙、コミュニケーション方法について学習します。</p> <p>成績評価方法 (総合) Evaluation is based on participation, quizzes, homework, and tests 出席、クイズ、宿題と試験によって評価します。</p> <p>メッセージ Japanese 1A, 2A and 3A should be taken together. 日本語 1 A,2A,3A は一緒に受講してください。</p> <p>教官連絡先 083-933-5088 Office hour: Monday 13:00-15:00</p> <p>備考 初級前半レベル・1 A ~ 3 A の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 4 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 日本語初級前半が終了した学習者を対象にし、文法や語彙をさらに拡充し、物事をより詳しく説明したり、話者の気持ちをより細やかに伝えたりする表現を用いてコミュニケーションができるようになること、さらには読みの比重が重くなる「中級」の学習に無理なく移行できるように、文の構造と意味・機能の総合的理解力を養成する。</p> <p>授業一般目標 新出語彙や文法項目を正しく理解する。 コミュニケーション能力を高める。 文章作成能力をつける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間テスト 5 回と期末テスト、宿題、スピーチ、小テストの結果を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書： みんなの日本語 II, 田中よね他 6 名, スリーエーネットワーク, 2005 年</p> <p>メッセージ 日本語 5 A, 6 A とセットで受講してください。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワー： 木曜日午後 e-mail:michikos@yamaguchi-u.ac.jp TEL:083-933-5985</p> <p>備考 初級後半レベル・ 4 A ~ 6 A の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 4 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	中溝朋子				
<p>教科書・参考書 教科書： みんなの日本語 初級 II, , スリーエーネットワーク</p> <p>教官連絡先 tomokon@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 初級後半レベル</p>					

開設科目	日本語 5 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 日本語初級前半が終了した学習者を対象にし、文法や語彙をさらに拡充し、物事をより詳しく説明したり、話者の気持ちをより細やかに伝えたりする表現を用いてコミュニケーションができるようになること、さらには読みの比重が重くなる「中級」の学習に無理なく移行できるように、文の構造と意味・機能の総合的理解力を養成する。</p> <p>授業一般目標 新出語彙や文法項目を正しく理解する。 コミュニケーション能力を高める。 文章作成能力をつける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間テスト 5 回と期末テスト、宿題、スピーチ、小テストの結果を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書： みんなの日本語 II, 田中よね他 6 名, スリーエーネットワーク, 2005 年</p> <p>メッセージ 日本語 4A, 6 A とセットで受講してください。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワー： 木曜日午後 e-mail:michikos@yamaguchi-u.ac.jp TEL:083-933-5985</p> <p>備考 初級後半レベル・ 4 A ~ 6 A の同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 6 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 日本語初級前半が終了した学習者を対象にし、文法や語彙をさらに拡充し、物事をより詳しく説明したり、話者の気持ちをより細やかに伝えたりする表現を用いてコミュニケーションができるようになること、さらには読みの比重が重くなる「中級」の学習に無理なく移行できるように、文の構造と意味・機能の総合的理解力を養成する。</p> <p>授業一般目標 新出語彙や文法項目を正しく理解する。 コミュニケーション能力を高める。 文章作成能力をつける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間テスト 5 回と期末テスト、宿題、スピーチ、小テストの結果を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書： みんなの日本語 II, 田中よね他 6 名, スリーエーネットワーク, 2005 年</p> <p>メッセージ 日本語 4A,5A とセットで受講してください。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワー： 木曜日午後 e-mail:michikos@yamaguchi-u.ac.jp TEL:083-933-5985</p> <p>備考 初級後半レベル・ 4 A ~ 6 A の同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 7 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	赤木弥生				
<p>授業概要 初級レベルで学んだ文法項目、語彙、表現を使って日本語運用能力を伸ばし、幅広いテーマに関する語彙表現や文法を学び、さまざまな状況や場面に対応できる総合的な日本語能力を培います。毎回 DVD を視聴し、場面ごとの表現について学びます。</p> <p>授業一般目標 日常生活で必要とする基礎的な四技能「聞く・話す・読む・書く」をさまざまな状況や場面に对应できるように総合的に伸ばし日本語運用能力を培います。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、授業参加、課題、期末試験を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語中級 J301, 土岐哲, スリーエーネットワーク, 1997 年；エリンが挑戦！にほんごできます, 国際交流基金, 凡人社, 2007 年</p> <p>メッセージ 初級で学んだ文法、語彙表現を使って、話したり、聞いたりできるコミュニケーション能力をつけましょう。</p> <p>教官連絡先 月曜日午後 14 時 30 分～15 時 30 分 研究室電話：083 - 933-5985 E-mail: yayoia@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 中級前半レベル・7 A～9 A の同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 7 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	赤木弥生				
<p>授業概要 初級レベルで学んだ文法項目、語彙、表現を使って日本語運用能力を伸ばし、幅広いテーマに関する語彙表現や文法を学び、さまざまな状況や場面に对应できる総合的な日本語能力を培います。毎回 DVD を視聴し、場面ごとの表現について学びます。</p> <p>授業一般目標 日常生活で必要とする基本的な四技能「聞く・話す・読む・書く」をさまざまな状況や場面に对应できるように総合的に伸ばし、日本語運用能力を培います。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、授業参加、課題、期末試験を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語中級 J301, 土岐, スリーエーネットワーク, 1997 年</p> <p>備考 中級前半レベル</p>					

開設科目	日本語 8 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	赤木弥生				
<p>授業概要 初級レベルで学んだ文法項目、語彙、表現を使って日本語運用能力を伸ばすと同時に、読み、書くための基礎漢字を学びます。</p> <p>授業一般目標 日常生活で必要とする基礎的な四技能「聞く・話す・読む・書く」を総合的に伸ばし、漢字についての知識を増やし、読む、書く力をつけます。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、授業参加、期末試験、課題提出を総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語中級 J301, 土岐哲, スリーエーネットワーク, 1997 年; 漢字 2100 字, 徳弘康代, 早稲田大学, 2006 年</p> <p>メッセージ 初級で学んだ漢字を復習し、さらに日常生活に必要な漢字について学びましょう。</p> <p>教官連絡先 月曜日午後 14 時 30 分 ~ 15 時 30 分 研究室電話：083 - 933-5985 E-mail: yayoia@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 中級前半レベル・7 A ~ 9 A の同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 9 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	赤木弥生				
<p>授業概要 日本の風俗習慣、文化、社会、日本人の行動様式について理解を深めます。現代日本の社会事情と自国の事情とを対照させ、比較検討しながら、文化の背景について考え、文化理解を図り、日本社会で生活や勉強が自立してできる判断能力を養います。また、地球社会の多様な文化を相対的に見ることが出来る能力を培い、グローバルなコミュニケーションが図れる能力を養います。また、山口県の固有の文化や歴史について学びます。</p> <p>授業一般目標 日本での生活に役立つ基本的な文化生活習慣について学びます。また、日本文化や学習者の文化に対する理解を通して、地球的な視点にたち日本文化をみる姿勢を養います。また、地球社会の多様な文化を理解するための相対的な文化の見方を培い、グローバルなコミュニケーション能力を伸ばし、世界のどの民族ともコミュニケーションを図る能力を養います。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、授業参加、課題、レポート、発表を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：自主教材「留学生のための日本事情」, , ; ビデオ教材「The Way of Life in Japan」, 国際交流基金, 凡人社, 2000 年; 15 のテーマで学ぶ日本事情 日本を話そう, 日本外国語専門学校, The Japan Times, 1994 年</p> <p>メッセージ グローバルな視点から日本の文化やお互いの文化について学びましょう。</p> <p>教官連絡先 月曜日午後 14 時 30 分 電話：083 - 933-5985 E-mail: yayoia@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 中級前半レベル・7 A ~ 9 A の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 1 0 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	赤木彌生				
<p>授業概要 グラフや表のあるレポート、報告文、エッセイ、新聞記事などさまざまな文章スタイルにふれ、文化および科学の両分野における幅広いテーマに関する語彙表現を伸ばし、読解力、理解力を養う。いろいろな状況や場面に対応できる総合的な日本語能力を培います。</p> <p>授業一般目標 基礎的な四技能「聞く・話す・読む・書く」をさらにさまざまな状況に対応できるように総合的に伸ばす。日本語による講義、試験、レポートなどをこなすことができる文法、語彙表現を学び、聴解、口頭表現能力、読解力、作文力を伸ばします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 授業参加 期末試験 課題提出を総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語中級 J-501, 土岐哲, スリーエーネットワーク, 1999 年 / 参考書：論理的な文章の書き方, 二通, スリーエーネットワーク, 2000 年</p> <p>メッセージ 講義やレポート作成が簡単にできるように、総合的に日本語能力を伸ばしましょう。</p> <p>教官連絡先 月曜日午後 14 時 30 分～15 時 30 分 電話：083 - 933-5986 E-mail: yayoia@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 中級後半レベル・1 0 A～1 2 A の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 1 0 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	中溝朋子				
<p>備考 中級後半レベル</p>					

開設科目	日本語 1 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 日本語中級前半を終了した学習者を対象に「読む」「書く」を柱に、「話す」能力の向上を目指す。論理的な文章作成能力、また、相手に正確に伝えられるように論理的「話す」能力を課題を通して育成する。</p> <p>授業一般目標 ・中級後半の文法項目や語彙が理解できる。 ・各課の「書いてみよう」という課題を通して、論理的な文章が書ける。 ・各課の「話してみよう」という課題を通して、相手に正確に伝えられるように論理的に話せる。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間テスト、期末テスト、漢字テスト、スピーチ、宿題の提出回数、出席状況を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語中級 J 5 0 1, 土岐哲, スリーエーネットワーク, 1999 年; 適宜プリント教材を配布する。テーマに関する参考文献の資料を配布する。</p> <p>メッセージ 日本語 10A, 日本語 12A も同時授業が望ましい。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワー：木曜日午後 e-mail:michikos@yamaguchi-u.ac.jp TEL:083-933-5985</p> <p>備考 中級後半レベル・1 0 A ~ 1 2 A の同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 1 2 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	今井新悟				
<p>授業概要 作文の授業です。論理的な文章の書き方の基本的なルールを学び、課題作文を通して、論理的な文章の書き方を身に着けます。</p> <p>授業一般目標 段落や論理性などの文章作成のルールについて学びます。文章を読み、論理性を検証します。自分でたくさんの文章を書きます。他の人の文章を批判的に検証します。文章を推敲します。</p> <p>成績評価方法(総合) 課題提出、授業への意欲・貢献度を総合的に判断します。欠席は4回以上で欠格条件となります。遅刻は3回で欠席1回とみなします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント教材を配布します。教科書は使いません。</p> <p>メッセージ 電子辞書必携</p> <p>教官連絡先 083-933-5088 月曜日 13時～15時</p> <p>備考 中級後半レベル・1 0 A ~ 1 2 A の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 1 3 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	河野 笙子				
<p>授業概要 上級レベルの学習者を対象に、現代社会の諸相に関する文章の読解や学習者が特に関心のあるテーマについてのアンケート調査活動などを通して、日本語の総合的運用力を高める。</p> <p>授業一般目標 上級レベルの日本語の読解、運用、表現ができる。論理的な発表やレポート作成などができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、授業への参加度、口頭発表や作文などの内容、期末試験等で総合的に行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：トピックによる日本語総合演習上級、佐々木薫他 5 名, スリーエーネットワーク, 2001 年; トピックによる、佐々木, スリーエーネットワーク, 2001 年; 過渡期の「日本」を考える, 三牧陽子他 2 名, 凡人社, 1997 年; テキストは、選んだ 3 冊の教科書の中から必要部分を個別にコピー・配布する。</p> <p>メッセージ 大学で学ぶために必要な日本語の訓練を楽しみながらやりましょう。</p> <p>教官連絡先 k-shoko@yamaguchi-u.ac.jp 電話 (933)5562 研究室: 経済学部 C103 室 魅樫次 斃貌 隠柑 械以 腺隠胸</p> <p>備考 上級レベル・1 3 A と 1 4 A の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 1 3 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	赤木 弥生				
備考 上級レベル					

開設科目	日本語 1 4 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	林伸一				
<p>授業概要 学部あるいは大学院の授業で必要とされる日本語を学ぶ。学部・大学院への橋渡しとなるような知識・技能を身につける。</p> <p>授業一般目標 日本語の知識・運用能力だけでなく、日本事情の要素も学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席を重視し、授業内レポートなどの課題で成績を評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：「日本語表現法」翰林書房</p> <p>メッセージ 楽しく、役に立つ日本語を勉強しよう！</p> <p>教官連絡先 木曜 10:30 - 12:00</p> <p>備考 上級レベル・13 A と 15 A の同時受講が望ましい</p>					

前期 - 一般教養教育

開設科目	哲学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	木曜日 3・4 時限
担当教官	脇條靖弘				
<p>授業概要 この授業では、現代論理学の初歩を学習します。論理学において、われわれは、自分が正しいと考える判断をどのようにして擁護すればよいか、あるいは、自分が間違っていると考える判断をどのように批判すればよいかを学ぶことができます。そして、このことは、当然ながら、どの学問分野においてもとても重要なことです。</p> <p>授業一般目標 現代の論理学で用いられる代表的な記号の意味、命題論理の基本を理解すること。さらに、できればより一般的な演繹の方法としての量化理論まで進みたいと考えています。</p> <p>教官連絡先 人文学部 tel: 933-5222 e-mail: yasu@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	哲学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	金曜日 5・6 時限
担当教官	青山拓央				
<p>授業概要 時間、自由、可能性についての哲学的問題を扱います。そのための思考実験としてタイムトラベルを取り上げますが、内容はかなり「真面目」ですので、自分自身で問題を考え、それを文章化することの嫌いな学生には受講を勧めません。提出レポートの採点基準はやや高めです。受講希望者多数の場合は、着席順などをもとに受講制限をする場合があります。</p> <p>授業一般目標 時間、自由、可能性についての哲学的問題を知り、そこから学生自身で考えを進めることを目標としています。小論文（レポート）執筆のための、簡単なアドバイスも行ないます。</p> <p>成績評価方法（総合） 提出レポートをもとに評価を行ないます。採点基準はやや高めです。レポートの具体的な提出方法については、授業中に説明します。</p> <p>教科書・参考書 参考書：哲学の謎（新書）、野矢 茂樹、講談社、1996年；翔太と猫のインサイトの夏休み、永井 均、ナカニシヤ出版、1995年；論文の教室 レポートから卒論まで、戸田山 和久、日本放送出版協会、2002年；教科書ではありませんが、興味のある学生には一読を勧めます。三冊とも対話形式で書かれており、読みやすいです。講義内容に関わる専門書については、講義中に随時紹介します。</p>					

開設科目	倫理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	古荘真敬				
<p>授業概要 「すでに何年も前に私は気づいた。若い頃から私は、多くの虚偽を、真実として受け入れてしまっている。その後その上に築き上げてきたものは、どれもみな疑わしい。だから、一生に一度は、すべてを根こそぎに覆して、最初の土台から新たに始めなければならない、と。」このように書きはじめられるデカルトの『省察』(1641年)は、今日なお、私たちが自己の「生きる道」の究極的根拠を自らの思考によって問い求めようとする際、重要な示唆を与えてくれます。この授業では、この古典的テキストの内容をできるだけ分かりやすく紹介しながら、各々の私 の場から開始しうる倫理的思索の臨界点を探ることを試みます。</p> <p>授業一般目標 1.あなたが、あなた自身の私 の場から、強靱な倫理的思索を立ち上げることができるようになること。2.デカルト的な省察の要点を理解できるようになること。3.「人格」や「人権」といった政治的概念の哲学的な基礎についても批判的に考察できるようになること。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内レポートと期末レポートで評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書:『省察』,デカルト,ちくま学芸文庫,2006年;『省察、情念論』,デカルト,中公クラシックス,2002年;『方法叙説、省察』,デカルト,白水社,1991年;『省察』の邦訳テキストを、とりあえず一冊、用意しておいてください。どの邦訳を選ぶかは、お任せします。/参考書:『デカルト=哲学のすすめ』,小泉義之,講談社現代新書,1996年;『デカルト「われ思う」のは誰か』,斎藤慶典,日本放送出版協会,2003年;『デカルト的省察』,フッサール,岩波文庫,2001年</p> <p>メッセージ 履修希望者が一定限度数(150名程度)を超えた場合は、初回の授業時間中にレポートを書いてもらい、その成績で履修者を決定します。したがって、初回には必ず出席してください。</p> <p>教官連絡先 furusho@yamaguchi-u.ac.jp 毎週水曜日 12:50~14:20</p>					

開設科目	倫理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	波多江忠彦				
<p>授業概要 人間は「社会的存在」である限り、親・兄弟と言った身近な人間だけでなく全くの他人とも平和で安定した社会生活を維持し発展させるために共存の規範すなわち、倫理を必要としている。しかし、その倫理は社会や環境の変化に即応したモノでなければならない。そのためには、たんに既存の知識/情報の収集だけではなく、それらの根拠や限界(効用を含む)を批判的に検討/論及することが必要である。倫理的諸問題の中から具体的な事例として生命倫理の諸問題(たとえば、クローン、生殖補助医療、ターミナルケア、臓器移植など)を採り上げる。</p> <p>授業一般目標 現代の諸科学の発展、進化(?)はめざましい。中でも生命操作技術にまで展開された先端医療技術には目を見張るモノがある。もはや単にバラ色の未来を切り開く科学の進歩、進化を肯定的にのみとらえることはできないのではなからうか?わたしたち自身の「命」を含め「世界」はどのような未来に向かって進んでいるのだろうか?自分自身の信念なり確信は何処に、また何に根ざしているのか、を検討することを通じて、問題の所在を明らかにし、できることならそれらにかんする「問題解決的思考法」を習得すること、が本講義の目標である。</p> <p>成績評価方法(総合) 主としてペーパーテストの結果で行う(75%)が、講義中に提示するテーマに関するレポート(15%)や抜き打ち的な出席調査(10%)を併せて総合的に判断する。なお、云々までもなく講義中の私語は厳禁で、注意喚起にも応じない場合は退席を願うこともあり得ます。</p> <p>教科書・参考書 教科書:倫理学をはじめよう:論理学からおむつ体験まで,"波多江忠彦,波多江伸子,林大悟著",木星社,2003年;倫理学をはじめよう-論理学からおむつ体験まで,波多江/林他編著,木星舎,2003年/参考書:『生命医学倫理』,ピーチャム・チルドレス 永安・立木訳,成文社;『生命倫理学を学ぶ人のために』,加藤・加茂編,世界思想社;生命倫理学の基礎,R.M.ヴィーチ,メデイカ出版,2004年</p> <p>メッセージ 出席/レポートは抜き打ち的な2回で評価 講義中の私語厳禁</p> <p>教官連絡先 E-メール t.hatae158@jcom.home.ne.jp</p>					

開設科目	倫理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	波多江忠彦				
<p>授業概要 人間は「社会的存在」である限り、親・兄弟と言った身近な人間だけでなく全くの他人とも平和で安定した社会生活を維持し発展させるために共存の規範すなわち、倫理を必要としている。しかし、その倫理は社会や環境の変化に即応したモノでなければならない。そのためには、たんに既成の知識 / 情報の収集だけではなく、それらの根拠や限界（効用を含む）を批判的に検討 / 論及することが必要である。倫理的諸問題の中から具体的な事例として生命倫理の諸問題（たとえば、クローン、生殖補助医療、ターミナルケア、臓器移植など）を採り上げる。</p> <p>授業一般目標 現代の諸科学の発展、進化（？）はめざましい。中でも生命操作技術にまで展開された先端医療技術には目を見張るモノがある。もはや単純にバラ色の未来を切り開く科学の進歩、進化を肯定的にのみとらえることはできないのではなからうか？わたしたち自身の「命」を含め「世界」はどのような未来に向かって進んでいるのだろうか？自分自身の信念なり確信は何処に、また何に根ざしているのか、を検討することを通じて、問題の所在を明らかにし、できることならそれらにかんする「問題解決的思考法」を習得すること、が本講義の目標である。</p> <p>成績評価方法（総合） 主としてペーパーテストの結果で行う（75%）が、講義中に提示するテーマに関するレポート（15%）や抜き打ち的な出席調査（10%）を併せて総合的に判断する。なお、云うまでもなく講義中の私語は厳禁で、注意喚起にも応じない場合は退席を願うこともあり得ます。</p> <p>教科書・参考書 教科書：倫理学をはじめよう：論理学からおむつ体験まで、”波多江忠彦、波多江伸子、林大悟著”，木犀社，2003年；倫理学をはじめよう—論理学からおむつ体験まで、波多江 / 林他編著，木犀舎，2003年 / 参考書：『生命医学倫理』，ピーチャム・チルドレス 永安・立木訳，成文社；『生命倫理学を学ぶ人のために』，加藤・加茂編，世界思想社；生命倫理学の基礎，R.M. ヴィーチ，メデイカ出版，2004年</p> <p>メッセージ 出席 / レポートは抜き打ち的な 2 回で評価 講義中の私語厳禁</p> <p>教官連絡先 E-メール t.hatae158@jcom.home.ne.jp</p>					

開設科目	生命倫理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	谷田憲俊				
<p>授業概要 医療には医学で解決できない諸問題が存在することを理解し、自らが考えて判断できる基礎を築くことを目的とする。そのため、授業では生命倫理・医療倫理に関する様々な課題を提供し、多様な視点からの議論を紹介する。学生には、それぞれについて意見を求め、討論をしながら授業を進めていく。さらに、課題についてのレポートを求め、自己の考えを整理しながら生命倫理に関する素養を修得できるようにする。</p> <p>授業一般目標 生命倫理の諸問題について自らが考え・判断する能力を養い、真に人間的な幸福・豊かさを探求するための「礎」を築く。</p> <p>成績評価方法（総合） 出席点 40%、レポート点 20%、試験結果 40%</p> <p>教科書・参考書 教科書：インフォームド・コンセント その誤解・曲解・正解，谷田憲俊，NPO 医薬ビジネスセンター，2006年 / 参考書：幸せをよぶコミュニケーション，ジャック・サロメ，行路社，2004年；患者の権利，ジョージ・J・アナス，明石書店，2007年；講義資料はプリントとしては用意しないが、PowerPoint ファイルとして予め学生に e メールで送付することができる。</p> <p>メッセージ PowerPoint ファイル講義資料を希望する学生は、tanida@yamaguchi-u.ac.jp までメールすること。なお、ファイルが大きいので、大学のアドレス以外には送れない。また、さかのぼっての送付はしないし、講義終了とともに、この受付は停止するので、試験前になってから得ることはできないので留意すること。</p> <p>教官連絡先 tanida@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	生命倫理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	村瀬ひろみ				
<p>授業概要 近年、科学技術の発展とともに、医療をめぐる技術にも大きな変化があります。また、病気の種類や治療に対する考え方も変化してきました。従来の「おまかせ医療」では、解決できない問題が出てきています。本授業では、脳死・臓器移植や、高度生殖医療などの最先端技術について倫理問題としての側面からアプローチします。医療者としてではなく、一般の医療サービスを受ける人としての立場から、技術内容、問題点を理解できるようにします。(もちろん、医療関係者の卵の方も大歓迎です)</p> <p>授業一般目標 近年、激動の医療現場では、さまざまな利害が衝突し、また、価値を伴う判断を迫られることになってきました。そのような場合に、判断の根拠となるものが「倫理」です。本講では、生命や医療にまつわる生命倫理学の立場から、さまざまな医療環境における問題を考える力を養うことを目的とします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 基本的に、ペーパー試験のみとする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義中に指示。プリントも使用予定。 / 参考書：医療倫理 I・II, グレゴリー・E・ペンス, みずす書房, 2000 年; 医の倫理, H・プロディ, 東京大学出版局, 1983 年; 私的所有論, 立岩真也, 勁草書房, 1997 年; 毎回、参考書を指示する。</p> <p>メッセージ 意欲的な取り組みを期待しています。</p>					

開設科目	生命倫理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 2 年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	谷田憲俊				
<p>授業概要 医療には医学で解決できない諸問題が存在することを理解し、自らが考えて判断できる基礎を築くことを目的とする。そのため、授業では医療に関する様々な課題を提供し、多様な視点からの議論を紹介する。学生には、それぞれについて意見を求め、討論をしながら授業を進めていく。さらに、課題についてのレポートを求め、自己の考えを整理しながら生命倫理に関する素養を修得できるようにする。</p> <p>授業一般目標 医療について自らが考え・判断する能力を養い、真に人間的な幸福・豊かさを探求するための「礎」を築く。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席点 40 %、レポート点 20 %、試験結果 40 %</p> <p>教科書・参考書 教科書：インフォームド・コンセント その誤解・曲解・正解, 谷田憲俊, NPO 医薬ビジランスセンター, 2006 年 / 参考書：幸せをよぶコミュニケーション, ジャック・サロメ, 行路社, 2004 年; 患者の権利, ジョージ・J・アナス, 明石書店, 2007 年; 講義資料はプリントとしては用意しないが、PowerPoint ファイルとして予め学生に e メールで送付することができる。</p> <p>メッセージ PowerPoint ファイル講義資料を希望する学生は、tanida@yamaguchi-u.ac.jp までメールすること。なお、ファイルが大きいので、2M ほどの容量を要する。また、さかのぼっての送付はしないし、講義終了とともに、この受付は停止するので留意すること。</p> <p>教官連絡先 tanida@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	宗教学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	岡村康夫				
<p>授業概要 日本人の宗教観・宗教意識について学ぶ。</p> <p>授業一般目標 古代から近代に到る日本人の宗教意識について、神話や儀礼や習俗あるいは仏教との関わりを通してを学ぶ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎回の授業についての理解度を見るレポートと最終試験によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本人の宗教意識，湯浅泰雄，講談社学術文庫，1999 年</p>					

開設科目	日本史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	木部和昭				
<p>授業概要 テーマ：近代山口県産業史 本講義では、近代（明治～昭和戦前期）における山口県の諸産業の歴史について取り扱う。明治維新以後、日本が国を挙げて殖産興業政策を推し進め、産業革命を達成するなど近代化・工業化に成功したことは周知の事実である。では、明治維新発祥の地の一つである長州、すなわち山口県地域においては、それはどのような形で進行していったのであろうか。本講義では、江戸時代以来の在来産業から、洋式技術導入によって成立した近代工業までを視野に入れつつ、近代化・工業化が地域経済に及ぼした影響について言及し、あわせて山口県産業・工業の現状を規定する歴史的要因に関しても考察を加えてみたい。</p> <p>授業一般目標 ・近代における日本史の流れを復習しつつ、より踏み込んだ大学レベルの日本史について学ぶ。・山口という地域に対する理解を深める。・歴史が現在の我々の生活と深く関わっている事を認識させる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 学期末試験は論述形式。講義中、数回程度のレポートを課す。期末試験 65 %、小レポート 20 %、出席 15 % (ただし、出席状況によっては、この基準に関わりなく不合格となる場合がある)</p> <p>教科書・参考書 教科書：テキストは特に指定しない。資料プリントを毎回配布する。 / 参考書：山口県の百年，小川国治・河村乾二郎・日野経彦・梅村郁夫，山川出版社，1983 年；参考文献については、講義の中で適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 山口県の土地勘のない人は、適当な山口県地図などを入手した方が、講義を理解する上で役立つと思われる（特に 1 年生）</p> <p>教官連絡先 経済学部 C207 研究室 内線 5566 E-mail ; kibe@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	東洋史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	滝野正二郎				
<p>授業概要 前近代の東アジア世界を律する秩序であった冊封体制を理解し、「中世」におけるその変質と、近代における西洋出自の世界システムとの齟齬、それへの併呑に言及する。</p> <p>授業一般目標 東アジア世界伝統の秩序体系を理解することによって、現代の国家観・国際体系を相対化する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験によって評価する。出席は欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：なし。授業中に適宜プリントを配付する。/ 参考書：中国古代国家と東アジア世界、西嶋定生、東京大学出版会、1983年；中国と古代東アジア世界、堀敏一、岩波書店、1993年；朝貢システムと近代アジア、濱下武志、岩波書店、1997年；現代中国の構図、諏訪哲郎編、古今書院、1987年；東アジア近現代史、上原一慶、桐山昇、高橋孝助、林哲、有斐閣、1990年；朝鮮史、武田幸男、山川出版社、2000年；中国の歴史(10) ラストエンペラーと近代中国、菊池秀明、講談社、2005年；世界の歴史19、並木頼寿、井上裕正、中央公論社、1997年</p> <p>メッセージ 第一回授業の受講者が150人を超過した場合は抽選によって受講を制限する。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文学部 517号室、電話：内線 5229、メール：stakino@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：木曜日 5/6 時限</p>					

開設科目	東洋史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	横田伸子				
<p>授業概要 この授業では、日韓関係史について、「ナショナリズム」をキーワードにして講義します。近年、文化交流を中心に日韓交流はますます盛んになり、政治経済的にも両国は互いに切っても切れない関係にあります。しかしながら、一方で、両国の間には、「歴史問題」や日本による植民地支配の清算の問題が横たわり、しばしば、些細なことから「反日感情」や「嫌韓感情」が噴出します。この授業では、こうした両国間の感情的軋轢がなぜ起こるのかを、歴史的に考えていきたいと思えます。</p> <p>授業一般目標 「ナショナリズム」とは何かをいろいろな側面から、歴史的に考察します。とくに欧米社会と比べることで、日韓の「ナショナリズム」の特徴を浮き彫りにしていきます。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 試験とレポート、講義の内容に関する質問や意見などを総合的に判断する。2. 出席を重視する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：和解のために、朴裕河、平凡社、2006年</p> <p>メッセージ 「韓流」ブームとは違って、重い問題を扱いますが、自分自身にひきつけて考えながら授業に臨むことを期待します。</p> <p>教官連絡先 e-mail address: ynobuko@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	西洋史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	藤永康政				
<p>授業概要 歴史学は暗記ではなく、解釈の技芸 = アートである。この授業では、1960 年代後半よりアメリカ史の叙述の中心のひとつになってきた、アメリカ黒人の通史を概観する。最初に新大陸にアフリカ人が住み始めてから、現代までの概史を取り扱う。</p> <p>授業一般目標 ・歴史学の方法論について理解を深める。 ・今日の歴史学が進んでいる方向への理解を深める。 ・アメリカ社会への理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 数回に一度の割合で質疑応答の回を設けるが、質問の内容も成績考課の対象とする</p> <p>教科書・参考書 教科書: モハメド・アリとその時代, マイク・マークシー, 未来社, 2001 年 / 参考書: 放たれた火炎のあとで, ウォルター・モズリー, プルース・インターアクションズ, 2004 年; アメリカ, 自由の名のもとに, ナット・ヘントフ, 岩波書店, 2003 年; マルコム X・ワールド, 径書房編, 径書房, 1993 年</p> <p>メッセージ 高校で世界史を履修しなくても授業内容は理解できるが、「世界」に対する関心がある学生の受講が望ましい。たとえば、「アメリカ南部」と「南アメリカ」の区別がつかない学生には、この講義の難度はかなり高いであろう。また、例年、ほかの授業での「抽選にはずれたから」という理由で受講を希望するものも多く見られるが、本講義の受講生には能動的に「考えること」や「疑問をもつこと」を要求するゆえに、今一度、ほんとうにこのテーマを学びたいのかを自問自答してほしい。受講にあたっての相談は下記連絡先に随時応じる。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: yfujinag@yamaguchi-u.ac.jp 水: 11 時 50 分から 12 時 50 分</p>					

開設科目	西洋史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	古賀大介				
<p>授業概要 みなさんは高校生時代、教科書に書かれている「歴史」は絶対的に正しいと習ってきたと思います。しかも、みなさんにとっての「歴史」は、暗記科目であったと思います。本講義では、こうした「常識」を突き崩すことから始めます。そして、西洋史・経済史をベースとしながら、歴史的な発想・考え方を養う訓練をしていきます。最終的には、今を、そしてこれからを生きる私たちに「歴史」(歴史的考え方)が、いかなる意味を持つのか、一緒に考えてみたいと思います。</p> <p>授業一般目標 1. 高校までに習った「歴史」に対するイメージを転換する。 2. 西洋史・経済史をベースとしながら現代社会・経済の様々な問題を相対化する眼を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席(コメント票に対する評価)と、定期試験の総合評価となります。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 毎回オリジナル・レジュメを配布する / 参考書: あなたが歴史と出会うとき, 堺憲一, 名古屋大学出版会, 1989 年</p> <p>メッセージ 本講義は、ある一つのテーマ・専門領域を深く追求するといったスタイルの講義と異なります。テーマ追求型の講義スタイルを期待する方はご遠慮ください。頭が固い人、講義はこうあるべきだという固定観念がある人にもお勧めできません。ただ、暗記が苦手だけど歴史は好きだという人、世の中の仕組みを真剣に知りたい人は、ぜひ受講してみてください。本講義では、史実の紹介よりも「歴史的」考え方の紹介に力点が置かれます。応募者多数の場合、やる気と 1. 経済学部 > 2. 人文学部・教育学部 > 3. 理学部・医学部・工学部・農学部の順での選抜となります。今年は、昨年までと異なり文系学部を優先します。</p> <p>教官連絡先 経済学部 A208(古賀研究室)</p>					

系列 一般教養教育

分野 思想と歴史

科目類型 総説

開設科目	西洋史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	水曜日3・4時限
担当教官	眞木利江				
<p>授業概要 近代建築の史的展開を概観し、各時代の建築が成立した背景、建築家の設計理念、建築理論、および空間構成の手法を解説する。</p> <p>授業一般目標 (1)近代建築の史的展開を理解する。(2)各時代の建築が成立した背景、建築理論、空間意味を理解する。(3)建築家の設計理念、空間構成の手法を理解する。(4)空間デザインに対する認識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布。/ 参考書：近代建築史図集, 日本建築学会編, 彰国社, 1976年; 近代建築史, 桐敷真次郎, 共立出版, 2001年</p> <p>メッセージ 建築に関心を持つ学生の受講を希望する。</p>					

系列 一般教養教育

分野 思想と歴史

科目類型 総説

開設科目	漱石の思想 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2単位	曜時限	水曜日3・4時限
担当教官	村上林造				
<p>授業概要 近代思想家としての夏目漱石の生涯をたどり、彼の思想展開の過程を追跡する。</p> <p>授業一般目標 近代社会の問題点と課題に対し、漱石の思想がどのような意味をもつのかを理解する。</p>					

開設科目	仏教入門	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	金曜日 5・6 時限
担当教官	柏木寧子				
<p>授業概要 - 仏教入門 - 一冊の入門書を読み進めながら、仏教とは何か、その開祖・教説・教団について知り、理解することをめざします。仏教は日本の文化・習俗の一部として私達にとって身近な存在です。しかし、改めて仏教とは何かといったら、意外に基本的なことも知らない方が多いのではないのでしょうか。テキストはとくに、超人格神化・偶像化される以前の釈迦仏にさかのぼり、釈迦仏が何を思い、何を人々に教えたか、明らかにしようとしています。釈迦仏の新たな姿に出合っていくことをめざします。</p> <p>授業一般目標 仏教が何を問い何を実践してきたか、最も基本的な点を知り、理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 授業内の小レポート(論理的な思考と文章表現、および問いに対する主体的な取り組みの姿勢を求めます)。(2) 期末試験(基本的知識の習得を求めます) なお、出席が所定の回数に満たない場合は期末試験を受けることができません。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 『仏陀のいいなかったこと』講談社学術文庫 1422, 田上太秀, 講談社, 2000 年; 文栄堂山口大学前店にて販売。定価 924 円。</p> <p>メッセージ 初回授業には必ず出席して下さい。</p> <p>教官連絡先 人文学部 4 階 410 号室 kashiwg@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	日本文学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	平野芳信				
<p>授業概要 学生諸君は小説や映画(あるいは漫画、テレビドラマ)なども読んだり観たりして、この話どこかでみたこと(聞いたこと)があると思ったことはないだろうか。それは二つあるいは三つ以上の作品の間に、共通する構造(ストラクチュア)があるためなのだ。今回は現代作家、村上春樹を中心に《最初の夫の死ぬ物語》とでもいうべき、一連のテキスト群の偶然とは思えぬ類縁関係について考察し、芸術にとって独創性とはいったい何であるかという難問(アポリア)に迫りたい。</p> <p>授業一般目標 芸術表現における独創性と模倣という問題を考え始める端緒となることを目標としています。</p> <p>成績評価方法(総合) 適宜与える課題に対する提出物で評価します。なお、出席は欠格条件とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 村上春樹と《最初の夫の死ぬ物語》, 平野芳信, 翰林書房, 2001 年 / 参考書: 適宜紹介します。</p> <p>メッセージ 講義で扱う作品については、映像作品に関しては、授業中に出来るだけ鑑賞に機会を与えますが、以下に示す作品については、事前に読んでおくことを期待します。村上春樹『風の歌を聴け』『螢』『ノルウェイの森』、紡木たく『ホットロード』、高橋留美子『めぞん一刻』、あだち充『タッチ』、夏目漱石『こゝろ』、岩井俊二『ラブレター』</p> <p>教官連絡先 追って連絡します。</p>					

開設科目	言語学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	平野尊識				
<p>授業概要 『「言語と文化」の関係を考える』というタイトルで、言語と文化のそれぞれについてその本質を探究し、両者の関係について考察する。一般に「言語と文化は密接に関係する」と考えられがちであるが、果たしてそうなのか。つまり「言語と文化」の関係について再検討を行うが、重要なのは「どのような方法によって第三者を納得させる」ことができるかということである。一般論ではなく、専門家的な意見を展開してもらおう。</p> <p>授業一般目標 常識的な議論ではなく、学問的な、もっと明確に言うならば「科学的な考察」を学生には求めたい。学生に身近な「言語」と「文化」を対象としたのもそのためである。更に、両者の関係について客観的な意見を提示できるか、その能力を身につけさせたい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 学生には大学での「学問」への第一歩である。その意味で、厳しく評価する。最後に試験を予定しているが、途中で小テストを実施したり、レポートの提出を求める。回数その他については、状況を見ながら判断する。</p> <p>メッセージ 甘えてはいけません。授業の進め方から、大勢の学生に門戸を開放することはいたしません。厳格な方法に基づいて、受講生の人数を制限します。</p> <p>教官連絡先 人文6 F, Office Hour については未定です。</p>					

開設科目	芸術史 (美術史)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	吉田貴富				
<p>授業概要 【内容】造形表現を絵画作品を中心として美術史的に概観する。必ずしも通史的な扱いはしない。【留意事項】第2週からの受講はお断りします。シラバスをよく読んでこの授業が自分に合っていないと思う方は受講しないで下さい。楽しくかつ厳しく授業を進め、お互いが不快な思いをしないようにしようと思っています。高校までの美術の経験や知識は問いません。それよりも現時点での美術に関する興味・関心・意欲を求めます。遅刻をしないという基本的な生活習慣も必要です。受動的に講義を聴くだけではありません。こちらが提示する作品について「あなたの考え」を話してもらいます。できるだけ対話的に進めて行こうと思っています。ほぼ毎回課題を出します。教室の容量に応じて受講者数を制限します(方法はくじ引き)。初心者(?)向けの授業です。人文学部や教育学部で美術を専攻している方には物足りないと思います。受講態度について具体的に指摘しなければ分からない学生が多いので、ここに一部記しておきます。飲食・私語・携帯電話は厳禁。教室内では原則として帽子は脱いで下さい。人と話す際にはオーディオのイヤフォンを外して下さい。遅れて教室に入る場合は静かに歩くこと。授業が始まってから教卓前(授業者と受講者の間)を通らないこと。眠かったり体調が優れなかったりして机に伏せなければいけないような状態ならば、欠席して自宅で寝て下さい(退出してもらいます)。課題等提出物は、所定の形式を守れない物は受け取りません。出席確認や課題提出に不正があった場合には、不正を依頼した側と依頼されて実行した側の双方の受講資格と受験資格が失われます。</p> <p>授業一般目標 造形表現を美術的に理解する。美術作品を主体的に鑑賞する力を高める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 一応、下記のような評価方法を考えているが、授業の状況に応じて変更もあり得る。授業は生き物である。変更も含めて、最終的な評価の割合については、最終回の授業で説明する。遅刻は10分までは認める。それ以降の入室はお断りする(=欠席)。欠席は理由を問わず3回までは認める。4回以上欠席すると受験資格を失う。出席状況は「欠格条件」でもあるが、当然のことながら「授業態度・授業参加度」としても勘案する。</p> <p>教科書・参考書 教科書:『図説 名画の歴史』, 西岡文彦, 河出書房新社, 2001年; 定価1890円 / 参考書: 必要に応じて授業の中で適宜紹介する。</p> <p>教官連絡先 研究室:教育学部南棟2階 電話&FAX:083-933-5372 E-mail:takatomi@yamaguchi-u.ac.jp メール送付の際「件名」に「授業科目名」か「自分の所属・氏名」を明記すること。見知らぬアドレスからの件名の無いメールは開かないことにしています。 オフィースアワーは設けません。連絡を取ってから訪ねてくれるのが確実ですが、通りすがりにノックしてくれても構いません。</p>					

系列 一般教養教育

分野 ことばと芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術実践(美術)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2単位	曜時限	金曜日7・8時限
担当教官	中野良寿・河野令二				
<p>授業概要 美術の分野の中で、絵画、工芸の制作と、鑑賞をとおして、美術分野の一端を理解する。絵画の分野では描写や彩色の実技をとおして絵画表現の手法を習得する。工芸の分野では竹による工芸制作をとおして、その手法を習得するとともに竹の造形文化について学ぶ。</p> <p>授業一般目標 (1) 絵画の分野では描写や彩色の実技をとおして絵画表現の手法を習得する。(2) 工芸の分野では竹によるものづくりと竹の造形文化について理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 授業態度、授業への参加度 30% (2) 受講者の制作作品 30% (3) 出席 40%</p>					

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	法学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(経除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日7・8時限
担当教官	柳澤旭				
<p>授業概要 この講義は、法律に関する基本的な用語・概念を理解すると共に、社会においてどのような法律が存在し機能しているかを説明することにより、教養としての法律学(経済社会における法的問題に対する処理能力)の基礎を学習する。</p> <p>授業一般目標 法学の基本的な考え方、概念、実定法の体系等について理解することを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験(短答式)による。各回の講義内容から必ず1問以上出題する。</p> <p>メッセージ 法学は無味乾燥であり、最初は知識を習得することから始まります。授業に出席し真面目に講義を聴くこと。全てはそこから出発です。</p>					

開設科目	法学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(経除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	平中貫一				
<p>授業概要 法学の基礎として民法を学ぶ。 授業一般目標 民法の基礎的知識の修得</p>					

開設科目	政治学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(経除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日 5・6時限
担当教官	渡辺幹雄				
<p>授業概要 本講義では、政治学の基本的な問題について、さまざまな観点から考察する。物事の善悪を問う規範的な視点、事象に即してその分析を試みる実証的な視点を織り交ぜながら、政治学(国際関係を含む)のメイン・トピックスについて、複合的なアプローチを試みる。政治学は本来総合的な学問であるから、取り上げる問題に応じて、広く他の学問領域にも言及する。</p> <p>授業一般目標 第一に、さまざまな出来事の中で、それをとくに「政治的」にしている要因は何なのか、すなわち、政治学とは何を扱う学問であるのかを明らかにし、そこに現れるいろいろな概念(キーワード)の意味を理解した上で、それを現実の政治現象に適用できる能力を養う。最終的には、さまざまな政治概念の由来、変容、意義をふまえて、みずからの政治的アイデンティティを問えるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末に行われる試験によって、さまざまな観点から総合的に判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：とくに指定しない。/ 参考書：講義中に適宜指示する。</p> <p>メッセージ 自分自身の頭で考えることを心がけてください。</p> <p>教官連絡先 研究室：経済学部3階、オフィスアワー：授業終了後</p>					

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	経済学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(経除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日 1・2時限
担当教官	馬田哲次				
<p>授業概要 GDP(国内総生産)や物価水準がどのように決まるか、また、経済政策によりそれらがどう変化するか現実的なモデルに基づいて分析します。</p> <p>授業一般目標 1.投資が景気を左右する上で重要な役割を果たしていることを理解すること 2.財市場、労働市場、預金市場、貸付市場、国債市場について理解すること 3.それらの市場の関連について理解すること</p> <p>成績評価方法(総合) 期末テストを中心に、出席と授業中の発表を加味して成績を評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 経済学, 馬田哲次, 自費出版, 2008年</p> <p>メッセージ 難しくはないですが、数式とグラフを使います。</p> <p>教官連絡先 umada@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	経済学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	経	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	米谷健司				
<p>授業概要 「経済学」は、経済学部1年生の必修科目です。この授業は、それぞれの学科に所属する教員が各学科で学ぶこと、あるいは自らの専門領域のエッセンスをリレー形式で講義してもらいます。それを通じて、1年生の皆さんが、2年生から本格的に行うことになる専門的な学習・研究にスムーズに移行するための下準備をすることがこの講義の目的です。また経済学部には、現在、経済、経営、国際経済、経済法、観光政策の計5つの学科が設置されています。今後、2年生以降皆さんが所属することになる学科の振り分けを、1年生後期に行います。学科の選択は、経済学部において行う学業の内容を左右するものであり、とても重要です。この講義を通じて、それぞれの学科でどのようなことが学べるのかを積極的に知り、皆さんが学科を選択する際の材料にしてもらいたいと考えています。</p> <p>授業一般目標 経済学部における専門教育とはどのようなものか、そこでは、いったい何が学べるのかを具体的内容を通じて知り、考えてもらえるようになることがこの講義の目標です。</p> <p>成績評価方法(総合) 1年生全員の必修科目であり、専門教育への橋渡しという位置づけから、成績評価については、授業の出席は必須です。遅刻者は欠席とみなします。また風邪や家庭の事情等で遅刻・欠席した者に対して、救済することはありません。また出席に加えて、学科ごとにレポート課題を出してもらいます。したがって、5つの課題が出されることとなりますが、そのうちの2つを選択し、レポートを採点して評価を行います。なお、欠席とみなされたにもかかわらず出席を認めるようにしつつこく主張したり、講義を妨害するなど、担当教員の指示に従わない学生には単位を認定しませんので、ご注意下さい。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 特に指定しない。/ 参考書: 必要に応じて指示する。</p>					

開設科目	経済学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	齋藤英智				
<p>授業概要 「経済学」は、経済学部 1 年生全員の必修科目です。この授業は、それぞれの学科に所属する教員が各学科で学ぶこと、あるいは自らの専門領域のエッセンスをリレー形式で講義してもらいます。それを通じて、1 年生の皆さんが、2 年生から本格的に行うことになる専門的な学習・研究にスムーズに移行するための下準備をすることがこの講義の目的です。また経済学部には、現在、経済、経営、国際経済、経済法、観光政策の計 5 つの学科が設置されています。今後、2 年生以降皆さんが所属することになる学科の振り分けを、1 年生後期に行います。学科の選択は、経済学部において行う学業の内容を左右するものであり、とても重要です。この講義を通じて、それぞれの学科でどのようなことが学べるのかを積極的に知り、皆さんが学科を選択する際の材料にしてもらいたいと考えています。</p> <p>授業一般目標 経済学部における専門教育とはどのようなものか、そこでは、いったい何が学べるのかを具体的内容を通じて知り、考えてもらえるようになることがこの講義の目標です。</p> <p>成績評価方法（総合） 1 年生全員の必修科目であり、専門教育への橋渡しという位置づけから、成績評価については、授業の出席は必須です。遅刻者は欠席とみなします。また風邪や家庭の事情等で遅刻・欠席した者に対して、救済することはありません。また出席に加えて、学科ごとにレポート課題を出してもらいます。したがって、5 つの課題が出されることとなりますが、そのうちの 2 つを選択し、レポートを採点して評価を行います。なお、欠席とみなされたにもかかわらず出席を認めるようにしつつこく主張したり、講義を妨害するなど、担当教員の指示に従わない学生には単位を認定しませんので、ご注意ください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない。 / 参考書：必要に応じて指示する。</p>					

開設科目	社会学（人権・ジェンダー・人間環境論）	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	鍋山祥子				
<p>授業概要 人間は社会的動物である。この世に生まれ落ちた瞬間、いやそれ以前より、私たちは「関係性」の中で生きている。「わたくし個人」という存在は「自分ひとり」のことを指すようでもあり、しかしその個人を存在せしめているものは「関係性」以外の何ものでもない。この関係性を基本的な視点として、講義では毎回異なる身近なテーマを設定する。 私たちがこれまで「当たり前」のこととして受け容れてきた事象を社会的に考察すると、そこにはどのような意味世界が広がっているのだろうか。 テーマは、社会学とは何か・自分とは何か・家族とは何か・ジェンダーとは何か・労働とは何か・恋愛とは何か・共存（依存症）とは何か・感情とは何か・消費とは何か・高齢社会とは何か他である。</p> <p>授業一般目標 日常生活場面を社会的に考察することを通じて、「自分」というものがいかに環境によって定義されており、また「常識」だと思われてきたものがいかに「可変的」なものであるのかということに意識的になることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 出席と課題提出、学期末試験（授業内容を網羅した内容・論述あり・持ち込み不可）による総合評価。テキストを使用しない講義のため、出席を欠格条件とする。配点は、授業内外レポート 30 %・定期試験 70 %とする。ただし、定期試験の点数が 70 点満点中 35 点に満たない者は不可とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は用いず、テーマの理解を深めるために必要なデータ・資料については、プリントを配付する。 / 参考書：テーマの理解を深めるための参考文献については、授業中適宜提示する。</p> <p>メッセージ 講義内容を自分の生活に結びつけて思考する想像力が不可欠です。</p> <p>教官連絡先 E-mail : nabeyama@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：水曜日 10:00 - 11:00</p>					

開設科目	社会学(人権・ジェンダー・人間環境論)	区分		講義		開設期		前期	
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限				木曜日 5・6 時限	
担当教官	山本薫子								
<p>授業概要 社会学の代表的な理論の基礎を学ぶとともに、受講者にとって身近なテーマを事例として取り上げ、現代社会が直面しているさまざまな問題について理解を深める。</p> <p>授業一般目標 私たちが生きる現代社会が抱える問題・矛盾を改めてとらえなおし、そのうえで私たち一人一人が「社会」とどのようにつながっているのか、理解を深めることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験のほかにレポート課題、出席状況などを総計して評価する。なお、レポート課題未提出者、講義への未出席者は期末試験受験の資格を持たない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は特に定めない。必要に応じて随時、資料等を配布する。/ 参考書：社会学と過ごす一週間、ソシオロジスト編集委員会、学文社、2003年；社会学のあゆみ、新睦人他、有斐閣、1979年；社会学のあゆみ パート II、新睦人他、有斐閣、1984年；入門 グローバル化時代の新しい社会学、保坂稔 他、新泉社、2007年；社会学 [New Liberal Arts Selection]、長谷川公一他、有斐閣、2007年；必要に応じて随時、資料等を配布する。</p> <p>メッセージ 普段の生活を通じて見えてくる社会問題に敏感な目を養ってください。新聞や本を読み、TV ニュースを見て、考えることを生活のなかに取り入れましょう。講義中の私語、携帯電話使用(含メール)は厳禁、遅刻も同様。</p>									

開設科目	社会学	区分		講義		開設期		前期	
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限				水曜日 1・2 時限	
担当教官	辻正二								
<p>授業概要 現代の社会を理解するために社会学の基本的考え方を身につけるために、社会学の基本的な理論と現代社会が抱える諸問題を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 (1)社会学の基本的な考え方を身につける (2)社会学の理論や概念について学び、それを使って社会現象を説明・理解できるようにする (3)現代社会が抱えている諸問題を学び、理解できるようにする</p> <p>教科書・参考書 教科書：現代の社会的解読、山本努・辻正二・稲月正、学文社、2006年 / 参考書：プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神(岩波文庫；白(34)-209-3)改訳、マックス・ヴェーバー著；大塚久雄訳、岩波書店、1989年；社会理論と社会構造、ロバート・K. マートン [著]；森東吾 [ほか] 訳、みすず書房、1961年；ゲマインシャフトとゼゼルシャフト：純粋社会学の基本概念(岩波文庫)、テンニエス著；杉之原寿一訳、岩波書店、1957年；社会学概論(改版)、高田保馬著、岩波書店、1971年；M・ウェーバー「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」(岩波文庫) E・デュルケーム『自殺論』(中央公論文庫) G・ジンメル『社会学』(上・下)(白水社) R・K・マートン『社会理論と社会構造』(みすず書房) ミルズ『社会学的想像力』(紀伊國屋書房) C・H・クーリー『社会組織論』(青木書店) F・テンニエス『ゲマインシャフトとゼゼルシャフト』(岩波文庫) マッキーバー『コミュニティ』(ミネルヴァ書房) 高田保馬『社会学概論』(岩波書店)</p> <p>メッセージ 新聞を読む習慣をつけてください。そして、なぜそういう現象が起きたかを考える習慣も身につけてください。</p> <p>教官連絡先 人文学部辻研究室(309室)</p>									

開設科目	社会学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	林 寛子				
<p>授業概要 若者をめぐる身近なテーマを事例として、その現状や歴史的変容を検討し、個人と社会との関わりについて理解を深める。また、グループ討議や発表の機会を取り入れ、さまざまな視点に立った問題解決への考察を行う。</p> <p>授業一般目標 日常生活場面を社会的に考察することから、社会と個人の関わりの中で、個人がいかに環境によって規定されているのか把握し、社会問題をとらえて分析する視点を深められるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験 50% 授業内レポート(毎回提出) 25% グループ発表 25%</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書は特に定めない。テーマの理解を深めるために必要なデータ・資料についてはプリントを配布する。 / 参考書: 大衆教育社会のゆくえ, 荻谷剛彦, 中公新書, 1995年; 希望格差社会, 山田昌弘, 筑摩書房, 2004年; 若者が<社会的弱者>に転落する, 宮本みち子, 洋泉社, 2002年; テーマの理解を深めるための参考文献には授業中も適宜提示する。</p> <p>教官連絡先 hiroko.h@yamagushi-u.ac.jp 共通教育棟 4階 林研究室</p>					

開設科目	地理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	川村博忠				
<p>授業概要 近世以前の人々の地理的知識の程度や世界認識は東洋と西洋さらには各民族間においても相違があった。16世紀にはヨーロッパ人の大航海によって地理上の発見が相次ぎ、東洋との接触がはじまり、やがて地球的な世界認識が確立した。19世紀になると近代国家による科学的な測地事業が始まって世界の全体像が科学的に掌握されるに至る。すると世界を地図に統一的に表現するための長さの単位、本初子午線など国際的な基準づくりがはじまるなど、人類が科学的な世界知識を確立していく過程を学ばせる。</p> <p>授業一般目標 現在では地球の表面がほぼ正確に地図に描かれるに至っており、世界各地の地理情報を簡単に入手できる。しかし、ここに至るまで人類が地理的知識を拡大して、正確な地図を作り上げるには幾多の苦難の過程があったことを理解させる。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 地図と文化, 久武哲也, 地人書房, 2001年; 地図の歴史-世界図編-, 織田武雄, 講談社現代新書; 手持ちの世界地図帳の持参をのぞむ。</p>					

開設科目	地理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	木曜日 7・8 時限
担当教官	MIKHOVADIMITRINA JORDANOVA				
<p>授業概要 THIS COURSE IS TAUGHT IN ENGLISH. It focuses on Human Geography. Starts with the origins of humanity and its diffusion over the earth. Discusses agriculture and the emergence of civilizations. Special attention is given to Europe and the rise of today's global culture. The current global geography is discussed, considering some of the problems associated with it. Finally, landscapes around the world are examined, using the cultural-historical approach.</p> <p>授業一般目標 To learn to understand the processes that create the current human mozaic around the world.</p> <p>成績評価方法 (総合) Attendance: 10 % Oral presentation in English: 30 % (Oral presentation is possible only if the number of students in a class is no more than 40). Final test: 60 %. (If oral presentation is not possible, the final test will make 90 % of the total score).</p> <p>教科書・参考書 教科書: Study materials will be deposited online, accessible with the respective password. http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/didi/</p>					

開設科目	民俗学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	水曜日 1・2 時限
担当教官	湯川洋司				
<p>授業概要 この授業では、民俗学とはどのような学問であり、民俗学から何が分かるのか、ということを中心テーマとします。民俗学の基本的な重要概念を理解し、民俗学の領域における主要なテーマについて具体的に知り、知識を得ます。そのうえで、日本人が歩んできた生き方の具体例をいくつか紹介解説し、人が生きることの意味とその場について考察をして、これからの生き方について考えます。</p> <p>授業一般目標 1. どのようなものを民俗といい、それはどのような性質をもっているのかを理解する。 2. 民俗学とはどのようなことを考えようとする学問なのかを理解する。 3. 民俗と自分との関係について考えてみる。 4. これからの日本社会のあり方について、自分なりの見方や希望をもつことをめざす。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 出席は、毎回実施する小テストで確認します。 2. 出席が75%なければ期末試験の受験資格がありません。やむをえない欠席は届け出により認めます。 3. 成績は毎回の小テスト(50%)と期末試験(50%)により評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 用いない。必要な資料はプリントして配付する。 / 参考書: 日本民俗学概論, 福田アジオ・宮田登編, 吉川弘文館, 1983年; 現代民俗学入門, 佐野賢治ほか編, 吉川弘文館; その他の参考書は、授業中に随時紹介します。</p> <p>メッセージ 民俗学は高校までの教科にはありませんが、人間の文化や社会の成り立ちや性格について理解し、自分自身の足元を見つめようとしています。なお、受講希望者が多数の場合はやむを得ず選抜します。</p> <p>教官連絡先 yukawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 人文学部棟 2階 210号室。用事があるときは、いつでも随時訪ねください</p>					

開設科目	文化人類学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	北西功一				
<p>授業概要 文化人類学の基本概念である文化相対主義を具体例を交えながら学ぶ。具体例として取り上げるのは、アフリカ熱帯雨林地域に居住する狩猟採集民アカである。彼らの生業活動、社会組織、結婚、自然観など社会・文化全般にわたって説明する。</p> <p>授業一般目標 文化相対主義的な考え方で異文化を見ることができるようになる。また、社会においてさまざまな部分が相互に関係を持っていることを理解する。アフリカの人々に対する認識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末レポートと宿題の小レポート、授業中に課す小テストを合わせて評価する。特別な理由もなく5回以上欠席した学生は失格とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業ではプリントを用いる。 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/kitanisi/culture04/preface.html が教科書となっている。 / 参考書：講座生態人類学2 森と人の共存世界、市川光雄・佐藤弘明、京都大学学術出版会、2001年；ヒトの自然誌、田中二郎・掛谷誠編、平凡社、1991年；平等と不平等をめぐる人類学的研究、寺嶋秀明、ナカニシヤ出版、2004年；自然社会の人類学、伊谷純一郎・田中二郎、アカデミア出版会、1986年</p> <p>教官連絡先 kitanisi@yamaguchi-u.ac.jp 研究室 教育学部2階 266号室 オフィスアワー 随時</p>					

開設科目	文化人類学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	星野晋				
<p>授業概要 文化人類学は、「文化」を手がかりに人間についての理解を深めようとする学問分野である。国際化が進む現在にあって、私たちはグローバルかつ普遍的な論理と民族的・地域的固有性の折り合いをいかにつけるかという大問題に直面している。文化人類学的な視点と方法は、文化的多様性とどのように付き合っていくかを考える際の一つの手がかりとなると思われる。本講義では、ある意味で普遍的、ある意味で多様な「病気と医療」というテーマについて検討することを通して、文化人類学的な「ものの見方」とは何かなるものかを学ぶことを目標とする。また本講義は、文化人類学入門であると同時に、その下位分野である医療人類学入門として聞くこともできる。</p> <p>授業一般目標 人間を総合的に捉えようとするという文化人類学の基本的なものの見方とアプローチを理解する。文化的多様性に対する視点と態度を学び、加えて自分や身近な人の経験を文化人類学的アプローチを用いて考察できるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 出欠をかねた小レポート(遅刻は授業開始後30分まで、それ以降は欠席とする) 定期試験(論述形式)</p> <p>教官連絡先 hoshino@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：授業後(小串では水曜日午後)</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	永崎研宣				
<p>授業概要 リコールやトラブルの隠蔽、杜撰な品質管理、甘い見通しに頼ったシステム統合のトラブルや不正な会計処理など、現在の産業社会は、様々な倫理的問題を内に抱え込んでいる。多くのケースは技術的問題と密接に関連しており、技術者にとっての工学倫理という観点から捉えられる必要がある。しかしながら、こうした問題は、同時に、政治的・経済的、その他の様々な要因を含んだものであり、しばしばそうした様々なものが複雑にからみあっている。したがってそれは、技術者のみならず、そうした問題に関わるすべての人が倫理的問題として理解していく必要がある。本講義では、産業社会におけるこうした倫理的問題について、具体的な事例をとりあげながら考えていきたい。</p> <p>授業一般目標 講義における様々な事例の検討を通じて、倫理的問題に対して用意されている様々な基準や規制、制度等についての基本的な知識を身につけ、将来直面するであろう問題に対処していける力をつけてもらう。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業の中でレポートを課す。また、最後にも、理解度を確認するためのレポートを課す。なお、出席が所定の回数に満たない者は単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書： はじめての工学倫理第2版、齊藤了文、坂下浩司編、昭和堂、2005年； 齋藤了文 編『はじめての工学倫理』昭和堂</p> <p>メッセージ 混み入った問題をきちんと整理して考えていけるような基礎力を身につけましょう。</p> <p>教官連絡先 nagasaki@yup.jp</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	前期
対象学生	社建4年	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	古川浩平、河内義文				
<p>授業概要 土木・建築技術者に必須な技術者倫理観を会得する。</p> <p>授業一般目標 卒業研究を遂行するために必要となるレポート・発表の基本的なやり方を学ぶ技術者倫理について説明できる。本科目に対応する学習・教育目標は以下である。(C)実務への応用力と倫理観のある技術者を目指して以下の能力を身につける C-2 土木技術者の関与するプロジェクトが社会や自然環境に及ぼす影響を理解する能力(技術者倫理・環境倫理)</p> <p>教科書・参考書 教科書： 土木技術者の倫理, 土木学会, 2003年</p> <p>メッセージ この講義は学習教育目標 C-2「土木技術者の関与するプロジェクトが社会や自然環境に及ぼす影響を理解する能力」を身につけることを目的としており、技術者として必要な倫理観を養うことを目指します。</p>					

開設科目	社会福祉学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護・検査2年	単位	2単位	曜時間	金曜日 1・2時限
担当教官	三輪直之				
<p>授業概要 社会においては、さまざまな人びとの生活実態やニーズがあり、その生活を支えるしくみや取り組みもまた多様である。この授業では社会福祉の総論について講義するが、社会福祉は世相との関連が強いことから、特に社会福祉の変遷については、当時の世相や時代背景も交えて講義していく。また、わが国においては少子高齢化の一層の進展と共に福祉・医療・保健分野においてもさまざまな改革が行われており、なかでもそれらの統合・連携が注目されているところである。医療職として他の職種とどのような連携をとるべきかについても講義する。</p> <p>授業一般目標 社会福祉の基礎理念・歴史・思想等について学ぶ。現代における社会福祉およびその関連分野の諸問題を自ら発掘し考察していく力を身につけ、それら諸問題を医療職という立場からどのような視点で解決にあたるかについて学ぶ。福祉・医療・保健といった分野からのそれぞれのアプローチとそれらが統合された形での連携のありようについて学ぶ。</p> <p>教科書・参考書 教科書：系統看護学講座 社会保障と生活者の健康 社会福祉, 医学書院, 2003年</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2単位	曜時間	月曜日 7・8時限
担当教官	外山英昭				
<p>授業概要 子どもの人権とCAPプログラムについて学ぶ。いじめ、誘拐など子どもへの暴力を取り上げ、それにどう対処するかを考えます。CAPプログラムとは、CAPとは、Child Assault Preventionを略したものです。1978年 オハイオ州レイブ救援センターが小学校教師の依頼を受けて作成しました。CAPプログラムは、「子どもは大人に守られるだけの存在ではなく、自分で自分を守る力を持っている」という子ども感を前提に、自己肯定感を育て、内なる力を発揮できるよう働きかけます。</p> <p>授業一般目標 (1) 子どもへの暴力という視点から子どもの権利に関する現状をとらえる (2) 子どもへの暴力防止プログラムであるCAPプログラムを紹介する (3) これからの人権教育を考える</p> <p>成績評価方法(総合) レポート 50% 出席 50%(ただし4回以上欠席したものは出席点はない。30分以上の遅刻は入室禁止。</p> <p>教科書・参考書 教科書：「ノー」をいえる子どもに, サリー・クーバー, 童話館出版, 1995年</p> <p>教官連絡先 htoyama@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	小川 勤				
<p>授業概要 私たちは大学に入学するまでに小学校から高校まで最低 12 年間に渡って学校教育の恩恵を受けてきました。しかし、教育が人間の発達に果たす役割や教育のやり方、学校のしくみ、教育委員会のしくみ、教育課程の編成方法、教師の仕事などについて意外に知らないことが多いことに気がつきます。学校を取り巻く状況は今まさに混沌の時を向かえています。高校における必修科目の未履修問題や ADHD やアスペルガーなどさまざまな学習支援が必要な生徒の増加、少子化の中の大学入学試験の激化などの課題が山積みです。そこで本授業では、教育を初めて学ぶ学生のための「入門」授業として教育の各領域や教育の今日的な課題について、授業担当者の教員や指導主事の実践経験を交えて受講生にわかりやすく具体的に概説する。</p> <p>授業一般目標 (1) 教育の各領域の基本的事項を理解する。(2) 今日的な教育問題について関心を持ち、教育のあり方について主体的に考え、自分の意見を論理的に整理し、まとめることができる</p> <p>教科書・参考書 教科書：『教育の原理 - 教育学入門』、田代直人・佐々木司編、ミネルヴァ書房、2006 年；教科書は必ず購入すること。授業の初回に教室で販売予定。/ 参考書：参考図書は授業中に随時紹介する。授業中に使用するプレゼン用データは以下の研究室 H P からダウンロード可能（学内限定）研究室 痢濂宗 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/ogawa-t/</p> <p>メッセージ 「教育」というものに少しでも関心のある人は積極的に履修してみてください。なお、本授業は教職科目ではありませんが、教職に関心のある人の履修を大いに歓迎します。教職科目の「入門編」の位置づけになります。</p> <p>教官連絡先 小川研究室（本部棟 3 階）オフィスアワー 金曜日 午後 2 時～午後 4 時 メールアドレス:ogawa-t@yamaguchi-u.ac.jp 研究室 痢濂宗 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/ogawa-t/</p>					

開設科目	心理学(子どものこころを科学する)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	白石敏行				
<p>授業概要 心理学とはどのような学問であるのかを概説する。</p> <p>授業一般目標 心理学に関する基礎的事項について理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、授業への参加、および学期末のテストをもとに総合的に評価する。特別な理由を除き、3 回以上欠席した場合には、評価対象外とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：レジュメ(プリント)を配布する/ 参考書：必要な資料は適宜紹介する</p> <p>メッセージ 人数制限(上限 100 名程度)を設けますので、初回には必ず出席してください。特別な理由がない場合には、初回の欠席者の履修は認めません。受講態度等他の受講者の迷惑となるような行為を行った場合には、それ以降の受講は認めません。子どもの心理の発達に興味のある方の受講を望みます。</p> <p>教官連絡先 連絡先：(083)933-5330 t-shira@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：教育学部 4 階 白石研究室(404 室) オフィスアワー：随時</p>					

開設科目	心理学(適応と不適応)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	恒吉徹三				
<p>授業概要 ところを理解するための学問である心理学の諸領域の中から、いくつかのトピックスを取り上げて講義します。</p> <p>授業一般目標 (1) 人の意識体験や行動の背景となっている心を理解することが、どれほど日常の暮らしの中での行為であるかを知ること。(2) 心理学とはどのような学問であるのか、心の解明についての研究方法、心への実証的・了解的アプローチの特徴をとらえること。(3) 心をその機能別に区分し、そうした領域の研究成果を示し、様々な現象についての基本的説明概念の理解を深めること。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は、小テスト(第1週から第8週までの講義の小テスト20点)及び期末試験(80点)で評価します。なお、合計12回以上の出席をもって期末試験の受験資格とします。私語など講義の進行の妨げとなるような行為があつて3回の注意を行った場合は欠格条件とします。また、講義開始後の入室は、理由を問わず一切認めません。正当な理由がある場合には、次の講義のさいに欠席届を提出してください。</p> <p>教科書・参考書 教科書： はじめて出会う心理学, 長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦, 有斐閣, 2000年</p> <p>メッセージ 120名を超える場合は、初回の講義で抽選を行うので必ず本人が出席すること。抽選終了後にはいかなる理由であつても追加受講は一切認めないので留意すること。自らのところについても日常生活の中で振り返ってみてほしい。</p> <p>教官連絡先 恒吉：392号室(933 - 5446)</p>					

開設科目	心理学(日常生活を科学する)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	福田廣				
<p>授業概要 ところを理解するための学問である心理学の諸領域の中から、いくつかのトピックスを取り上げて講義します。</p> <p>授業一般目標 (1) 人の意識体験や行動の背景となっている心を理解することが、どれほど日常の暮らしの中での行為であるかを知ること。(2) 心理学とはどのような学問であるのか、心の解明についての研究方法、心への実証的・了解的アプローチの特徴をとらえること。(3) 心をその機能別に区分し、そうした領域の研究成果を示し、様々な現象についての基本的説明概念の理解を深めること。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は、小テスト(第1週から第7週までの講義の小テスト20点)及び期末試験(80点)で評価します。なお、合計12回以上の出席をもって期末試験の受験資格とします。私語など講義の進行の妨げとなるような行為があつて3回の注意を行った場合は欠格条件とします。また、10分以上の遅刻は理由を問わず入室を一切認めません。</p> <p>教科書・参考書 教科書： はじめて出会う心理学, 長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦, 有斐閣, 2000年 / 参考書： あなたの心理学, 吉岡一郎編, 北大路書房, 1985年</p> <p>メッセージ 120名を超える場合は、初回の講義で抽選を行うので必ず本人が出席すること。抽選終了後にはいかなる理由であつても追加受講は一切認めないので留意すること。自らのところについても日常生活の中で振り返ってみてほしい。</p> <p>教官連絡先 福田：378号室(933 - 5455)</p>					

開設科目	心理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護・検査	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	清俊夫				
<p>授業概要 ある人の行動を理解しようとする場合、その人の客観的な人柄と、その行動が起こった時の客観的な環境が理解できれば、おのずからその行動が理解できるというものではない。客観的な人柄や環境と並んで、その人が環境や自らをどう認知していたかが重要な要因となる。加えて、青年期後期にある皆さんには、自分を知り、自分を確立していくことが重要な課題である。そのことによって初めて、私たちは安定し、自分の目標を持って生き生きと生活できるからである。この授業は、他者の理解や援助、自己の理解や形成の基礎となる心理学の基礎知識を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 私たちの知(知覚, 学習, 思考など)、情(感情, 動機付け, 態度など)、人柄(パーソナリティと自己)について、心理学がこれまで明らかにしてきたものを理解し、加えて自らを振り返り、理解し、自分の人生の目標を少しでも明確にすることを目指す。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験 50%、小テスト 40%、出席 10%(ただし 4 回以上欠席したものは出席点はない。遅刻は 1 回につき-1 点)。出席を確認してから、断りなく、教室を抜け出したものは、1 回であっても、出席点はなくなる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 心理学, 岡堂哲雄, 金子書房, 1985 年</p> <p>メッセージ 再試験はしませんので、日々の授業、小試験、定期試験に真剣に取り組んでください。</p> <p>教官連絡先 seitoshi-ygc@umin.ac.jp office phone:(0836)22-2802 授業欠会議等の時間を除き随時 office hour:随時(授業・会議等のないときはいつでも)</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工(機械・社健・応化)看護・検査	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	上杉信敬				
<p>授業概要 国の基本法である日本国憲法の内容について考えていく。その際、国民主権、基本的人権の保障、権力分立、平和主義、などの主要原則について考えていく。そして、国民が主権者であることを基本として大切なことを理解しつつ、人権について主に見ていく。</p> <p>授業一般目標 最高法規について重要なこと、さらに前期はそのうちで主に人権の大切さを理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験) = 60~80% 小テスト/授業内レポート = 20% 未満 出席 = 20% 未満</p> <p>教科書・参考書 教科書: 開講時に指示する。/ 参考書: 開講時に指示する。</p> <p>メッセージ 最高法規に関して、権力分立、人権保障、平和主義などについて考えよう。</p> <p>教官連絡先 内線 5 5 8 8</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	立山紘毅				
<p>授業概要 2005 年秋の衆議院選挙圧勝の勢に乗って、自由民主党は日本国憲法の改正試案を発表した。もちろん、こうした出来事は今に始まったことではなく、日本国憲法は常に政権与党の改憲圧力にさらされ続けてきた、という異様な過去をもつ。もちろん、憲法の基本性格が政権担当者を法の下に拘束する、というものである以上、権力者にとっては「めの上のこぶ」に等しい存在であることは古今東西を問わない。ただ、そこには一つに政治・社会風土における日本的な特質が検出され、もう一つに戦後史の影が大きく反映されている。この講義では、昨年発表された自民党憲法改正試案を出発点として、その基本性格を分析する中から、日本国憲法の本来もつべき価値を抽出し、さらに過去へ遡って憲法改正論の推移をたどろうとするものである。</p> <p>授業一般目標 上述したとおり、憲法は生きた政治を相手にする法であるとともに、きわめて原理的な（哲学的とさえいえる）考察を必要とする法である。したがって、講義は多面的な性格をもたざるをえないが、「憲法改正論」を手がかりとして、その全貌に及ぼうとするものである。したがって、間違っても中学・高校の延長上にはない、と頭を切り替えて臨んでほしい。</p> <p>成績評価方法（総合） 私の講義では、基本的に定期試験での成績をほぼ 100 % として評価する。講義外でのレポートなども加味することはありうるが、夏期休業前に講義を全部終える、との制度「改変」のため、一冊分厚い書物を読んで、長いレポートをみっちり書いてもらおう、という手法は事実上不可能となった（それに拍車をかけているのが「ハッピー・マンデー」とやらである。これも「法律上の制度」である）。また、実社会では、おおむね「結果すべての一発勝負」が「評価」であることや、「多面的な観点からの評価」のときは「学校」の中での甘い言い訳に過ぎないことも十分承知しておかれない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない / 参考書：講義の展開に応じて指示する</p> <p>教官連絡先 オフィス・アワーは設定していないが、種々の理由から、在室は不定時なので、事前に e-mail でアポイントメントを取っていただきたい。</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	松原幸恵				
<p>授業概要 国の根本法である憲法の歴史的背景をおさえた上で、現在の日本における憲法状況を考察する。</p> <p>授業一般目標 憲法問題を身近な問題として考えられるようにすること。</p> <p>成績評価方法（総合） 試験を主体に、授業中の小レポートや出席状況を加味して総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：テキストは特に指定せず、プリントを配布する。 / 参考書：各授業において紹介する。</p> <p>メッセージ 自分たちが住む国の憲法についての知識は、そこに住む人が当然知っているべき常識です。学生の皆さんには、必修だからしかたなしではなく、意欲的に取り組んでいただきたいと思います。</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	木曜日 5・6時限
担当教官	立山紘毅				
<p>授業概要 2005年秋の衆議院選挙圧勝の勢に乗って、自由民主党は日本国憲法の改正試案を発表した。もちろん、こうした出来事は今に始まったことではなく、日本国憲法は常に政権与党の改憲圧力にさらされ続けてきた、という異様な過去をもつ。もちろん、憲法の基本性格が政権担当者を法の下に拘束する、というものである以上、権力者にとっては「めの上のこぶ」に等しい存在であることは古今東西を問わない。ただ、そこには一つに政治・社会風土における日本的な特質が検出され、もう一つに戦後史の影が大きく反映されている。この講義では、昨年発表された自民党憲法改正試案を出発点として、その基本性格を分析する中から、日本国憲法の本来もつべき価値を抽出し、さらに過去へ遡って憲法改正論の推移をたどろうとするものである。</p> <p>授業一般目標 上述したとおり、憲法は生きた政治を相手にする法であるとともに、きわめて原理的な(哲学的とさえいえる)考察を必要とする法である。したがって、講義は多面的な性格をもたざるをえないが、「憲法改正論」を手がかりとして、その全貌に及ぼうとするものである。したがって、間違っても中学・高校の延長上にはない、と頭を切り替えて臨んでほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 私の講義では、基本的に定期試験での成績をほぼ100%として評価する。講義外でのレポートなども加味することはありうるが、夏期休業前に講義を全部終える、との制度「改変」のため、一冊分厚い書物を読んで、長いレポートをみっちり書いてもらう、という手法は事実上不可能となった(それに拍車をかけているのが「ハッピー・マンデー」とやらである。これも「法律上の制度」である)。また、実社会では、おおむね「結果すべての一発勝負」が「評価」であることや、「多面的な観点からの評価」のときは「学校」の中での甘い言い訳に過ぎないことも十分承知しておかれない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない/参考書：講義の展開に応じて指示する</p> <p>教官連絡先 オフィス・アワーは設定していないが、種々の理由から、在室は不定時なので、事前に e-mail でアポイントメントを取っていただきたい。</p>					

開設科目	比較文化心理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2単位	曜時限	月曜日 3・4時限
担当教官	武本ティモシー				
<p>授業概要 経済学部観光政策学科の「文化心理学」を履修していない、また履修するつもりがない学生のための授業です。文化が心理に対して及ぼす影響の大きさは、次第に理解されつつある。あなたは、自分が「上手」だといわれると頑張るか、それとも「下手」だといわれるともっと頑張るか。ホラー映画に出てくる《恐い人》は女性か男性か?これらの問いはどれも文化差があることが最近の研究によって証明されている。</p> <p>授業一般目標 この授業の目的は、文化と心理の関わりを学習することである。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業の参加・小レポートと試験を評価の対象にします。</p> <p>教科書・参考書 参考書：自己と感情、北山忍、共立出版、1997年；木を見る西洋人 森を見る東洋人、R・E・ニスベット、ダイヤモンド社、2004年；文化心理学、柏木恵子他編、東京大学、1997年；心でっかちな日本人 集団主義文化という幻想、山岸俊男、日本経済新聞社、2002年；社会心理学：アジアの視点から、山口勤、放送大学教育振興会、1998年</p> <p>メッセージ いつでも質問してください。</p> <p>教官連絡先 コースホームページは YUFOE.com から入れます。メール tim@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	比較教育概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	小川勤				
<p>授業概要 様々な国の教育制度や学校制度を知ることを通して、それぞれの国の教育制度の特徴について理解を深める。これと同時に日本の教育をより良いものにしていくためにはどうしたらよいかを考える。また、世界の教育を比較する意義や目的を理解すると共に、学力向上や教育改革の手法やその成果についても考察する。</p> <p>授業一般目標 世界の教育制度や学校制度を理解するとともに、教育が経済発展や社会開発に対して果たす役割について考察することができる。また、世界の教育制度との比較研究を通して、日本の教育を再評価し、どのようにしたら日本の教育を改善していくについて考察する力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) テストの成績、出席状況、宿題レポートの提出状況、議論への参加度合いをもとに総合的に判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に教科書は指定しないが、授業の中で参考書や資料等を示し、授業を進めていく。/ 参考書：世界の学校, 二宮皓, 学事出版, 2006 年; 授業の中で指示する。授業に関連した資料をその都度配布する。授業終了後に、授業で使用したプレゼンを私の研究室の痢濠坪坊惱櫻垢襪里罵 儂垢襪海函 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~ogawa-t/</p> <p>メッセージ ・毎回授業終了後に、授業に対する感想や質問を授業評価シート(E Sシート)に記入してもらおう。・必要に応じて、留学生に授業に参加してもらい、出身国の教育事情などを話してもらおう機会を設けることもある。</p> <p>教官連絡先 研究室(本部棟3階) オフィスアワー 金曜日 午後2時~午後4時 メールアドレス: ogawa-t@yamaguchi-u.ac.jp 研究室痢濠坪坊惱櫻垢襪里罵 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~ogawa-t/</p> <p>備考 平成19年度「世界の教育と学校」の名称変更</p>					

開設科目	欧州統合と欧州経済	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	豊嘉哲				
<p>授業概要 欧州統合について、主として経済的側面から、講義をおこなう。特定の論点を深く掘り下げるのではなく、さまざまなトピックを網羅する。</p> <p>授業一般目標 欧州統合を欧州経済について基礎的な知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) レポート 30%、定期試験 70%</p> <p>教科書・参考書 教科書：なし / 参考書：EU 欧州統合の現在, 辰巳浅嗣, 創元社会, 2004 年; 欧州連合, 庄司克宏, 岩波書店, 2007 年</p> <p>教官連絡先 yyutaka@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	観光と交通	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	澤喜司郎				
<p>授業概要 観光旅行を3倍楽しくする方法を紹介します。観光旅行と切り離せないものが交通つまり交通機関を利用した移動です。駅弁に代表されるように、旅には旅文化があり、日本の交通機関には日本の文化があります。そのような日本の文化を理解した上で交通機関を利用すると、観光旅行はきっと楽しくなります。この講義では、駕籠や人力車からリニアモーターカー、究極の乗り物としての遊園地のジェットコースターやフリーフォールまで日本で利用できるあらゆる種類の交通機関を紹介し、その日本的な文化的特性などについて講義します。</p> <p>授業一般目標 観光や旅行、交通を通して日本の文化を考える素養を養い、観光と交通についての理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席30点、試験70点で評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：交通と乗り物文化、安原敬裕他編著、成山堂書店、2008年 / 参考書：交通とビジネス、澤喜司郎他編著、成山堂書店、2007年</p>					

開設科目	大衆と観光	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	河村誠治				
<p>授業概要 「観国之光」(「易经」という「観光」の語源からも明らかのように、観光は光り輝くものを観る・観せることとして古代から存在してきた。しかし、その観光は、産業革命以降とくに20世紀後半からの交通手段の発達、資本主義の下での所得水準の上昇、およびそれによる勤労者・大衆の余暇時間の増加、そして大衆の余暇活動を観光活動に向かわせる観光産業の発達などにより、一部の特権階級の観光から大衆観光に、質的にも量的にも異なったものになった。本講義では、まず産業革命が観光に果たした歴史的背景を述べ、観光の定義や概念把握が時代や場所により異なることを示し、次に今日の大衆観光の主体・客体・媒体の関係、国際観光と国内観光の関係、観光および観光産業の効果を原理的に説明する。</p> <p>授業一般目標 (1) 大衆の基本概念が説明できる。(2) 大衆観光の意義について説明できる。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験=100%。3分の1以上(5回以上)の欠席・欠格条件。出席カードは授業途中に配布。配布後に遅刻してきた学生には出席カードを与えない。</p> <p>教科書・参考書 参考書：観光経済学の原理と応用、河村誠治、九州大学出版会、2008年</p>					

開設科目	臨床人間学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	大石英史				
<p>授業概要 臨床心理学の理論と方法を基盤に据え、現代社会が抱える子どもや若者の問題について考える。</p> <p>授業一般目標 時事問題を臨床心理学の視点から読み解くことを通して、将来求められている人間像や社会像について、各自がビジョンを持てることを目指す。</p> <p>メッセージ 受講者が多数の場合は、初回に人数制限を行います。</p>					

開設科目	企業経営と組織	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	水曜日 1・2 時限
担当教官	内田恭彦				
<p>授業概要 19 世紀後半から今日までの大きな社会変化のなかで、企業経営と組織のあり方はどのように変わってきたのかを俯瞰します。その上で今日の企業組織の問題点とあるべき方向を考えます。具体的には第 1 回から第 6 回までは 19 世紀後半から 20 世紀中頃までの後期産業資本主義といわれる時代の経営と組織について考えます。第 7 回から第 11 回までは企業が競合と異なる特徴ある製品・サービスの提供の必要性とそのための組織のあり方について考えていきます。12 回から 15 回ではポスト産業資本主義あるいは知識の時代における日本企業の経営と組織のあり方を考えます。いずれも興味深い企業事例を数多く紹介しながら興味深くみなさんと考えていきたいと思っています。</p> <p>授業一般目標 この授業は以下の 2 つのことについての理解を深め、関心を強めてもらうことを目標としています。第 1 は経営における組織と社会との関係についてです。社会における企業経営と組織のあり方についての大局観を掴んで欲しいと考えています。第 2 は世間で流行している粗雑な考え方に惑わされず、日本企業の経営と組織についての考え方をしっかりと理解して欲しいと考えています。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 宿題の提出を 3 回程度行う。(2) 期末試験を行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本型経営と知的資産管理(仮), 内田恭彦/ヨーラン・ルース, 中央経済社, 2008 年 / 参考書：会社はこれからどうなるのか, 岩井克人, 平凡社, 2003 年</p> <p>メッセージ 皆さんにとって単なる知識獲得だけではなく、これからの社会と企業経営を考える際の視点を掴み、実践に役立てられる能力を習得できるようにしていきたいと考えています。</p> <p>教官連絡先 y.uchida@yamaguchi-u.ac.jp 質問などがある人は上記メールアドレスにより、アポイントを取って下さい。</p>					

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	法と市場経済	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	土生瑛里				
<p>授業概要 市場経済と法との係りは何か。何故、先進市場経済諸国では法制度が発展し、それ以外の国では法制度が不備であるのか。法が経済発展に与える影響とは何か。本講義では、これら疑問に答えるため、市場経済にとっての法の役割を検証し、企業その他の遵法意識の重要性を再確認するものである。</p> <p>授業一般目標 我々が生きる社会の経済体制は市場経済である。本講義の目的は、市場経済にとって、法が果たす役割を理解することである。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席点と試験の結果を総合的に評価する</p> <p>教科書・参考書 教科書：デイリー六法 2008, , 三省堂, 2007 年；講義ごとにプリントを配布する。六法は常に持参のこと / 参考書：市場経済化の法社会学, 小森田秋夫, 有信堂, 2001 年；経済のグローバル化と法, 総合研究開発機構編, 三省堂, 1994 年；第三世界開発法学入門, 安田 信之 編, アジア経済研究所, 1992 年；必要に応じてプリントを配布する</p> <p>メッセージ 出席を最も重視します。講義で使われる言葉、キーワードを記憶に残す。社会人になった時に、必ず役に立つからです。</p> <p>教官連絡先 e.habu@yamaguchi-u.ac.jp 月曜・火曜の講義時間外</p>					

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	NPO の役割	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	羽生正宗				

開設科目	地方の財政を考える	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	仲間瑞樹				

開設科目	日常の価値を再考する	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	山本真弓、荒木一視、斎藤完、山田寛人、山本薫子				

授業概要 高校までの学校教育のなかで教えられていることは、時代と社会によって異なる。われわれの父母や祖父母の頃は教えられていたのに、今では教えられていないこと、日本では教えられているのに、外国では教えられていないこと…などである。この授業では、特に、現在の日本の学校教育のなかで教えられてこなかったこと（教えるまでもなく「あたりまえ」とされてきたこと）について、複数の教員が、地理、音楽、ことば、歴史、名前などの観点から捉え直していく。つまり、本当に「それ」は「あたりまえ」なのか？「それ」はどこでも「あたりまえ」なのか？いつから「あたりまえ」になったのか？いつか「あたりまえ」ではなくなるときが来るのか？ 各教員がそれぞれ独自の題材を使う。

授業一般目標 (1) 高校までの教育の中身を相対化し、大学での諸学問と向き合う基本的姿勢を身につける。(2) 自分が生きてきた時代と社会の価値を相対化し、国際的な視野を獲得する。

成績評価方法 (総合) 試験による。

メッセージ 異なる教員の授業のやり方の違いそのものを体験してみて、人はみんな違うということ、それにもかかわらず共通するものがあることを、感じてください。

教官連絡先 mayumi@yamaguchi-u.ac.jp

開設科目	国際コミュニケーション論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	
担当教官	西浦みどり				
<p>授業概要 世界と日本の関係。例えば、日本から見た世界、世界から見た日本。世界と日本の違い。例えば、伝統文化及び習慣と外国との違い。日本の宗教観と外国との違い。地政学的歴史認識と言語表現、日本と諸外国を比較分析。真のコミュニケーションとは、国際人・世界人としていきるといことは。相手との違いを知ること…異文化理解。そのためには「日本文化、歴史」を十分に理解し、日本人としてのアイデンティティーを確立すること。外国語を話せるだけでは「真のコミュニケーション」はできない。</p> <p>授業一般目標 国際人・世界人として生きましよう！すなわち、日本人としての自覚と誇りを持てる人間になる。自分の考えを論理的に相手に伝えることが出来るようになる。相手の文化や歴史を理解し、相手の立場に立って行動できる能力を身につける。と同時に、複雑化された今日・これからの国際社会の中で、説得力、影響力を屈指して自国の、または自分の立場を上手に自己主張できる能力も身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業中の自己表現能力、発表能力、レポート内容。</p> <p>教科書・参考書 教科書：バトルアビーこころの教育、西浦みどり、広済堂出版、1998年；大人の品格、西浦みどり、PHP 研究所、2005年</p> <p>備考 集中授業</p>					

開設科目	数学概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生資	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	荊木康臣				
<p>授業概要 農学は物理学、化学、生物学などを基礎とする応用学問ですが、様々な現象を数式で記述しその変化の傾向をとらえる事が重要になってくる場合が多くあります。また、いろいろな観測、調査に基づいたデータや、実験室でとったデータを整理して解析し、定量的な評価をする場合などに数学は重要になってきます。この講義では数学を通して自然の成り立ち、自然の奥深さを理解することを目的としています。</p> <p>授業一般目標 自然界に生起する現象は場所や時間に依存して変化するので2つの変数や3つの変数で表されるのがほとんどで、現象の時間的変化や場所的変化を記述する数学的手法が必要となってきます。また、最近では解析にコンピュータは不可欠な道具であり、コンピュータによる分析や解析を念頭においた講義を行います。物質やエネルギー輸送、化学反応などを記述する手法としての微分方程式、多変数をもつ物理量の演算を扱う「行列と行列式」、取得したデータの傾向をみる微分方程式や乱数発生による「シミュレーションの基礎」等の講義を行います。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト / 授業内レポート = 40 宿題 / 授業外レポート = 20 出席 = 40</p> <p>教科書・参考書 教科書：シラバス入力時点(2月5日)で未定、決まり次第通知する。 / 参考書：科学技術者のための基礎数学(新版)、矢野健太郎、石原繁著、裳華房、1982年；参考書：科学技術者のための基礎数学、矢野健太郎・石原繁、裳華房、2000年</p> <p>メッセージ 入学時に購入したPCを用いて演習を行う。使用する日はあらかじめ連絡する。</p> <p>教官連絡先 深田：E-mail mfukada@yamaguchi-u.ac.jp 荊木：E-mail ibaraki@yamaguchi-u.ac.jp ご用件はメールで問い合わせてください。</p>					

開設科目	数学概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生機	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	深田三夫				
<p>授業概要 農学は物理学、化学、生物学などを基礎とする応用学問ですが、様々な現象を数式で記述しその変化の傾向をとらえる事が重要になってくる場合が多くあります。また、いろいろな観測、調査に基づいたデータや、実験室でとったデータを整理して解析し、定量的な評価をする場合などに数学は重要になってきます。この講義では数学を通して自然の成り立ち、自然の奥深さを理解することを目的としています。</p> <p>授業一般目標 自然界に生起する現象は場所や時間に依存して変化するので2つの変数や3つの変数で表されるのがほとんどで、現象の時間的変化や場所的变化を記述する数学的手法が必要となってきます。また、最近では解析にコンピュータは不可欠な道具であり、コンピュータによる分析や解析を念頭においた講義を行います。物質やエネルギー輸送、化学反応などを記述する手法としての微分方程式、多変数をもつ物理量の演算を扱う「行列と行列式」、取得したデータの傾向をみる微分方程式や乱数発生による「シミュレーションの基礎」等の講義を行います。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト/授業内レポート=40 宿題/授業外レポート=20 出席=40</p> <p>教科書・参考書 教科書: シラバス入力時点(2月5日)で未定、決まり次第通知する。/ 参考書: 科学技術者のための基礎数学(新版), 矢野健太郎, 石原繁共著, 裳華房, 1982年; 参考書: 科学技術者のための基礎数学, 矢野健太郎・石原繁, 裳華房, 2000年</p> <p>メッセージ 入学時に購入したPCを用いて演習を行う。使用する日はあらかじめ連絡する。</p> <p>教官連絡先 深田: E-mail mfukada@yamaguchi-u.ac.jp 荊木: E-mail ibaraki@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	物理学通説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	増山博行				
<p>授業概要 17世紀のガリレオやニュートンの時代から19世紀にかけて、自然に対する科学的認識は飛躍的に深まり、物理学の基礎が確立した。これは、力学、熱力学、振動・波動論、光学、電磁気学と呼ばれている古典物理学の分野である。さらに20世紀にはいと原子などの微視的世界を記述する量子論が誕生した。授業では古典物理学の基礎を中心に講義し、量子論の誕生についてもふれる予定。</p> <p>授業一般目標 (1) 古典物理学の基礎を理解する。(2) 物理学の発展過程を知るとともに、他の学問との関わりを理解する。(3) 量子論の見方を知る。(4) 物理学の課題や社会との関わりについて考察する。</p> <p>成績評価方法(総合) 観点別評価割合は目安であり、試験結果をもとに総合的判断を加える。なお、欠席回数が多い者は単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 2「新物理学」, シップマン著, 学術図書出版社, 2002年 / 参考書: 物理学入門, 原康夫, 学術図書出版社, 2005年</p> <p>メッセージ 初修の人は、特に予習・復習を行ってください。既習の人は数学力を伸ばしてください。</p> <p>教官連絡先 増山: 理学部本館南棟 238 室 e-mail: mashi@yamaguchi-u.ac.jp URL http://fermi.phys-com.sci.yamaguchi-u.ac.jp/pub/mashiyama/</p>					

開設科目	現代化学総説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	西口毅				
<p>授業概要 本講では、大競争時代を生きるのに有効性を持つと同時に、「自然について学ぶことの面白さ」が伝わる授業をめざしたい。それができるためには、高いレベルを保ちつつも、高校で化学を履修していない人でも理解できる分かりやすさと、新しい発見とが必要であろう。日常的現象、生命現象、環境問題、社会的諸問題などを、「それはなぜ起こるのか」という観点から解説する。最も身近な化学反応である燃焼については、毎回行う演示実験によって学ぶ。最も身近な化学反応である燃焼については、毎回行う演示実験によって学ぶ。すべての授業はパソコンからスクリーンに出力しながら行う。授業で使ったスライドは、全て Web ページ (http://chem.cge.yamaguchi-u.ac.jp) からダウンロードできるので、予習、復習に役立てて欲しい。学生諸君の質問(日頃の疑問など)にもできるだけ答えたい。電子メールによる質問にも答える。メール画面は、Web ページに付いている。</p> <p>授業一般目標 多くの人にとって、これからの時代に必要なものは、できるだけ広い範囲の職務内容に適用できる幅広い知識と常識であろう。いま必要だと言われる「生きる力」とは何か。私は「豊かな常識+行動力」だと思う。この講義の目的も、自然科学的常識を豊かにすることである。そして、その目的を達成するには、自然科学的常識の必要性を学生諸君に納得してもらうことが必要であろう。授業では、授業内容に関連する練習問題を提示するので、それらを解いてみるのが望ましい。授業の終了時には、問題を出し、その答を紙に書いてもらう。授業中に理解できなかったことを、その解答用紙に書いておくと、次回の授業開始時にそれについての解説が行われるであろう。この授業では、疑問を残さないようにしてもらいたい。また、学生諸君が、社会人になったときに自信をもって生きられるようにすること、つまり、自信をもって生きるために必要な能力と価値観の習得の手助けをすることが、教育でめざすべきものであると思うので、授業に時間的余裕があれば、これに関連することからについての個人的意見も話す。それらも批判的に検討してもらいたい。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は、主として、期末テストの点数に基づいて評価する。希望者が過半数を超えれば中間テストも行う。中間テストを行った場合には、期末テストと中間テストの比重は1:1である。テストの成績が合否のボーダーラインに近い人には、出席点を考慮することもある。</p> <p>教科書・参考書 教科書：現代の生活と物質、西口毅、化学同人、1996年 / 参考書：プリントを数種類配布する。</p> <p>メッセージ 学生諸君にとって重要なことは、単位を取るのではなく、将来に備えることであろう。このような観点から、時間的余裕があれば、諸君が生きる時代についての私見を話すこともある。</p>					

開設科目	現代生物学総説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	北沢千里・阿部弘和				
<p>授業概要 身近に存在する生命現象を題材に、生物とはどのようなものかについて解説する。</p> <p>授業一般目標 近年、関心の高まる環境問題や、クローン動物、遺伝子組み換え食品などに加え、生命の誕生から生命の形作りについて、最近の話題とともに解説し、生命現象について関心を持つとともに、生物学の基礎知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、テストあるいはレポートを総合的に判断し評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：ダイナミックワイド図説生物、東京書籍、2005年</p> <p>教官連絡先 連絡先：阿部弘和(教育学部理科教育教室) E-mail: habe@yamaguchi-u.ac.jp 北沢千里(教育学部理科教育教室) E-mail: chisak@yamaguchi-u.ac.jp 水曜日 13:00-14:30</p>					

開設科目	現代生物学総説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	祐村稔子				
<p>授業概要 ヒトを含めすべての生物は、「細胞」という共通の基本単位から構成されています。一方、「細胞」を構成する部品：細胞小器官は生体分子の集合体で、すでに生きてはいません。このように「細胞」は、「生命」と「物質」の境界をなす「生命の最小単位」といえます。本講義ではこのような「細胞」の構造と機能について、分子レベルでの解説を行います。加えて、近年驚くべき進歩をみせるバイオテクノロジーの基礎知識についても、身近な話題を中心に紹介し解説します。</p> <p>授業一般目標 「細胞」に関する分子レベルの知識は、生命を理解する上で必要不可欠な基礎知識です。加えて今日、医療、農業、工業とさまざまな分野にわたり、日常生活の隅々にまで浸透しつつある多くのバイオ関連技術およびマスコミ等に氾濫するバイオ関連情報を、正しく理解し評価するためのにも必須のものです。本講義では、正しい知識に基づいて、何が有益で何が危険なのかを自ら考え判断し、生命科学の進歩をいたずらに恐れる事なく未来を見極める知識、能力を身につけることを目標とします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験 (テキスト、ノート、プリント参照可) 80% 宿題ミニレポート 20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：生きもののからくり (改訂版), 中村和行、山本芳実、祐村恵彦 共著, 培風館, 2006 年</p> <p>メッセージ 古典的な生物学にとどまらず、物理学、化学、地球科学を含む自然科学全般の知見に基づき生命理解することを目指します。幅広い興味と知的好奇心をもって意欲的に学んで下さるみなさんの受講、お待ちしております。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: discoideum@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	現代地球科学総説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	永尾隆志				
<p>授業概要 私たちは、半径 6400km の地球の上に住んでいる。しかし、そのことを実感することはあまりない。この授業では、私たちが体験したりマスコミで報道される地震や火山噴火をとおして地球の構造や運動のしくみについて学習する。</p> <p>授業一般目標 日ごろ接する情報から地球のダイナミクスを理解するための基礎的な力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 授業の内容に関するレポートの提出をもとめそれを評価する。(2) 試験。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たないものは単位をあたえない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない。/ 参考書：授業の中で紹介する。</p> <p>教官連絡先 理学部 340 号室, e-mail: tnagao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	現代地球科学総説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	君波和雄				
<p>授業概要 地球は生きた天体であり、地球内部や太陽からのエネルギーを源として様々な変動を繰り返しながら進化してきた。地球科学は、こういった地球の表面や内部における変動を解析し、地球の発展過程を明らかにすることを目的としている。この講義では、地球上部の主要な変動を説明するための理論であるプレートテクトニクスの基本的骨格やプレートテクトニクスと地質との関連などについて解説する。</p> <p>授業一般目標 この講義をととして、地球科学における時間の感覚を把握するとともに、プレートテクトニクスの基本骨格を理解し、ダイナミックに変動する地球についての理解を深めることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価は、期末試験 80%、小テスト・レポート 20%とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：なし。適宜プリントを配布する。</p> <p>教官連絡先 kimik@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：理学部 4 階 445 室 オフィスアワー：時間があるときはいつでも。</p>					

開設科目	生命現象のいろいろ	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(検査除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	河野道生、藤宮龍也、今手祐二、下郡博明、松永尚文、田中伸幸、田村博史、中田雅彦、川井康嗣、松本美志				
<p>授業概要 医学・生物学でのヒトの生命現象がどのようなものであるかを認識し、その生命現象の機構を概略的に理解する。これにより、生命体としてのヒトのからだのしくみ及び働きにつき主体的に考える。</p> <p>授業一般目標 生命現象、特にヒトを対象として、様々な生命現象につき、概略的および個別的な具体的事象を取り上げて、それらの現象の理解とその機構につき理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価は、出席とレポート評価で行う。</p> <p>メッセージ 積極的に質問等して、授業に参加すること。</p> <p>教官連絡先 河野道生：mkawano@yamaguchi-u.ac.jp 金曜日 15:00-17:00</p>					

開設科目	科学の中の動物	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(検査除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日 3・4時限
担当教官	林 俊春, 井上 誠, 加藤大智, 藤田志歩, 前田 健				
<p>授業概要 病気には多くの種類があり、またその原因も様々である。一方病気の予防や治療には実験動物を用いて病態の解明がなされてきた。そこで実験動物が科学の中で果たしてきた役割について述べるとともに、遺伝子・細胞・組織・個体レベルでの解説を平易にそれぞれの立場から講義する。</p> <p>授業一般目標 病気という視点から科学的なものの見方、考え方について講義する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席点とレポート</p> <p>メッセージ 学生のほとんどが一年生であること、学部も異なっていること、専門知識をほとんどが持ちあわせて無いことから、生命現象に対する興味や科学的思考法を学んで欲しい。</p>					

開設科目	地球と人間	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(検査・獣医除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日 9・10時限
担当教官	金折裕司				
<p>授業概要 46億年におよび地球史や地球で起きている様々な現象が、人間によってどのように理解されてきたのか、地球科学の礎を築いた人たちのエピソードを交えながら、地球環境問題や自然災害と人間の関わり方を講義する。</p> <p>授業一般目標 1.地球史の中で人類誕生が持つ意味を理解する。2.地球環境変化と人間の営みとの関係を理解する。3.自然災害の発生メカニズムとその防災対策を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)授業の中で、5回ほど小テストを行う。(2)自分に関わるもしくは関心を抱いている地球科学的な現象についてレポートを作成する。(3)最後に試験を実施する。以上について、下記の観点・割合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：なし。毎回授業内容に関連したプリントを配布する。/参考書：山口県の活断層, 金折裕司, 近未来社, 2005年; 初回の授業で副読本を紹介する。</p> <p>メッセージ 講義内容に関して、自発的に学習する習慣を身につけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 kanaori@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：理学部南棟3階344室 オフィスアワー 火曜日 15:00~16:00</p>					

開設科目	環境とバイオテクノロジー	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(検査除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	古賀大三・藤井克彦・加藤昭夫				
<p>授業概要 20世紀細大の技術といわれている遺伝子工学、バイオテクノロジーとは何かを明らかにし、この技術が現在人間、社会にどのような影響を与えており、将来与えようとしているかを考えてゆく。バイオテクノロジーとは生物のもつ機能を利用して、有用なものを作り出す技術であり、古代より酒、チーズ、醤油などの身近な食品作りに利用されてきた。1980年代に遺伝子工学の目覚ましい発展により、インシュリン、インターフェロンなどの医薬品の開発が進み、また植物の新しい品種や品質の良い作物が作成できるようになり、さらに、バイオテクノロジーを利用した排水、排ガス処理など環境を守る技術が広く使われており、また、環境にやさしい食料生産方法や製品の開発が進められている。このような人類の健康、食料、環境問題の解決に大きな力を発揮しているバイオテクノロジーの現状と課題について講義で述べる。</p> <p>授業一般目標 生命科学の一般教養として、環境と生物の関わりと農学分野におけるバイオテクノロジーの役割について学んで欲しい。</p> <p>メッセージ ようこそバイオテクノロジーワールドへ</p> <p>教官連絡先 古賀大三(総合研究棟606)、藤井克彦(農学部)、加藤昭夫(総合研究等105)</p>					

開設科目	歴史の中の動物	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(検査除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日 1・2時限
担当教官	田浦保穂・中尾敏彦・佐藤宏				
<p>授業概要 歴史の中で育まれた特殊な関係(寄生虫という生物)、私たちが作り出した新たな動物分布(外来種問題)、海外での外来種問題、大陸を渡った動物とその感染症、私たちが作り出す動物(自然環境)との新たな関係、次に身近な動物と人間のかかわりあいについて述べる。人間が出現して以来、環境の大きな変化を起こさせた要因の一つに人間による動物の家畜化がある。この歴史を理解することによって、我々と環境とのかかわり合いを理解することが出来るようになるだろう。最後に、中世から現代に至る動物との関係から、家畜や動物が如何に我々の生活と係わり合い、その増殖に腐心してきたかが分かるであろう。</p> <p>授業一般目標 1. 歴史の中で育まれた特殊な関係(寄生虫という生物、外来種問題、自然環境など) 2. 馬・象・犬・猫など身近な動物とヒトとの関係を環境や歴史との観点から考察する。 3. 家畜の管理・生産にヒトが如何に腐心してきたかを考察する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席率及びレポートの成績により総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 脊椎動物のからだ: その比較解剖学, "A.S. ローマー, T.S. パーソンズ著; 平光 司訳", 法政大学出版局, 1983年; 動物に観る人の歴史, 江口保暢著, 日本図書刊行会, 1998年; 1. 脊椎動物のからだ(ローマン & パーソンズ, 法政大学出版, 1993) 2. 動物に見る人の歴史(江口保暢, 日本図書刊行会, 1998) 3. 最新「乳牛の繁殖管理指針」(中尾敏彦, 酪総研, 2000)</p> <p>メッセージ 総合評価では、講義への出席を重視する。</p> <p>教官連絡先 田浦保穂: 研究室: 農学部家畜病院 在室中は何時でも可。TEL:933-5928、e-mail:ytaura@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	火山と地震	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(検査・獣医除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日 1・2時限
担当教官	今岡照喜				
<p>授業概要 日本列島は火山列島でもあり、地震列島でもある。日本列島は昔から繰り返しこのような火山噴火、地震や津波に襲われてきた。大陸縁辺の変動する大地に住んでいる以上、我々は宿命的にこうした火山噴火や地震による災害から完全にのがれることはできそうにもない。一方で、火山と隣り合わせに住む我々は観光、温泉や地熱資源など火山の恩恵に浴している。この講義では、火山や地震がどのような場所でのような活動をするのか、火山の噴火や地震はなぜ起こるのか、両現象に因果関係があるのかないのか、火山の噴火や地震は予知できるのか、また予知のための戦略はどのようなものか、について具体例をあげながら詳述する。</p> <p>授業一般目標 1. 日本や世界の火山の発生場所、火山噴火のメカニズムについての理解を深める。 2. 巨大地震、直下型地震にの発生機構についての理解を深める。 3. 火山や地震による被害の現状を知り、防災について考える。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、レポートおよびと期末試験の結果を下記の観点・割合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 基礎地球科学, 西村祐二郎編著, 朝倉書店, 2002年; 基礎地球科学, 西村祐二郎ほか著, 朝倉書店, 2002年出版</p> <p>教官連絡先 総合研究棟、701号室 オフィスアワー 金曜日 15:00~17:00</p>					

開設科目	社会科学のためのやさしい統計学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教(一部除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日 5・6時限
担当教官	橋本寛				
<p>授業概要 統計学の初歩的事項について、社会科学分野で必要と思われるものを平易に紹介する。</p> <p>授業一般目標 統計学における基本的な概念や手法について学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験による。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 使用しない。/ 参考書: 適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 出席するのが理解の早道です。</p> <p>教官連絡先 経済学部 A227、オフィスアワーを設定する予定。</p>					

開設科目	理工学のための統計学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教(一部除く)・理・農(生機除く)	単位	2単位	曜時間	火曜日 3・4時限
担当教官	中村秀明				
<p>授業概要 自然科学、社会科学を問わず、世の中にはさまざまなデータが溢れている。統計学はこのようなデータの中から有用な情報を抽出する手法である。本講義では、初めて統計学の講義を聴く学生が、統計学の基礎を理解し、統計計算の方法が身につけられるように、実例を交えながらわかりやすく説明する。</p> <p>授業一般目標 本講義では、統計に対して正しい理解を得ることを最大の目的とし、統計学の基礎を理解し、統計計算の方法を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験) = 75% 授業内レポート = 20% 授業外レポート = 15% 出席 = 欠格条件</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書は、特に指定しない。毎回プリントを配布する。/ 参考書: 図解雑学 統計, 今野紀雄, ナツメ社, 1999年; 図解でわかる統計解析, 前野昌弘, 三國章, 日本実業出版, 2000年</p> <p>メッセージ 授業では、パソコンを用いた Excel での演習を行うことがあるので、ノートパソコンを持っていることが望ましい。必要に応じてプリントを配布します。授業に関する情報は、下記のホームページに掲載します。 http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/nakahide/moodle/</p> <p>教官連絡先 nakahide@yamaguchi-u.ac.jp 電話: 0836-85-9531 研究室: 常盤キャンパス 工学部総合研究棟8階 オフィスアワー: 月曜日 13:00~17:00</p>					

開設科目	理工学のための統計学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教(一部除く)・理・農(生機除く)	単位	2単位	曜時間	木曜日 1・2時限
担当教官	糸原義人				
<p>授業概要 自然科学ではただ単なるデータを如何に意味ある情報にするかが大切です。そしてそうした情報を作り、信頼性を与える一つの方法に統計学があります。本講では、統計学の意義と基本的考えを学ぶと共に、データの統計的処理や理論的検討を通じて、実際に利用できる統計学を目指します。そのために、演習・復習を課します。授業には、各自出題を解くことができるように、毎時間電卓、定規、レポート用紙の準備をお願いします。</p> <p>授業一般目標 授業は基本的に次の3つのテーマからなります。1. データ処理と情報作成、2. 確率と確率分布、3. 統計的推定と検定 授業内容を暗記するのではなく、要は統計処理が必要になったとき、どこに何が書いてあって、それをどのように利用すればよいかを学んで頂きたいと思えます。そのためには、統計とは何か、統計処理は何故必要か、といったところをよく理解することが大切です。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価は基本的に毎週出す宿題(演習の続き)を中心とします。100点満点で、宿題のレポートを40%、定期試験を40%、授業内レポートを10%、出席を10%とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 基本統計学(第3版), 宮川公男著, 有斐閣, 1999年; 宮川公男「基本統計学第3版」有斐閣 基本統計学と共に、毎週プリントを配布し、テキストとして利用します。/ 参考書: 統計学のはなし(改訂新版), 蓑谷千風彦著, 東京図書, 1997年; 統計解析のはなし, 石村貞夫著, 東京図書, 1989年; 初等統計学(第4版), P. G. ホーエル著; 浅井晃, 村上正康共訳, 培風館, 1981年; 蓑谷千風彦「統計学のはなし」東京図書 石村貞夫「統計解析のはなし」東京図書 P.G. ホーエル著、浅井晃他訳「初等統計学」培風館</p> <p>メッセージ 基本的に毎時間レポート提出を求めます。継続は力です。諦めることなく、最後まで頑張ってください。</p> <p>教官連絡先 gbb50@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部2階 オフィスアワー: 水曜日午後</p>					

系列 一般教養教育

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	環境学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	月曜日 1・2時限
担当教官	今井剛				
<p>授業概要 我々は食料、資源・エネルギー、水資源、廃棄物、環境ホルモンなど解決すべき難問を抱えたまま、21世紀を迎えた。人類の持続的生存のために、地球規模での資源・環境制約条件の下で、新しい生活のあり方、社会のあり方、科学技術のあり方が求められている。本講義では、環境問題、社会基盤整備、リサイクルに関わる内容の講義を通して、重要なキーワードを学び、理解する。地球環境を保全し、健全な生活環境を確保しつつ、人類が持続的発展をしていくためには人間として、技術者としてこれから何をすべきかについてともに考える。</p> <p>授業一般目標 1. 環境問題、社会基盤整備、リサイクルに関わる内容の講義を通して、重要なキーワードを学び、理解する。2. 地球環境を保全し、健全な生活環境を確保しつつ、人類が持続的発展をしていくためには人間として、技術者としてこれから何をすべきかについて考える力を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回の授業内小レポート(60%)及び宿題・授業外レポート(40%)により評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎環境学, 田中修三 編著, 共立出版, 2003年 / 参考書：必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>メッセージ 出席は欠格条件です。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出し、指示(欠席分に相当する課題を課す)を受けること。なお、座席指定があります。</p> <p>教官連絡先 imait@yamaguchi-u.ac.jp 教官室：総合研究棟4F、413号室</p>					

系列 一般教養教育

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	人間環境論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	月曜日 1・2時限
担当教官	中尾勝實				

開設科目	科学史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	川崎勝				
<p>授業概要 本講義では、われわれが知る形での「科学技術」が形成されていった歴史を、時代的・国家的文脈を重視しながら概観します。主な舞台となるのは、18世紀末から現代にかけての西洋社会です。それ以前と比較したとき、この時代・地域の最大の特徴は、それまではごく一部の特権層のみ享受されていた自然に関する知識が公共化かつ制度化し、技術と結びついたことです。これにより、科学は経済的にも軍事的にも現代社会において支配的な力を発揮するようになり、最終的に国家の支柱となっていきます。このプロセスに関して、国別の社会的文脈に留意しながら、なぜそのようなことが生じたのかに重点をおいて授業を進めていきます。</p> <p>授業一般目標 高度科学技術社会（ハイテク社会）で主体的な生活者として生きていくために、現代の科学技術が成立する経緯に関する必須の基本知識を習得し、主体的かつ客観的に考察する態度を涵養する。さらには、歴史に対して「なぜ」という疑問を甦らせることができる能力を養うこと、近未来の科学技術社会への洞察力を養うことが全体を通じての影の大きな目標である。</p> <p>成績評価方法（総合） 学期末に行う論述式の筆記試験がメインとなりますが、「質問・感想カード」の内容を元にして「参加点」を加味します。また、任意提出のレポート課題を出します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：科学の社会史（増訂版）、古川安、南窓社、2000年 / 参考書：ハイテク社会を生きる、調麻佐志・川崎勝他、北樹出版、2003年</p> <p>メッセージ 歴史は決して「暗記物」ではありません。むしろ「想像力」の学問です。人工的な文理の壁を越え、歴史好きな方を歓迎します。なお、もし受講希望者が100名を超えた場合には、「受講動機」などの簡単なレポートに基づくセレクションを行いますので、受講希望者は必ず初回に参加してください。授業に関する情報を随時 Web 上の「kawasaki's room」(http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/kawasaki/index.html)に掲載します。参照してください。</p> <p>教官連絡先 mailto:kawasaki@yamaguchi-u.ac.jp（上記アドレスにメールを送る際には、できるだけケイタイからのメールは避けてください。また、適切な件名を付けるとともに、自分が誰であるのかを名乗ってください）研究室 医学部（小串キャンパス）時間帯は相談に乗りますので、上記アドレスにメールをお送り下さい。</p>					

開設科目	技術概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全（工・農（生資）除く）	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	岡村吉永，古賀和利，森岡弘				
<p>授業概要 技術とは何だろうか。よく聞く言葉ではあるが、その意味や内容は多様である。本授業では、はじめに「技術」という言葉およびその用法について考察し、この後さまざまな分野における技術の変遷や実例について概説する。主な分野および内容は、身近にある技術、伝統的な技術としての手加工（木材を中心とした加工）と最近の木材利用技術、現代西洋技術の先端であるコンピュータ、メカトロに代表される機械の制御技術などである。</p> <p>授業一般目標 本授業は、人と技術、人間社会と技術、環境と技術など、総合的な関わりの中で技術をとらえる必要を知り、自分らの技術をみる目すなわち技術論の形成ができるようになることを目的とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 各テーマごとに、学習した内容に関するレポートの提出を求める。これと出席をあわせ、総合的に評価を行う。</p> <p>メッセージ 身近な技術に対する関心を高めてもらうため、受講者の興味・関心によって内容を変更する場合があります。前半で三角定規とコンパスを使用します。持参してください。</p> <p>教官連絡先 岡村吉永 (okasun@yamaguchi-u.ac.jp)・金 12:40～14:00 森岡弘 (morioka@yamaguchi-u.ac.jp) 古賀和利 (koga@inf.edu.yamaguchi-u.ac.jp)</p>					

開設科目	技術概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工4年	単位	2単位	曜時限	月曜日 11・12時限
担当教官	古川浩平, 濱田純夫				
<p>授業概要 本講義は、前半は建設技術の基礎を英語で習得するためのものであり、後半は技術者のあり方、特に昇進や捏造に関し講義する。</p> <p>授業一般目標 この講義は土木工学の概観ばかりでなく、社会・環境との連繋の有り方を学ぶことを目標とする。</p> <p>(C) 実務への応用力と倫理観のある技術者を目指して以下の能力を身につける。・C-1 実務上の問題点や課題を理解し、適切に対応する能力・C-2 土木技術者の関与するプロジェクトが社会や自然環境に及ぼす影響を理解する能力(技術者倫理・環境倫理)(D) 豊かな教養と多面的な視点を持つ技術者を目指して以下の能力を身につける。・D-1 技術、人類、文明、地域、自然の相互の係わりを理解する能力・D-2 基礎的な国際コミュニケーション能力</p> <p>成績評価方法(総合) 全回出席を条件とする。ただし、やむを得ない事情があった場合には、次回の講義までに必ず担当教官に届け出る。前半は毎回レポートを課すので、必ず全て提出すること。評価は、前半部分は最終的に課したレポートの内容により判定する。後半部分は試験により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリント配布 / 参考書: プリント配布</p> <p>メッセージ 20年度は濱田・古川が講義を行う。テキストはプリントとする。また、文章は英語及び日本語で記述されている。</p> <p>教官連絡先 濱田純夫: E-mail shamada@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 0836-85-9347, 研究室 施設材料工学 古川浩平: E-mail furukaw@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 0836-85-9327, 研究室 建設設計工学</p>					

開設科目	生命科学概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2単位	曜時限	木曜日 3・4時限
担当教官	和田直己・森本将弘・山本芳実				
<p>授業概要 3人の教官が分担してそれぞれの専門分野から生命科学全般について講義を行う。</p> <p>授業一般目標 進化、DNA、Locomotion、脊椎動物、ウイルスの講義を通して生命とは何かと考える。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席とレポートを評価する。</p>					

系列 一般教養教育

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	生命科学概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時間	木曜日 11・12時限
担当教官	中村彰治				
<p>授業概要 ヒトを対象にした生命科学の入門として、遺伝子、たんぱく質、免疫、内分泌、脳神経に関する基礎的な知識と最近の研究成果について概説する。</p> <p>授業一般目標 主として遺伝子、たんぱく質、免疫、内分泌、脳神経に関する基礎的な知識および最新の研究知見を理解することにより、人体のはたらきのメカニズムをより深く考えるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席 40%、授業態度や授業への参加度 20%、課題レポート 40%で、総合評価する。</p>					

系列 一般教養教育

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	生活科学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2単位	曜時間	水曜日 1・2時限
担当教官	山本善積、入江和夫、山田次郎、澤本章				
<p>授業概要 この授業では、生活科学の因子の中から、日常生活に極めて関りの深いものとして、「エネルギー」「食物」「水・空気」「住生活」を取り上げる。具体的には、「エネルギーの生産と消費」、「食品の安全性」、「水の汚染と室内空気汚染」、「住生活の環境問題」について学習する。</p> <p>授業一般目標 身近な生活科学を健康、環境、科学の視点から捉え、自分の生活の仕方の改善に向けた態度を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業は4人の教員が担当し、評価は小テスト+レポート提出、レポート提出のみの場合に分かれる。4項目に関するレポート等を提出すること。また、出席が70%未満の場合は単位を与えない(欠格条件)。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 随時プリントを配布する。、 / 参考書: 「水の環境戦略」, 中西準子, (岩波新書); ・随時プリントを配布する。、</p> <p>メッセージ 授業に参加し、自らの意志で考え、自分の意見や考えを構築すること。</p> <p>教官連絡先 ・山本善積: E-mail: yoshizum@yamaguchi-u.ac.jp 電話 083-933-5411、研究室、教育学部、264号室、オフィスアワー 木曜日 10~12時 ・山田次郎: E-mail: jyamada@yamaguchi-u.ac.jp 電話 083-933-5407、研究室、教育学部、412号室 ・入江和夫: E-mail: kirie@edu.yamaguchi-u.ac.jp 電話 083-933-5412、研究室、教育学部、306号室、オフィスアワー 水曜日 10~12時</p>					

系列 一般教養教育

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	生活科学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	星野裕之・五島淑子・阿濱茂樹				
<p>授業概要 生活に関わる衣・食・技術・環境をテーマに、身近な生活にある諸問題を例にあげ、生活問題意識の向上と、生活様式の改善への働きかけをする。具体的には、「衣と生活」、「食と生活」、「情報技術の必要性」、「ものづくりの大切さ」について学習する。</p> <p>授業一般目標 身近な生活を科学の視点で捉えられるとともに、よりよい生活行動を考えられる態度を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席状況と3回のレポートで評価する。なお、3回のレポートが提出されなければ単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 各週の講義の順番は変更されることがあります。教室の大きさに応じて受講制限をします。</p> <p>教官連絡先 星野研究室 教育学部C棟3階300号室 金曜日 16:10～17:40 もしくは、hhoshino@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般教養教育

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	行動科学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	上田真寿美				
<p>授業概要 本授業では行動科学とはどのような学問かを概説する。そして医療、保健分野における行動科学について基本事項を説明し、本分野における行動科学の必要性と課題を考える。</p> <p>授業一般目標 1. 行動科学とはどのような学問かを理解する。2. 医療、保健分野における行動科学について理解し、本分野における行動科学の必要性と課題を説明できる。3. 健康、疾病をめぐる人間の行動の理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 授業内レポートを数回行う。2. グループディスカッションのまとめのレポートを提出する。3. 関心のある医療問題や行動科学についてレポートを提出する。4. 最後に試験を実施する。以上を以下の観点、割合で評価する。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 参考書：プリント資料を配布する</p> <p>メッセージ グループ学習形式を採っており、遅刻は他学生へも迷惑がかかるため厳禁とする。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：masumi-u@yamaguchi-u.ac.jp、通常は宇部キャンパス(医学部医学科医療環境学講座研究室)にいます。</p>					

開設科目	命と場	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	月曜日 5・6時限
担当教官	乾誠 ほか				
<p>授業概要 ヒトは生物界の中で単独に存在するわけではなく、それを取り巻く環境の中で相互依存の関係をもちながら生存している。その環境には、生物学的側面に加えて、ヒトが作り出した社会的側面も密接に関連している。こうした生命と環境としての場との相互関係のなかで人間自身の問題を生物医学的観点から考えていく。</p> <p>授業一般目標 ヒトの生物学的側面と環境との関係を理解し、実際の医療現場と最先端の医学研究や医療を概観し、生命と環境としての場との相互関係の中におかれている人間自身の問題を主体的に考える。</p> <p>成績評価方法(総合) 各回の授業の終わりの20分くらいで、その日の授業に関するレポート(テーマは授業担当教員の指示に従う)の作成を各自が行い、いわゆる筆記試験は行わず、毎回のレポート評価と授業態度らを総合して全体の成績評価をする。</p> <p>メッセージ 筆記試験はいたしませんので、毎回のレポートをしっかりと書けるようによく授業を聞いて下さい。</p>					

開設科目	環境と植物	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	田中秀平				
<p>授業概要 植物は地球環境の保全や食料生産に極めて重要な役割を果たしている。しかし、その植物もまた、周囲の環境から様々な影響を受けており、微生物や昆虫も植物に重要な影響を与えている。微生物は有機物をはじめ各種物質の分解や土壌生態系の重要な担い手として、昆虫は花粉の運搬者として植物の生活に役立っている。しかし微生物や昆虫の中には病原菌や害虫として植物の生育に悪影響を及ぼすものもある。即ち植物と環境の関係は実に多様であり、バランスのとれた生態系を守り育てることが地球環境の保全に不可欠である。一方、食料生産を目的とする農業は、植物の生育や植物と微生物・昆虫の関係を人間の都合に合わせてようとする行為であり、環境保全や食料の安全性の面で様々な問題を抱えている。農業の場にも地球環境問題の一面が見える。講義では、自然生態系および農業生態系における植物と微生物・昆虫の関わりの現状と課題について解説する。</p> <p>授業一般目標 生態系における植物、微生物、昆虫の多様性とその役割、ならびに農業や工業など人の営みが植物、微生物、昆虫などがつくる生態系に及ぼす影響について解説し、生態系が植物をはじめとするあらゆる生物の連鎖的關係によって成り立っていることを理解させることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験を行うほか、適宜レポートを課す。成績は出席30%、レポート30%、試験40%の比率で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回プリントを配付する。/ 参考書：微生物ってなに、日本微生物生態学会教育研究部会編著、日科技連出版社、2006年；参考図書は、最初の講義の時に一括紹介する。</p> <p>教官連絡先 研究室：田中秀平(農学部 3F 331号室)、竹松葉子(農学部 3F 327号室)、藤井克彦(農学部 4F 418号室) オフィスアワー：随時</p>					

開設科目	環境と農業	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日 1・2時限
担当教官	藤間充				
<p>授業概要 今や世界の人口は60億を越え、21世紀の半ばには120億人に達するとみられている。世界の耕地面積はほぼ限界に達し、単位面積あたりの収量も期待できないなか、はたして地球はこれだけの人口を養っていけるのだろうか。科学技術の発達により食料・環境問題をどこまで克服できるのだろうか。先進国のなかで、もっとも食料自給率が低いわが国の農業・農村の将来をどうしたらいいのか。持続的農業の本質および科学技術の発達と環境とのかかわりについて講述する。</p> <p>授業一般目標 現状を認識することによって、受講生に危機感をもってもらえば本講義は成功である。何らかの具体策が提言できるようにになれば大成功である。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業後半時間に小テストを課す。その内容と、出席で成績を評価する。</p> <p>教官連絡先 農学部附属農場</p>					

開設科目	交通と社会	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日 3・4時限
担当教官	澤喜司郎, 古川浩平, 山本哲朗, 田村洋一, 望月信介, 小嶋直哉, 小河原加久治				
<p>授業概要 現代社会は自動車, 船舶, 航空機などの様々な交通システムによって支えられています。それら交通システムは機械のみならず, 道路などのインフラやその管理運営システムといった幅広い技術と関係する学問分野とに関係し, またそれらの協力の下に成り立っています。この講義では社会における工学の役割を, 交通システムに関係する技術や学問におけるキーワードに基づいて考えていきます。</p> <p>授業一般目標 社会における交通システムと関係する人類の英知を, それを構成するシステムや機械の技術的側面のみではなく, 経済的あるいは文化的側面から理解し, 個々の学問における知恵とそれを要素として活用する社会全体における役割を広い観点から考察できる視野と能力を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 出題された課題に対するレポートに基づき評価を行います。</p> <p>メッセージ 新聞記事や科学雑誌等に掲載される交通に関する事柄に興味を持ち, 自らの思考に基づき考察し, それが具体的な行動に移せるように心がけることです。</p> <p>教官連絡先 望月信介(まとめ役) shinsuke@yamaguchi-u.ac.jp メールで問い合わせてください。</p>					

開設科目	環境と人間	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	中村安弘他 6 名				
<p>授業概要 この授業では、建築を中心にして環境と人間の関係を講義する。建築の文化的・技術的環境について、快適性、安全性、風土、歴史、都市、景観など様々な観点から紹介する。</p> <p>授業一般目標 人間と環境、とくに都市や建築に関する問題を理解し、自ら関心を持って考えることができる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布</p>					

開設科目	環境と人間	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	三好正毅, 小柳剛, 甲斐綾子, 堀田昌志				
<p>授業概要 1) 地球環境における物質循環について解説する。 2) 放射線の影響について解説する。 3) 電磁波の人体への影響について述べる。 4) エネルギーと環境の関係について説明する。</p> <p>授業一般目標 1) 物質循環の概念を理解する。 2) 放射線が人体、環境に及ぼす影響を知る。 3) 電磁波が人体に及ぼす影響を知る。 4) 各種エネルギー利用と環境の関係を認識する。</p> <p>成績評価方法(総合) 1) レポート(小論文形式を含む) 4 回分の内容で評価する。 2) 出席及びレポート提出回数が所定の回数に満たない者には単位を与えない(10 回以上出席し、3 回以上レポートを提出すること)。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 物理学に基づく環境の基礎理論, 勝木 渥, 海鳴社, 1999 年; 放射線のやさしい知識, 飯田博美・安齋育郎共編, オーム社, 1984 年; 電気の暮らしと健康不安, 電気学会電磁界生体影響問題調査特別委員会編, 電気学会, 2001 年; 身の周りの電磁界と人の健康への影響, 電気学会電磁界生体影響問題調査特別委員会編, 電気学会, 2003 年; 現代エネルギー・環境論, 新田義孝編, 電力新報社, 1999 年</p> <p>メッセージ 授業担当者は、第 1 週～第 5 週 三好、第 6 週～第 8 週 甲斐、第 9 週～第 11 週 堀田、第 12 週～第 14 週 小柳 教官連絡先 三好 E-mail tmiyoshi@yamaguchi-u.ac.jp 電話番号 0836-85-9450 研究室 電気電子棟 A708 オフィスアワー 研究室入口に表示 堀田 E-mail hottta@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー 随時</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	機械	単位	1 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	曾根涼子				
<p>授業概要 現代社会では省力化、機械化や自動化によって、日常生活の中で十分なエネルギーの消費、体力を維持するだけの運動量を得ることが難しくなっています。日常的な運動不足がもたらす弊害には、体力の低下や肥満症、心筋梗塞、高血圧症などの運動不足病があげられます。これらを予防するためには、適度な運動を生活習慣の中にとり入れて定期的に行う必要がありますが、このような運動の実施に当たっては、正しい理論に基づいた運動の実践が必要です。そこで、この授業では、健康に対する身体活動の意義、健康の維持増進のために運動を実践する際の基本的考え方とその具体的実践方法および実践能力を習得することを目的としています。</p> <p>授業一般目標 健康に対する身体活動の意義、健康の維持増進のために運動を実践する際の基本的考え方とその具体的実践方法および実践能力を習得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 授業開始後 20 分までを遅刻とし、2 回遅刻で 1 回欠席として扱います。20 分以上遅れて入室した場合は、欠席扱いとします。授業時には、携帯電話の電源は切ってください。電卓を使用することがあります。 単位認定の最低必要条件：2/3 以上出席</p> <p>教官連絡先 連絡先：教育学部 101-1 あるいは 101-2 (083-933-5389) sone@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：水曜日 9 時～12 時</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	応化	単位	1 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	河合洋祐				
<p>授業概要 機械化、動力化、情報化による急速な生活環境の変化は我々のライフスタイルを変え、日常の身体活動量を大きく減少させた。これは体力を低下させるとともに、食生活の変化と相俟って生活習慣病の危険因子をも招来しやすくしている。一方、適切な運動習慣は体力を向上させ、ある種の病気を予防したり、免疫力を高める可能性も明らかになってきた。今後到来すると予想される高度情報化社会において身体運動の重要性は一層高まるものと考えられる。本講義では運動が身体諸機能に及ぼす影響と健康づくりを可能にする身体運動の意義を概説する。</p> <p>授業一般目標 生活習慣と健康の関わりについて学ぶとともに、運動が身体諸機能に及ぼす影響と健康づくりを可能にする身体運動の意義を理解し、健康にとって望ましいライフスタイルの確立を促すことを目的とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験を実施する。期末試験の受験資格は欠席回数 2 回以内の者とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回配布するプリントを使用する。/ 参考書：講義の中で紹介する。</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	知能	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	宮田浩文				
<p>授業概要 近代化に伴う生活様式の省力化・機械化は、運動不足状態を作りだし、その健康への影響が心配されるようになってきている。本講義では、運動生理学、バイオメカニクス等の研究成果を、なるべく学生諸君の健康の保持・増進のための実践的な知識となるよう解説する。</p> <p>授業一般目標 体の基本的構造機能を理解し、それぞれに対する運動や食事の影響を考える。また、どの程度の運動や食事が必要であるかについて、実生活に即して考えられるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 学期末試験の結果と授業中の小レポートの内容を主な評価の対象とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：複数のテキストから抜粋した資料を毎時間配布する。</p> <p>メッセージ 遅刻、私語、飲食は厳禁。</p> <p>教官連絡先 月曜日午前中</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	社建	単位	1 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	曽根涼子				
<p>授業概要 現代社会では省力化、機械化や自動化によって、日常生活の中で十分なエネルギーの消費、体力を維持するだけの運動量を得ることが難しくなっています。日常的な運動不足がもたらす弊害には、体力の低下や肥満症、心筋梗塞、高血圧症などの運動不足病があげられます。これらを予防するためには、適度な運動を生活習慣の中にとり入れて定期的を実施することが必要ですが、このような運動の実施に当たっては、正しい理論に基づいた運動の実践が必要です。そこで、この授業では、健康に対する身体活動の意義、健康の維持増進のために運動を実践する際の基本的考え方とその具体的実践方法および実践能力を習得することを目的としています。</p> <p>授業一般目標 健康に対する身体活動の意義、健康の維持増進のために運動を実践する際の基本的考え方とその具体的実践方法および実践能力を習得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 授業開始後 20 分までを遅刻とし、2 回遅刻で 1 回欠席として扱います。20 分以上遅れて入室した場合は、欠席扱いとします。授業時には、携帯電話の電源は切ってください。電卓を使用することがあります。 単位認定の最低必要条件：2/3 以上出席</p> <p>教官連絡先 連絡先：教育学部 101-1 あるいは 101-2 (083-933-5389)、sone@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：水曜日 9 時～12 時</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	感性・循環	単位	1 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	河合洋祐				
<p>授業概要 機械化、動力化、情報化による急速な生活環境の変化は我々のライフスタイルを変え、日常の身体活動量を大きく減少させた。これは体力を低下させるとともに、食生活の変化と相俟って生活習慣病の危険因子をも招来しやすくしている。一方、適切な運動習慣は体力を向上させ、ある種の病気を予防したり、免疫力を高める可能性も明らかになってきた。今後到来すると予想される高度情報化社会において身体運動の重要性は一層高まるものと考えられる。本講義では運動が身体諸機能に及ぼす影響と健康づくりを可能にする身体運動の意義を概説する。</p> <p>授業一般目標 生活習慣と健康の関わりについて学ぶとともに、運動が身体諸機能に及ぼす影響と健康づくりを可能にする身体運動の意義を理解し、健康にとって望ましいライフスタイルの確立を促すことを目的とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 期末試験を実施する。 2. 期末試験の受験資格は欠席回数2回以内の者とする</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回配布するプリントを使用する。 / 参考書：講義の中で紹介する</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	電気	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	宮田浩文				
<p>授業概要 近代化に伴う生活様式の省力化・機械化は、運動不足状態を作りだし、その健康への影響が心配されるようになってきている。本講義では、運動生理学、バイオメカニクス等の研究成果を、なるべく学生諸君の健康の保持・増進のための実践的な知識となるよう解説する。</p> <p>授業一般目標 体の基本的構造機能を理解し、それぞれに対する運動や食事の影響を考える。また、どの程度の運動や食事が必要であるかについて、実生活に即して考えられるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 学期末試験の結果と授業中の小レポートの内容を主な評価の対象とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：複数のテキストから抜粋した資料を毎時間配布する。</p> <p>メッセージ 遅刻、私語、飲食は厳禁。</p> <p>教官連絡先 月曜日午前中</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (硬式テニス)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	学教2年	単位	1単位	曜時限	火曜日 1・2時限
担当教官	丹信介				
<p>授業概要 テニスは、生涯を通して楽しめるスポーツの一つである。このようなテニスのゲームを楽しめるようになるためには、最低限の基礎技術の習得が必要となる。この授業では、初心者、初級者を対象の主体とし、テニスのゲームが楽しめるようになるための基礎技術の習得、特にグランドストロークでラリーが行えるようになることを授業の主な目標のひとつとして、授業を進める。授業の後半では、習得した基礎技術実践の場であるゲームを中心に授業を展開する。</p> <p>授業一般目標 テニスのゲームを楽しむために必要な基礎技術の習得、特にグランドストロークでラリーが行えるようになることを授業の主要な目標のひとつとする。また、ダブルス(シングルス)のゲームが楽しめるよう、ゲームの進め方、ルールを理解し、実際に行えることも目標のひとつとする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト/授業内レポート = 20~40% 授業態度や授業への参加度 = 60~80% 出席 = 欠格条件</p> <p>教科書・参考書 教科書: 必要に応じて、授業時にプリントを配布する。</p> <p>メッセージ テニスシューズを必ず用意して下さい。ラケットは、授業時に貸し出しますが、各自用意したものを使ってもかまいません。</p> <p>教官連絡先 丹 信介 Email: tan@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp 電話: 933-5388 研究室: 教育学部 436-2 オフィスアワー: 月 12:50~14:20</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バレーボール)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	学教2年	単位	1単位	曜時限	火曜日 1・2時限
担当教官	曽根涼子				
<p>授業概要 この授業では、バレーボールの理論(技術や戦略)について学び、実践する。その中で、体力の向上や仲間づくりも大切な目的としている。</p> <p>授業一般目標 ・バレーボールの理論について学び、実践する。 ・体力を向上させる。 ・仲間づくりを行う。</p> <p>成績評価方法(総合) 実技試験の成績、授業への取組等による総合評価で行う。出席は欠格条件(欠席は3回まで)である。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 授業時に資料を配布する。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: sone@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バスケットボール)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	学教 2 年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	中島憲子				
<p>授業概要 バスケットボールが生まれて 100 年以上が過ぎている。これまでは沢山の改良 (技術や戦術、ルール、用具など) が重ねられ、現在のバスケットボールに至っている。また学校教育では小学校期から教材として活用されているが、年齢が上がるにつれ、経験の差も大きくなり、得意・不得意の種目として分かれるようになる。そこで本授業では、バスケットボールが持つ本来の面白さを味わうと共に、異なる技能 (個性) 集団でつくられたグループ活動を通して、ゲーム分析を進め、全員で技能や戦術を高めていきたい。</p> <p>授業一般目標 バスケットボールの基礎技術、基礎的戦術を中心にゲーム分析を行いながら、グループに必要な練習やドリルを計画し展開できる。また、みんなが楽しめるよう積極的にグループ活動に参加しながら、バスケットボールの攻撃と防御の 2 側面からみた戦術について理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席状況、課題レポート、グループ活動における積極的な取り組み状況などをもとに総合的に判断する</p> <p>メッセージ 出会った仲間と一緒に、頭と身体を使ってたっぴりとバスケットボールを楽しんでほしい。そのためには、自分勝手な行動をしないこと。またグループ活動なので、友だちの話を聞き、自分の意見もいえるようにしてほしい。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (ニュースポーツ)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	学教	単位	1 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	涌井忠昭				
<p>授業概要 ニュースポーツとは、(1) 国内外を問わず最近生まれたスポーツ、(2) 諸外国で古くから行われていたが最近わが国で普及したスポーツ、(3) 既存のスポーツ・成熟したスポーツのルール等を簡略化したスポーツのことを意味します。この授業では、数種目のニュースポーツと、これまで経験したことがあるであろう既存のスポーツを体験・実践し、生涯を通じて楽しくスポーツを実践できる能力の習得を目的とします。また授業の際には、さまざまなレクリエーションゲームを通してウォーミングアップを行いたいと考えています。教育系の学生には教育実習または今後の参考になると思います。</p> <p>授業一般目標 1) 授業で体験・実践するスポーツのルールの理解 2) 授業で体験・実践するスポーツの基本技術の習得 3) 生涯を通じてスポーツを実践できる能力の習得</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席状況および授業態度による総合評価。</p> <p>教科書・参考書 参考書：教科書は使用せず資料を配付する。</p> <p>メッセージ スポーツの上手下手に関係なく、誰もが楽しめるニュースポーツなどの実践を通して、スポーツの楽しさを体験したい人向けの授業だと思います。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バスケットボール)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	学教	単位	1 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	中島憲子				
<p>授業概要 バスケットボールが生まれて 100 年以上が過ぎている。これまでは沢山の改良 (技術や戦術、ルール、用具など) が重ねられ、現在のバスケットボールに至っている。また学校教育では小学校期から教材として活用されているが、年齢が上がるにつれ、経験の差も大きくなり、得意・不得意の種目として分かれるようになる。そこで本授業では、バスケットボールが持つ本来の面白さを味わうと共に、異なる技能 (個性) 集団でつくられたグループ活動を通して、ゲーム分析を進め、全員で技能や戦術を高めていきたい。</p> <p>授業一般目標 バスケットボールの基礎技術、基礎的戦術を中心にゲーム分析を行いながら、グループに必要な練習やドリルを計画し展開できる。また、みんなが楽しめるよう積極的にグループ活動に参加しながら、バスケットボールの攻撃と防御の 2 側面からみた戦術について理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席状況、課題レポート、グループ活動における積極的な取り組み状況などをもとに総合的に判断する</p> <p>メッセージ 出会った仲間と一緒に、頭と身体を使ってたっぴりとバスケットボールを楽しんでほしい。そのためには、自分勝手な行動をしないこと。またグループ活動なので、友だちの話を聞き、自分の意見もいえるようにしてほしい。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (ターゲットバードゴルフ)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	学教	単位	1 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	宮田浩文				
<p>授業概要 ターゲットバードゴルフは、羽根つきのボールを普通のゴルフクラブで打つ、ミニゴルフの一種である。羽根が付いているために、強打しても 20~30m しか飛ばず、狭いコースでもフルスイングができる。そのため、初心者にも、爽快感があり、適度な技術的難度 性も有しているリクリエショナルスポーツである。ターゲットバードゴルフは運動量があまり多くないので、各時間の最初 20 分ぐらいは、ウォーミングアップを兼ねてランニング、補強運動等を行う。</p> <p>授業一般目標 1) 基本的なルールの理解 2) 基本的なグリップ、スイングの習得 3) 簡易コースでのラウンドに必要な知識と技術の習得</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業中の態度と出席状況の総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 時間厳守</p> <p>教官連絡先 月曜日午前中</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (ハンドボール)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	森田俊介				
<p>授業概要 ヨ・ロッパで盛んに行われているハンドボールは、走・投・跳の運動基本動作を利用して、ボールをパス・キャッチ・ドリブルしながら相手ゴールに投げ込むチームスポーツである。比較的小さなボールを手で扱うため、誰でもが参加して気楽に楽しむことができる反面、個々のメンバーにはコンビネーションプレーに必要なスピード、スタミナが要求される。この授業ではボールを使って体力づくりを行いながら、ハンドボールの基本的な技能を身につけ、それらをチーム戦術の中で生かすことができるようになることを目的とする。</p> <p>授業一般目標 この授業ではボールを使って体力づくりを行いながら、ハンドボールの基本的な技能を身につけ、それらをチーム戦術の中で生かすことができるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 参加度 (60%)、習熟度 (20%)、意欲度 (20%) などから総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：必要に応じて授業中にプリントを配布する。</p> <p>メッセージ 各自はコンディショニングに最大の配慮をすること。</p> <p>教官連絡先 電話 933-5385 shunsuke@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バレーボール)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	牧野共明				
<p>授業概要 スポーツは現代に生きる人間にとって教養の一つである。それは、「体力や健康の維持・増進」という面のみでなく、スポーツを「人間として豊かに生きる」という観点から実践することを求めている。そして、そのためにはスポーツの価値をトータルにとらえることが必要となってくる。また、スポーツは授業で行ったり、大学のクラブで行ったりするだけではなく、大学を卒業してからも地域や企業内のクラブ等で続けることが求められる。しかし、現在そこには多くの問題が内包されている。そして、それらが解決できないために、スポーツ教室やクラブを続けられないという状況もたくさん生まれている。この授業では、そのようなことを踏まえ、生涯、スポーツと十分に関わるためにどのような知識や技能・技術が必要なのかということを考えながら、「バレーボールそのものの面白さ」も追求しつつバレーボールの実技を行う。</p> <p>授業一般目標 (1) スポーツをするための必要条件である、「人とかかわる能力」を一層身につけるため、グループ作りやある程度のルール作りを受講者が話し合いながら決めていく。(2) 実技においては、ゲーム中心に行い、バレーボールの戦術・戦略を経験を通して学ぶ。(3) スポーツをするために必要な場作りを実技を通して実際に学習する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席及び実技試験の成績等による総合評価で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業時に資料を配布する。/ 参考書：授業時に紹介する。</p> <p>メッセージ 授業では討議をする場が設定されている。みんなの前で自分の意見を積極的に言ってほしい。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：makino@yamaguchi-jc.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (エアロビクス)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	田中富美子				
<p>授業概要 「エアロビクス」は米国のケネス・H・クーバー博士により 1967 年初めて提唱された運動 処方理論から発し、1970 年 ジャッキー・ソーレンソンによるダンスの要素を加えた「エアロビクス・ダンス」が生まれ、現在では健康スポーツ・生きがいスポーツの性格を持つ生涯スポーツとして、幅広い年齢層に普及している。本授業では、エアロビクス理論の理解を深め、生涯スポーツへつながる実践を行う。</p> <p>授業一般目標 音楽に合わせて、身体を動かすことによって、呼吸・循環系に適度な刺激を与え、また全身の柔軟性や筋力・筋持久力の向上を目的とする。個々の体力に合わせて、運動強度を自覚するとともに、人との係わりの中でコミュニケーションをとりながら表現する力を高め、創作活動を行う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 4 回以上の欠席は、欠格とする。出席と実技への参加度・意欲度を総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 仲間とのかかわりを持ちながら自分自身の心と身体をほぐし、動く楽しさを味わいましょう。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (サッカー)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	海野勇三				
<p>授業概要 ここでは、サッカーを教材に、チームを編成して共同的な学習を展開していく。リーグ戦を中心として、チームごとに練習計画に沿った活動を進めていき、ゲームを分析しながら、戦術理解とチーム力を高めていきたい。また、スポーツとしてのサッカーの発生と発展の歴史についても学習する。</p> <p>授業一般目標 チームでの役割分担に基づいて、共同的な学習活動を展開することができる。また、練習とゲーム分析を通じて、攻撃と防御の技能を向上させ、戦術理解を深めることができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席状況、課題レポート、およびグループでの共同的な取り組みの状況等をもとに総合的に評価する。</p> <p>メッセージ グループで共同しながら、自主的な運営のもとに練習とゲームを進めていきます。スポーツのすばらしさを体感して欲しい。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス : yunno@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (ショートテニス)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文2年	単位	1 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	池田恵子				
<p>授業概要 本授業では、ニュースポーツのひとつであるショートテニスの実習を行う。ショートテニスとは、グリップの短い硬式用テニスラケット、室内テニス用スポンジボール、軽量かつ固定性に優れたネットポストを用いて行うものである。また本スポーツは、屋内コートで行うスポーツの安全性に留意して開発され、かつバドミントン・コートなどの既存の施設を利用して行うことを特徴としている。また手のひら感覚で打球・返球が容易に行えるので、テニスの初心者に適している。</p> <p>授業一般目標 本授業では、軽スポーツの理念とニュースポーツについて、およびニュースポーツが生まれた歴史的背景を理解し、安全かつ創造的にスポーツに取り組む能力を修得する。同時に将来にわたって、スポーツを楽しみ、硬式テニスなどのより高度なスポーツ実践にも率先して取り組める基礎技術の修得に努める。具体的には、設備の準備・収納、ゲームの実践、審判、観客の役割を実習することにより、基礎技術・戦略の習熟に加えて、本スポーツの文化規範を包括的に理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 毎時、実習記録表を提出。(2) 軽スポーツの理念に関するレポートの提出。(3) 本授業でとりあげたゲームのルールに関する小テストの実施。</p> <p>教科書・参考書 参考書：『やわらかいスポーツへの招待 - 軽スポーツを科学する - 』、奈良女子大学文学部スポーツ科学教室編、同和書院、1998年；ニュースポーツ事典、遊戯社</p> <p>メッセージ 硬式テニスを始めてみたいけれど、テニスに苦手意識のある人、室内テニスに挑戦したい人に最適の授業内容です。</p> <p>教官連絡先 池田恵子：E-mail kikeda@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 5381, 研究室 176</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バレーボール)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文2年	単位	1 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	友定保博				
<p>授業概要 ここでは、バレーボールを教材に、チームを編成して共同的な学習を展開していく。リーグ戦を中心として、チームごとに練習計画に沿った活動を進めていき、ゲームを分析しながら、戦術理解とチーム力を高めていきたい。また、スポーツとしてのバレーボールの発生と発展の歴史についても学習する。</p> <p>授業一般目標 チームでの役割分担に基づいて、共同的な学習活動を展開することができる。また、練習とゲーム分析を通じて、攻撃と防御の技能を向上させ、戦術理解を深めることができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席状況、課題レポート、およびグループでの共同的な取り組みの状況等をもとに総合的に評価する。</p> <p>メッセージ グループで共同しながら、自主的な運営のもとに練習とゲームを進めていきます。スポーツのすばらしさを体感して欲しい。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (エアロビクス)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文2年	単位	1 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	田中富美子				
<p>授業概要 「エアロビクス」は米国のケネス・H・クーバー博士により 1967 年初めて提唱された運動 処方理論から発し、1970 年 ジャッキー・ソーレンソンによるダンスの要素を加えた「エ アロビクス・ダンス」が生まれ、現在では健康スポーツ・生きがいスポーツの性格を持つ生涯スポーツとして、幅広い年齢層に普及している。 本授業では、エアロビクス理論の理解を深め、生涯スポーツへつながる実践を行う。</p> <p>授業一般目標 音楽に合わせて、身体を動かすことによって、呼吸・循環系に適度な刺激を与え、また全身の柔軟性や筋力・筋持久力の向上を目的とする。 個々の体力に合わせて、運動強度を自覚するとともに、人との係わりの中でコミュニケーションをとりながら表現する力を高め、創作活動を行う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 4 回以上の欠席は、欠格とする。 出席と実技への参加度・意欲度を総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 仲間とのかかわりと持ちながら自分自身の心と身体をほぐし、動く楽しさを味わいましょう。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バスケットボール)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	杉浦崇夫				
<p>授業概要 バスケットボールは、冬期の体育の時間に、室内で楽しく克つ活発に行えることを目的にアメリカの J. A. Naismith によって、1891 年に創案されたスポーツである。その特色は、集団対集団のスポーツであること、ボールを持って自由に動けない中でボールを 投げたり捕ったりしなければならないこと、相手の身体には触れないこと、ゴールが小さく高い所にあることなどにより、危険が少なくスリルに富みそのうえルールの枠内で プレーヤーの自由で創造的活動の出来るゲームであることなどである。 本授業では、ゲームを通してバスケットボールの基本的な個人的技能 (パス・キャッチ・ドリブル・シュートなど) と集団的技能 (ディフェンス・オフフェンスなど) を学習する。</p> <p>授業一般目標 本授業では、バスケットボールの基本的な個人的技能 (パス・キャッチ・ドリブル・シュートなど) 集団的技能 (ディフェンス・オフフェンスなど) 基本的ルールを学 習・修得するとともに、バスケットボールに必要な体力要素を向上させることを通して、生涯スポーツにつながる実践を行う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業態度や授業への出席状況から評価する。 なお、欠席が 4 回以上の者には単位を与えない。</p> <p>メッセージ 自分勝手な行動は、慎む。雨天時には、場所の関係から他の種目を実施することもある。実技のできる服装ならびに体育館履きを各自用意する。</p> <p>教官連絡先 E-mail takahito@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 083-933-5387 研究室 教育学部 H484-1 オフィスアワー 在室時は、いつでも</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (エアロビクス)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時間	木曜日 1・2 時限
担当教官	田中恵美子				
<p>授業概要 エアロビックダンスは、ジョギングや水泳、サイクリングのかわりにダンスの要素を取り入れたリズムカルな有酸素運動である。プログラムは、初級レベルでウォームアップ (準備運動)、ステップ・メインダンス (有酸素運動)、コンディショニング (筋力強化運動)、クーリング・ダウン (整理運動) を含む 60 分前後で構成される。終始音楽に合わせて展開され、全体学習、グループ学習を取り入れながら基礎的な身体づくりをしていく。</p> <p>授業一般目標 エアロビックダンスの特性を知ること。基本ステップの修得を通して、健康・体力づくりを目的に、全身持久力、筋肉の柔軟性、筋持久力、調整力を高め、リズムに合わせて動くことの楽しさ、喜びを追求する。そして、体脂肪測定や運動強度心拍測定実験を通してエアロビックダンスの効果を考える。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、グループ創作、意欲、参加度によって総合的に評価する。欠席 4 回は欠格とする。</p> <p>メッセージ 動くことの楽しさを実感し、心と身体を理解してのびのびとそしてしなやかに表現できる身体を作っていきましょう。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (フライングディスク)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時間	木曜日 1・2 時限
担当教官	松本耕二				
<p>授業概要 プラスチック製の円盤「フライングディスク (FD)」を使って行う世界公認 10 種目 (+ 日本公認 1 種目) の基本技術・ルールを紹介・学習します。本実習では、フライングディスクの基本技術の習得とルールの理解をとおして、一人のできる個人種目からチーム種目、また運動強度の軽い「ディスクゴルフ」からハードなチーム競技「アルティメット」までが楽しめる技術・能力を身につけ、スポーツライフを豊かにする資質を育てます。</p> <p>授業一般目標 フライングディスクの基本および応用技術の習得と、各競技ルールの理解を図り、プレーヤー個人が、各ライフステージや体力・技術に応じた運動・スポーツ活動実践 (生涯スポーツ) のための視点を養うことを目標とします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 (60%)、授業態度や授業への参加度 (20~40%)、レポート (20%未満) 等にて総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 日本フライングディスク協会, 日本フライングディスク協会, タッチダウン; フライングディスクのすすめ, 日本フライングディスク協会, ベースボールマガジン社; 適宜プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 実施種目は、施設の状態、天候等により変更することがある。</p> <p>教官連絡先 Email: kmatsu@yamaguchi-pu.ac.jp 研究室: 山口県立大学 (本館 3 F)</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バレーボール)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	渡壁史子				
<p>授業概要 スポーツは文化の一つとして捉えることができるが、中でもバレーボールは近代に入って意図的に作られたスポーツ種目である。本授業では、バレーボールの楽しさを追求していくとともにバレーボールの運営、技術、戦略について理解していく。さらにバレーボールを含めたスポーツを「体力や健康の維持・増進」という面のみでなく、「人間として豊かに生きる」という観点から実践することを求めている。また、今日ではスポーツは授業で行ったり、大学のクラブで行ったりするだけではなく、大学を卒業してからも地域や企業内のクラブ等で続けることが求められる。しかし、現在そこには多くの問題が内包されている。そして、それらが解決できないために、スポーツ教室やクラブを続けられないという状況もたくさん生まれている。この授業では、そのようなことを踏まえ、生涯、スポーツと十分に関わるためにどのような知識や技能・技術が必要なのかということを考えながら実技を行う。</p> <p>授業一般目標 (1) スポーツをするための必要条件である、「人とかかわる能力」を一層身につけるため、運営に必要なグループ作りやある程度のルール作りを受講者が話し合いながら決めていく。(2) ゲームを軸に、バレーボールの戦術・戦略・審判法を経験を通して学ぶ。(3) バレーボールをするために必要な場作りを実技を通して学ぶ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席及び実技試験の成績等による総合評価で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業時に資料を配布する。/ 参考書：授業時に紹介する。</p> <p>メッセージ 話し合いながら授業を進めていくので、自分の意見が言え、人の意見が聞ける能力を身につけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：watakabe@yamaguchi-jc.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バドミントン)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文	単位	1 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	上田真寿美				
<p>授業概要 健康を保持・増進するには、継続的な運動の実施は必要不可欠である。本授業では、社会体育でも積極的に活動が行われているバドミントンを実習し、生涯にわたってスポーツを楽しむ方法を学習する。バドミントンのルールはもちろんのこと、バドミントンによって得られる運動生理・心理学的な効果についても学習する。</p> <p>授業一般目標 バドミントンの基礎的技術、具体的にはダブルスのゲームが可能な範囲までを習得する。そしてルールを学び、自主的にゲームの運営が実施できるようになることを目標とする。さらにバドミントンによって得られる運動生理・心理学的な効果についても確認しながら実施することを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業態度や授業への出席状況から評価する。なお、出席が4回以上の者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜、資料等を配布する。</p> <p>メッセージ 履修者が50名を越えた場合は抽選を行うことがあるので、初回は必ず出席のこと。運動のできる服装と上履きを準備すること。グループ学習形式を採っており、遅刻は他学生へも迷惑がかかるため厳禁とする。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：masumi-u@yamaguchi-u.ac.jp、通常は宇部キャンパス(医学部医学科医療環境学講座研究室)にいます。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習(エアロビクス)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文	単位	1 単位	曜時間	木曜日 3・4 時限
担当教官	田中恵美子				
<p>授業概要 エアロビクスダンスは、ジョギングや水泳、サイクリングのかわりにダンスの要素を取り入れたリズムカルな有酸素運動である。プログラムは、初級レベルでウォームアップ（準備運動）、ステップ・メインダンス（有酸素運動）、コンディショニング（筋力強化運動）、クーリング・ダウン（整理運動）を含む 60 分前後で構成される。終始音楽に合わせて展開され、全体学習、グループ学習を取り入れながら基礎的な身体づくりをしていく。</p> <p>授業一般目標 エアロビクスダンスの特性を知ること。基本ステップの修得を通して、健康・体力づくりを目的に、全身持久力、筋肉の柔軟性、筋持久力、調整力を高め、リズムに合わせて動くことの楽しさ、喜びを追求する。そして、体脂肪測定や運動強度心拍測定実験を通してエアロビクスダンスの効果を考える。</p> <p>成績評価方法（総合） 出席、グループ創作、意欲、参加度によって総合的に評価する。欠席 4 回は欠格とする。</p> <p>メッセージ 動くことの楽しさを実感し、心と身体を理解してのびのびとそしてしなやかに表現できる身体を作っていきましょう。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習(フィットネストレーニング)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文	単位	1 単位	曜時間	木曜日 3・4 時限
担当教官	河合洋祐				
<p>授業概要 フィットネスとは健康で活動的に行動できる能力を表す言葉である。適切な身体運動を継続していると運動に対して身体が適応し、フィットネスが向上する。フィットネスを高めるための適切な身体運動は個人の身体的条件によって異なる。本実習ではフィットネスを高め、ゆとりある日常生活を送るために必要なトレーニングの基本的考え方と個人の身体的条件に適した運動の実施方法を実技を通して習得する。また、トレーニング機器を安全かつ効果的に使用する方法を紹介する。</p> <p>授業一般目標 本実習ではフィットネスを高め、ゆとりある日常生活を送るために必要なトレーニングの基本的考え方を理解し、個人の身体的条件に適したトレーニングの実施方法を実技を通して習得するとともに、トレーニング機器の安全かつ効果的な使用方法を学ぶ。</p> <p>成績評価方法（総合） 欠席 3 回以内で、トレーニングの記録とレポートを提出することが単位認定の条件である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜プリントを配布する。/ 参考書：授業の中で紹介する。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (ニュースポーツ)	区分	実技	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文	単位	1 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	松本耕二				
<p>授業概要 「いつでも・どこでも・だれに(と)でも」楽しめるニュースポーツを紹介する。ニュースポーツは、(1) 近年新しく開発された種目、(2) 既存種目のルール・用具を対象者に応じて改変した種目、(3) これまでわが国において紹介されることが少なかった外国の種目等を総称している。実習では、「ニュースポーツ」と呼ばれる数種目を実践・体験し、基礎技術の習得とルールの理解、そしてスポーツの持つ本来の楽しさを共有し、スポーツの多様性と本質的意味の理解、また各ライフステージに応じた運動・スポーツ活動実践のための視点を養うことを目的としている。</p> <p>授業一般目標 実習では、スポーツの持つ本来の楽しさを共有するために「ニュースポーツ」にカテゴライズされるいくつかの競技種目を体験・実践する。その中で競技種目の基礎技術の習得と基本ルールを把握することによって、その特性を理解する。そしてスポーツの多様性と本質的意味、さらに各ライフステージに応じた運動・スポーツ活動実践のための視点を養うことを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 (60%)、授業内容に関する知識や技能、授業態度 (20~40%)、レポート (20%未満) 等にて総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書: ニュー・スポーツ百科, 水良隆 紺野晃, 大修館書店, 1997 生涯スポーツ実践生涯スポーツ論 - 生涯スポーツを学ぶ人たちへ - 改訂版 川西正志・野川春夫 編著, 市村出版, 2004、ほか</p> <p>メッセージ これまでに体験したことのないいろいろなゲーム&スポーツを体験したい人、運動・スポーツがちょっと苦手な人、みんなと積極的に交流したい人にお勧め。実施種目は、施設の状況、天候等により変更することがある。</p> <p>教官連絡先 Email: kmatsu@yamaguchi-pu.ac.jp 研究室: 山口県立大学 (本館 3 F)</p>					

開設科目	加齢と健康	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(学教(数))除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	日野田裕治 ほか				
<p>授業概要 加齢による身体の変化と、その結果現れやすくなるさまざまな病気について、医学的な観点からわかりやすく解説する。</p> <p>授業一般目標 加齢による身体の変化とその結果として現れやすくなる様々な病気について概要を理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 筆記試験 60%、出席時の小レポート 40%で評価します。</p>					

系列 主題

分野 健康とスポーツ

科目類型 包括

開設科目	健康とアニマル・セラピー	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(学教(教科(数))除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日3・4時限
担当教官	早崎峯夫				
<p>授業概要 この授業は、動物を介在させた障害者のケアのための活動の実際について解説する。単なる動物のおもしろい仕草により癒されるという視点ではなく、ともに生活してくれる動物のお陰で心の底から癒されて自分の人生に生き甲斐と活力が生じ、障害を持ちながらも心豊かに生き生きと生活している障害者とご主人(障害者)の愛情に包まれて生き生きと介助活動をしている補助犬という視点から、人と動物の相互信頼関係や命あるものへの思いやりと愛情といったものを学ぶ。</p> <p>授業一般目標 盲導犬、聴導犬、介助犬を中心に、活動の実際とその効果を、講演、各種資料、ビデオ資料によって講義する。</p> <p>成績評価方法(総合) 自らの力で知識を広げている事を確認するために、頻繁にレポートの提出を求める。それを以て理解度を採点する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：幸せになる犬との暮らし、林 義博監修、幻冬社、2003年</p> <p>メッセージ 単なるテレビ番組に見るような動物おもしろ授業ではありません。厳しい訓練を乗り越えて立派な補助犬に成長する動物たちの気持と必死に生きていこうとする障害者の方々の気持を理解することによって、人の幸せとは何かを学び、動物への慈しみの心を育んで行くことが、この授業の主体ですので、そのことを十分に考えて、興味半分の気持では選択しないことを望みます。</p>					

系列 一般教養教育

分野 総合教養

科目類型 総説

開設科目	環境と地域共生	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	深田三夫他				
<p>授業概要 地方の自治体に見られる少子高齢化問題や中山間地域問題といった地域の問題や、それらに伴って施行された法律、例えば、新しい食料・農業・農村基本法・環境基本法・森林林業基本法などが、これからの社会にどの様に影響していくのか、今後、我々がどの様に関わっていくべきなのか、地域の実践者の報告を中心に講義を行う。</p> <p>授業一般目標 食料問題、地域問題、環境問題について地域の実践者からの報告をもとに理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) テーマ毎にレポート、出席によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：テーマ毎にプリントを配付する。教科書は用いない。</p> <p>メッセージ 環境問題について多角的に考えることができる。</p> <p>教官連絡先 mfukada@yamaguchi-u.ac.jp(代表)</p>					

系列 一般教養教育

分野 総合教養

科目類型 総説

開設科目	国際交流論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日 9・10時限
担当教官	何暁毅、ヒンターエーダー・エムデ、辻田昌次、西浦みどり、中野智昭				
<p>授業概要 日本の歴史はまさに国際交流史ともいえる。昔は中国や東アジアの国々、近代ではヨーロッパやアメリカなど西洋諸国との交流によって、今日の日本の基礎ができたといっても過言ではない。現在では、ボーダーレス社会の基本として地域にも根づいてきた。この科目ではその意義・考え方や人権問題等を折り込み、国際理解・開発教育の観点から実践中心型のカリキュラムを行い、国際交流についての理解を深める。</p> <p>授業一般目標 国際交流の意義・考え方や人権問題等を理解し、地域社会でも十分実践できる国際交流の技術を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講態度(出席、グループ討議の参加など)、レポートなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書: 適宜プリント等を配る。/ 参考書: 草の根の国際交流と国際協力, 明石書店, 2003年</p> <p>メッセージ 項目などはあくまで予定である。ゲストなどの都合により時間など変更することがある。</p> <p>教官連絡先 何暁毅研究室 共通教育棟 309 中野メール: 383630@pnet.energia.co.jp</p>					

系列 一般教養教育

分野 総合教養

科目類型 総説

開設科目	ベンチャービジネス論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 5・6時限
担当教官	向山尚志、畑皓二、藤川英士				

系列 一般教養教育

分野 総合教養

科目類型 総説

開設科目	観光と経済	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時間	水曜日 5・6時限
担当教官	河村、馬田、武本、尹、有村、野村、油納、藤井、寺地、仲間、豊				
<p>授業概要 平成17年4月、全国の国立大学に先駆けて、本学経済学部にて観光政策学科が設立されました。この新学科は山口県、ひいては日本の観光政策をリードする研究・教育拠点になっていく存在として、全国から注目を浴びています。本講義は「経済学によって観光を科学する」とはどういうことなのかを初心者・一般向けに解説する授業です。リレー講義の中で、観光が世界経済に及ぼす影響、観光産業の現状や展望、観光が地域経済や自然環境に及ぼす影響、等々を考察していきます。観光経済を初めて勉強する人のためのテキスト『観光経済学入門』を使って講義を行います。</p> <p>授業一般目標 「経済学によって観光を科学する」ことの意義を学び、わが国や山口県における観光産業の現状や将来を考察するための基礎知識を身につけます。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回、講義終了時に課題が通知される。受講生はその課題に対して800字以上のレポートを作成し、A4用紙にプリントアウトした上で、これを次回の講義に持参する。TAが講義の開始と同時に回収を始める。手書きのレポートは、提出できない(手書きのレポートは読みにくいという教員がおられます)。このレポートの合計点により成績評価を行なう。なお、TAがすでにレポートを回収し終わっている場合、学生はレポートを提出することができない。それにもかかわらず、レポートの受領をしつこく求める学生は不正行為として不合格とする。また、他の授業・就職活動・病気を理由として本講義に出席できない場合であっても、レポートの提出は認めないし、他の救済措置もとらない。遅刻者・欠席者を減少させるためである。なお、雑談・筆談して講義を妨害するなど、教員の指示に従わない者は不合格とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『観光経済学入門』、J・マック、日本評論社、2005年 / 参考書：必要に応じて授業中に指示する。</p>					

系列 一般教養教育

分野 総合教養

科目類型 総説

開設科目	知の広場 - 人と学問 -	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時間	水曜日 7・8時限
担当教官	富永倫彦				
<p>授業概要 山口大学に入学したばかりの学生が、本学およびそれぞれの部局の設立の経緯、発展の過程、現状、およびそれぞれの学問分野の概要を知ることにより、本学の学生としての自覚を持ち、自己の将来像を描きながら学習する動機付けを得る。</p> <p>授業一般目標 学における学問分野の概要を知り、必要に応じてその分野の専門家や文献にアクセスできる能力を養う。また、講師自身の教育者および研究者としての体験から、それぞれの専門領域の社会的立場づけや将来への展望、さらには人間としての生き方を学ぶこと。この授業を契機として、学生が学問や社会や人間について問題意識を持つようになることが望まれる。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講生には毎回小レポートを提出してもらう。講師により最後の講義の後半で試験またはレポートを課すこともある。</p>					

系列 一般教養教育

分野 総合教養

科目類型 総説

開設科目	ベンチャービジネス論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日7・8時限
担当教官	稲葉和也				
<p>授業概要 ベンチャー企業とは「リスクを恐れず新しい領域に挑戦する若い企業」のことを指します。従来の新規開業企業と異なるのは、高い志や目標を持ち、起業家自身が高度な専門能力と困難に耐え抜く忍耐力を持ち、創造的かつ才能のある人を集める事業を創業し、高収益で高成長する企業を作り出すという点にあります。バブルが崩壊した後、グローバル化が進展し、情報ネットワーク化の本格的な展開によって産業構造が変わり、新しい競争の段階を迎えています。このようなベンチャー企業に対する存立条件をどのように活用して、新しいビジネスチャンスを創出していけばよいのでしょうか。日本経済が元気を取り戻すためには、国内・国外を問わず通用する高付加価値商品を生み出し、グローバルに新市場の開拓を図ることが必要とされます。独創性・多様性・柔軟性・即応性に富んだ、旺盛な起業家精神を持つ人材を生み出す、多くのベンチャー企業が生まれることが期待されます。</p> <p>授業一般目標 日本企業では経営者の能力を持った人材が不足しています。企業が多角化、リストラをはかり、これまで経験したことのない新分野に出て行く時に求められるのはリーダーとしての経営能力です。この講義では経営者の人材の育成を目標としています。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講生の理解度、意欲を高めるために事業計画の提出、レポートを課すことがあります。試験の結果、及び出席状況、レポートを加味して評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『ベンチャー企業』日経文庫1069, 松田修一, 日本経済新聞社, 2005年</p> <p>メッセージ 何か分からないことがありましたら遠慮なく聞きに来てください。</p> <p>教官連絡先 E-mail: inaba@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般教養教育

分野 総合教養

科目類型 総説

開設科目	医療環境論1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学3年、看護2年、検査3年	単位	2単位	曜時限	月曜日1・2・3・4時限
担当教官	星野晋、清俊夫、松田昌子他 非常勤講師2名				
<p>授業概要 「医療環境」とは、医療が前提とする自然・社会・文化的条件である。人が病気になるとはどういうことか、これに応える医療とはどのような行為であるかという問いかけを核に、医学・医療とさまざまな周辺学問領域の橋渡しを試みる。医療環境論1では、Life(生命・生活・人生)、生物学、性差、身体、文化などと病気/健康・医療の関わりについて考える。</p> <p>授業一般目標 医学・医療の前提をなす自然・社会・文化的環境すなわち「医療環境」の全体像を、Life、地球環境、身体、文化的多様性、社会等の概念・軸を用いて理解し、その中における医学・医療の位置づけを把握し、人間の病と健康をめぐるさまざまな問題を総合的に捉える視点と態度を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席および毎回の授業に対するコメント(小レポート)により評価する。</p> <p>教官連絡先 水曜日午後 医療環境学分野(医療人類学)研究室</p>					

系列 一般教養教育

分野 総合教養

科目類型 総説

開設科目	医療環境論 2	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学3年、看護2年、検査3年	単位	2単位	曜時限	月曜日 1・2・3・4時 限
担当教官	星野晋、清俊夫				
<p>授業概要 「医療環境」とは、医療が前提とする自然・社会・文化的条件である。人が病気になるとはどうか、これに応える医療とはどのような行為であるかという問いかけを核に、医学・医療とさまざまな周辺学問領域の橋渡しを試みる。医療環境論2では、「社会」をキーワードとし、社会的文脈における病者、医療者・患者関係、高齢化社会の保健・医療システムなどについて考える</p> <p>授業一般目標 医学・医療の前提をなす自然・社会・文化的環境すなわち「医療環境」の全体像を、Life、地球環境、身体、文化的多様性、社会等の概念・軸を用いて理解し、その中における医学・医療の位置づけを把握し、人間の病と健康をめぐるさまざまな問題を総合的に捉える視点と態度を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席および毎回の授業に対するコメント(小レポート)、小グループによる課題研究およびプレゼンテーション、レポート</p> <p>教官連絡先 水曜日午後 医療環境学分野(医療人類学)研究室</p>					

系列 一般教養教育

分野 総合教養

科目類型 総説

開設科目	パソコンSOS1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	月曜日 11・12時 限
担当教官	野村厚志、西口毅				
<p>授業概要 大学教育の問題点の一つは、学生自らが「発見し、はぐくみ、かたちにする」機会の乏しさである。受身の授業だけでは、問題探求・解決能力を育てることができない。本授業では、学生がパソコンSOSセンターにおけるパソコンユーザ支援に主体的に取り組み、その活動を通して「発見し、はぐくみ、かたちにする」ことを実体験する。</p> <p>授業一般目標 パソコンSOSセンターの学生スタッフとしての活動・体験を通して、パソコンのスキルを向上させ、問題解決能力、文書作成能力、自己表現力を身に付ける。また「パソコンSOS2」の既修得者はSA(スチューデントアシスタント)として、履修者の指導を行い、指導能力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席率80%以上を欠格条件とし、毎回のレポート作成と学期末の報告書作成を総合的に評価する。</p> <p>メッセージ パソコンのトラブルなどで悩んでいる人の役に立ちたいという意欲を持つ学生を歓迎します。なお、授業の性格から、パソコン相談を行うことが授業への出席となります(曜日は希望に応じて決定)。</p> <p>教官連絡先 教育学部 226室/水曜日 5-6時限/anomura@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	キャリアと就職	区分	講義	開設期	前期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	平尾元彦				
<p>授業概要 キャリアとは、職業経験、働く力。仕事にかかわる人生経路を意味する言葉である。学生は皆、大学を卒業(あるいは大学院を修了)して新たな活躍のステージへと移行するが、自分自身の将来のキャリアを考えて進路選択をすることが望ましい。その最初の活動が大学生の就職活動であり、大学院への進学を含む進路選択活動である。本講義は、「自分のキャリアは自分で考える」ための考え方を理解するとともに、働くための基礎知識を得ることを目的とするものであり、経済・社会、会社、そして自己理解のための理論および現実を学ぶことで、将来のキャリア選択や、現実問題として直面する就職活動に役立つ知識と方法論の習得をめざす。授業は講義形式で行うが、一人一人が自分の問題としてキャリアを考えることができるように、宿題レポートを多数とり入れた実践的な講義をめざしている。学んだことは自分の就職活動にいかしてほしい。</p> <p>授業一般目標 自分のキャリアを考えることの重要性を理解し、その方法論習得する 働く前に知っておくべき経済・社会・企業に関する基礎知識を習得する キャリア意識を高め、学業ならびに就職活動への意欲を増す</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出を求めるミニレポートのほか、課題レポート(宿題)にて評価する。レポートは「キャリアインタビュー」「キャリアシート」「キャリアモデル」「企業研究きりぎり発見」「就活インタビュー」など全7回を予定している</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義中に資料を配布する / 参考書：講義中に紹介する</p> <p>メッセージ 総合科目「キャリアと就職」は、前期火曜日3・4限(農学部優先)、水曜日1・2限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日5・6限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日7・8限(理学部優先)の4コマを吉田キャンパスで開講、後期は常盤キャンパスで水曜日5・6限の1コマ開講する。基本的には同じ内容であり、履修できるのはいずれか一つである。第一回目の講義で希望をとるので必ず出席すること。各回の授業内容は別途掲示にてお知らせするとともに、第一回目の講義で説明する。なお、本講義は原則として3年生以上を対象とする。</p> <p>教官連絡先 e-mail:hirao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	食料生産の理論と実践	区分	講義	開設期	前期
対象学生	3年(経・理),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	藤間充				
<p>授業概要 21世紀において地球規模で解決すべき課題は、人口、食料、環境であると言われている。わずか50年前には食べることすらままならぬ時代があったことを忘れ去り、飽食に なれきった日本人にとって21世紀ではどのような試練が待ち受けているのか?その21世紀を担う学生諸君に食料生産の科学と重要性を学習し、理解を深めてもらうと同時に、食料生産に関わる作業行程の一部を体験してもらう。</p> <p>授業一般目標 授業では、日本の最も重要かつ特徴的な作物である水稲を中心に、食料生産の理論と技術およびそれを取り巻く環境について講義を行う。体験実習では、手植えによる田植 えのほか、野菜の収穫、果樹の管理を予定しており、実際に食料生産の一部を体験する。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業毎の小テスト、レポートなどによる理解度の評価と、出席を総合して判定する。</p> <p>メッセージ 体験実習を行うので、受講人数を制限することがあります。第1回の授業には必ず出席して下さい</p> <p>教官連絡先 連絡先：農学部附属農場 オフィスアワー：火、木曜日 12:00-12:50 メールアドレス：mtoma@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	キャリアと就職	区分	講義	開設期	前期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	水曜日1・2時限
担当教官	平尾元彦				
<p>授業概要 キャリアとは、職業経験、働く力。仕事にかかわる人生経路を意味する言葉である。学生は皆、大学を卒業(あるいは大学院を修了)して新たな活躍のステージへと移行するが、自分自身の将来のキャリアを考えて進路選択をすることが望ましい。その最初の活動が大学生の就職活動であり、大学院への進学を含む進路選択活動である。本講義は、「自分のキャリアは自分で考える」ための考え方を理解するとともに、働くための基礎知識を得ることを目的とするものであり、経済・社会、会社、そして自己理解のための理論および現実を学ぶことで、将来のキャリア選択や、現実問題として直面する就職活動に役立つ知識と方法論の習得をめざす。授業は講義形式で行うが、一人一人が自分の問題としてキャリアを考えることができるように、宿題レポートを多数とり入れた実践的な講義をめざしている。学んだことは自分の就職活動にいかしてほしい。</p> <p>授業一般目標 自分のキャリアを考えることの重要性を理解し、その方法論習得する 働く前に知っておくべき経済・社会・企業に関する基礎知識を習得する キャリア意識を高め、学業ならびに就職活動への意欲を増す</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出を求めるミニレポートのほか、課題レポート(宿題)にて評価する。レポートは「キャリアインタビュー」「キャリアシート」「キャリアモデル」「企業研究きりぎり発見」「就活インタビュー」など全7回を予定している</p> <p>教科書・参考書 教科書: 講義中に資料を配布する / 参考書: 講義中に紹介する</p> <p>メッセージ 総合科目「キャリアと就職」は、前期火曜日3・4限(農学部優先)、水曜日1・2限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日5・6限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日7・8限(理学部優先)の4コマを吉田キャンパスで開講、後期は常盤キャンパスで水曜日5・6限の1コマ開講する。基本的には同じ内容であり、履修できるのはいずれか一つである。第一回目の講義で希望をとるので必ず出席すること。各回の授業内容は別途掲示にてお知らせするとともに、第一回目の講義で説明する。なお、本講義は原則として3年生以上を対象とする。</p> <p>教官連絡先 e-mail:hirao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	キャリアと就職	区分	講義	開設期	前期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	水曜日5・6時限
担当教官	平尾元彦				
<p>授業概要 キャリアとは、職業経験、働く力。仕事にかかわる人生経路を意味する言葉である。学生は皆、大学を卒業(あるいは大学院を修了)して新たな活躍のステージへと移行するが、自分自身の将来のキャリアを考えて進路選択をすることが望ましい。その最初の活動が大学生の就職活動であり、大学院への進学を含む進路選択活動である。本講義は、「自分のキャリアは自分で考える」ための考え方を理解するとともに、働くための基礎知識を得ることを目的とするものであり、経済・社会、会社、そして自己理解のための理論および現実を学ぶことで、将来のキャリア選択や、現実問題として直面する就職活動に役立つ知識と方法論の習得をめざす。授業は講義形式で行うが、一人一人が自分の問題としてキャリアを考えることができるように、宿題レポートを多数とり入れた実践的な講義をめざしている。学んだことは自分の就職活動にいかしてほしい。</p> <p>授業一般目標 自分のキャリアを考えることの重要性を理解し、その方法論習得する 働く前に知っておくべき経済・社会・企業に関する基礎知識を習得する キャリア意識を高め、学業ならびに就職活動への意欲を増す</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出を求めるミニレポートのほか、課題レポート(宿題)にて評価する。レポートは「キャリアインタビュー」「キャリアシート」「キャリアモデル」「企業研究きりぎり発見」「就活インタビュー」など全7回を予定している</p> <p>教科書・参考書 教科書: 講義中に資料を配布する / 参考書: 講義中に紹介する</p> <p>メッセージ 総合科目「キャリアと就職」は、前期火曜日3・4限(農学部優先)、水曜日1・2限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日5・6限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日7・8限(理学部優先)の4コマを吉田キャンパスで開講、後期は常盤キャンパスで水曜日5・6限の1コマ開講する。基本的には同じ内容であり、履修できるのはいずれか一つである。第一回目の講義で希望をとるので必ず出席すること。各回の授業内容は別途掲示にてお知らせするとともに、第一回目の講義で説明する。なお、本講義は原則として3年生以上を対象とする。</p> <p>教官連絡先 e-mail:hirao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	キャリアと就職	区分	講義	開設期	前期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	水曜日7・8時限
担当教官	平尾元彦				
<p>授業概要 キャリアとは、職業経験、働く力。仕事にかかわる人生経路を意味する言葉である。学生は皆、大学を卒業(あるいは大学院を修了)して新たな活躍のステージへと移行するが、自分自身の将来のキャリアを考えて進路選択をすることが望ましい。その最初の活動が大学生の就職活動であり、大学院への進学を含む進路選択活動である。本講義は、「自分のキャリアは自分で考える」ための考え方を理解するとともに、働くための基礎知識を得ることを目的とするものであり、経済・社会、会社、そして自己理解のための理論および現実を学ぶことで、将来のキャリア選択や、現実問題として直面する就職活動に役立つ知識と方法論の習得をめざす。授業は講義形式で行うが、一人一人が自分の問題としてキャリアを考えることができるように、宿題レポートを多数とり入れた実践的な講義をめざしている。学んだことは自分の就職活動にいかしてほしい。</p> <p>授業一般目標 自分のキャリアを考えることの重要性を理解し、その方法論習得する 働く前に知っておくべき経済・社会・企業に関する基礎知識を習得する キャリア意識を高め、学業ならびに就職活動への意欲を増す</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出を求めるミニレポートのほか、課題レポート(宿題)にて評価する。レポートは「キャリアインタビュー」「キャリアシート」「キャリアモデル」「企業研究きりぎり発見」「就活インタビュー」など全7回を予定している</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義中に資料を配布する / 参考書：講義中に紹介する</p> <p>メッセージ 総合科目「キャリアと就職」は、前期火曜日3・4限(農学部優先)、水曜日1・2限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日5・6限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日7・8限(理学部優先)の4コマを吉田キャンパスで開講、後期は常盤キャンパスで水曜日5・6限の1コマ開講する。基本的には同じ内容であり、履修できるのはいずれか一つである。第一回目の講義で希望をとるので必ず出席すること。各回の授業内容は別途掲示にてお知らせするとともに、第一回目の講義で説明する。なお、本講義は原則として3年生以上を対象とする。</p> <p>教官連絡先 e-mail:hirao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	時間学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	金曜日3・4時限
担当教官	辻正二他6名				
<p>授業概要 私たち人間は、時空間のなかで生活しています。時間は、視覚可能な存在ではありませんので、空間学と違って、これまで時間だけを焦点に置いた研究は、あまり行われてきませんでした。この講義では、山口大学の時間学研究所のスタッフを中心に時間の研究成果を分かりやすく、教えます。時間学 I では、生物学的な時間と社会的時間と文化的な時間についての知見をお話します。</p> <p>授業一般目標 (1) 時間の生物学的な事象を学ぶ (2) 時間の社会的時間の今日的な課題を学ぶ (3) 人文的な事象の中で時間がどのようなものとして</p> <p>教科書・参考書 教科書：時間学総論, 時間学研究所(辻正二), 恒星社厚生閣, 2008年</p>					

前期 - 專門基礎教育

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	数理・物情	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	大城紀代市				
<p>授業概要 理工系学問の基礎である微分積分学，特に一変数関数の微分法と積分法を講義する。</p> <p>授業一般目標 一変数微分積分学の基本的概念を理解し，その計算法を習得する。微分法・積分法，合成関数の微分公式，部分積分の公式など，微分積分学における様々な概念や手法を理解し，習熟する。さらに，それらの理解と習熟のもとに，理系分野における様々な問題への数学的解決能力を養う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論，高橋・加藤 共著，サイエンス社，1998 年</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生化・地球	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	尼野一夫				
<p>授業概要 理系学生にとって必要不可欠な解析学の初歩である一変数関数の微分、積分についてその概念の理解と計算方法を修得させる。</p> <p>授業一般目標 一変数関数に関する微分積分学の基本的な概念を理解し、微分法、積分法におけるさまざまな手法や応用を身につけ、正確な計算ができる能力を養う。さらに、これらを用いて、理工系各分野でのさまざまな問題を解決できる応用力を養う。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と定期試験だけで評価する。出席については欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分，石原 繁、浅野重初，裳華房，2003 年</p> <p>メッセージ 毎回授業は講義中心で行うので，必ず予習をしてくること。その日に習った内容はその日のうちに理解できるように努力すること。</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学 (1-43)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	柏木孝夫				
<p>授業概要 理工系学問の基礎である微積分学において、一変数関数と二変数関数の微分を理解させ、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 一変数および二変数関数の微分学の基本的な概念を理解し、計算方法を習得する。合成関数の微分法など、微積分学における様々な概念や、手法を理解し、習熟する。さらに、それらの概念の理解のもとに、理系分野における様々な分野の分野の問題を解決できるような応用力を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験と講義中に適宜行う問題演習の取り組み状況により、以下の割合で総合的に判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：工学・理学を学ぶための微積分学, 三好哲彦・加藤崇雄・菊政勲, 共立出版, 2005 年; 取扱店(大学生協) / 参考書：微積分学についての各種演習書</p> <p>メッセージ わからないことは遠慮なく質問すること。</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学 (44-)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	笹井理恵				
<p>授業概要 解析学全般の入り口でもある微積分学を学ぶことにより、専門分野において数学的アプローチができる実力を養う。</p> <p>授業一般目標 1 変数、多変数の関数の微分法について学ぶ。初等関数の微分、合成関数の微分に習熟する。多変数関数の微分を学び、そのテイラー展開の公式が自在に応用できることを目指す。</p> <p>教科書・参考書 教科書：工学物理学を学ぶための微積分学, 三好哲彦、加藤崇雄、菊政勲, 共立出版, 2000 年</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	A の再履修クラス	単位	2 単位	曜時限	月曜日 11・12 時限 水曜日 9・10 時限
担当教官	柳原宏				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 多人数の場合は中間試験と期末試験で評価するが、レポート等も加味することがある。少人数の場合は、毎回の演習への参加度を解いた問題の数を点数化する。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; この講義は再履修用ですから、上記の教科書を持っていなくても、昨年度使用した別の教科書があれば構いません。/ 参考書：受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>教官連絡先 hiroschi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の再履修クラス	単位	2 単位	曜時限	月曜日 11・12 時限
担当教官	岡田真理				
<p>授業概要 実数の性質、数列の極限に関する定理、連続関数の定義と性質や 1 変数関数の微分・積分に関して講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 連続関数の基本的な概念を理解し、微分積分の計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 講義中の演習 (20 点) 中間試験 (30 点) 期末試験 (50 点) で評価する。再試験は行わないので、確実に上記項目で点を取ること。</p> <p>教官連絡先 okada@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の再履修クラス	単位	2 単位	曜時限	月曜日 11・12 時限
担当教官	西山高弘				
<p>授業概要 高校で学んだ 1 変数の微分と積分を復習しながら発展させる。</p> <p>授業一般目標 微分、積分の計算が自在にできるようになること。テイラー展開や広義積分など、微分や積分の応用面についての知識を身に付けること。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間テスト 30%、期末テスト 70% の割合で評価する。欠席が多い場合は「不可」となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない / 参考書：1 年次に使用したテキスト</p> <p>メッセージ 授業中の演習では、問題を自ら考えて解き、できなかった箇所は後日に再度解いてみるなど、積極的に授業に参加することが望ましい。</p> <p>教官連絡先 研究室：本館北 2 F</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	佐藤好久				
<p>授業概要 微分積分学は、理工系の分野で基本となる数学である。微分積分学にはその根底に厳密な基礎理論があり、専門の微分積分学ではその基礎理論を論じながら講義をすることになる。この科目では、専門の微分積分学を学ぶための準備とその入門的な内容を解説するために、高等学校の微分積分学を復習しながら、微分積分の基本的な考え方を理解させる。また、簡単な極限の計算や微分の計算が正確にできるように指導する。</p> <p>授業一般目標 関数の概念を正しく理解し、極限や微分の基本的な考え方を説明することができる。また、簡単な極限の計算や微分の計算が正確にできるように指導する。</p> <p>成績評価方法 (総合) レポートや授業中の小テスト (基本的に毎回実施します)、中間試験・期末試験などにより、総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分と積分 (岡本和夫の基礎数学シリーズ)、岡本和夫著、実教出版、1998 年</p> <p>教官連絡先 sato@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	A の 1 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	柏木孝夫				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目標として、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験等はいりません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 取扱店: 山口大学生協 / 参考書: 微分積分学についての各種演習書</p> <p>メッセージ わからないことなど遠慮なく質問等してください</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	A の 2 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	井上 透				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を学習をします。また毎回、講義で学んだ事柄に関する演習問題を解くことにより、講義内容の理解の補助、計算・論証の実行力の向上を目指します。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目標として、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 主として中間試験と期末試験で評価するが、演習・レポート等も加味する。出席については欠格条件とする。再試験等はいりません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 取扱店: 山口大学生協</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	A の 3 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	笹井理恵				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 取扱店: 山口大学生協 / 参考書: 受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	A の 4 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	大城紀代市				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 取扱店: 山口大学生協 / 参考書: 受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>教官連絡先 oshiro@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の 1 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	重永和男				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。この科目は確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学、自然科学、情報処理の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 取扱店: 山口大学生協 / 参考書: 受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の 2 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	安藤良文				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 取扱店: 山口大学生協 / 参考書: 受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>教官連絡先 理学部 1 3 1 室</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の 3 クラス	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	木内功				
<p>授業概要 理工系学問の基礎である微分積分学において、一変数関数の微分と積分を理解させ、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念を理解し、計算方法を習得する。微分法・積分法、合成関数の微分法、部分積分の公式など、微分積分学における様々な概念や手法を理解し、習熟する。さらに、それらの概念の理解をもとに、理系分野における様々な分野の問題を解決できるような応用力を養う。この科目は以下の理学系の学習・教育目標に対応します。(A) 確かな基礎力を有する技術者を目指して以下の能力を身につける。A-1 数学、自然科学、情報処理の基礎力</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として中間試験と定期試験だけで評価する。出席については欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 教科書は、"山口大学生協"に注文してありますから、購入してください。</p> <p>メッセージ 毎回授業は講義中心で行うので、必ず予習をしてください。その日に習った内容はその日のうちに理解できるように努力すること。</p> <p>教官連絡先 研究室：理学部本館 1 3 9 号室 オフィスアワー：特に設けていないので</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の 4 クラス	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	内藤博夫				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として中間試験と期末試験及び演習で評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 取扱店：山口大学生協/ 参考書：受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>教官連絡先 理学部 1 2 9 室</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の 5 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	宮澤康行				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験、期末試験、レポートで評価する。出席については欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論、高橋泰嗣・加藤幹雄、サイエンス社、1998 年；取扱店：山口大学生協 / 参考書：受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の 6 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	増本誠				
<p>授業概要 この数学 I では微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験・期末試験と小テストで評価する。出席については欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論、高橋泰嗣・加藤幹雄、サイエンス社、1998 年；取扱店：山口大学生協 / 参考書：受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>教官連絡先 理学部本館 1 階 130 号室 内線 5660 E-mail: masumoto@yamaguchi-u.ac.jp (差出人の所属学部学科名・学年・氏名のうち、一つでも明記されていないメールは受理しない。)</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	社建	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	松野好雅				
<p>授業概要 古典力学(ニュートン)力学の基礎を学ぶ。具体例をあげながら運動の3法則を説明する。講義は初歩的な事柄から始め、身近な物理現象を多く取り上げるにより、高校での物理を不得意とした学生諸君に対しても十分内容が理解できるよう努める。</p> <p>授業一般目標 1. 運動の3法則、及びその使い方を理解する。 2. 等速円運動、放物運動、単振動等の基本的な運動を理解する。 3. 運動量保存則、角運動量保存則、エネルギー保存則、及びその使い方を理解する。 4. 剛体運動の基礎を理解する。この科目は以下の社会建設工学科の学習・教育目標に対応します。(A) 確かな基礎力を有する技術者を目指して以下の能力を身に付ける。 A-1 数学、自然科学、情報処理の基礎力</p> <p>成績評価方法(総合) 中間、及び学期末試験の2回の試験で総合的に評価する。配点は各50%とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 第3版 基礎物理学, 原 康夫, 学術図書出版, 2006年</p> <p>メッセージ 予習、復習をきちんとやること。講義ノートをとること。</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 11・12 時限
担当教官	宮本政英				
<p>授業概要 物理学中の古典力学について、その基礎を学習する。力、質量、運動の表し方や考え方、ニュートンの運動の法則、エネルギーや運動量の保存則などを学び、単純化された実際の運動に適用し定式化する、解析する、得られた数学的な結果を具体的に理解する、ことができる能力を養う。授業中の演習や宿題により、理解を確かなものにする。</p> <p>授業一般目標 1) 力、質量、運動の表し方を習得する。 2) ニュートンの運動法則を理解する。 3) 等速円運動、放物運動、単振動などの基本的で単純化された運動の定式化、解析を実行し、それらの結果の具体的な理解ができる。 4) エネルギー、運動量、角運動量の保存則を理解し、応用する能力を養う。 5) 剛体のつり合い、回転運動の取り扱い方を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 日常の小テストや宿題等の得点を30%、試験(中間と期末)の得点を70%として総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 第3版 基礎物理学, 原 康夫, 学術図書出版社, 2006年 / 参考書: 物理の基礎, 長岡洋介, 東京数学社; 基礎力学, 永田一清編, サイエンス社; 改訂版 基礎物理学, 原 康夫, 学術図書出版社, 2003年</p> <p>メッセージ 授業中に理解を助けるため演習を行うので関数キー付き電卓を常に持参すること。ほぼ毎週いずれかが行われる小テスト、授業内レポート、宿題をきちんとこなして、授業内容の理解を確認する。分からないときには質問する。</p> <p>教官連絡先 E-mail address: miyamoto@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 2 年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 11・12 時限
担当教官	仙田康浩				
<p>授業概要 力学は物理学の中で最も基礎的な学問の一つであり、広い範囲の関連分野に力学の手法や結果が応用されている。講義では力学を中心とし、重要な概念と法則を丁寧に説明する。例を豊富に使って法則とその使い方の理解を深め、法則・現象に適切なイメージが描けるようにする。</p> <p>授業一般目標 1)運動の表し方を学ぶ。2)運動法則を理解する。3)円運動・放物線運動・抵抗力がある場合の運動の定式化ができる。4)振動現象の解析を学ぶ。5)エネルギー・運動量・角運動量の保存則を理解する。6)剛体の釣り合い・回転運動の取り扱いを学ぶ。</p> <p>教科書・参考書 教科書：改訂版基礎物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 1996 年</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	機械	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	田之上健一郎				
<p>授業概要 物理学の中でも最も基礎的な古典力学について説明する。高校までの物理と違い、微分・積分を使って、論理的に見直し良く、基本原理からさまざまな法則が導けることを示す。また、具体的な問題に法則を適用して自分で解く力を養う。</p> <p>授業一般目標 機械工学の理系基礎および工学基礎分野において、特に物理学 I に関する専門知識、問題解決に活用できる能力を身につけることを目標とする。物理学の中でも最も基礎的な古典力学を学習する。ニュートンの運動方程式を自分でたてることができ、微分・積分を使って、具体的な問題を論理的に自分で解く力を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期試験の結果およびレポートをもとに力学の知識・理解および解析に必要な数学力を評価する。また、小テストによる予習確認により意欲を、レポートにより思考・判断の評価を行う。4 回以上欠席した学生には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：理工系のための力学の基礎, 宇佐美誠二ほか, 講談社サイエンティフィック, 2006 年 / 参考書: 使用するテキストについては、掲示板をよく見る。参考となるホームページ・物理のための数学 http://doraneco.pos.to/physics/column/column.html # butsurikougi ・微積分を使って力学の世界を見る http://doraneco.pos.to/physics/column/bisekir.html</p> <p>メッセージ シラバスを参考に教科書の関連箇所の予習をして講義に臨むこと。また、講義後は講義内容の理解度を自己評価し、復習のうえ次回の講義に臨むこと。機械工学の基礎 = (1) 熱力学, (2) 材料力学, (3) 流体工学, (4) 機械力学, (5) 制御工学, これらのさらに基礎となるのが力学である。専門科目受講までにしっかり基礎を身に付けておくこと。</p> <p>教官連絡先 tano@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	応化	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	山本惺史				
<p>授業概要 古典力学(ニュートン力学)の基本的な事柄を概説する。</p> <p>授業一般目標 物理学の基礎である古典力学(ニュートン力学)を学ぶ。運動の記述,運動の法則などについて,微分・積分やベクトルなどの数学的手段を活用して理解する。また,日常生活の中の現象や自然現象を古典力学の立場から理解する態度を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 1.授業の中で小テストを随時行う。2.レポートを1回課す。これは欠格条件とする。3.期末試験を実施する。</p> <p>教科書・参考書 教科書:第3版 基礎物理学,原康夫,学術図書出版,2006年</p> <p>メッセージ 質問や意見など遠慮無く。</p> <p>教官連絡先 E-mail: seiy@haginet.ne.jp</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	循環	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	原哲彦				
<p>授業概要 物理学の基礎である古典力学を学びます。中心となる内容は次の3つです。(1)位置、速度、加速度が微分・積分によって互いに結ばれていること。(2)運動方程式(微分方程式)を解くことによって物体がどのように運動するかがわかること。(3)運動量、運動エネルギー、仕事、位置エネルギー、角運動量などの重要な物理量についての法則が運動の3法則から自然に導き出せること。</p> <p>授業一般目標 運動の記述、運動の法則、基本的な物理量について、初等的な微分・積分を使って論理的に見通しよく理解することが目標である。</p> <p>成績評価方法(総合) 少なくとも3回のレポート提出を要求する。その結果最高30%のプラス評価を与える。授業の最終回に持ち込み可の予備テストを行うが、総合評価へは基本的には組み入れない。</p> <p>教科書・参考書 教科書:改訂版第3版 基礎物理学,原康夫,学術図書出版,2006年</p> <p>メッセージ 予習・復習をし、練習問題を自分で解く努力をするようにしてください。質問は歓迎します</p> <p>教官連絡先 tetuhara@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	感性	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	三木俊克				

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(数))・情報(表現)・理(物情除く)・農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	西井淳				
<p>授業概要 古典力学(ニュートン力学)は目に見える大きさの物体の運動を扱います。そこには、位置、速度、加速度、運動エネルギー、位置エネルギー、運動量、角運動量といった物理に不可欠な概念が現れます。また、いくつかの基本法則から、いろいろな物理量の間に成り立つ関係を導く過程は、物理の議論の進め方のお手本となるものです。ただ、話を聞くだけでは身につかないので、演習問題を自分で解くことが大事です。</p> <p>授業一般目標 物理学の基礎である古典力学(ニュートン力学)を学ぶ。運動の記述、運動の法則などについて、微分積分やベクトルなどの数学的手段を活用して、論理的に見通し良く理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) ほぼ毎回小テストを行い、その平均点を100点満点に換算した点数が70点以上のものは期末試験を免除し、小テストによる評点を成績とする。期末試験を受けた者については「小テスト30点満点+期末試験70点満点」の総点が60点以上のものを合格とする。ただし、小テストを7割以上受けていることを単位認定の欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は講義初回に指定する。/ 参考書：物理学はいかに創られたか 上巻, A. アインシュタイン, I. インフェルト, 岩波文庫, 1939年; 物理法則はいかにして発見されたか, R. P. ファインマン, ダイヤモンド社, 1968年; ファインマンさん, 力学を語る, D. L. グッドステイン, J. R. グッドステイン, 岩波書店, 1996年</p> <p>メッセージ 第1回は、同じ時間帯に開かれる物理学I(繁岡先生担当)のクラスとの間で人数調整をします。</p> <p>教官連絡先 居室; 総合研究棟 303号室, E-mail; nishii@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(数))・情報(表現)・理(物情除く)・農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	鍋木修				
<p>授業概要 物理学の基礎である古典力学を学びます。特に、物理現象を数式で表現し、数学的演算によって論理試行を展開する方法を身につけてもらいます。中心となるテーマは次の4つです。1)位置、速度、加速度が互いに微分・積分によって結ばれていること。2)運動方程式(微分方程式)を解くことによって、物体の運動を決めること。3)保存力場に対するポテンシャルの導入と、位置エネルギーとしての意味。4)運動量、運動エネルギー、仕事、位置エネルギー、角運動量に関する法則が、運動の3法則から自然に導き出せること。</p> <p>授業一般目標 古典力学の基礎をしっかりと身に付け、物理学の他の分野を学ぶための足場を固めること。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間・期末のテストを中心に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 物理学の基礎, 長岡洋介, 東京教学社, 2000年</p> <p>教官連絡先 未定</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	物情	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	繁岡透				
<p>授業概要 物理学の基礎である古典力学を学びます。特に、物理現象を数式で表現し、数学的演算によって論理思考を展開する方法を身につけてもらいます。中心となる内容は次の3つです。1)位置、速度、加速度が、互いに微分・積分によって結ばれていること。2)運動方程式(微分方程式)を解くことによって、物体の運動を決めること。3)運動量、運動エネルギー、仕事、位置エネルギー、角運動量などの重要な物理量についての法則が、運動の3法則から自然に導きだせること。</p> <p>授業一般目標 古典力学の基礎をしっかりと身に付け、物理学の他の分野を学ぶための足場を固めること。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間と期末の2回のテストを中心に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 物理の基礎, 長岡洋介, 東京教学社, 2000年; 販売店: 生協</p> <p>教官連絡先 理学部 2 2 8 号室、内線(5674)</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	知能	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	原哲彦				
<p>授業概要 物理学の基礎である古典力学(ニュートン力学)の基本的な事柄を概説する。中心となる内容は次の3つである。(1)位置、速度、加速度が微分・積分によって互いに結ばれていること。(2)運動方程式を解くことによって物体がどのように運動するかがわかること。(3)運動量、仕事、運動エネルギー、位置エネルギー、角運動量などの重要な物理量についての法則が運動の3法則から自然に導き出せること。</p> <p>授業一般目標 運動の記述、運動の法則、基本的な物理量について、初等的な微分・積分を使って論理的に見通しよく理解することが目標である。</p> <p>成績評価方法(総合) 少なくとも3回のレポート提出を要求する。その結果最高30%のプラス評価を与える。授業の最終日に持込み可の予備テストを行うが、総合評価へは基本的には組み入れない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 第3版 基礎物理学, 原 康夫, 学術図書出版, 2006年</p> <p>メッセージ 予習・復習をし、練習問題を自分で解く努力をする。質問は歓迎します。</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	山本隆				
<p>授業概要 物理学の中でも、最も早く完成した古典力学(ニュートン力学)の基礎的な概念とその取り扱いを、例題を通して教授する。</p> <p>授業一般目標 古典力学は、自然科学の雛形で、もっとも美しく数学的に纏め上げられている。この講義では、古典力学が如何に豊富な内容を有し、自然界の森羅万象をうまく説明しているかを理解する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 力学, 川村清, 裳華房, 1998年</p> <p>教官連絡先 理学部本館 335 室 オフィスアワー 月曜 13:00 - 15:00</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護・検査	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	石川敏三				
<p>授業概要 物理学の中でも最も基礎的な力、電気、波（音波、電磁気）、熱などについて、生活や医療の中で見られる物理現象を関連させながら、解説する。基本原理からさまざまな法則が導けることを示す。また、具体的な問題に法則を適用して自分で解く力を養う。</p> <p>授業一般目標 近年、臨床の領域では、その機械化や新しいセンサおよび人体機能を模倣した様々な機器・装置が、目がぐるしく開発されている。そこで、講義で物理的基本知識の医療における応用の原理や実際の習得に加え、開発能力も身につけるさせることが重要である。</p> <p>成績評価方法（総合） 期試験の結果およびレポートをもとに力学の知識・理解および解析に必要な数学力を評価する。また、小テストによる予習確認により意欲を、レポートにより思考・判断の評価を行う。4 回以上欠席した学生には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：物理学（臨床検査学講座）、島津秀昭、石川敏三、医歯薬出版、2007 年</p> <p>メッセージ シラバスを参考に教科書の関連箇所の予習をして講義に臨むこと。また、講義後は講義内容の理解度を自己評価し、復習のうえ次回の講義に臨むこと。</p> <p>教官連絡先 medlibn@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	電気	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	仙田康浩				
<p>授業概要 力学は物理学の中で最も基礎的な学問の一つであり、広い範囲の関連分野に力学の手法や結果が応用されている。講義では力学を中心とし、重要な概念と法則を丁寧に説明する。例を豊富に使って法則とその使い方の理解を深め、法則・現象に適切なイメージが描けるようにする。</p> <p>授業一般目標 1) 運動の表し方を学ぶ。 2) 運動法則を理解する。 3) 円運動・放物線運動・抵抗力がある場合の運動の定式化ができる。 4) 振動現象の解析を学ぶ。 5) エネルギー・運動量・角運動量の保存則を理解する。 6) 剛体の釣り合い・回転運動の取り扱いを学ぶ。</p> <p>教科書・参考書 教科書：改訂版基礎物理学、原康夫、学術図書出版社、1996 年</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	知能	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	川俣純				
<p>授業概要 化学は生体をも含めた全ての物質の成り立ちと状態、物質の変化や新しい物質の創製を研究する学問です。この講義では、反応熱、およびその温度・圧力との関係、化学平衡、物質の三態など身近なことを話題とします。</p> <p>授業一般目標 高校の化学で学習した「物質の状態」、「化学反応と熱」、「反応の早さと平衡」などの概念を系統立てて習得し、日常体験する様々な現象に化学がどのように関与しているのかを理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 中間試験・期末試験の成績を重視する。2. 小テスト・授業内レポートに現れた思考力や関心・学習態度も評価に加味する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：入門 化学熱力学, 松永義夫, 朝倉書店, 2001 年 / 参考書：相律と状態図, 吉岡甲子郎, 共立出版, 1984 年; 現代の物理化学, 松永義夫, 三共出版, 1990 年</p> <p>メッセージ 単に知識を覚えるのではなく、化学という学問の根底を流れる考え方を学ぶ姿勢で授業に参加して下さい。</p> <p>教官連絡先 理学部本館 434 号室 j_kawa@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	感性	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	和泉研二、村上清文 (2 名で 1 人分)				
<p>授業概要 授業の前半は、原子の構造、電子配置、化学結合、分子の形、中和反応や酸化還元反応などの溶液内反応、無機化合物の性質など、無機化学分野を中心とした基礎的な講義を行う。後半は、化学および種々の化学現象をより深く理解するために不可欠であり、あらゆる発展領域にとって重要な化学平衡概念を、具体的事例を交えて講義する。</p> <p>授業一般目標 化学を学ぶための基礎を身につけた上で、物質の性質やその変化を物理化学的な観点から理解し、より発展的な学習への導入を図ることを目標とする。基本的概念の把握に力点を置く。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験、期末試験、出席およびレポートを総合的に判断して評価する。ただし、欠席が多い場合は不可とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎化学熱力学, E.B.Smith, 化学同人, 1992 年 / 参考書：適宜、プリント等を配布する。図書館には他にも多くの関連する参考書があるので、各自で自分にあった本を探すこと。また、授業の前半は高校で習う内容も多いので、高校の教科書や参考書も利用するとよい。</p> <p>メッセージ 前半は基礎的な事項を中心に行いますが、後半からは基礎を踏まえた上で、さらに段階的な理解が必要になります。どのような勉強でも積み重ねが重要です。受身にならず自主的、積極的に取り組んで下さい。</p> <p>教官連絡先 教育学部 1 2 0 号室 (村上)、1 2 2 号室 (和泉) kmura@yamaguchi-u.ac.jp (村上)、bec20@yamaguchi-ac.jp (和泉) オフィスアワー：会議などの用事がなければ、いつでも対応します。</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	循環	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	松崎浩司				
<p>授業概要 モルの概念、原子の構造、電子配置、化学結合、分子の形、化学平衡、酸・塩基、酸化・還元など物理化学の初歩の内容である。高校での化学とのつながりに注意を払い、専門科目に必要な基本的事項について講述する。配布演習問題や小テストなどを通じて、自学を促しながら進める。</p> <p>授業一般目標 無機化学や物理化学の基礎を習熟し、実際の身の回りの現象を化学的(科学的)に説明できることを目標とする。また高校の化学から専門科目への橋渡しとしての必要な概念も習得させる。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験と出席状況で総合評価する。毎回小テストを行うが、これは講義内容の理解度を把握するとともに、学生への自学を促すものである。よって評価の対象とはしないが、出席状況の判断に用いる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 大学生の化学(第2版), 大野惇吉, 三共出版, 2005年; (文栄堂大学前店で販売) / 参考書: 物質化学の基礎, 多賀光彦・中村 博・吉田 登, 三共出版, 1993年; 化学の基礎, 竹内敬人, 岩波書店, 1996年; 化学が見えてくる, 岩本悦郎、江頭直義、柿並孝明、日色和夫、三苫好治, 三共出版, 2005年; 演習問題を配布する。</p> <p>メッセージ 化学は循環環境工学科の学生にとっては専門科目の基礎として重要な科目であり、高校での履修から専門科目への橋渡しの役割をしています。よって、単なる暗記ではなく、内容をよく理解し物の本質が見抜けるような態度で取り組んでもらいたい。</p> <p>教官連絡先 ko-matsu@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生機・獣医	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	右田たい子				
<p>授業概要 化学は物質そのものを対象とする学問であり、あらゆる物質についてその本性を統一的に理解することを目的としている。この講義では化学の基本的な事項について学び、物質の成り立ちと性質の関係、変化の仕方を決める要因などについて考え、物質を科学の原理に立って理解する、とはどういうことなのかを学ぶ。</p> <p>授業一般目標 物質を理解するための基本事項である、原子軌道概念、電子配置、元素の違いについて理解する。また物質質量、濃度などの定量的取り扱いのための基本原理を理解し、計算方法を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 知識・理解を測る定期試験、中間試験、小テストを主とし、思考・判断を測る演習・レポートを従とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000年; 熟読すること。欄外には、高校で物理学を履修しなかった学生のために、理解に必要な事項(単位系等)を解説して有るので、参考にすること。例題をしっかりと理解し、章末問題が自力で解答できれば十分合格点に達している。 / 参考書: 生命科学のための基礎化学、無機物理化学編, M. M. Bloomfield, 丸善, 1995年; 物理化学(下)第6版, P. W. Atkins, 東京化学同人, 2003年; アトキンス物理化学の基礎, P. W. Atkins, M. J. Clugston, 東京</p> <p>メッセージ 化学 I は、化学の基礎部分に当たるので、生命科学を学ぶすべての学生にとって、必修の内容を含んでいる。高年次のさまざまな専門科目の履修の基礎となるので、まじめに取り組むこと。</p> <p>教官連絡先 ctmigita@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部本館南 4 階 420 オフィスアワー: 月曜日 15:00-17:00</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(数))・情報(表現)・数理・物情・地球・生資	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	青島均				
<p>授業概要 原子の電子配置を説明した上で、原子が集まってどのように分子が作られるか述べる。次に分子の間の平衡、酸化還元、反応速度などについても述べる。</p> <p>授業一般目標 私たちを取り巻く物質を物理化学的法則に基づいて、新しい観点からより深く理解することを目指す。</p> <p>成績評価方法(総合) 下記の方法で評価します。小テストにより出席をとります。欠席が多い場合は不可とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000 年 / 参考書：香りの科学はどこまで解明されたか, 青島均, フレグランスジャーナル社, 2007 年; 図書館に多くの参考書があるから利用すること。</p> <p>メッセージ 大学は自分で勉強するところです。受身にならず自主的、積極的に取り組んでください。</p> <p>教官連絡先 理学部北棟 403 号室、電話：5762、e-mail:aoshima@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：会議などの用事がなければいつでも対応します。できれば前 もって電話、メールでご連絡ください。</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	応化	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	今村速夫				
<p>授業概要 原子の構造, 化学結合, 化学平衡, 気体や溶液などについて, 高校化学の復習および物理化学系専門科目との橋渡しを行う。演習を交えて理解を深める。</p> <p>授業一般目標 物質の構造, 状態, 反応に関わる基礎的なことについて理解する。理想気体の振る舞いおよび実際の気体との違いについて理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験, 期末試験, 授業中の演習により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 化学入門, 下井 守, 村田 滋, 東京化学同人, 2005 年; ムーア基礎物理化学(上), W. J. Moore, 東京化学同人; 高校で使用した教科書は復習のため必要です。 / 参考書: 適宜紹介する。</p> <p>教官連絡先 hi-khm@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	社建	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	中野昭夫				
<p>授業概要 化学の基礎原理(化学基礎及び物理化学分野)を中心に学ぶ。分子の成り立ちを原子のレベルから学ぶ。さらに化学物質の状態や、変化(反応)を理解する。又、健康や環境と化学の関わりについて講義する。</p> <p>授業一般目標 この世の中の全ての物が、化学物質であることを再認識し、身の回りのさまざまな現象を分子レベルで理解して戴く。そのため専門知識として必要となる基礎化学を、化学 I と化学 II を通じて理解して戴くことを最終目標とするが、本講義(化学 I)では、分子理解の基礎になる原子構造と化学の基礎原理を理解して戴く。より健康的でかつ地球に優しい生き方を志して戴く為、化学へ興味を持って戴くことを主目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席点(出席回数)、平常点(毎回の試験結果)、レポート(数回分)及び期末試験を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教養の現代化学, 多賀光彦 他, 三共出版, 2006 年 / 参考書: 図表で学ぶ化学, "大城芳樹, 平嶋恒亮著", 化学同人, 1999 年</p> <p>メッセージ 出席を重視します。最終講義でノートチェックを行います。期末試験にノート、テキスト持ち込み可とします。</p> <p>教官連絡先 Email:a-nakano@toua-u.ac.jp</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	機械	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	本多謙介				
<p>授業概要 化学は、物質の構造や性質、およびその変化を研究することを目的とした学問であり、無機化学、有機化学、物理化学の三分野に分けられる。本講では、化学の基本概念を総括して学習する。</p> <p>授業一般目標 物質の性質、構造、反応性を支配する基本法則を系統的に理解することを目指す。このため、小テスト・演習をまじえながら講義を行なう。</p> <p>教科書・参考書 教科書: わかりやすい基礎化学 材料・環境・生体へのアプローチ, 神戸 哲, 講談社サイエンティフィック, 1998 年</p> <p>メッセージ 講義内容を理解するためには、予習・復習を欠かさず行うこと。特に、教科書の章末問題を解くことによって化学の基本知識の理解を深めて欲しい。</p> <p>教官連絡先 理学部本館 4階 441 号室</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎

科目類型 総説

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	電気	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	伊原靖二				
<p>授業概要 (1) 化学の基礎: 化学の歴史、原子、周期律、化学結合の基礎概念及び物質の状態と物理的性質を学ぶ。(2) 化学反応: 反応速度、平衡状態及び電離平衡の概念を質量作用の法則及び速度論から学び、物質の化学現象を理解する。(3) 物質の性質: 熱力学的性質、化学結合、酸・塩基の概念及び電気化学の基礎を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 化学は特に物質の変化すなわち現象を理解する学問であり、我々の身近な現象は化学と深くかかわりをもっている。この化学 I においてはこれらの化学現象を理解するための基礎的概念及び理論について、物理化学の立場から体系的に学習する。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 授業の終わりに、10 回程度講義の理解度の判定のため、小テストを行う。(2) 期末試験の実施、(3) 出席点の重視、以上を下記の観点・割合で成績を総合的に判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 理工系一般化学, 篠崎 開 他, 東京化学社, 2006 年</p> <p>メッセージ 再試験は実施しませんので、きちんと試験の準備をしてください。</p> <p>教官連絡先 ihara@yamaguchi-pu.ac.jp</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎

科目類型 総説

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	小崎紳一				
<p>授業概要 化学では物質を主な研究対象とするので、化学は物質科学の中心となる学問分野といえる。この講義では、大学で学ぶ理系学生にとり共通して必要と考えられる現代化学の基礎をとりあげていく。各回の講義内容は、物質の構造、性質(物性)、変化(反応)を理解するうえで基礎となる概念や理論について、おおむね教科書の順序にしたがって下記のようにする予定である。</p> <p>授業一般目標 物質の構造・性質・変化についての基礎的な理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験と期末試験で評価する。中間試験の日程などについては授業時に連絡する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000 年; 山口大学生協ブックセンターにて販売</p> <p>教官連絡先 金曜 午後</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 2 年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 11・12 時限
担当教官	竹中俊介				
<p>授業概要 身の回りの事象を化学の立場から理解するために 1. 原子の構造と性質、周期律表 2. 化学結合と物質の性質 3. 原子、分子の状態と熱力学 4. 有機化学、無機化学の基礎 5. 原子、分子の性質と機能性を講義する</p> <p>授業一般目標 本講義は化学のみならず、様々な専門分野を目指す学生諸君が将来の技術者として必要な化学知識を習得しすることを目的として・原子・分子の概念・化学結合における電子の役割、物質の化学式、化学反応の表現・物質の状態と熱力学の関係・無機化合物、有機化合物の機能性発現と原子、分子の性質・身近な物質、機能性材料の原子、分子レベルでの考察等を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験と定期試験、及びレポートを以下の観点・割合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：現代化学の基礎-物質科学へのアプローチ、渡辺 啓, サイエンス社, 1995 年</p> <p>メッセージ 本講義から身の周り事象を論理的に考察出来るような化学的基礎知識の習得を目指してほしい</p> <p>教官連絡先 e-mail:y-morita@yamaguchi-u.ac.jp(森田由紀) 電話：0836-85-9642 研究室：</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	田中経彦				
<p>授業概要 医学部保健学科看護学専攻学生を対象に有機化学を主に講義する。有機化学とは、炭素を含んだ物質の性質を調べる化学である。生物を構成する物質の大半は炭素を成分とする有機化合物である。生命活動のエネルギーは糖、脂肪、たんぱく質などの有機化合物を酸化することで得ている。生命活動は多種の有機化学反応の組み合わせによって構成されている。人間も同じである。人間が病気になるのは体の有機物質の質的または量的異常のせいである。健康状態を維持するには栄養素である有機化合物の理解が必要である。有機化学の知識がなければ現代医学は理解できない。</p> <p>授業一般目標 講義目標 医学の基本である生化学や、薬理学で出てくる多数の有機化合物の名前や構造式にパニックにならないように、事前に顔見知りになることを目的にします。生化学は、時間数が少なく消化不良に陥りがちですが、この化学の授業で準備をします。また身の回りの化学物質について知識を深めることは、意義があるでしょう。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験 80% 出席点 20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：生命科学のための基礎シリーズ化学、大田博道他、実教出版、2002年；コ・メディカル領域の化学(三共出版)</p> <p>教官連絡先 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~tatehiko/po-login/index.html ここから質問とその回答を掲載したページへ行けるようにします。授業の終わりに質問を受け付けるつもりですが、不足であれば金曜日の昼休みに後日連絡する教室に質問受付のためにいます。メール連絡先：tatehiko@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	検査	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8・9・10 時限
担当教官	田中経彦				
<p>授業概要 医学部保健学科検査技術学専攻学生を対象に開講する必修講義です。有機化合物の官能基の反応性や化合物の命名法を主体に学習し、現代医学の基礎となっている生化学が理解できる基礎知識を習得します。</p> <p>授業一般目標 前期後半期に履修する生化学及びそれに続く検査学科目を理解するために必要な有機化学知識 獲得を目指します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト及び定期試験による (定期試験は7月下旬の試験週間に実施する)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 生命科学のための基礎シリーズ化学, 大田博道他, 実教出版, 2002 年</p> <p>メッセージ 構造式は、漢字の書き取りと一緒に、4～5回も書けば覚えられます。関連科目の生化学、薬理学、生理学では物質の構造式は必須です。</p> <p>教官連絡先 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/tatehiko/po-login/index.html ここから質問とその回答を掲載したページへ行けるようにします。小テスト、参考資料等もここから入手できるようにします。保健学科シラバスからもいけます。 http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/pmt2001/po-login/Syllabus/index.htm この URL はお気に入り追加して下さい。ここで、教官ホームページをクリックして下さい。検査を選び田中化学をクリックすれば到達します。授業の終わりに質問を受け付けるつもりです。メール連絡先: tatehiko@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	獣医	単位	2 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	山本芳実				
<p>授業概要 本講義は、連続して開講される生物学 II とともに基礎的生物学を提供するものである。生物学 I は、高校生物学のレベルの完成をめざす。入学時に高校生物学を未履修または未完了のレベルの学生を対象とする。履修の始めに小テスト等でレベルの振り分けを行い異なる履修指導を行うこともある。本講義では特に、生命の基本原則、遺伝、発生、生物の多様性を中心に学ぶ。</p> <p>授業一般目標 地球上における生物による物質変換の概略を理解し、地球環境における生物の重要性を認識する。生物のメカニズムに精巧さに触れ、それに驚きを感じることで、生命に対する探究心を養う。生命現象の基礎的理解をとおして、現存する生物の多様性について認識を新たにし、同時にこの多様な生物が驚くべき共通性をもっていることを理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト等でレベル分けを行い、レポート、期末テスト等で異なる成績評価をおこなう。全体としては、高校レベルの生物学の修了を成績評価の基準にする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 生物図録 視覚でとらえるフォトサイエンス, 鈴木孝仁, 数研出版, 2004 年 / 参考書: 生きもののからくり (改訂版), 中村・裕村・山本編, 培風館, 2006 年</p> <p>メッセージ 本講義は、獣医学科の学生の生命科学理解のための入門的、補助的講義である。</p> <p>教官連絡先 農学部獣医放射線学講座 (生化学研究室) 農学部 209号室 Tel & Fax: 083-933-5909 E-mail: yamataka@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー: いつでも</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	検査・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	渡部省二				
<p>授業概要 主に高等学校で生物学を履修していない学生を対象として、生物学の全体像を把握することを目的とする。</p> <p>授業一般目標 生物の多様性について学び、この多様な生物をいかにして整理、分類するか、それぞれの生物の構造がどうなっているのか、どのような機能をもっているのか、について習得する。そして、この多様な生物が、その基本的な営みにおいて驚くべき共通性をもっていることを理解し、生命の神秘を感じ取る。</p> <p>成績評価方法 (総合) *期末試験を行う。*授業外レポート(宿題)を課す(未提出の場合は単位を与えない)。ただし、提出した場合でも課題にまじめに取り組んでいないレポートは未提出と判定することもあり得る。また、全く同じレポートが二人から提出された場合は双方とも未提出とする。*出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：生きもののからくり, 中村和行他編, 培風館, 2006 年 / 参考書：サイエンスビュー 生物総合資料, 長野敬, 実教出版, 2007 年</p> <p>メッセージ 講義の資料はホームページに掲載されているので参照すること。URL は、http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/shwatabe/po-login/menus/biology.htm わからないことをわからないままにしておかず、すぐに質問すること。メールによる質問も可。</p> <p>教官連絡先 shwatabe@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	祐村稔子				
<p>授業概要 ヒトを含めすべての生物は「細胞」という共通の基本単位からできています。一方、細胞を構成する「部品」は生体分子の集合体で生きてはいません。本講義では古典的生物学の枠に捕われず、物理学、化学を含む自然科学全般から、生命を理解する事を目標に、生体分子から細胞、そして、生命がいかに構築され、いかなる原理で機能しているのかについて分子レベルで解説します。加えて、近年驚くべき進歩をみせるバイオテクノロジーの基礎知識に関しても、身近な話題を中心に学習します。</p> <p>授業一般目標 古典的生物学の枠にとらわれず、物理学、化学、地球科学を含む自然科学全般の知識をもって生命を理解することを目標としています。生体分子から細胞がいかに構築され、いかなる原理で機能するかを概ね理解し、加えて、バイオテクノロジーの基礎知識と、その現況を学習、考察していただきます。そして、近年の生命科学の進歩において、何が有益で何が危険なのか、科学的根拠に基づき自ら判断する力の獲得を旨とします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験 80% 授業外(ホームワーク)レポート 20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：『生きもののからくりー分子から生命まで』改訂版, 中村和行、山本芳実、祐村恵彦共編, 培風館, 2006 年</p> <p>メッセージ . 知的好奇心を鍛えよう! 2. 教科枠にとらわれず広い興味を持とう! 3. 時間を大切にしよう(講義も試験も有効に)!</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: discoideum@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	生物学 II	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生資・生機 2 年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	真野純一				
<p>授業概要 生物が「生きている」状態とは、それ以外の状態とどのように違うのだろうか？生命の維持のために細胞は絶えず周囲（環境）からエネルギーと物質を取り込み、老廃物を排泄している。これを代謝という。取り込まれたエネルギーは細胞の中でアデノシン三リン酸（ATP）の形で蓄えられ、さまざまな生命活動に利用される。この授業では、細胞が ATP を作るしくみの解説を中心として、化学的な観点から、生物が地球環境の中で生きている状態を理解することをめざす。</p> <p>授業一般目標 生物とは何か、を「生きている状態とは？」という問いとして考えていく。生物個体と環境との間のエネルギーと物質の流れをもとに「生きている状態」を理解することをめざす。内容は主として生化学であり、細胞がエネルギー通貨である ATP をどのように栄養分から作り出すか、を学ぶ。また、生命が環境とつながり、他の生命や宇宙によって支えられていることを学ぶ。</p> <p>成績評価方法（総合） 期末試験により評価する。出席数 6 割以下は欠格（成績評価を行わない）とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は指定しない。授業のウェブページと配布プリントによる予習・復習を求める。/ 参考書：Essential 細胞生物学 原書第 2 版、中村桂子・松原謙一、南江堂、2005 年；Biochemistry, 6th edition, Berg 他、Freeman, 2006 年；生物機能科学科 2 年生は上記 Biochemistry（英語）を後期の授業から使います。</p> <p>メッセージ 授業の最初に毎時間小テストをしますので、必ず前回の授業の復習をしてきて下さい。高校レベルの化学の知識があることが望ましいが、わからない点は説明するので授業をさえぎってでも積極的に質問すること。</p> <p>教官連絡先 mano@yamaguchi-u.ac.jp 平日午後 1 時半～5 時</p>					

開設科目	地球科学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	鈴木賢士				
<p>授業概要 私たちの生活は日々の天気変化のみならず、気象災害、大気環境、気候変動などに大きく左右される。気象と気象現象に関わる基礎的な知識、理論に加え、新たな見地や今日的なテーマを含めて解説し、気象予報士一般試験レベルの演習（数回程度）を行う。</p> <p>授業一般目標 私たちの生活に係る気象現象を身近なものとして感じ、さらには、それらをさまざまな時間・空間スケールの現象として捉え、物理法則の数式表現という手段を用いて理解することを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） (1) 定期試験を行う (2) 授業内外で演習を行う、以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>メッセージ 履修希望者が 100 名を超えるような場合は抽選を行うので初回に必ず出席すること。</p> <p>教官連絡先 E-mail：kenjis@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：在室中随時</p>					

開設科目	地球科学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 2 年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	池田 攻				
<p>授業概要 最初に、化石と地球の歴史、地震波の伝播と地球の内部構造、地球の重力や大気圏外の状態、マグマから生成する岩石とその風化、堆積過程、造岩鉱物の種類と固定法等について知識を深める。その後、人類の生活に不可欠な金属やエネルギーの塊である地下資源の産状や採掘法、岩盤の力学や掘削、地球環境の問題について解説する。さらに、地震によって発生する自然災害の本質、さらに人間社会との係わり、およびその軽減対策について、特に新しい事例を取り上げることで理解を深める。</p> <p>授業一般目標 1. 人類が生活している地球の表面および地球の中心から宇宙への広がりを理解する。2. 人類と地球・宇宙等の環境との関わりを理解できる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 試験 (50%) とレポート (50%) で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 基礎地球科学, 西村祐次郎ほか, 朝倉書店, 2002 年 / 参考書: 生命と地球の歴史, 丸山茂徳・磯崎行雄, 岩波新書, 1998 年</p> <p>メッセージ 我々人類は地球上で生存していますが、地球がどのように進化し、人類と係わりでどのような問題が生じているかを学びます。</p>					

開設科目	地球科学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	理	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	三浦 保範				
<p>授業概要 地球惑星の成り立ちを循環システムとして広く理解するために、宇宙・銀河・太陽系天体 (地球・月・火星・小惑星など) の基礎的で最新知識情報と自然科学的な思考方法によって、これまでと現在そしてこれからの地球の自然科学的な世界を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 地球の成り立ちを科学的に広い循環システムとして理解することを目標とする。そのために、宇宙・銀河・太陽系天体 (地球・月・火星・小惑星など) の基礎科学的思考による知識情報を広く学ぶ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験で主な評価 (70%) をし、講義期間中の小テスト・レポートの評価を加味する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教材は、プリントで毎回配布する。 / 参考書: 地球・環境・惑星系 (パリティブックス ポップサイエンス), Richard Fifield [編]; 土井恒成訳, 丸善, 1991 年; 地球のしくみ, 浜野洋三, 日本実業出版社, 1995 年; 宇宙のしくみ, 磯部秀三, 日本実業出版社, 1999 年; 基礎地球科学, 西村祐次郎ほか, 朝倉書店, 2004 年; 参考書資料として、「スペースアトラス」(図書出版、河島信樹監)、「図説 地球科学」(岩波書店、杉村新ほか) などがある。</p> <p>メッセージ 定期試験が主な評価であるが、毎回の小テスト演習のまとめが学期末の定期試験に反映されるので、継続的な勉強の仕方をすること。</p> <p>教官連絡先 連絡先: 理学部 1 号館北棟 343 号室; Tel/Fax:(083)933-5746; E-mail:yasmiura@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー: 金曜日 15:00 ~ 17:00</p>					

開設科目	物理学実験 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生化・地球・獣医	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8・9・10 時限
担当教官	朝日孝尚, 長谷部勝彦				
<p>授業概要 力学、光学、熱力学、電磁気学等の分野に渡って設定された基礎的な実験テーマについて、自らの手で実験を行い、測定結果の処理、解析をし、その結果について考察を加え、実験レポートを作成する力を養うことを目指している。実験は原則として二人一組で行い、また、実験は授業計画の所に記した A～M の 13 テーマをローテーション表(ガイダンス後に掲示)に従い、毎回 1 テーマずつ行うという形で実施する。</p> <p>授業一般目標 ・様々な物理現象を実験的に検証することを通して、物理学に対する基礎知識を習得し、深く物理現象を理解する。 ・実験に必要な基礎的な技術や解析方法を修得し、レポートにまとめて報告する力を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 単位の認定は、出席率が 80%以上であること、実施したテーマの全レポートが提出されていること。出席していてもレポートが提出されなければ、そのテーマは欠席と見なす。授業態度・授業への参加度は、実験中の見回り及び当日の実験結果の報告等を通して判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：実験テキストを販売する。販売方法は学期初めに掲示するので、ガイダンスまでに必ず購入しておくこと。 メッセージ 次回のテーマについての予習を必ずしておき、手際よく実験を行うこと。 教官連絡先 朝日孝尚；理学部 242 号室，hcc30@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	物理学実験 B	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	機械・応化・循環	単位	1 単位	曜時限	金曜日 5・6・7・8 時限
担当教官	佐藤克也, 野田淳二, 吉本憲正, 岡本昌幸, 増山博行, 増山和子, 岸本祐子				
<p>授業概要 物理学実験では、力学・熱力学・光学・電磁気学などの物理学の基礎分野から選択される 6 テーマについて実験を行う。実験データを整理して考察したレポートを作成し提出する。</p> <p>授業一般目標 基本的な物理現象を測定する実験装置の使い方に慣れ、その現象の原理を理解する。また、実験データを整理して考察する実験レポートの書き方を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 実験態度と実験レポートの内容により成績を評価する。単位取得のためには、全ての(6 テーマの)実験を行い、全ての実験レポートを提出して受理されなければならない。提出されたレポートの内容が不十分な場合は、再提出を指導される。やむを得ない事情により欠席する場合は、事前に担当教員に相談すること。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学共通教育 物理学実験 2008 年度版, 山口大学共通教育物理学実験テキスト編集グループ, 山口大学生協同組合, 2008 年 / 参考書：理科年表「物理学 I・II」のテキスト、</p> <p>メッセージ 実験を行う前日までに、テキストに目を通して予習をすること。また、物理学実験ホームページ：http://w-phys.liberal.yamaguchi-u.ac.jp/ から Web コンテンツを見て、実験装置などについて予習すること。</p> <p>教官連絡先 連絡先：共通教育係</p>					

開設科目	化学実験A	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	物情・地球・生機・獣医	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	村上良子、川俣純、中野昭夫、西口毅、3名で一人分; 横山和平、赤壁喜彦、農新任				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験 I、II、物理化学実験、および総合実験の五つの実験から指定された四つを行う。一つの実験は各々三日間で行う。有機化学実験では化粧石けん、色素、ピニロン等の合成を、分析化学実験ではセミクロ定性分析法による金属陽イオンの分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を行う。総合実験では身のまわりにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 これらの実験を行う過程で、試薬や器具の扱い方を体験し、実験操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に触れるとともに、実験開始までに準備しておくべきこと(フローチャートの作成や問いの答えの記入など)、実験中の心がまえ、実験報告書の書き方を学ぶ。文献調査も必須である。</p> <p>成績評価方法(総合) 宿題/授業外レポート = 40~60% 授業態度や授業への参加度 = 20% 未満 受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 20% 未満 出席 = 40~60%</p> <p>教科書・参考書 教科書: 化学実験テキスト 2004 年度 販売店: 共通教育講義棟売店 / 参考書: 現代の生活と物質(4刷), 西口毅著, 化学同人, 2000 年; ライフサイエンス基礎化学, 青島均, 右田たい子著, 化学同人, 2000 年; セミクロ無機定性分析, 林謙次郎, 中間碩一郎, 鈴木光泰著, 東京教学社, 1981 年; 無機半微量分析(分析ライブラリー / 日本分析化学会編; 1) 第 2 版, 松浦二郎, 西川勝, 栗村芳実著, 東京化学同人, 1978 年; 現代の生活と物質, 西口毅, 化学同人, 1996 年 ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000 年 セミクロ無機化学定性分析, 林・中間・鈴木, 東京教学社, 1981 年 無機半微量分析第 2 版, 松浦・西川・栗村, 東京化学同人, 1978 年</p> <p>メッセージ 参考書の貸し出しを行っているので、活用して欲しい。毎回予習をして実験に臨み、期限までにレポートや課題を提出すること。提出しなければ欠席として処理する。理由のいかんを問わず、3 回以上欠席すると成績は不可とする。</p> <p>教官連絡先 理学部 4 3 7 号室 内 5 7 3 6 オフィスアワーは特別設けていません。随時質問に来てください。</p>					

開設科目	化学実験B	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	機械・応化・循環	単位	1 単位	曜時間	金曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	藤井寛之、松崎浩司、梶原忠彦、工から他 1 (2) 名				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験 I、II、物理化学実験および総合実験の 5 つの実験から指定された 2 つを行う。1 つの実験は各々 3 日間で行う。有機化学実験では化粧石けん、色素、ピニロン等の合成、分析化学実験ではセミクロ定性分析法による金属陽イオン分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を行う。また、総合実験では身の回りにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 これらの実験を行う過程で、試薬や器具の扱い方を体験し、実験操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に触れるとともに、実験開始前までに準備しておくべきこと(フローチャートの作成や予習問題の解答など)、実験中の心がまえ、実験報告書の書き方を学ぶ。文献調査も必須である。</p> <p>成績評価方法(総合) 予習(フローチャートの作成)、実験、レポートにより評価する。なお 2 回以上の欠席で不可とする。課題やレポートは次週火曜日の 13 時までに化学実験室入り口の提出ボックスに提出すること。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 化学実験テキスト(2005 年度版)を共通教育売店で販売します。なお毎年更新しますのでガイダンス時までに必ず購入して下さい。 / 参考書: セミクロ無機化学定性分析, 林・中間・鈴木, 東京教学社, 1981 年; 現代の生活と物質, 西口毅, 化学同人, 1996 年; 物理化学の基礎, 柴田茂雄, 共立出版, 1999 年; ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000 年; 毎回、予習問題や課題を課しますので、図書館で調べて解答してください。</p> <p>メッセージ 他人のレポートを写した場合は、両者とも不可にします。実験には多くの労力とお金をかけています。実験は社会で働くときと同じように、準備、作業、調査、報告を含んでいます。自分でやることにより、社会に出たときの力となります。毎回、何かひとつでも喜び(楽しみ)を見出しながら実験をしてください。</p> <p>教官連絡先 複数の教員で分担して実験を行いますので、実験に関する質問は担当となった教員に直接質問するか、事務室の実験担当の方を通して質問してください。レポートの提出などの事務的なことは、事務室の実験担当の方に聞いてください。</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎(実験)

科目類型 総説

開設科目	生物学実験	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	生化・物情	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8・9・10 時限
担当教官	渡辺雅夫・岩楯好昭、上野秀一、原田由美子				
<p>授業概要 いろいろな方法で生命現象を科学的に研究していく態度や基礎的な知識の修得を目指し、解剖学、細胞組織学、生理学、生化学、生態学などの分野にわたる実験実習を行い、毎回レポート作成する。毎回の実験の目的、方法については、プリントを配布して説明を行うほか、視聴覚機器を通じて資料を提示して経験密度を高めてもらう予定である。</p> <p>授業一般目標 これらの実験を行うなかで機器や器具の基本的な扱い方、観察・研究の姿勢、実験結果のまとめ方、レポート作成の仕方を修得することを目的とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回のスケッチ、レポートの評価(宿題、学習課題を含む)および定期試験(理解度テスト)の成績を下記のような割合で合計し、総合評価とする。遅刻や欠席は減点対象とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 資料プリントを配付する予定。/ 参考書: 授業時間に紹介する</p> <p>教官連絡先 渡辺雅夫 E-mail: masao.w@yamaguchi-u.ac.jp, 内線 5767, オフィスアワー: 月曜 14:30~16:00</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎(実験)

科目類型 総説

開設科目	生物学実験	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	生資	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8・9・10 時限
担当教官	執行正義				
<p>授業概要 生物に関わる学問分野では様々な生き物を教育研究に用い、それを通じて地球上の生命全体に関わる学問の進展に寄与しています。新入生諸君は今それらの入り口にいます。諸君がこれから教育を受けていく学問分野の多くは、実験を行い確かめ新たな問題を発見していく実証の科学です。ここで言う実験は、これから農業教育を受けていくに当たって、あらかじめ触れておくことと良いと思われることがあります。</p> <p>授業一般目標 本実験は、生物の形態、発育、体内成分、代謝生理および分子遺伝の教育を受けるのに必要な基本的実験手法を修得し、これらの実験を通じて生命現象の科学的アプローチの仕方を会得することを目的としています。実験は微生物、昆虫、植物について行います。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席回数、レポート、実験中の態度などを総合して評価する。</p> <p>メッセージ 白衣着用のこと。携帯電話の電源を OFF にしておくこと。実験中は携帯電話を使用しないこと。最初に説明をするので遅刻しないこと。実験終了後は実験に使用した物や消しゴムのかすなどを残さないこと。丸イスを実験台にのせること。</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎(実験)

科目類型 総説

開設科目	地球科学実験	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	物情・獣医	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	鎌田祥仁・阿部利弥				
<p>授業概要 地球科学は、地球上で発生する現在および過去の自然現象を解明する分野である。この実験では岩石や鉱物、地層や化石などを扱いながら、これらの観察の基礎実習を行う。本実験では室内作業だけでなく野外実習も行う。</p> <p>授業一般目標 地球科学に関する基礎的な実験・観察・演習を通して、地球科学に対する理解を深めると共に、室内の実験・観察方法および野外での実習方法を取得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出するレポートにより理解度、技能・表現などを、出席と授業中の参加態度から関心・意欲を評価する。なお、出席が所定の回数に満たないものには単位を与えない。</p> <p>教官連絡先 阿部利弥 研究室：理学部4階444号室 鎌田祥仁 研究室：理学部4階446号室</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 基礎

開設科目	物理学入門1	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	工2年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	嶋村修二				
<p>授業概要 「物理学入門1」と「物理学入門2」は、高校の「物理」を十分に履修しなかった1年生に対して、「物理学I」と「物理学II」を履修するために必要な基礎能力を養成するための科目である。しかし、共通教育のカリキュラムの変更によって、平成18年度から廃止になった。平成19年度は再履修用として、2年生以上を対象に開講した。平成20年度も再履修用として、2年生以上を対象に開講するが、単位を取得していない学生がわずしかしいないため、履修学生を個別に指導するやり方を行う。履修する学生は履修登録し、4月上旬に指導に関する案内を掲示するので、その案内に従ってください。なお、再履修用の「物理学入門1」と「物理学入門2」は、平成20年度をもって終了する。</p> <p>授業一般目標 大学における物理系科目を履修するための基礎能力を養う。</p> <p>メッセージ 単位を取る必要のある学生は、履修登録し、4月上旬の掲示案内に従ってください。</p> <p>教官連絡先 simamura@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 基礎

開設科目	物理学入門2	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	工2年	単位	1単位	曜時限	火曜日 9・10時限
担当教官	嶋村修二				
<p>授業概要 「物理学入門1」と「物理学入門2」は、高校の「物理」を十分に履修しなかった1年生に対して、「物理学I」と「物理学II」を履修するために必要な基礎能力を養成するための科目である。しかし、共通教育のカリキュラムの変更によって、平成18年度から廃止になった。平成19年度は再履修用として、2年生以上を対象に開講した。平成20年度も再履修用として、2年生以上を対象に開講するが、単位を取得していない学生がわずしかいないため、履修学生を個別に指導するやり方を行う。履修する学生は履修登録し、4月上旬に指導に関する案内を掲示するので、その案内に従ってください。なお、再履修用の「物理学入門1」と「物理学入門2」は、平成20年度をもって終了する。</p> <p>授業一般目標 大学における物理系科目を履修するための基礎能力を養う。</p> <p>メッセージ 単位を取る必要のある学生は、履修登録し、4月上旬の掲示案内に従ってください。</p> <p>教官連絡先 simamura@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 基礎

開設科目	化学入門1	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	工2年	単位	1単位	曜時限	月曜日 9・10時限
担当教官	松崎浩司				
<p>授業概要 工学を学ぶ学生を対象として、化学に関しての理解が不十分な学生に対して、工学を学ぶ学生にその専門にかかわらず化学の基礎知識の重要性を認識させるとともに将来的に化学について関係しなけなければならない時に勉強するための初歩の知識について、身のまわりの現象などと関連付けながらやさしく解説する。</p> <p>授業一般目標 大学で工学を学ぶ者にとって、化学の基礎知識の重要性を認識すること。化学を勉強するに当たって特に化学Iを学ぶ前提としての導入的な初歩の知識を理解すること。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験および講義中の演習レポートにより総合的に評価する。演習を重視するので、必然的に出席が非常に重要になる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：化学入門、大野幸一、妹尾学、今任稔彦、高木誠、福田豊、池田功、共立出版、1997年；講義はプロジェクターを用いるが、その原稿資料を配布する。/参考書：やりなおし高校の化学、斎藤勝裕、ナツメ社、2005年</p> <p>メッセージ よく復習をすること。</p> <p>教官連絡先 ko-matsu@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	化学入門2	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	工2年	単位	1単位	曜時限	月曜日 9・10時限
担当教官	松崎浩司				

授業概要 工学を学ぶ学生を対象として、化学に関しての理解が不十分な学生に対して、工学を学ぶ学生にその専門にかかわらず化学の基礎知識の重要性を認識させるとともに将来的に化学について関係しなけなければならない時に勉強するための初歩の知識について、身のまわりの現象などと関連付けながらやさしく解説する。

授業一般目標 大学で工学を学ぶ者にとって、化学の基礎知識の重要性を認識すること。化学を勉強するに当たって特に化学 II を学ぶ前提としての導入的な初歩の知識を理解すること。

成績評価方法 (総合) 定期試験および講義中の演習レポートにより総合的に評価する。演習を重視するので、必然的に出席が非常に重要になる。

教科書・参考書 教科書：視覚でとらえるフォトサイエンス化学図録 (新課程用)、数研出版編集部、数研出版、2003年；化学入門、大野幸一、妹尾学、今任稔彦、高木誠、福田豊、池田功、立出版、1997年；講義はプロジェクターを用いるが、その原稿資料を配布する。/ 参考書：やりなおし高校の化学、斎藤勝裕、ナツメ社、2005年

メッセージ よく復習をすること。

教官連絡先 ko-matsu@c-able.ne.jp

後期 - 初期教育

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人社	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	ジュマリ・アラム				
<p>授業概要 2年からの人文社会専門課程教育の具体的内容を理解し、専門教育の橋渡しとなるような基礎認識と技能を身につける。人文社会学科を構成する哲学・思想コース、歴史学コース、社会学コースの教員が同じように授業を行うように構成する。</p> <p>授業一般目標 専門課程の各コースあるいは各先生の教育内容を理解し、専門分野の基本的知識・技能への関心を高める。各コース及び各教員の担当分野への理解を深めることでコース選択に役立てる。</p> <p>教官連絡先 ジュマリ・アラム / 電子メール: djumali@yamaguchi-u.ac.jp / ホームページ: http://alam.hmt.yamaguchi-u.ac.jp/ / 電話(研究室): 083-933-5220 / 研究室: 人文学部 413 号室</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人社	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	滝野正二郎				
<p>授業概要 2年からの人文社会専門課程教育の具体的内容を理解し、専門教育の橋渡しとなるような基礎認識と技能を身につける。人文社会学科を構成する哲学・思想コース、歴史学コース、社会学コースの教員が同じように授業を行うように構成する。</p> <p>授業一般目標 専門課程の各コースあるいは各先生の教育内容を理解し、専門分野の基本的知識・技能への関心を高める。各コース及び各教員の担当分野への理解を深めることでコース選択に役立てる。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人社	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	坪郷 英彦				
<p>授業概要 2年からの人文社会専門課程教育の具体的内容を理解し、専門教育の橋渡しとなるような基礎認識と技能を身につける。人文社会学科を構成する哲学・思想コース、歴史学コース、社会学コースの教員が同じように授業を行うように構成する。</p> <p>授業一般目標 専門課程の各コースあるいは各先生の教育内容を理解し、専門分野の基本的知識・技能への関心を高める。各コース及び各教員の担当分野への理解を深めることでコース選択に役立つ。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	言語	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	尾崎千佳				
<p>授業概要 2年からの言語文化専門課程教育の具体的内容を理解し、専門教育の橋渡しとなるような基礎知識・技能を身につける。言語文化学科の教員がオムニバスで授業を行う。</p> <p>授業一般目標 専門課程の各コースあるいは各先生の教育内容を理解し、専門分野の基本的知識・技能への関心を高める。各コース及び各教員の担当分野への理解を深めることでコース選択に役立つ。</p> <p>教科書・参考書 教科書：担当教員が適宜教材を配布します。 / 参考書：担当教員が必要に応じて指示します。</p> <p>教官連絡先 尾崎千佳 研究室 = 人文 508 / 電話 = 933-5257 / E-mail = ozaki@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	言語	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	平山 豊、その他 11 名				
<p>授業概要 2年からの専門過程教育の具体的内容を理解し、専門教育への橋渡しとなるような基礎知識・技能を身につける。言語文化学科の教員がオムニバスで授業を行う。</p> <p>授業一般目標 専門課程の各コースあるいは各教員の教育内容を理解し、専門分野の基本的知識・技能への関心を高める。各コース、各教員の担当分野への理解を深めることでコース選択に役立てる。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内レポート、場合によっては授業外レポートが70% 授業態度 30% 出席は欠格条件として取り扱う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：担当教員が適宜教材を配布します。/ 参考書：担当教員が必要に応じて指示します。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	言語	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	宮原一成				
<p>授業概要 2年からの言語文化専門課程教育の具体的内容を理解し、専門教育の橋渡しとなるような基礎知識・技能を身につける。言語文化学科の教員がオムニバスで授業を行う。</p> <p>授業一般目標 専門課程の各コースあるいは各先生の教育内容を理解し、専門分野の基本的知識・技能への関心を高める。各コース及び各教員の担当分野への理解を深めることでコース選択に役立てる。</p> <p>成績評価方法(総合) レポートの内容と質、授業参加の積極度を総合して判定します。無断欠席が3回を超えたら、単位は出しません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：担当教員が適宜教材を配布します。/ 参考書：担当教員が必要に応じて指示します。</p> <p>メッセージ 欠かさず出席することを心がけましょう。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	情報(数情)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	渡辺正、系長雅弘、北本卓也、野村厚志、飯寄信保				
<p>授業概要 数理情報コースに関する学習、研究領域について概説するとともに、大学生活に関するガイダンス、授業を受ける姿勢や態度を学びます。講義は担当教員のリレー講義形式で行います。</p> <p>授業一般目標 数理情報コースで学ぶ学習、研究領域についての理解を広げ、大学生活について必要な事柄を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席回数、レポート内容、受講態度等を総合的に判断する。</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教(ノート PC 未購入者)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	木下真				

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	応化	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	笠谷和男				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。応用化学科では、前期の基礎セミナーで情報リテラシーの入門部分を行える可能性があるため、後期のこの演習では最初の部分を省き、化学ソフト等を加えることがある。演習との関係で、実施形態が変則的になる場合もある。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト・授業内レポート、宿題・授業外レポートおよび受講者による発表(プレゼン)を総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。さらに資料も配布する。</p> <p>メッセージ 宇部で開講します。毎回の出席を基本としていますので、欠席しないように。</p> <p>教官連絡先 E-mail: kasatani@以後は学生の皆さんと同じです。</p>					

開設科目	情報リテラシー演習	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	全(教・医学除く)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	小川 勤				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。また、「情報リテラシー」は、山口大学の教養教育から専門教育に至る授業・演習を学生が受講していく際に、情報の収集・作成・加工・伝達手段として、コンピュータを道具として活用していく上で欠くことのできない能力である。本講義では Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学「情報処理テキスト Web 版」等を利用する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めて使うものとして授業を行う。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	応化	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	刈谷丈治				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）／参考書：情報セキュリティ読本改訂版、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

開設科目	情報セキュリティ・モラル	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	全（教・医学除く）	単位	1 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	岡田耕一				
<p>授業概要 ユビキタスネットワーク社会が到来しつつ今日において、情報システムやネットワークを利用し、情報のやりとりを行うに当たり、すべての参加者は、情報セキュリティに関する自らの責任を果たすため、個々の立場に相応しい思考と行動の様式（情報モラル）を身に付け、真の情報活用能力を培う必要がある。ここで「情報セキュリティ」とは情報の機密性、完全性及び可用性を維持することであり「情報モラル」とは情報を適正に取り扱うための考え方や態度のことであり「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことである。本授業では、参加者として自己の立場に相応しい思考と行動の様式を身に付けることができるよう、情報の本質、暗号化と認証、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンス、リスクアセスメント等について解説する。</p> <p>授業一般目標 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割とそれらが及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報セキュリティに対する責任を認識するとともに、望ましいユビキタスネットワーク社会の創造に参画しようとする態度を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 2 回以上の欠席を欠格条件とし、毎回の小テストとクォーター末のレポート課題を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：全学統一教材（PowerPoint 配布資料ダウンロード版）／参考書：情報セキュリティ読本改訂版、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）、実教出版、2006 年</p> <p>メッセージ 単なる情報機器の操作やソフトウェアの利用に長けているだけでは、真の情報活用能力があるとは言えません。なぜなら「真の情報活用能力」とは情報の本質を理解するとともに、情報モラルを身に付け、情報を適切かつ効果的に活用することができる能力のことだからです。この授業は、真の情報活用能力の前提となる考え方や態度を身に付けることを目的としています。ユビキタスネットワーク社会の参加者として適切な行動がとれるよう、その基盤となる考え方や態度を常に持ち続けてください。</p>					

後期 - 外国語教育

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	石井由里				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：A Complete College English Program Book 3, Tsuchiya Takehisa 他, Kinseido, 2007 年；Unit1-7 を学習</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 教育学部 200 - 1 研究室 初回授業時に指示</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Now You're Talking!, Chris Elvin, EFL Press, 1998 年；Reading 用の資料を別途配布します。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効となります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 連絡先：(090)4654-8264 E-mail: oneworld@international.name 英語の力をつけるコツは簡単です。英語が好きになり、英語を使えばよいのです。明らかに、英語が好きになるかどうかは強制できませんが、この授業では、4 技能を用いて英語をなるべく使う (特に聞く・話す) ことを主旨とします。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	岩部浩三				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。・この授業が対象とする受講生の共通の弱点である基本的な英文法の内容を再確認します。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。・2 月の TOEIC TOEIC Bridge 試験の受験を成績評価に加えします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：コンパクト 今日から使える文法・応用ドリル, 亀岡 賢一, 松柏社, 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効となります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	皆尾麻弥				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 (英国BBCニュースを使った授業をいたします)</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効となります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	高橋俊章				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。このクラスでは英語の基礎的知識や能力を向上させるため、e-learning 教材を活用して授業を行う。毎回の授業では e-learning の他に、(1) リスニングの練習、(2) 基本的な文法問題の練習、(3) リーディングの概要把握やチャンク・リーディングの練習を行う。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。共通課題以外に課題を課します。その課題をしていない場合には欠席扱いとなります。</p> <p>メッセージ 必ずヘッドセット (ステレオミニプラグ) と大学のメールアドレスとパスワードを確認しておくこと。これがないと授業が受けられません。各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効となります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 bld10@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	石井由里				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：A Complete College English Program Book 3, Tsuchiya Takehisa 他, Kinseido, 2007 年；Unit1-7 を学習</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 教育学部 200 - 1 研究室 初回授業時に指示</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	猫田和明				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Sound of English for Communication, 杉森幹彦ほか, 金星堂, 2005 年；使用教科書が変わることがあります。指示があるまで購入しないでください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 nekoda@yamaguchi-u.ac.jp 933-5417 研究室(教育 A354)</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	矢野紀子				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Quick Training for the TOEIC Test, 塚本, センゲージ ラーニング, (文栄堂), 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	高橋博美				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 hiromi_t@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	宮原一成				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。(*この授業では、普段の授業態度と宿題によって秀～可の判定をします。期末テストは行いません。) 2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：当方で準備したプリントを使って授業をします。リスニングとスピーキングに重点を置いて、中学高学年から高校 1 年レベル程度の基礎学力を再構築します。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	大野 厚子				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	高橋博美				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 hiromi_t@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	宮崎充保				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Listening 2, 木村哲夫/John Hessian/ヘシアン田中ゆき子, マクミランランゲージハウス, 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。クォーター講義で学べる時間は限られています。初回までに教科書は購入しておいてください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	松谷緑				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	太田聡				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける。 ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける。 ・継続的に自己学習をする習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 ohta@... (... は yamaguchi-u.ac.jp)</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Now You're Talking!, Chris Elvin, EFL Press, 1998 年；Reading 用の資料を別途配布します。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 連絡先：(090)4654-8264 E-mail: oneworld@international.name 英語の力をつけるコツは簡単です。英語が好きになり、英語を使えばよいのです。明らかに、英語が好きになるかどうかは強制できませんが、この授業では、4 技能を用いて英語をなるべく使う (特に聞く・話す) ことを主旨とします。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	岩部浩三				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。・この授業が対象とする受講生の共通の弱点である基本的な英文法の内容を再確認します。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。・2 月の TOEIC TOEIC Bridge 試験の受験を成績評価に加えします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：In Plain English grammar for reading, Seishi Sato, 南雲堂, 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	松谷緑				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	石井由里				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：A Complete College English Program Book 3, Tsuchiya Takehisa 他, Kinseido, 2007 年; Uni t 8 - 1 4 を学習</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 教育学部 2 0 0 - 1 研究室 初回授業時に指示</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	猫田和明				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Sound of English for Communication, 杉森幹彦ほか, 金星堂, 2005 年；使用教科書が変わることがあります。指示があるまで購入しないでください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 nekoda@yamaguchi-u.ac.jp 933-5417 研究室(教育 A354)</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	矢野紀子				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Quick Training for the TOEIC Test, 塚本知夫, Ward Ketcheson, Geoffrey Tozer, センゲージ ラーニング (文栄堂), 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Now You're Talking!, Chris Elvin, EFL Press, 1998 年; 補足として Reading 用の資料を配布します。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 連絡先: (090)4654-8264 E-mail: oneworld@international.name 英語の力をつけるコツは簡単です。英語が好きになり、英語を使えばよいのです。明らかに、英語が好きになるかどうかは強制できませんが、この授業では、4 技能を用いて英語をなるべく使う (特に聞く・話す) ことを主旨とします。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	岡 紘一郎				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書: King Lear, J.Bassett, Nan'un-do, 1992 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	高橋俊章				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。このクラスでは英語の基礎的知識や能力を向上させるため、e-learning 教材を活用して授業を行う。毎回の授業では e-learning の他に、(1) リスニングの練習、(2) 基本的な文法問題の練習、(3) リーディングの概要把握やチャンク・リーディングの練習を行う。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 必ずヘッドセット(ステレオミニプラグ)と大学のメールアドレスとパスワードを確認しておくこと。これがないと授業が受けられません。各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 bld10@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	宮崎充保				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	大野 厚子				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Successful Keys to the TOEIC Test 1 Goal 500, Atsushi Mizumoto/Mark D. Stafford, Longman</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効となります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的の自学自習によって英語の基礎的の学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reaging 2, 木村哲夫/John Hessian/ヘシヤン田中ゆき子, マクミランランゲージハウス, 2008 年</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効となります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。クォーター講義で学べる時間は限られています。初回までに教科書は購入しておいてください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	石井由理				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける ・継続的に自己学習をする習慣を身につける</p> <p>成績評価方法(総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：A Complete College English Program Book 3, Tsuchiya Takehisa 他, Kinseido, 2007 年；Unit8-14 を学習</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 教育学部 200 - 1 研究室 初回授業時に指示</p>					

開設科目	Basic English	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	太田聡				
<p>授業概要 TOEIC400 点未満の学生を対象とします。授業および継続的自学自習によって英語の基礎的学力を向上させるとともに、英語学習の習慣を身につけます。</p> <p>授業一般目標 ・基礎的な語彙力を身につける。 ・基礎的な文法、リスニング、読解力を身につける。 ・継続的に自己学習をする習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎週出される課題には最低限クリアすべき基準が定められており、この基準を満たすことによって合格となります。合格基準を満たした受講生に対する秀から可までの成績評価は、授業担当者が出した課題や試験によって総合的に行います。2 回以上の欠席をした場合は欠格となりますが、入院等のやむをえない理由で 2 度欠席した場合は、担当教員に申し出てください。</p> <p>メッセージ 各クォーター 1 単位のみ履修できます。2 単位以上履修をした場合は重複部分が無効になります。TOEIC400 点以上取得者は履修できません。誤って履修した場合は単位取り消しもあるので、注意してください。原則として指定されたクラスで受講してください。授業内容によって特にクラス変更を希望する場合は、移動元・先の双方の担当教員の承諾を得たうえで移動してください。</p> <p>教官連絡先 ohta@... (... は yamaguchi-u.ac.jp)</p>					

開設科目	海外英語研修	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	全	単位	4 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	石井由理、STEVENT. GARDNER				
<p>授業概要 約 4 週間の英語圏 (リジャイナ [カナダ]、ニュー・カッスル [オーストラリア]、ロンドン [イギリス]) での語学研修プログラム (研修費等は受講者が負担) に参加して、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。また同時に、滞在先の人々との交流を通じて、異文化理解を深める。この科目の単位を取得するためには、学務係 (工学部は教務課) に受講票を提出のうえ、研修直前のクォーターに開講される事前指導 (週 1 回 90 分 × 7 回の授業) を受講しなければならない。(注意! 事前指導を受講しなければ、語学研修プログラムに参加しても、単位は認められません。) 海外英語研修プログラムは、リジャイナ、ニュー・カッスルは夏と春に、ロンドンには夏に実施される。それぞれ 4 月末頃、10 月末頃に説明会が開かれるので、プログラムの詳細はそちらを参照すること。事前指導は第 2 クォーターと第 4 クォーターに開講される。より詳しくは説明会や掲示で連絡する。</p> <p>授業一般目標 海外 (英語圏) での語学研修プログラムで学習することにより、また現地での生活の中で、実践的英語コミュニケーション能力を身に付ける。滞在先の地域文化に触れ、現地の人々との交流を通じて、国際的な視野を広げる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 事前指導での出席状況、授業態度、英語習熟度、および、研修先の大学から送られてくるスコア等を合わせて、総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 海外短期語学研修プログラム説明会の案内等は掲示にて行います。履修希望者は注意しておいて下さい。</p> <p>教官連絡先 海外短期語学研修プログラムについては留学生センターに問い合わせる。事前指導については共通教育係に問い合わせる。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 包括

開設科目	海外英語研修	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	医・工2年	単位	4単位	曜時限	火曜日 9・10時限
担当教官	石井由理、STEVENT. GARDNER				
<p>授業概要 約4週間の英語圏(リジャイナ[カナダ]、ニュー・カッスル[オーストラリア]、ロンドン[イギリス])での語学研修プログラム(研修費等は受講者が負担)に参加して、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。また同時に、滞在先の人々との交流を通じて、異文化理解を深める。この科目の単位を取得するためには、学務係(工学部は教務課)に受講票を提出のうえ、研修直前のクォーターに開講される事前指導(週1回90分×7回の授業)を受講しなければならない。(注意!事前指導を受講しなければ、語学研修プログラムに参加しても、単位は認められません。)海外英語研修プログラムは、リジャイナ、ニュー・カッスルは夏と春に、ロンドンは夏に実施される。それぞれ4月末頃、10月末頃に説明会が開かれるので、プログラムの詳細はそちらを参照すること。事前指導は第2クォーターと第4クォーターに開講される。より詳しくは説明会や掲示で連絡する。</p> <p>授業一般目標 海外(英語圏)での語学研修プログラムで学習することにより、また現地での生活の中で、実践的英語コミュニケーション能力を身に付ける。滞在先の地域文化に触れ、現地の人々との交流を通じて、国際的な視野を広げる。</p> <p>成績評価方法(総合) 事前指導での出席状況、授業態度、英語習熟度、および、研修先の大学から送られてくるスコア等を合わせて、総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 海外短期語学研修プログラム説明会の案内等は掲示にて行います。履修希望者は注意しておいて下さい。</p> <p>教官連絡先 海外短期語学研修プログラムについては留学生センターに問い合わせる。事前指導については共通教育係に問い合わせる。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開1

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2単位	曜時限	月曜日 5・6時限
担当教官	猫田和明				
<p>授業概要 この授業ではパソコンによる予習を課す。授業では単語テスト、内容理解のための英問英答、シャドーイング、速読などを行う。各回のトピックに関連する英文を読む活動も行う。</p> <p>授業一般目標 テンポよく英文を読んで理解できるような読解力を養い、まとまった文章にも臆せず読み進めることのできる力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 普段の授業への参加の様子、課題の状況、定期試験によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Reading Cool, 中林恵一ほか, 三修社, 2004年; 教科書は変わることがあります。指示があるまで購入しないでください。</p> <p>メッセージ 授業では内容に関して質問をしますので、きちんと予習をやってきてください。</p> <p>教官連絡先 教育学部南棟3F(354)</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 医学・医療の分野の最近の動向を英文で読む。 授業一般目標 現代の医学・医療の分野における問題点ならびに今後の動向に関する問題を英文で読む。 成績評価方法 (総合) 定期試験・レポート 教科書・参考書 教科書： かけがえのない健康と環境, S.Clankie 他,</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	高橋俊章				
<p>授業概要 The Japan Times などの英字新聞を読み、時事的な語彙、表現 (コロケーションを含む) を学ぶ。 授業一般目標 The Japan Times を読むことが出来る。 また、新聞に使用されている語彙や表現を学習する。 成績評価方法 (総合) 5 回以上欠席したら不可 (欠席 1 回ごとに全体の評価 (100 点) から 5 点減点)。 遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。 指名して予習不十分と判明した場合 (答えられなかった場合など) は出席点を - 0.5 回分にす (2 度重なれば、1 回欠席と同じ)。 期末テスト (60%) + 授業における参加度 (クローズ形式の問題演習の得点、質問に答えるなどによる得点であり、出席率ではない。欠席すると - 5 であるが、単に出席するだけでは何ら得点は与えられない。) や小テストの得点 (40%) 教科書・参考書 参考書： 教科書備考： 毎回、新聞のコピーを配布します。 , , メッセージ 予習を前提として授業を進める。 辞書 (電子式でも書籍版でも構わない) は必ず持参すること。 The Japan Times に授業のレベルを合わせるため、このレベルでは内容が簡単と感じる学生は他の授業を受けること。 また、半分も理解出来ないという学生には難しすぎるので、この場合も他の授業を選択し履修すること。 教官連絡先 bld10@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	岡紘一郎				
<p>授業概要 短編の名手ダールの作品を読み、話や論理の展開を楽しみながら、精読、大意の要約等読解力を養成する。テープを聞いて、耳からも理解する。</p> <p>授業一般目標 精読、大意要約、行間を読む等、読解力を高める。リスニング力を高める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、出席率、授業への参加度、中間試験等で総合的に評価する。出席日数が所定に達しなければ、受験できない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Completely unexpected Tales, R.Dahl, Taiyosha, 2005 年 / 参考書: 授業中に適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 予習を十分にして授業に出て来ること。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	池園宏				
<p>授業概要 William Shakespeare の悲劇 Romeo and Juliet を平易な現代英語で物語化したテキスト、及びこの作品に関する短い論文エッセイを読み、この世界的に有名な文学作品に対する理解を深める。</p> <p>授業一般目標 (1) テキストを丹念に音読、解釈することにより、英語のリーディング力を身につける。(2) 英文解釈のために必要な英文法力を身につける。(3) 文学作品についての理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 試験は学期末に 1 回実施する。(2) 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリントを配布する。 / 参考書: 授業の中で紹介する。</p> <p>メッセージ 辞書を必ず持参すること。毎回出欠確認をするので、欠席や遅刻をしないこと。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 毎回課題として与えられる英文を速読や熟読する中で多角的に英語リーディング能力を養う。</p> <p>授業一般目標 英文を文法や語彙の知識で日本語訳するではなく、できるだけ英語で理解できるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末テストと数回行う小テストの総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：初回に指示する / 参考書：初回に指示する</p> <p>メッセージ 授業内外での課題をきちんとやりましょう</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工2年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	堤千佳子				
<p>授業概要 この授業ではTOEIC 400点以上を取得した学生を対象に、リーディング能力を養成する。読解力を高めるための英文法の涵養も併せて目標とする。内容理解の確認、リスニング、ヴォキャブラリーに関するエクササイズをこなしていくことで、多角的なアプローチを取る。</p> <p>授業一般目標 (1)読解力の向上 (2)時事的な内容を取り上げたテキストを用いることで、様々なトピックについての知識を得る。(3)TOEIC 関連の問題の学習</p> <p>成績評価方法(総合) 1/3以上の欠席は失格。出席率、授業への参加度、適宜課する小テスト、定期試験の組み合わせにより総合的に評価を行なう。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Newsmakers, Paul Stapelton, Macmillan Languagehouse, 2008年</p> <p>メッセージ 1/3以上の欠席は失格となります。遅刻は厳禁です。必ず予習をして、授業に臨んでください。予習の段階で音読を必ず試みてください。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	石井由里				
<p>授業概要 英語のテキストを1冊読み終えることを目標に、毎回10ページ程度を読み進めていきます。すべての英文の逐語訳をするのではなく、量を読むことによっておおまかな情報を把握し、難解であったり、重要な情報であったりする部分だけを詳細に読み、理解するようにします。内容に関して毎回小テストをします。</p> <p>授業一般目標 ある程度まとまった量の英文を一気に読めるようにする。長い文も文構造を理解することによって理解できるようにする。おおまかな内容を把握できるようにする。重要な情報を正確に読み取れるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回の小テストおよび期末テストによる総合評価。欠席が授業回数の3分の1を越えた者は欠格とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: The Third Man, G.Green, G. メッセージ しっかりと予習をしてください。</p> <p>教官連絡先 教育学部200-1研究室 初回授業時に指示</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 リーディングの力を養うには、多読、速読が大切であることは言うまでもない。しかし、英文構造(文法)が理解できていなければ、これは単なる「勘」に終始する。そこで、この授業では、基本にも重点を置き、英文法の復習・確認、さらに、その知識を使っの正しい精読をねらいとする。この授業で扱うテーマは、我々多くの関心事であろう「結婚」「家族」についてである。時代、民族、宗教、文化によって多岐にわたる「結婚観」「家族観」を学ぶことにより、英語読解力のみならず、世界的視野を広げていただきたい。</p> <p>授業一般目標 ・英文法の再整理、復習を行なうこと。 ・培った文法知識を実際のリーディングに活かすこと。 ・正しい精読により、より深い英文読解に結びつけること。</p> <p>成績評価方法(総合) ・出席(欠格条件とする。4回以上欠席の場合、単位は認定しない。) ・授業への参加度、参加態度 ・小テスト、授業内/外レポート、宿題 ・学期末試験(注:出席が規定に満たない者は受験できない。)</p> <p>教科書・参考書 教科書: The Changing Face of Marriage and Family 21世紀の結婚・姓・社会, 大橋久利/BAXTER,Blake, 成美堂, 2008年</p> <p>メッセージ 予習・復習を前提として授業を進める。また、授業中には積極的なプレゼンテーションを求める。本気で英語長文を読めるようになりたい、という学生に来ていただきたい。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	宮原一成				
<p>授業概要 リーディングの授業でもあり、また、リスニングの授業でもあります。個人リーディングの他に、ペアワークやグループワークも多用します。教材は世界情勢や時事問題を扱った内容です(教材で取り扱われるテーマについては、週別授業計画を参照してください)。</p> <p>授業一般目標 大学1年生にふさわしいレベルの英文解釈力(読解力・聴解力)の養成。大意把握の能力の養成。</p> <p>成績評価方法(総合) 学期末筆記試験70%+授業内の積極的な参加姿勢や質問30%=100点満点。無断欠課5回以上は無条件に不可とする。遅刻2回で欠課1回分とカウントする。30分以内であれば遅刻と見なすが、それ以上は欠課として扱う。</p> <p>教科書・参考書 教科書: World Cross-section, 細川祐子, 開文社出版, 2008年</p> <p>メッセージ 英和辞書を毎回持参すること。</p> <p>教官連絡先 初回授業時に知らせます。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 英語の読解力を身につける。</p> <p>授業一般目標 文章をただ訳すのではなく、書かれていない背景をも読み取る訓練を行う。</p> <p>成績評価方法(総合) 履修者人数にもよるが、人数が多い場合には、定期試験による成績評価の割合が高くなる。また、レポートを一度課す。それは試験を受けるための条件である。</p> <p>教科書・参考書 教科書: コピーを配布する。/ 参考書: 授業で指示する。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	大野厚子				
<p>授業概要 社会問題や社会的背景をトピックにした内容を通して、小グループで問題演習し内容の理解を深め、読む力及び楽しさを養成する。またトピックの内容について英語で自分の意見を表現し伝える能力を養成する。</p> <p>授業一般目標 さまざまな現在社会の問題や背景をトピックにした内容を通して読む力と楽しさを養成する。またトピックの内容を英語で自分の言葉で表現したり、自分の意見を論理的に伝えたりする能力を養成することを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験、小テスト、授業態度、課題、Presentation、出席状況などで総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：初回授業時に指示する。</p> <p>メッセージ 寝ている学生は基本的には欠席とみなします。授業中に携帯のメールを送信したりチェックをする学生は基本的には欠席とみなします。遅刻三回で一回の欠席とみなします。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 TOEIC スコア 500 点程度を対象とし、450-550 点レベル程度の英文を読む。従来学校で強調されてきた精読力だけでなく、速読・多読の力もつける。幅広い内容の英文を読んで、世界観を広げ、創造力を養う。教科書のために書かれた英語 (つまり英語学習者を対称に書いたもの) だけでなく、本格的な英文 (authentic text) にも挑戦する。翻訳をせずに英語のまま理解する力を養成する。また、読んだ後の読解テストなどから完全に解放された、「自由に楽しく読む」ための「多読プロジェクト」にも取り組む。楽しくたくさん読むことで基礎的な読解力をつけ、読む速度を倍増させる。読む速度の目標は 1 分間に 100-150 単語を目指す。</p> <p>授業一般目標 1. 1 分間に 100~150 単語読めるようになる (速読)。2. 和訳をせずに、英語のままメインアイデアを理解できるようになる (即解)。3. 1 時間に 6,000~9,000 語の本 (見出し語 1,000 語) を辞書を使わないで読めるようになる (多読)。4. 1 学期 (4ヶ月) 間に 350 - 700 ページ分の英書 (見出し語 1,000 語) を読めるようになる。5. 読んだ内容の意味を正確に理解できるようになる。6. 読んだ内容についてクラスメートと英語または日本語でディスカッションできる。7. 読んだ内容を用いて実用的な用途に用いる。8. 次の能力を用いて読めるようになる: 推論、予期・予想、スキミング、スキヤニング。9. 文章・パラグラフ構成について理解し、読解に当てはめる: トピック・センテンス、サポート・センテンス、結論センテンス、命題となるセンテンス (thesis)、導入・本体・結論。10. パラグラフの論理を理解し、読解に応用する: 時間、比較対照、因果関係、論理的分類 11. 重要語・用語の定義を見つける。12. 語彙の予測をする。13. 出来事の流れを認識する。14. 詳細・数字を探してスキヤニングする。15. 全体的なアイデアまたはメインアイデアを探してスキミングする。16. 大意を把握するためにスキミングする。17. 題名を用いてメインアイデアを理解する。18. パラグラフを読んで要約ができる。19. 文章の言い換えができる。20. バラバラの文章やパラグラフを読んで適切に並べ替えられる。21. トップダウンとボトムアップ両方の方法で読む力をつける。22. シャドーイングができる。23. 書き取りができる。24. 音読ができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 授業内演習活動 (50%) 2. 宿題 (25%) 3. 中間期末プロジェクト (25%)</p> <p>教科書・参考書 教科書: Active Skills for Reading: Book 2, Neil Anderson, Compass Publishing, 2007 年</p> <p>メッセージ 英語読解力は、読むことで伸びていきます。ただし、鍵は「適切なレベルであること」(やや易しいと感じる程度)、「英語のまま理解すること」(和訳に頼らない・辞書を乱用しない)「たくさん読むこと」(最低 1 週間に 5000-10,000 単語 = Graded Reader1 冊!)、そして「リーディングを楽しむこと」です。Let's have fun reading!</p> <p>教官連絡先 連絡先: (090)4654-8264 E-mail: oneworld@international.name</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開1

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	岡紘一郎				
<p>授業概要 短編の名手ダールの作品を読み、話や論理の展開を楽しみながら、読解力を養成する。テープを聴いて、耳からも理解する。</p> <p>授業一般目標 精読、大意要約、行間を読む等、読解力を高める。リスニング力を高める。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 試験を行う。 2. 指名されたとき十分に準備できていて、正確に発表でき、質問に正しく答えられるか、を評価する。 3. 出席も考慮する。 所定の回数に満たない者は受験できない。</p> <p>メッセージ 予習をしっかりとって授業に出ること。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開1

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	皆尾麻弥				
<p>授業概要 英国の作家 P.G.Wodehouse の作品 Very Good, Jeeves! を英語で読む。</p> <p>授業一般目標 独特のユーモアにあふれるこの作品を、原文で味わう喜びを得る。</p> <p>成績評価方法(総合) 学期末の試験に平常点を加味する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Very Good, Jeeves!, P.G.Wodehouse, Penguin</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	谷國晶洋				
<p>授業概要 グローバリゼーションという現象が世界のさまざまなシステムをどのように変え、人々の生活にどのような影響をもたらしているのかを論じたエッセイを題材に、精密な英文読解を行う。</p> <p>授業一般目標 英文講読を通して読解力を高めるとともに、グローバリゼーションの諸相に対する論理的な思考力と鋭敏な感受性をつけること。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業への参加度 (出席 2/3 以上・発表点) 及び、定期試験による総合評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書: What Globalization Really Means., Paul Stapleton, 成美堂, 2008 年</p> <p>メッセージ 辞書をしっかり引いて、予習を十分にしておいて下さい。</p> <p>教官連絡先 blakist@ezweb.ne.jp</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	谷國晶洋				
<p>授業概要 現代の最先端で起きていることについて書かれたエッセイを題材に、精密な英文読解を行うとともに、各種の練習問題を行って、総合的な英語力の向上に努める。</p> <p>授業一般目標 英文講読を通して読解力を高めるとともに、様々な社会問題に対する問題意識を高めたい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業への参加度 (出席 2 / 3 以上・発表点) 及び、定期試験による総合評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Reading Forerunner, 松尾秀樹 他, 金星堂, 2008 年</p> <p>メッセージ 辞書をしっかり引いて、予習を十分にしておいて下さい。</p> <p>教官連絡先 blakist@ezweb.ne.jp</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	尊田 望				
<p>授業概要 TOEIC スコア 500 点程度を対象とし、450-550 点レベル程度の英文を読む。従来学校で強調されてきた精読力だけでなく、速読・多読の力もつける。幅広い内容の英文を読んで、世界観を広げ、創造力を養う。教科書のために書かれた英語（つまり英語学習者を対称に書いたもの）だけでなく、本格的な英文（authentic text）にも挑戦する。翻訳をせずに英語のまま理解する力を養成する。また、読んだ後の読解テストなどから完全に解放された、「自由に楽しく読む」ための「多読プロジェクト」にも取り組む。楽しくたくさん読むことで基礎的な読解力をつけ、読む速度を倍増させる。読む速度の目標は 1 分間に 100-150 単語を目指す。</p> <p>授業一般目標 1. 1 分間に 100～150 単語読めるようになる（速読）。2. 和訳をせずに、英語のままメインアイデアを理解できるようにする（即解）。3. 1 時間に 6,000～9,000 語の本（見出し語 1,000 語）を辞書を使わないで読めるようになる（多読）。4. 1 学期（4ヶ月）間に 350 - 700 ページ分の英書（見出し語 1,000 語）を読めるようになる。5. 読んだ内容の意味を正確に理解できるようにする。6. 読んだ内容についてクラスメートと英語または日本語でディスカッションできる。7. 読んだ内容を用いて実用的な用途に用いる。8. 次の能力を用いて読めるようになる：推論、予期・予想、スキミング、スキヤニング。9. 文章・パラグラフ構成について理解し、読解に当てはめる：トピック・センテンス、サポート・センテンス、結論センテンス、命題となるセンテンス（thesis）、導入・本体・結論。10. パラグラフの論理を理解し、読解に応用する：時間、比較対照、因果関係、論理的分類 11. 重要語・用語の定義を見つける。12. 語彙の予測をする。13. 出来事の流れを認識する。14. 詳細・数字を探してスキヤニングする。15. 全体的なアイデアまたはメインアイデアを探してスキミングする。16. 大意を把握するためにスキミングする。17. 題名を用いてメインアイデアを理解する。18. パラグラフを読んで要約ができる。19. 文章の言い換えができる。20. バラバラの文章やパラグラフを読んで適切に並べ替えられる。21. トップダウンとボトムアップ両方の方法で読む力をつける。22. シャドーイングができる。23. 書き取りができる。24. 音読ができる。</p> <p>成績評価方法（総合） 1. 授業内演習活動（50%）2. 宿題（25%）3. 中間期末プロジェクト（25%）</p> <p>教科書・参考書 教科書：Active Skills for Reading: Book 2, Neil Anderson, Compass Publishing, 2007 年</p> <p>メッセージ 英語読解力は、読むことで伸びていきます。ただし、鍵は「適切なレベルであること」（やや易しいと感じる程度）、「英語のまま理解すること」（和訳に頼らない・辞書を乱用しない）、「たくさん読むこと」（最低 1 週間に 5000-10,000 単語 = Graded Reader1 冊！）そして「リーディングを楽しむこと」です。Let's have fun reading!</p> <p>教官連絡先 連絡先：(090)4654-8264 E-mail: oneworld@international.name</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 英語のライティングで一番肝心なのは「内容」である。まずは自分が伝えたい内容があり、それを英語でどこまで表現できるかということが重要と言える。この授業では、書く用途に合わせた語彙や文法についても学習するが、とにかく自分の思うことを書いてみるということを授業のスタンスとする。様々なテーマで実際に英文を書き、その英文をもとにより良い英文を書くためにはどうすべきかをディスカッションなどを通じて考える。</p> <p>授業一般目標 平易な語彙・文法を用いながら、自分の伝えたいことが英文で書ける。</p> <p>成績評価方法（総合） ・期末テスト・小テスト・授業内外の課題・授業への参加・出席 以上の総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：初回授業時に指示する</p> <p>メッセージ 与えられた課題をきちんとこなし、授業に積極的に参加しましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 英語のライティングで一番肝心なのは「内容」である。まずは自分が伝えたい内容があり、それを英語でどこまで表現できるかということが重要と言える。この授業では、書く用途に合わせた語彙や文法についても学習するが、とにかく自分の思うことを書いてみるということを授業のスタンスとする。様々なテーマで実際に英文を書き、その英文をもとにより良い英文を書くためにはどうすべきかをディスカッションなどを通じて考える。</p> <p>授業一般目標 平易な語彙・文法を用いながら、自分の伝えたいことが英文で書ける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・期末テスト ・小テスト ・授業内外の課題 ・授業への参加 ・出席 以上の総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書： 初回授業時に指示する。</p> <p>メッセージ 与えられた課題をきちんとこなし、授業に積極的に参加しましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	EDWARDS NATHANIEL TYLER				
<p>授業概要 1) Students will read many different types of English writing as models for their own writing. 2) Useful writing skills and strategies will be reviewed and practiced. 3) Key grammar points will be reviewed and practiced. 4) Students will increase their vocabulary on a variety of topics. 5) Students will learn and use new study techniques. 6) Students will also practice some speaking and listening by discussing their writing in pairs and small groups.</p> <p>授業一般目標 This course is for students who wish to improve their English writing and reading skills, using a variety of different types of writing.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Written Exam: 20 % of Final Grade. Homework and Reports: 60 % Attitude and Participation: 20 %</p> <p>教科書・参考書 教科書： Reading Challenge 3, Casey Malarcher & Andrea Janzen, Compass Publishing, 2005 年</p> <p>メッセージ Bring your dictionary and textbook to every class.</p> <p>教官連絡先 ca72@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	大野 厚子				
<p>授業概要 英語で効果的に書くために、日本語と異なる文化的な背景を持つ英語での構成の仕方、表現の仕方を基礎から養成し、さまざまなトピックで書く力や書く楽しさを養成する。</p> <p>授業一般目標 英語で効果的に書くためには、どのような論理的な構成が必要かを学び、さまざまなトピックを用いて、書くことで自分の考えなどを表現する仕方を演習し、身に付け、一つのあるまとまった「エッセイ」が書けるような力を養成することを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内外の課題 授業態度 出席などの総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書: Skills for Better Writing, Yumiko Ishitani/Emma Andrews, 南雲堂, 2005 年 / 参考書: プリント</p> <p>メッセージ 遅刻三回で欠席一回とみなします。授業中に寝ている学生は基本的には欠席とします。授業中に携帯を送信したりチェックしたりしないこと。</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	細木孝雄				
<p>授業概要 あるまとまった[文章]が書けるようになる力をつけるために、1.意見サポート型 2.比較列挙型 3.直線的展開型 4.多面的展開型 の4つのエッセイ・パターンを扱う。また英語エッセイの基本構成を学び、取り上げるトピックの内容について論理的展開ができる練習を行う。</p> <p>授業一般目標 英文エッセイでは[構成]が非常に大きな役割を果たすので、その[構成]を理解し、短くても一つの内容のあるまとまった[エッセイ]が書けるようにする。文章をフォーマルに見せる英語表現を重視し、文体や論理展開を支えるつながりの言葉などを効果的に活用しながら、自分なりのオリジナル・エッセイを完成させる。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業への積極的参加状況、課題提出、試験により総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Skills for Better Writing, Yumiko Ishitani, NAN'UN-DO, 2008 年</p> <p>メッセージ 興味のあることについて英語で自由に表現してみよう。和英辞典必携。</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	高橋博美				
<p>授業概要 英字新聞や映画を教材にして、英文読解とリスニングの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 新聞や映画で使われている英語を読んだり、聞いたりすることを目標とする。また、内容を理解することによって、様々な事柄についての理解を深め、思考力や想像力を高める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験 60% + 授業における参加度 (小テスト、質問に答えるなどによる得点、授業態度、出席状況等) 40% で総合評価する。欠席 1 回ごとに全体の評価 (100 点) から 5 点減点。遅刻・早退については、合計 3 回を欠席 1 回とみなす。指名して予習不十分と判明した場合は出席点を - 0.5 回分にする (2 度重なれば、1 回欠席と同じ)。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリント配布 / 参考書: プリント配布</p> <p>メッセージ 「Japan Times を短時間に訳をせずに読む」ことを目安にして受講して下さい。たくさん量を扱いますので、予習は必ずして下さい。</p> <p>教官連絡先 hiromi_t@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	宮原一成				
<p>授業概要 日本の学校教育で習得する文法・構文の理解に基づいた、コミュニケーション能力訓練をおこないます。リスニング練習、ペアをつくってのスピーキング練習で、「描写」「依頼」「指示」「意見表明」「比較」「提案」「予定表現」などに必要な構文を、確実に定着させます。授業区分はなぜか「講義」とされていますが、あくまでこの授業は「演習」です。学生の主体的な授業参加が必須です。効果的な演習を行うため、人数制限をします。最大 30 名。人数超過の場合は、初回授業時に抽選を行います。</p> <p>授業一般目標 「描写」「依頼」「指示」「意見表明」「比較」「提案」「予定表現」などに必要な英語構文を聞き取ったり発信したりする能力を、確実に習得する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 普段の教室活動における主体性と積極性が評価の 40 パーセント、最終週でおこなう総復習的な活動のできばえが 60 パーセント。無断欠席が 3 回を超えると、単位は出さない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Fifty-Fifty: Book Two: 3rd ed., Warren Wilson 他, Pearson Longman, 2007 年; 大学生協で購入してください。ただし、受講に際し抽選があるかもしれないので、第 1 回授業の前には購入しないこと。/ 参考書: 英語辞典 (電子辞典なら、和英と英英が搭載されているものを。)</p> <p>メッセージ 初回の授業では、プリントを配布します。抽選に当たった学生のみ、教科書を購入してください。</p> <p>教官連絡先 初回授業の時に知らせます。</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	池園宏				
<p>授業概要 世界的に有名な私立探偵 Sherlock Holmes を主人公とする映画オリジナル作品『Dressed to Kill』のシナリオを読む。洗練され、臨場感溢れる台詞を味読したい。作品中に用いられた日常的な会話表現は、受講者の英語コミュニケーション能力を高めるのに役立つであろう。</p> <p>授業一般目標 (1) 作品を丹念に音読、解釈することにより、英語のリーディング力を身につける。(2) 作品中に用いられた日常的な会話表現を学ぶことにより、英語のコミュニケーション能力を身につける。(3) 英文法力や英文解釈力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 試験は学期末に 1 回実施する。(2) 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Dressed to Kill, L. P. Sanders 他, 開文社, 1996 年 / 参考書: 授業の中で紹介する。</p> <p>メッセージ 辞書を必ず持参すること。毎回出欠確認をするので、欠席や遅刻をしないこと。</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	矢野紀子				
<p>授業概要 新 TOEIC テストへの試験対策を主とする。</p> <p>授業一般目標 TOEIC の各問題を効率よく解いてゆくためのスキルを習得してゆく。そのために必要なリスニング、文法、リーディングの基礎力を高める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 総合評価とする。出席状況、小テストの合計点、中間テスト、期末テスト、レポート点を対象とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: How to Receive a Better Score for the New TOEIC Test 新 TOEIC テスト全パート得点のコツをレッスン, Michael C.Faudree/ 藤牧 新, 松柏社, 2008 年</p> <p>メッセージ 最初の授業から、テキストの内容に入ってゆくので、前もってテキストに目を通し、購入した上で (文栄堂)、受講すること。TOEIC のスコアを上げるためには、語彙力が必須となるので、単語のチェックを授業内でも行えるよう、英和辞書 (電子辞書も可) を毎回必携すること。</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 9・10時限
担当教官	池田 守				
<p>授業概要 この授業においては、学生を中心とした演習を通し、単語の意味の確認と語彙拡大、英文の確認と理解、聴解力の向上を図る。また、textの内容を英語で要約し、英語で発表する練習を行う。</p> <p>授業一般目標 私たちの環境や健康を取り巻く問題、教育問題や介護、離婚など社会的な視点から捉えた問題のリーディング及びリスニングを通し、現在の私たちを取り巻いている状況を様々な角度から捉えることが出来る能力を身に付けさせる。この授業においては、TOEIC スコアー 400 以上に相当する英語力を身に付けることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 成績は試験、授業内レポート、宿題及び演習で評価する。試験は中間及び期末の2回行い、成績に占める割合は70%とする。授業内レポートの成績に占める割合は10%、宿題の成績に占める割合は10%、演習の成績に占める割合は10%とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：News Break, 高田治美・他, 郁文堂, 2004年 / 参考書：英文法解説, 江川泰一郎, 金子書房, 2001年</p> <p>メッセージ 新聞、テレビ、ラジオ等のニュースに関心を持つようにしましょう。授業にはテキストの音読練習をしてから出るようにしましょう。サイトトランスレーションの仕方を身に付けよう。</p> <p>教官連絡先 E-mail: ikeda@frontier-u.jp</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 まんがを教材にして、英文読解とリスニングの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 日常生活で実際に使われている英語を聞いたり、読んだりすることを目標とする。また、内容を理解することによって、英語圏の文化の理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験、出席状況等で総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 / 参考書：プリント配布</p> <p>メッセージ 予習を必ずして下さい。辞書がなければ作業ができません。</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	皆尾麻弥				
<p>授業概要 Oscar Wilde の戯曲 The Importance of Being Earnest を英語で読む。</p> <p>授業一般目標 戯曲の言葉を通して、口語的表現と書き言葉の両方に親しむ。日本語以外の言葉で書かれた文学作品への興味・関心を高め、外国語で読む楽しみを知る。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験の結果に普段の授業への取り組み態度を加味する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: The Best of Oscar Wilde: Selected Plays and Writings, Oscar Wilde, Signet Classic</p>					

開設科目	Comprehensive English Pre-Intermediate	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	Higgins Michael				
<p>授業概要 This course is open to students with a TOEIC score of over 450, but is especially recommended for students who have a TOEIC score of 500 or higher, or who have completed the Comprehensive English Fundamental course.</p> <p>授業一般目標 To improve the student's English communication skills, we will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Advanced Course Book 5, Johnson, Higgins, Higgins, IEL, Inc., 2007 年; The Sound Approach Pronunciation Workbook 4th Revised Edition, Higgins, Higgins, Shima, IEL, Inc., 2008 年</p> <p>メッセージ Students should always have an English-English dictionary with them in class. It can be an electronic dictionary or in book form.</p> <p>教官連絡先 Professor Michael Higgins 研究1号館 # 304 Tel/Fax: 083-933-5086 Email: higginsm@yamaguchi-u.ac.jp Office Hours: Tuesday 4:00-5:30PM</p>					

開設科目	Comprehensive English Pre-Intermediate	区分		講義		開設期		後期	
対象学生		単位	2 単位	曜日	曜時限			水曜日 7・8 時限	
担当教官	STEVEN T. GARDNER								
<p>授業概要 This course is a combined four skills course (reading, writing, listening, and speaking) which helps students acquire and use academic skills and thinking skills necessary for communication and understanding in today's global society. Several important issues will be studied through readings, listening passages and discussions. These activities will help students to increase vocabulary and understand structure and grammar patterns that are important in academic and business English communication. This course is for students with a TOEIC score of more than 450. Students with a TOEIC score of more than 500 are encouraged to take the Comprehensive English Pre-Intermediate course.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take. Students will also receive important intensive training in pronunciation.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Advanced Course - Book 5, Johnson, Higgins and Higgins, I.E.I., Inc., 2007 年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005 年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes. Find ways to experience using English by talking to people, having pen friends, watching movies and TV programs in English and singing English songs.</p> <p>教官連絡先 gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>									

開設科目	Comprehensive English Pre-Intermediate	区分		講義		開設期		後期	
対象学生	医・工 2 年	単位	2 単位	曜日	曜時限			木曜日 9・10 時限	
担当教官	Higgins Michael								
<p>授業概要 This course is open to students with a TOEIC score of over 450, but is especially recommended for students who have a TOEIC score of 500 or higher, or who have completed the Comprehensive English Fundamental course.</p> <p>授業一般目標 To improve the student's English communication skills, we will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Advanced Course Book 5, Johnson, Higgins, Higgins, IEL, Inc., 2007 年; The Sound Approach Pronunciation Workbook 4th Revised Edition, Higgins, Higgins, Shima, IEL, Inc., 2008 年</p> <p>メッセージ Students should always have an English-English dictionary with them in class. It can be an electronic dictionary or in book form.</p> <p>教官連絡先 Professor Michael Higgins 研究 1 号館 # 304 Tel/Fax: 083-933-5086 Email: higginsm@yamaguchi-u.ac.jp Office Hours: Tuesday 4:00-5:30PM</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	STEVEN T. GARDNER				
<p>授業概要 This course is a combined four skills course (reading, writing, listening, and speaking) which helps students acquire and use academic skills and thinking skills necessary for communication and understanding in today's global society. Several important issues will be studied through readings, listening passages and discussions. These activities will help students to increase vocabulary and understand structure and grammar patterns that are important in academic and business English communication. This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take. Students will also receive important intensive training in pronunciation.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Course - Book 3, Johnson, Higgins and Higgins, I.E.I., Inc., 2007 年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005 年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes. Find ways to experience using English by talking to people, having pen friends, watching movies and TV programs in English and singing English songs.</p> <p>教官連絡先 gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>					

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	STEVEN T. GARDNER				
<p>授業概要 This course is a combined four skills course (reading, writing, listening, and speaking) which helps students acquire and use academic skills and thinking skills necessary for communication and understanding in today's global society. Several important issues will be studied through readings, listening passages and discussions. These activities will help students to increase vocabulary and understand structure and grammar patterns that are important in academic and business English communication. This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take. Students will also receive important intensive training in pronunciation.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Course - Book 3, Johnson, Higgins and Higgins, I.E.I., Inc., 2007 年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005 年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes. Find ways to experience using English by talking to people, having pen friends, watching movies and TV programs in English and singing English songs.</p> <p>教官連絡先 gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>					

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		後期	
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限				
担当教官	Higgins Michael								
<p>授業概要 The students will develop their communication skills in English. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign-in to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students MUST take.</p> <p>授業一般目標 The students will increase their English vocabulary through high-interest readings that are grouped thematically. The readings will provide the grammatical basis for improving their listening, speaking, and writing skills.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Book 3, Johnson, Higgins, Higgins, IEI, Inc., 2007 年; The Sound Approach Pronunciation Workbook 4th Revised Edition, Higgins, Higgins, Shima, IEI, Inc., 2008 年</p> <p>メッセージ Students should always bring an English-English dictionary to class. It can be an electronic dictionary or in book form. Students are also required to be on-line for some of their homework and for mandatory on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 Professor Michael Higgins 研究 1 号館 # 304 Tel/Fax: 81-83-933-5086 Email: higginsm@yamaguchi-u.ac.jp Office Hours: Tuesday 4:00-5:30PM</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		後期	
対象学生	医・工 2 年	単位	2 単位	曜時限	火曜日 11・12 時限				
担当教官	STEVEN T. GARDNER								
<p>授業概要 This course is a combined four skills course (reading, writing, listening, and speaking) which helps students acquire and use academic skills and thinking skills necessary for communication and understanding in today's global society. Several important issues will be studied through readings, listening passages and discussions. These activities will help students to increase vocabulary and understand structure and grammar patterns that are important in academic and business English communication. This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take. Students will also receive important intensive training in pronunciation.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Course - Book 3, Johnson, Higgins and Higgins, I.E.I., Inc., 2007 年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005 年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes. Find ways to experience using English by talking to people, having pen friends, watching movies and TV programs in English and singing English songs.</p> <p>教官連絡先 gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	STEVEN T. GARDNER				
<p>授業概要 This course is a combined four skills course (reading, writing, listening, and speaking) which helps students acquire and use academic skills and thinking skills necessary for communication and understanding in today's global society. Several important issues will be studied through readings, listening passages and discussions. These activities will help students to increase vocabulary and understand structure and grammar patterns that are important in academic and business English communication. This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take. Students will also receive important intensive training in pronunciation.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Course - Book 3, Johnson, Higgins and Higgins, I.E.I., Inc., 2007 年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005 年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes. Find ways to experience using English by talking to people, having pen friends, watching movies and TV programs in English and singing English songs.</p> <p>教官連絡先 gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>					

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish. 1) Students will increase their English vocabulary through high-interest readings that are grouped thematically. The readings will provide the grammatical basis for improving their listening, speaking, and writing skills. 2) Students will broaden their understanding of the world and their responsibility to society. 3) Students will consider and propose changes that need to be made to eliminate local, national and global problems. 4) Students will also work on and improve their pronunciation through working with a special text designed specifically for Japanese university students.</p> <p>授業一般目標 このコースは英語の 4 技能を総合的に養成する授業です。具体的には、聞く、話す、読む、書くのうりよくですが、当然、発音、語彙力、文法力の要素も含まれます。最も重点を置くのは「聞く・話す」という基礎的なコミュニケーション能力です。自分自身のことから日常生活、そして社会問題に至るまで英語でコミュニケーションをとる学習をします。次のレベルの Comprehensive English Lower Intermediate ではもう少し社会問題に関する英語会話能力まで身につけることとなります。また、このコースには国際的な視野を広めたり、社会的な問題への解決法を論じたりする応用部分があります。日本語でもあまり考えたり、話したりしたことのないテーマかもしれませんが、そのようなテーマについて意見を述べ、話し合い、簡単なエッセイを書きます。英語を学ぶひとつの大きな理由は、このように視野を広げ、国際的な物事を理解し、自分のできる範囲で問題解決に参加することです。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業内の評価 = 50 %、宿題 (Reading & reaction paper) = 25 %、試験 (小テスト + 期末筆記 + 期末口頭) = 25 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English for Global Understanding 3: Intermediate Course Book Three, J.A. Johnson, M.L. Higgins & M.S. Higgins, International Educational Initiatives, 2007 年; The Sound Approach Pronunciation Workbook, M.S. Higgins, M.L. Higgins & Y. Shima, International Educational Initiatives, 2005 年 / 参考書: Topic Talk Issues (Kirsty McLean, EFL Press, 2002)</p> <p>メッセージ この授業では英語の 4 技能を養成すると同時に国際性を養い、また、社会的な問題について考えます。まずは日常的な「聞く・話す」能力の養成ですが、社会的・国際的な事柄についても考えたり、自己表現したりする能力に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 TEL(090)4654-8264 E-mail: oneworld@international.name</p>					

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		後期	
対象学生		単位	2 単位	曜時限				木曜日 3・4 時限	
担当教官	尊田望								
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish. 1) Students will increase their English vocabulary through high-interest readings that are grouped thematically. The readings will provide the grammatical basis for improving their listening, speaking, and writing skills. 2) Students will broaden their understanding of the world and their responsibility to society. 3) Students will consider and propose changes that need to be made to eliminate local, national and global problems. 4) Students will also work on and improve their pronunciation though working with a special text designed specifically for Japanese university students.</p> <p>授業一般目標 このコースは英語の 4 技能を総合的に養成する授業です。具体的には、聞く、話す、読む、書くのうりよくですが、当然、発音、語彙力、文法力の要素も含まれます。最も重点を置くのは「聞く・話す」という基礎的なコミュニケーション能力です。自分自身のことから日常生活、そして社会問題に至るまで英語でコミュニケーションをとる学習をします。次のレベルの Comprehensive English Lower Intermediate ではもう少し社会問題に関する英語会話能力まで身に着けることとなります。また、このコースには国際的な視野を広めたり、社会的な問題への解決法を論じたりする応用部分があります。日本語でもあまり考えたり、話したりしたことがないテーマかもしれませんが、そのようなテーマについて意見を述べ、話し合い、簡単なエッセイを書きます。英語を学ぶひとつの大きな理由は、このように視野を広げ、国際的な物事を理解し、自分のできる範囲で問題解決に参加することです。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業内の評価 = 50 %、宿題 (Reading & reaction paper)=25 %、試験 (小テスト + 期末筆記 + 期末口頭)=25 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English for Global Understanding 3: Intermediate Course Book Thriggins & M.S. Higgins, International Educational Initiatives, J.A. Johnson, M.L. Higgins & M.S. Higgins, International Educational Initiatives, 2007 年; The Sound Approach Pronunciation Workbook, M.S. Higgins, M.L. Higgins & Y. Shima, International Educational Initiatives, 2005 年</p> <p>メッセージ この授業では英語の 4 技能を養成すると同時に国際性を養い、また、社会的な問題について考えます。まずは日常的な「聞く・話す」能力の養成ですが、社会的・国際的な事柄についても考えたり、自己表現したりする能力に挑戦してみてください</p> <p>教官連絡先 TEL(090)4654-8264 E-mail: oneworld@international.name</p>									

開設科目	English Speaking A	区分		講義		開設期		後期	
対象学生		単位	2 単位	曜時限				月曜日 5・6 時限	
担当教官	CHRISTAlan Robert								
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中 90 分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからして流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上 (欠席届による公欠を含フクむ) 欠席した学生の成績は不可となる。 ・ WBT による自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出 1 回につき、1 回の欠席として扱われる (2 回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・ 以下の (A) と (B) の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBT を利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気が必要とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 4 階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>									

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 4 階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	JimRebstock				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 4 階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	CHRISTAlan Robert				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	JimRebstock				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 4 階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	TAKEMOTOTIMOTHY ROLAND SCOT				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 4 階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBT による自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBT を利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBT による自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBT を利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	JimRebstock				

授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。

授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。

成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。

教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。

メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。

教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	CHRISTAlan Robert				

授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。

授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。

成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。

教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。

メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。

教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	大野厚子				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	大野厚子				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	CHRISTAlan Robert				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 4 階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 4 階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	KAMEL MAURICE				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	KAMEL MAURICE				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	大野厚子				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	大野厚子				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	STEVENT. GARDNER				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking A	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking B	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	KAMEL MAURICE				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	2 年	単位	1 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	正宗聡				

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	医・工 2 年	単位	1 単位	曜時限	月曜日 11・12 時限
担当教官	堤千佳子				

授業概要 この授業では、単位認定の必要要件となっている TOEIC テスト 400 点を達成できなかった学生諸君が満を持して再チャレンジすることができるよう指導を行っていくことを目的としている。しかし、TOEIC テストを受験するのはあくまでも学生諸君なので、この授業を受講しながら、自らの努力でなとかしよとする意欲的な学習の姿勢が大切であることはいうまでもない。特に、今年からは学内で行われる TOEIC テストも新しい形式となるので、まずそのパターンになれ、基準をクリアすることを目標とする。したがって、ただ漫然と受動的に授業を受けるのではなく、積極的な授業参加が必須である。また、なんとか 400 点をとって必要要件をクリアすればよいという目標の立て方ではなく、450 点に果敢に挑戦して頂きたい。

授業一般目標 (1)TOEIC テストで 400 点を達成する。(2)この学習を通じて真の英語力を身につける。(3)この授業ではとくにリスニングの訓練および口語英語についての知識を深めることと、速読力の上達を最重要の課題とする。(4)TOEIC テストの特徴をつかみ、学生諸君が実力を十分に発揮できるよう指導を行う。

成績評価方法(総合) TOEIC のスコアに基づき算出する。

教科書・参考書 教科書: Conquering the TOEIC Test, 河原真也, 朝日出版, 2008 年

メッセージ 必ず予習をして 授業に臨んでください。授業の最初にリスニングの問題をするので、遅刻しないこと。

備考 工学部 JABEE 対応科目

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	2 年	単位	1 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	正宗聡				
<p>教科書・参考書 教科書：ストーリーで学ぶ TOEIC テスト, ”石井隆之, 中川昭, Thomas Koch 著”, 三修社, 2005 年 / 参考書：TOEIC TEST 英文法出るとこだけ! : 出題パターンを見抜く鉄則 32, 小石裕子著, アルク, 2003 年</p>					

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	医・工 2 年	単位	1 単位	曜時限	月曜日 11・12 時限
担当教官	堤千佳子				
<p>授業概要 この授業では、単位認定の必要要件となっている TOEIC テスト 400 点を達成できなかった学生諸君が満を持して再チャレンジすることができるよう指導を行っていくことを目的としている。しかし、TOEIC テストを受験するのはあくまでも学生諸君なので、この授業を受講しながら、自らの努力でなとかしようにする意欲的な学習の姿勢が大切であることはいうまでもない。したがって、ただ漫然と受動的に授業を受けるのではなく、積極的な授業参加が必須である。また、なんとか 400 点をとって必要要件をクリアすればよいという目標の立て方ではなく、450 点に果敢に挑戦して頂きたい。</p> <p>授業一般目標 1)TOEIC テストで 400 点を達成する。(2) この学習を通じて真の英語力を身につける。(3) この授業ではとくにリスニングの訓練および口語英語についての知識を深めることと、速読力の上 達を最重要の課題とする。(4)TOEIC テストの特徴をつかみ、学生諸君が実力を十分に発揮できるよう指導を行う。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコアに基づき算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Conquering the TOEIC Test, 河原真也, 朝日出版, 2008 年 メッセージ 必ず予習をして 授業に臨んでください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開2

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 9・10時限
担当教官	鴨川啓信				
<p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004年</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開2

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 9・10時限
担当教官	唐下笑美子				
<p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004年</p>					

開設科目	英語基礎文法〔1〕	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	平成 16 年度入学者	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	鴨川 啓信				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週 50 語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります（http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm）が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 文法テストが 700 点（7 回）[「英語基礎文法（1）」のみを受講する者に対しては、600 点（6 回）] 単語テストが 200 点（5 回）です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 100 点 [あるいは 200 点] とし、これらの合計 1000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法〔1〕	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	平成 16 年度入学者	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	唐下笑美子				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週 50 語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります（http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm）が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 文法テストが 700 点（7 回）[「英語基礎文法（1）」のみを受講する者に対しては、600 点（6 回）] 単語テストが 200 点（5 回）です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 100 点 [あるいは 200 点] とし、これらの合計 1000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>メッセージ なし</p> <p>教官連絡先 emikotg@nifty.com</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法〔2〕	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	平成 16 年度入学者	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	鴨川 啓信				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週 5 0 語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります（http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm）が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 文法テストが 600 点（6 回）単語テストが 200 点（5 回）です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 200 点とし、これらの合計 1000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法〔2〕	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	平成 16 年度入学者	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	唐下笑美子				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週 5 0 語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります（http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm）が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 文法テストが 600 点（6 回）単語テストが 200 点（5 回）です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 200 点とし、これらの合計 1000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>メッセージ なし</p> <p>教官連絡先 emikotg@nifty.com</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎〔1〕	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	平成14・15年度入学者	単位	1単位	曜時間	火曜日9・10時限
担当教官	鴨川 啓信				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learningソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learningは，外国語センターのWBT教材のページにまとめてあります（http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm）が，URLが長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」「WBT教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 文法テストが700点（7回）[「英語基礎文法（1）」のみを受講する者に対しては、600点（6回）] 単語テストが200点（5回）です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を100点[あるいは200点]とし、これらの合計1000点満点を100点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004年</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p>					

開設科目	英語基礎〔1〕	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	医・工(平成14・15年度入学者)	単位	1単位	曜時間	火曜日9・10時限
担当教官	唐下笑美子				
<p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004年</p>					

開設科目	英語基礎〔2〕	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	平成 14・15 年度入学者	単位	1 単位	曜時間	火曜日 9・10 時限
担当教官	鴨川 啓信				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learning ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週 50 語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります（http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm）が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 文法テストが 600 点（6 回）単語テストが 200 点（5 回）です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 200 点とし、これらの合計 1000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p>					

開設科目	英語基礎〔2〕	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	医・工（平成 14・15 年度入学者）	単位	1 単位	曜時間	火曜日 9・10 時限
担当教官	唐下笑美子				
<p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工 2年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工 2年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 11・12 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	実践総合英語	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工 (平成 14・15 年度入学者)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	内海俊祐				
<p>授業概要 TOEIC 受験に有益となるように英語のリスニングとリーディングの方法論を中心に授業を展開する。英語特有の音の法則を解説し、関連する音のディクテーションを行うことによって英語の音声に慣れてもらう。また、平易な文章を速読する指導を行う。</p> <p>授業一般目標 (1) 英語特有の音の連結や脱落の法則を理解すること。(2) 日本語に訳すことなく英文を理解すること。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席率 (20%) レポート・小テスト (20%) 定期試験 (60%) を点数化し総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Hot Beat Listening: Third Edition ホットビート・リスニング・改訂第3版, 熊井 信弘 Stephen Timson, マクミランランゲージハウス, 2007 年</p> <p>メッセージ 紙の辞書または電子辞書に係らず、自分にあった辞書を使いこなすことに心がけてください。なお、試験は辞書持込可とします。</p>					

開設科目	実践総合英語	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (平成 14・15 年度入学者)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	細木孝雄				
<p>授業概要 英字新聞からの記事が15ユニットに分けられ、各ユニットは3つのパートで構成されているので、授業はこの流れに従って進められる。1. Before Reading-Vocabulary Learning-Comprehension-Useful Exoression 2. Grammar & Usage 3. Practice in Writing English -For Discussion</p> <p>授業一般目標 授業を通して、Reading 力の増強に留まらず、現代社会の諸相について問題意識を持ち自己解決をしていくきっかけにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業への積極的参加状況、課題提出、試験により総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: News Matters, Mayumi Okada, NAN 'UN - DO, 2008 年</p> <p>メッセージ グローバルな出来事に関心を持とう。英和辞典必携。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開 2

開設科目	Comprehensive English(By Native Speakers[1])	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(平成14・15年度入学者)	単位	2単位	曜時限	火曜日 3・4時限
担当教官	Higgins Michael				
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of between 300-395.</p> <p>授業一般目標 To improve the student's English communication skills.</p> <p>成績評価方法(総合) Final Evaluation (50% of total grade): Speaking: 40%; Listening: 20%; Writing: 20%; Content: 10%; Pronunciation (Sound Approach): 10%. Internal/External Criteria (50% of total grade): Group/class work (classroom assignment, quizzes, or activity scores): 35%; Class Participation: 20%; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35%; Attendance: 10%.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Fundamental Book 2, Johnson and Higgins, IEI, Inc., 2007年; Sound Approach Pronunciation Book 4th Revised Edition, Higgins, Higgins, Shima, IEI, Inc., 2008年 / 参考書: Students should bring an English-English dictionary to class, either electronic or book-form.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 My office hours are Tuesday from 4:00 to 5:30.</p>					

系列 外国語教育

分野 専門英語

科目類型 展開 2

開設科目	医学英語 1 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 7・8時限
担当教官	谷田憲俊				
<p>授業概要 医学・生命科学に関する英文の著書や論文などを読解し、討論して医学の基礎知識を習得し、英語力を高めるとともに最新の医学研究成果を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 英文の著書や論文などから基本的な医学用語や生命科学用語を学び医学英語の語彙数、読解力、作文力を高めるとともに、最新の医学情報を得て医学・生命科学に対する知識及び理解を深め、それらの学習した知識を基盤として、さらには会話能力の向上にも繋がり国際感覚を身につけられるような指導を目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト・授業内レポート = 20~40% 授業態度や授業への参加度 = 20~40% 受講生の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 20~40% 出席 = 20~40% 観点別成績評価法は主な視点を示し、評価割合は上記のそれぞれから適宜合計して成績とする。なお、出席は欠格条件である。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 医学英和大辞典, 加藤 勝治, 南山堂, 2000年; Words of Science, ,</p> <p>メッセージ 原則、全回出席のこと。英和辞典・医学英語辞典を持参のこと。継続は力なり、頑張りましょう。英語で話すことを恐れずに、積極的に参加しよう。</p>					

開設科目	基礎医療英会話	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護(41-, 編入学者 6-) 3年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	スティーブン・シドウェル				

開設科目	基礎医療英会話	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護(1-40, 編入学者 1-5) 3年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	Sue Turale				
<p>授業概要 Professional nurses are expected to be able to respond to the needs of all their patients, and this includes English speaking patients who may enter the Japanese health care system. This class prepares nurses to communicate in simple terms with such people so that care needs are attended to as to reduce confusion and distress for foreigners.</p> <p>授業一般目標 Students will learn to communicate in English, simply and effectively, with English speaking patients, their family members or significant others.</p> <p>成績評価方法(総合) The Responsibilities of Students: 1. This is an English conversation course, so all students are expected to actively converse in English. 2. Every student is expected to study the weekly lesson reading(s) from the required text and from the CD before each class (see schedule over page). 3. Progressive learning in this course is important, so an emphasis will be placed on weekly quizzes of the previous week's work to aid student learning. 4. Students are expected to attend all classes: Absences of five (5) or more days will result in automatic Fail Grade (D); Absences of four (4) days or less require emergency or medical reasoning. Grading: A: 80-100 %, B: 70-79 %, C: 60-69 %, and D: Fail Grade Below 60 % If you fail this course the decision to give one compensatory examination rests with the Professor teaching the course. It is not automatic that a compensatory examination is given. Students will be Assessed by: Verbal and written quizzes x 10 40 % Role plays x 2 20 % Final Exam 40 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Christine's Easy English Conversation for Nurses by Christine Lee Chinen (2004 Edition) which has 12 Units of study, and an accompanying CD. / 参考書: English-Japanese /Japanese-English dictionary, either book or electronic translator.</p> <p>教官連絡先 E-mail address: sturale@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 専門英語

科目類型 展開2

開設科目	医療英会話	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護・検査 3,4年	単位	2単位	曜時限	水曜日 7・8時限
担当教官	スティーブン・シドウェル				

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ドイツ語初歩	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2単位	曜時限	火曜日 3・4時限
担当教官	本田義昭				

授業概要 本授業では、現代ドイツ語の初歩を学びます。EU(欧州連合)の牽引車の一つであるドイツの言語を学んで、国際的な視野を拓けましょう。
授業一般目標 ドイツ語のごく基本的な文章を読み、書き、話せるようになる。
成績評価方法(総合) 中間試験(35%) + 期末試験(35%) + 授業への積極的な参加度(30%)で評価します。出席率が8割未満の場合は失格とします。
教科書・参考書 教科書: 300語で話すドイツ語, 入谷幸江(他), 三修社, 2001年 / 参考書: 第1回目の授業で、初級用の独和辞典をいくつか紹介します。
メッセージ こつこつ頑張れば、誰でもかなりのレベルに到達します。さらにドイツ語の勉強を続ければ、将来はドイツ留学も夢ではありません。
教官連絡先 honda@yamaguchi-u.ac.jp

開設科目	ドイツ語初歩	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	下寄正利				
<p>授業概要 授業のタイトルが示しているように、ドイツ語の最も初歩的な部分を勉強します。併せて、ドイツに関する話もしていきます。</p> <p>授業一般目標 ドイツとドイツ語に関し、最も初歩的な知識を身につけている。</p> <p>成績評価方法(総合) 演習点および期末テストの点数を基に、総合的に評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ニューエクスプレス ドイツ語, 太田 達也, 白水社</p>					

開設科目	中国語初歩	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	齋藤匡史				
<p>授業概要 本科目は半期完結の中国語授業で、中国語の発音や平易な表現を学習し、あわせて中国事情理解を進める。半期という時間では基礎全般を学ぶことは不可能であるが、本科目の受講を通じて、中国語学習への興味をもってもらいたい。</p> <p>授業一般目標 ・中国語学習での発音の重要性を学び、正確な発音が出来るよう努力する。 ・中国語の基本文型を理解し、やさしい表現を身につける。 ・中国について理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績と日常の授業への出席と受講態度で成績を評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：新版 中国語 10 課, 方如偉ほか, 白水社, 2003 年; 販売：文栄堂山大前店</p>					

開設科目	中国語初歩	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教(一部除く)・理・医・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 この授業では、中国語の学習ばかりでなく、ことばの背景となる中国の文化や最新の中国事情を紹介し、いまの中国を理解するための手掛かりとなる授業を行う。</p> <p>授業一般目標 中国語であいさつや自己紹介ができ、また自分の考えを表現するなど、中国語を使って簡単なコミュニケーションをとることができることを目指す。また、中国社会や文化に関心を持ち、日本との違いや関係を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の他に、授業中に行う小テスト、授業への参加態度などによる総合評価。出席が 2 / 3 に満たない者は定期試験を受けられない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 / 参考書：適宜プリント配布</p>					

開設科目	ドイツ語入門 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	時田郁子				
<p>授業概要 前期のドイツ語入門 1 に引き続き、ドイツ語の基本的な会話を学びながら、文法と語彙を身につけてゆく。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語による基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、期末テストの点数により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイチュ・インタラクティブ Ver.3, 筑和正格ほか, 郁文堂, 2007 年 / 参考書：辞書を用意し(出版社は指定しないが、電子辞書は不可) 授業に毎回持参すること。</p> <p>メッセージ 語学学習に予習・復習は欠かせませんが、積極的に学べば学ぶほど語学は身につきます。楽しく学んでいきましょう。</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・ 工・農	単位	2単位	曜時限	月曜日3・4時限
担当教官	時田郁子				
<p>授業概要 前期のドイツ語入門1に引き続き、ドイツ語の基本的な会話を学びながら、文法と語彙を身につけてゆく。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語による基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、期末テストの点数により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイチュ・インタラクティブ Ver.3, 筑和正格ほか, 郁文堂, 2007年 / 参考書：辞書を用意し(出版社は指定しないが、電子辞書は不可) 授業に毎回持参すること。</p> <p>メッセージ 語学学習に予習・復習は欠かせませんが、学べば学ぶほど語学は身につきます。楽しく学んでいきましょう。</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・ 工・農	単位	2単位	曜時限	月曜日5・6時限
担当教官	重竹 芳江				
<p>授業概要 前期に引き続き、ドイツ語の学習を行う。詳細は前期のシラバスを参照。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法項目と日常表現に習熟することが第一の目標である。またドイツ社会一般に関する理解を深め、旅行、留学など実際にドイツに触れる意欲を高めることも目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 独作文を中心とする学期末試験。</p> <p>教科書・参考書 教科書：新・問いかけるドイツ語, 大谷 弘道, 三修社, 2006年; 新アポロン独和辞典, 根本、恒吉他, 同学社, 2000年</p> <p>メッセージ 辞書も毎時間持ってきてください。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	月曜日7・8時限
担当教官	重竹 芳江				
<p>授業概要 前期に引き続き、ドイツ語の学習を行う。詳細は前期のシラバスを参照。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法項目と日常表現に習熟することが第一の目標である。またドイツ社会一般に関する理解を深め、旅行、留学など実際にドイツに触れる意欲を高めることも目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 独作文を中心とする学期末試験。</p> <p>教科書・参考書 教科書：新・問いかけるドイツ語, 大谷 弘道, 三修社, 2006年; 新アポロン独和辞典, 根本、恒吉他, 同学社, 2000年</p> <p>メッセージ 辞書も毎時間持ってきてください。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	火曜日5・6時限
担当教官	能木 敬次				
<p>授業概要 前期概要の記述内容を参照してもらいたい。「読み」「書き」の練習を繰り返すことによって会話力・読解力の自然な獲得につなげる。また、テキスト・資料プリントを通してドイツのみならずヨーロッパの文化・思想・文学を紹介する。</p> <p>授業一般目標 近年、ドイツの社会経済・政治における役割の増大は目を見はるものがある。工業技術や医療技術、また福祉政策や環境政策においてドイツは世界をリードしている。近代日本の政治・教育文化・科学技術の発展におけるドイツの貢献度の大きさは言うまでもない。本講義はドイツ語文を「読む」ための第一段階の知識を提供する。将来、英語とともに第二の情報収集手段として、また研究のためのドイツ語文献の読解に役立ててほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講態度・出席・小テスト・定期テスト等全てを考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『エレメンテ』-ドイツ語の文法と表現(Grammatik und Formeln der deutschen Sprache), 新田 春夫 他, 郁文堂, 2008年 / 参考書：新アポロン独和辞典(第4版), 根本道也 [ほか] 編集執筆, 同学社, 2003年; 辞書は他のものでも構わないが必携のこと。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	火曜日7・8時限
担当教官	能木 敬次				
<p>授業概要 前期概要の記述内容を参照してもらいたい。「読み」「書き」の練習を繰り返すことによって会話力・読解力の自然な獲得につながる。また、テキスト・資料プリントを通してドイツのみならずヨーロッパ文化・思想・文学を紹介する。</p> <p>授業一般目標 近年、ドイツの社会経済・政治における役割の増大は目を見はるものがある。工業技術や医療技術、また福祉政策や環境政策においてドイツは世界をリードしている。近代日本の政治・教育文化・科学技術の発展におけるドイツの貢献度の大きさは言うまでもない。本講義はドイツ語文を「読む」ための第一段階の知識を提供する。将来、英語とともに第二の情報収集手段として、また研究のためのドイツ語文献の読解に役立ててほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講態度・出席率・小テスト・定期テスト等全てを考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『> Dialog < 対話で学ぶドイツ文法』, 三室 次雄, 郁文堂, 2008年 / 参考書：新アポロン独和辞典(第4版), 根本道也 [ほか] 編集執筆, 同学社, 2003年 ; 辞書は他のものでも構わないが必携のこと。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	水曜日5・6時限
担当教官	野口 達人				
<p>授業概要 本授業では、ドイツ語を話し、聴き、読み、書く技能の育成を通じ、基礎的なコミュニケーション力を養成する。そのために、基本的な文法事項を説明し、実際の会話の練習、パートナー練習、聴き取り練習、学習した文法事項についての練習、読解練習などを課す。</p> <p>授業一般目標 話法の助動詞、現在完了形、分離動詞、受動態などを習得することにより、ドイツ語の文構造の基本を理解する。さらに基本単語・表現を覚えて、簡単なドイツ語を話したり、聴いたりすることができ、簡単な文を読み、書くことができるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)各課の練習問題を口頭または板書にて行い、これを演習として評価。(2)授業の中で各課ごとの小テストを行う。(3)筆記試験を定期試験期間中に行う。以上を別記の観点・割合で評価する。なお、総授業数の80%以上の出席を必須要件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：はじめてのドイツ 使えるドイツ語表現(三訂版), 河合節子、林良子、四ツ谷亮子, 三修社, 2008年 メッセージ 授業への積極的な参加(全回出席して宿題を忘れないこと)と自主的な反復練習が要求される。前期の文法事項の復習をしておくこと。授業には必ず独和辞典を携行すること。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	水曜日7・8時限
担当教官	野口 達人				
<p>授業概要 本授業では、ドイツ語を話し、聴き、読み、書く技能の育成を通じ、基礎的なコミュニケーション力を養成する。そのために、基本的な文法事項を説明し、実際の会話の練習、パートナー練習、聴き取り練習、学習した文法事項についての練習、読解練習などを課す。</p> <p>授業一般目標 話法の助動詞、現在完了形、分離動詞、受動態などを習得することにより、ドイツ語の文構造の基本を理解する。さらに基本単語・表現を覚えて、簡単なドイツ語を話したり、聴いたりすることができ、簡単な文を読み、書くことができるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)各課の練習問題を口頭または板書にて行い、これを演習として評価。(2)授業の中で各課ごとの小テストを行う。(3)筆記試験を定期試験期間中に行う。以上を別記の観点・割合で評価する。なお、総授業数の80%以上の出席を必須要件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: はじめてのドイツ 使えるドイツ語表現(三訂版), 河合節子、林良子、四ツ谷亮子, 三修社, 2008年 メッセージ 授業への積極的な参加(全回出席して宿題を忘れないこと)と自主的な反復練習が要求される。前期の文法事項の復習をしておくこと。授業には必ず独和辞典を携行すること。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	木曜日5・6時限
担当教官	坂本貴志				
<p>授業概要 ドイツ語の基本的な文法と語彙を学び、併せて初歩的なドイツ語運用能力の訓練を行う。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基本的な文法と語彙を身につけ、そしてそれらの基礎の上に、初歩的なドイツ語を聞き、話し、読み、書けるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、課題(宿題)、期末テストの点数により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: ドイツ語 スイッチオン! Ver.2, 櫻井麻実・信岡資生, 郁文堂, 2008年 / 参考書: 独和辞典は必ず一冊購入してください。(出版社は指定しません。電子辞書は不可。)</p> <p>メッセージ 教育テレビや教育ラジオのドイツ語講座も録画、録音して利用することをお勧めします。(語学学習は反復して聞くことが大変重要です。)</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	木曜日5・6時限
担当教官	江波昌子				
<p>授業概要 前期に引き続き、この授業では、基礎的なドイツ語を読み、書き、話し、聞く力を養う。そのために、基礎的な文法事項を説明する。また、くり返しドイツ語を聞いて、発音やイントネーション、言葉のリズムを身につけ、基本的な表現を覚えて実際に使えるように、練習問題や暗唱など様々な課題を与える。</p> <p>授業一般目標 前期に引き続き、ドイツ語の発音の基本を習得する。分離動詞、助動詞等の品詞の理解を通して、ドイツ語文法の基礎構造を認識する。また、いろいろなフレーズを覚えて、簡単な日常会話が表現できると同時に、平易なドイツ語を聞き取れるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 1.出席と小テストを含めた平常点を50%とし、定期試験の50%と合わせて評価する。2.宿題は授業中に成果を発表することで、平常点として評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語の時間、清野智昭、朝日出版社、2007年 / 参考書：「自分にとって使いやすいそうだ」と思う独和辞典を用意すること。出版社は特に指定しないが、最初の授業のときに選び方についてアドバイスする。</p> <p>メッセージ 語学を学ぶということは、新しい世界を知ることです。楽しく学習しましょう。辞書は毎回、必ず持参して下さい。</p>					

開設科目	フランス語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	火曜日1・2時限
担当教官	井上三朗				
<p>授業概要 この授業科目は、週1回の授業を受けることによって、フランス語を習得するものである。使用する教科書は、会話テキストと、文法の例文と解説、練習問題、文化説明とから成り立つ。フランス語の基本的な文法事項を学ぶだけでなく、「読み・書き・話す」力がつくような授業をおこないたい。また、教科書にはビデオがついていて、ビデオを有効に活用することによって、授業をできるだけ楽しいものにするともに、背景としてのフランス文化をかいま見ることができれば幸いである。</p> <p>授業一般目標 フランス語の基本的な文法事項を習得するとともに、会話テキストを読み、練習問題を解くことによって、「読み・書き・話す」力、つまり実践的な運用能力が身につくことを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験の点数(70%)と平常点(30%)との総合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：どこにいるの?、石野好一、朝日出版社、2008年; 前期の続きなので、フランス語入門1(井上担当)の受講者は購入する必要はない。</p> <p>メッセージ 授業への積極的な参加を望む。また、毎回新しい文法事項を学んでいくので、休まずに出席すること。</p> <p>教官連絡先 人文学部613研究室、月曜日14時30分~16時00分。</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	フランス語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	木曜日 5・6時限
担当教官	武本雅嗣				
<p>授業概要 フランス語の基本文法を学びながら、運用能力が身につくようになることを目指して授業を進めていく。</p> <p>授業一般目標 フランス語の基本文法を習得し、実践的な運用能力が身につくようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 主として、期末試験とほぼ毎回行う小テストの成績によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：どこにいるの？, 石野好一, 朝日出版社, 2008年；生協にて販売(2500円)引き続き前期のテキストを使います。/ 参考書：クラウン仏和辞典, 三省堂, 2006年；プチロワイヤル仏和辞典, 旺文社, 2003年；プログレッシブ仏和辞典, 小学館, 2008年；辞書は上記のうちから選んでください。</p> <p>メッセージ 毎回新しい文法事項を学んでいくので、休まず出席すること。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文 612 オフィスアワー：木曜日 3:00-4:30</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	月曜日 7・8時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	月曜日7・8時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	宇芳				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語，楊凱栄・張麗群，白帝社，2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	水曜日 5・6時限
担当教官	宇芳				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語，楊凱栄・張麗群，白帝社，2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	水曜日 5・6時限
担当教官	呉菲				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医2年生	単位	2単位	曜時限	水曜日 5・6時限
担当教官	崔丹				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	水曜日7・8時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	水曜日9・10時限
担当教官	永富健史				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	木曜日 3・4時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工2年生	単位	2単位	曜時限	木曜日 5・6時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	木曜日7・8時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	金曜日5・6時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	金曜日9・10時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	ハンゲル入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 前期の内容に基づき、多様な表現を学び、簡単な文章の読み書き、簡単な会話ができるようにします。毎回、授業の内外での課題を課します。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法事項を理解し、正確に使用できるようにします。簡単な会話程度ができるようにします。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 定期試験と(2) 不定期の小テストで成績を評価します。(3) 欠席、宿題未提出が所定の回数を超えた場合には、単位は与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書: コスモス朝和辞典, 菅野裕臣他, 白水社, 1988年; 基礎韓国語, 金恵鎮, 白帝社, 2007年</p> <p>教官連絡先 連絡先: wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp、研究室: 人文棟2階、オフィスアワー: 木曜日10:00-17:00</p>					

開設科目	ハンゲル入門 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(総文(国際)除く)・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	桂文姫				
<p>授業概要 前期の内容に基づき、多様な表現を学び、簡単な文章の読み書き、簡単な会話ができるようにします。毎回、授業の内外での課題を課します。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法事項を理解し、正確に使用できるようにします。簡単な会話程度ができるようにします。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 定期試験と(2) 不定期の小テストで成績を評価します。(3) 欠席、宿題未提出が所定の回数を超えた場合には、単位は与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書: コスモス朝和辞典, 菅野裕臣他, 白水社, 1988 年; 基礎韓国語, 金恵鎮, 白帝社, 2007 年</p> <p>教官連絡先 連絡先: wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp、研究室: 人文棟 2 階、オフィスアワー: 木曜日 10:00-17:00</p>					

開設科目	ドイツ語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	小粥良				
<p>授業概要 ドイツ語の初歩を丁寧に学ぶ。文法を体系的に学ぶ。ビデオ等を用いて、ドイツの文化についても紹介する。水曜日 3・4 時限のドーブラ先生のドイツ語初級 2 B とセットになっている授業なので、原則として両方履修すること。(注意: 他の先生のドイツ語初級 2 B を履修すると、教科書をもう一冊買う必要が生じるうえ、授業で文法事項が出てくる順序も違います。)</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を一通り学習するとともに基礎語彙を習得し、そしてそれらの基礎の上に初歩的なドイツ語読解力を身につける。またドイツ語圏の国々の文化等について知識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 主として期末テストの点数により評価するが、普通の授業での学習態度も考慮する。出席は欠格事項としてのみ扱い、全授業の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: グーテ・ライゼ! [新改訂版], 伊藤直子 他, 郁文堂, 2006 年; 水曜日 3・4 時限のドーブラ先生のドイツ語初級 2 B と共通教科書。最履修などの理由で、後期から初めてこの授業を履修する場合は、自分で書店にて注文して購入してください。/ 参考書: 独和辞典は必携。授業開始時に紹介するが、どの出版社のものでもよい。電子辞書の独和・和独付きのものでもよい。</p> <p>メッセージ 水曜日 3・4 時限のドーブラ先生のドイツ語初級 2 B とセットになっている授業なので、原則として両方履修すること。CD 付きの教科書なので、家で CD をよく聞くようにしてください。予習・復習をしっかりと行ってください。</p> <p>教官連絡先 教育学部 2 階 200-4 番の研究室。オフィスアワーは木曜 16:30-17:30。</p>					

開設科目	ドイツ語初級2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	小粥良				
<p>授業概要 ドイツ語の初歩を丁寧に学ぶ。文法を体系的に学ぶ。ビデオ等を用いて、ドイツの文化についても紹介する。木曜日1・2時限のドーブラ先生のドイツ語初級2 Bとセットになっている授業なので、原則として両方履修すること。(注意：他の先生のドイツ語初級2 Bを履修すると、教科書をもう一冊買う必要が生じるうえ、授業で文法事項が出てくる順序も違います。)</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を一通り学習するとともに基礎語彙を習得し、そしてそれらの基礎の上に初歩的なドイツ語読解力を身につける。またドイツ語圏の国々の文化等について知識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 主として期末テストの点数により評価するが、普通の授業での学習態度も考慮する。出席は欠格事項としてのみ扱い、全授業の3分の2以上の出席を必要とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：シュトラッセ・ノイ, Britta Schellens 他, 朝日出版社, 2007年; 木曜日1・2時限のドーブラ先生のドイツ語初級2 Bと共通教科書。最履修などの理由で、後期からこの授業を初めて履修する場合は、書店にて自分で注文して購入してください。/ 参考書：独和辞典は必携。授業開始時に紹介するが、どの出版社のものでもよい。電子辞書の独和・和独付きのものでもよい。</p> <p>メッセージ 木曜日1・2時限のドーブラ先生のドイツ語初級2 Bとセットになっている授業なので、原則として両方履修すること。CD付きの教科書なので、家でCDをよく聞くようにしてください。予習・復習をしっかりと行ってください。</p> <p>教官連絡先 教育学部2階200-4番の研究室。オフィスアワーは木曜16:30-17:30。</p>					

開設科目	ドイツ語初級2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	本田義昭				
<p>授業概要 本授業では、現代ドイツ語の初級文法を学びます。EU(欧州連合)の牽引車の一つであるドイツの言語を学んで、国際的な視野を広げましょう。</p> <p>授業一般目標 現代ドイツ語の発音の基本を習得する。名詞の変化・動詞の現在形などの文法項目を学習することで、ドイツ語の基礎構造を認識する。さらに、ドイツ語の基本的な文章を読み、書けるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験(35%) + 期末試験(35%) + 授業への積極的な参加度(30%)で評価します。出席率が8割未満の場合は失格とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：フィールシュパース!, 西村佑子, 朝日出版社, 2008年 / 参考書：授業の中で必要に応じて紹介します。</p> <p>メッセージ こつこつ頑張れば、誰でもかなりのレベルに到達します。継続は力なり! 将来はドイツ留学も夢ではありません。</p> <p>教官連絡先 honda@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ドイツ語初級2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	下寄正利				
<p>授業概要 この授業は、金曜 5・6 時限の Berger 先生担当のドイツ語初級 2B とセットになっています。この授業では、ドイツ語の文法を中心に学習します。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語初級文法をしっかりと身につけている。</p> <p>成績評価方法(総合) 演習点、中間テスト・期末テストの評点を総合して成績をつけます。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ワンポイント・ドイツ文法、藤代幸一、保阪靖人、郁文堂</p> <p>メッセージ 語学は毎日の学習の積み重ねが大切です。</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ドイツ語初級2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	坂本貴志				
<p>授業概要 この授業は、ドイツ語のネイティブスピーカーの担当する初級Bとセットである。ドイツ語を体系的に理解することを目指し、そのために文法を根底から学ぶ方法をとる。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を一通り学習するとともに基礎語彙を習得し、そしてそれらの基礎の上に初歩的なドイツ語読解力を身につける。またドイツ語圏の国々の文化等について知識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、レポート、期末テストの点数により評価する。出席は欠格事項としてのみ扱う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：新ドイツ文法、常木実、郁文堂、1966年 / 参考書：辞書は授業開始時に紹介する。</p>					

開設科目	フランス語初級2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	武本雅嗣				
<p>授業概要 この科目の履修者は、フランス語初級2B(フランス人教員のクラス)と合わせて、週2回フランス語の授業を受けることになります。フランス語初級2Aのほうでは、基本文法をしっかりと習得したうえで、フランス語の運用能力が身につくようになることを目指して授業を進めていきます。使用するテキストには、文法の例文と説明だけでなく、「読み・書き・話す」能力を高めるのに効果的な練習問題が含まれています。</p> <p>授業一般目標 フランス語の基本文法を体系的に習得し、実践的な運用能力が身につくようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 主として、期末試験とほぼ毎回行う小テストの成績によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プチボワン, 金子美都子, 白水社, 2008年; 生協にて販売(2300円)。前期の続きですから、フランス語初級1Aの受講者は購入する必要はありません。</p> <p>メッセージ 毎回新しい文法事項を学んでいくので、休まず出席すること。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文612 オフィスアワー：木曜日3:00-4:30</p>					

開設科目	フランス語初級2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	井上三朗				
<p>授業概要 この科目の履修者は、フランス語初級2B(フランス人教員のクラス)と合わせて、週2回フランス語の授業を受けることになる。フランス語初級2Aのほうでは、基本的な文法事項をしっかりと習得したうえで、フランス語の運用能力が身につくようになることを目指して授業を進めていく。使用する教科書には、文法の例文と説明だけでなく、「読み・書き・話す」能力を高めるのに効果的な練習問題が含まれている。</p> <p>授業一般目標 フランス語の基本的な文法事項を体系的に習得し、実践的な運用能力が身につくようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験の点数(70%)と日常点(30%)との総合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プチボワソン, 金子美都子, 白水社, 2008年; 前期の続きなので、フランス語初級1Aの受講者は購入する必要はない。</p> <p>メッセージ 授業への積極的な参加を望む。また、毎回新しい文法事項を学んでいくので、休まず出席すること。</p> <p>教官連絡先 人文学部613研究室、月曜日14時30分~16時00分。</p>					

開設科目	フランス語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	平山豊				
<p>授業概要 この科目の履修者は、フランス語初級 2B(フランス人教員のクラス)と合わせて、週 2 回フランス語の授業を受けることになります。フランス語初級 2A のほうでは、基本文法をしっかり習得したうえで、フランス語の運用能力が身につくようになることを目指して授業を進めていきます。使用するテキストには、文法の例文と説明だけでなく、「読み・書き・話す」能力を高めるのに効果的な練習問題が含まれています。</p> <p>授業一般目標 フランス語の基本文法を体系的に習得し、実践的な運用能力が身につくようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 主として、期末試験とほぼ毎回行う小テストの成績によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プチボワン、金子美都子、白水社、2008 年；生協にて販売(2300 円)。前期の続きですから、フランス語初級 1A の受講者は購入する必要はありません。</p> <p>メッセージ 毎回新しい文法事項を学んでいくので、休まず出席すること。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文 214 オフィスアワー：</p>					

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)、斉藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	齋藤匡史				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 齋藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	富平美波				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 齋藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>教官連絡先 研究室：人文学部 5 階 Tel.933-5251 オフィスアワー：月曜日 12:50-16:00</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	富平美波				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>教官連絡先 研究室：人文学部 5 階 Tel.933-5251 オフィスアワー：月曜日 12:50-16:00</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	更科慎一				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	永富健史				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編)，斉藤匡史、何曉毅、田梅，白帝社，2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	根ヶ山徹				
<p>授業概要 前期に引き続いて、現代中国語の基礎を習得する。</p> <p>授業一般目標 前期の学習を踏まえ、より高度な表現を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績を 100 % として評価を行う。出席は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書：北京の風(改訂版)，木村英樹・小野秀樹・陳蓉，白帝社，2002 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	更科慎一				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工 2 年生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハンゲル初級2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 前期で習った内容を元に更に高度な構文を学びます。 授業一般目標 前期より複雑な内容が使いこなせるようになる。 成績評価方法(総合) 定期試験、小テストの合計。欠席、宿題の不提出は欠格事項。 教科書・参考書 教科書：基礎から、木内明, 国書刊行会, 2002 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハンゲル初級2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	山田寛人				
<p>授業概要 前期で習った内容を元に更に高度な構文を学びます。 授業一般目標 前期より複雑な内容が使いこなせるようになる。 成績評価方法(総合) 定期試験、小テストの合計。欠席、宿題の不提出は欠格事項。 教科書・参考書 教科書：基礎から、木内明, 国書刊行会, 2002 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハンゲル初級2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	桂文姫				
<p>授業概要 前期で習った内容を元に更に高度な構文を学びます。 授業一般目標 前期より複雑な内容が使いこなせるようになる。 成績評価方法(総合) 定期試験、小テストの合計。欠席、宿題の不提出は欠格事項。 教科書・参考書 教科書：基礎から、木内明, 国書刊行会, 2002 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハンゲル初級2 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	山田寛人				
<p>授業概要 前期で習った内容を元に更に高度な構文を学びます。 授業一般目標 前期より複雑な内容が使いこなせるようになる。 成績評価方法(総合) 定期試験、小テストの合計。欠席、宿題の不提出は欠格事項。 教科書・参考書 教科書：基礎から、木内明, 国書刊行会, 2002 年</p>					

開設科目	ドイツ語初級2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	Felicitas Dobra				
<p>授業概要 本授業は、まず第一に基礎的なコミュニケーション能力を身につけさせることを目的とする。文型が提示される。これらの文型は、学生によって練習され、学生の生活に関連する文例によって補強される。教科書の文章は、ドイツ事情を伝える内容である。各課の終わりに、日本語による文法の説明がある。</p> <p>授業一般目標 学生は提示された文型に従って、簡単な会話を行える程度の知識を習得することができる。話すことと発音練習がこの授業の重点である。文法は授業の目的ではないが、目標に到達するために通らねばならぬ道である。したがって、各課の文法も教授され、習得されたかどうか吟味される。文法は、コミュニケーションに有意義な練習を通じて伝えられる。学生は教科書の中に描写されたいくつかのシチュエーションによって、文化間の相違を確認することができる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Szenen 1 integriert, Shuko Sato et al, Sashusha, 2006 年</p> <p>メッセージ 頑張りましょう</p> <p>教官連絡先 ド・ブラ研究室 (共通教育 3 F) 水曜日 12:30~13:30</p>					

開設科目	ドイツ語初級2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	Felicitas Dobra				
<p>授業概要 ドイツ語の初級文法の習得をめざす。文法を中心とした練習問題をこなすとともに、発音、聞き取り、話すこと、語彙力、作文力、読解力をつける。CDを活用し、パートナー練習を加えて、簡単な会話に挑戦する。月曜日3・4時限の小粥先生のドイツ語初級2 Aとセットになっている授業である。同一教科書で、二人で分担して教えるので、原則として両方を取る。(別の先生の初級2 Aを取る場合は、教科書がもう一冊必要になります。)</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を学習する。初歩的なドイツ語読解力を身につける。ドイツ語圏の文化についても知識を深める。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Gute Reise! neu グーテ・ライゼ! [新改定版], 伊藤直子 他, 郁文堂, 2006 年; 月曜日3・4時限のドイツ語初級2 A(小粥)と共通教科書。後期から初めてこの授業を取る人は、書店にて自分で注文して下さい。</p> <p>メッセージ ドイツ語勉強を楽しんで。</p> <p>教官連絡先 ド・ブラ研究室 共通教育3 F 水曜日12:30~13:30</p>					

開設科目	ドイツ語初級2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	Felicitas Dobra				
<p>授業概要 ドイツ語の初級文法の習得をめざす。文法を中心とした練習問題をこなすとともに、発音、聞き取り、話すこと、語彙力、作文力、読解力をつける。CD を活用し、パートナー練習を加えて、簡単な会話に挑戦する。小粥先生の月曜日7・8時限のドイツ語初級2 Aとセットになっている授業である。同一教科書で、二人で分担して教えるので、原則として両方を取る。(別の先生の初級2 Aを取る場合は、教科書がもう一冊必要になる。)</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を学習する。初歩的なドイツ語読解力を身につける。ドイツ語圏の文化についても知識を深める。</p> <p>教科書・参考書 教科書：シュトラセ・ノイ, Britta Schellens 他, 朝日出版社, 2007年; 生協で販売。月曜日7・8時限のドイツ語初級2 A(小粥)と共通教科書。後期から初めてこの授業を取る人は、書店にて自分で注文してください。</p> <p>メッセージ ドイツ語を楽しんで。</p> <p>教官連絡先 ド-ブラ研究室 共通教育3 F 水曜日12:30~13:30</p>					

開設科目	ドイツ語初級2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	Angelika Watanabe-Berger				
<p>授業概要 英語を話せて当たり前の時代になりました。この授業ではヨーロッパで2番目に大きい国ドイツの言葉や文化をABCから学び、日本以外の国に関心を持って、色々なメディアを通じてドイツを"体験"し、身近に感じてもらうのはねらいです。初級Aで学んだ文法を繰り返し練習し、特に発音、聞く力、会話力に重点をおきたいと思います。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基礎文法を理解し、簡単な日常会話を練習して、外国語で話すことへの抵抗を減らして、最終的にドイツ語初級の読み書き、聞き取り、話すことをできるようになります</p> <p>成績評価方法(総合) 出席 授業への参加 宿題 テスト</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語インフォメーション, 秋田静男他, 朝日出版, 2007年; 教科書を1回目の授業で教室で販売します。(2520円) その他プリントを配布します。/ 参考書：プリントを配布します</p> <p>メッセージ 毎回ドイツへ行った気分で、恥ずかしがらずに会話や歌、ロールプレイ etc. に挑戦しましょう。</p> <p>教官連絡先 mail: palette@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	ドイツ語初級2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	Angelika Watanabe-Berger				
<p>授業概要 英語を話せて当たり前の時代になりました。この授業ではヨーロッパで 2 番目に大きい国ドイツの言葉や文化を ABC から学び、日本以外の国に関心を持って、色々なメディアを通じてドイツを "体験" し、身近に感じてもらうのはねらいです。初級 A で学んだ文法を繰り返し練習し、特に発音、聞く力、会話力に重点をおきたいと思います。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基礎文法を理解し、簡単な日常会話を練習して、外国語で話すことへの抵抗を減らして、最終的にドイツ語初級の 読み書き、聞き取り、話すことをできるようになります</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 授業への参加 宿題 テスト</p> <p>教科書・参考書 教科書: ドイツ語, 秋田, 朝日, 2007 年; 教科書を 1 回目の授業で教室で販売します。(2 5 2 0 円) その他プリントを配布します。/ 参考書: プリントを配布します</p> <p>メッセージ 毎回ドイツへ行った気分で、恥ずかしがらずに会話や歌、ロールプレイ etc. に挑戦しましょう。</p> <p>教官連絡先 mail: palette@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	フランス語初級2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	Emde Angelika				
<p>授業概要 このコースではフランス語の根本的な構造を理解し、自力で簡単な文書を作り、日常的な会話をこなせることがねらいです。初級 2 のコースは、初級 1 に基づいていることに注意してください。</p> <p>授業一般目標 様々なコミュニケーションの場面に応じて、基本的なパターンを練習します。必要な文法を説明し、多くの例を応用しながら、身に付けます。語彙はそれぞれの分野に合わせて導入し、段階的に増やします。聞く力や発音を特に鍛えます。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験(中間・期末試験) 5 0 %、小テスト・授業内レポート 2 0 %、宿題・授業外レポート 2 0 %、授業態度・授業への参加態度 1 0 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教材のプリントを授業で配付します。</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	フランス語初級2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	BEAUSIRJEAN CLAUDE				
<p>授業概要 この授業では、会話を取り入れながらフランス語の基本的な文法事項を学習します。毎回授業の終わりには「フランス雑学コーナー」を設けてシャンソン、漫画、フランス映画等を紹介します。授業は日本語でも行います。</p> <p>授業一般目標 簡単な挨拶から徐々に基礎フランス語を習得し会話を中心に総合的なレベルアップを目指します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業の出席状況、授業態度、試験の成績で総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: SPIRALE (スピラル)日本人初心者のためのフランス語教科書, GAEL CREPIEUX その他, HACHETTE, 2006 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	フランス語初級2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	BEAUSIRJEAN CLAUDE				
<p>授業概要 この授業では、会話を取り入れながらフランス語の基本的な文法事項を学習します。毎回授業の終わりには「フランス雑学コーナー」を設けてシャンソン、漫画、フランス映画等を紹介します。授業は日本語でも行います。</p> <p>授業一般目標 簡単な挨拶から徐々に基礎フランス語を習得し会話を中心に総合的なレベルアップを目指します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業の出席状況、授業態度、試験の成績で総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: SPIRALE (スピラル)日本人初心者のためのフランス語教科書, GAEL CREPIEUX その他, HACHETTE, 2006 年</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	呉 毅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	田 梅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>教官連絡先 共通教育棟 3F 田研究室 tian@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日・火曜日 16:00 18:00</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	呉 毅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	呉 毅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	田 梅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>教官連絡先 共通教育棟 3F 田研究室 tian@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日・火曜日 16:00 18:00</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	袁麗暉				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	呉菲				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	田梅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>教官連絡先 共通教育棟 3F 田研究室 tian@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日・火曜日 16:00 18:00</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	田梅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>教官連絡先 共通教育棟 3F 田研究室 tian@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：月曜日・火曜日 16:00 18:00</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	何曉毅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

開設科目	中国語初級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編)、何曉毅 ほか、白帝社、2005年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

開設科目	ハンゲル初級 2B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	山田寛人				
<p>授業概要 前期で習った内容を元に更に高度な構文を学びます。</p> <p>授業一般目標 前期より複雑な内容が使いこなせるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、小テストの合計。欠席、宿題の不提出は欠格事項。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎から、木内明、国書刊行会、2002年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハンゲル初級 2B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	山田寛人				
<p>授業概要 前期で習った内容を元に更に高度な構文を学びます。 授業一般目標 前期より複雑な内容が使いこなせるようになる。 成績評価方法(総合) 定期試験、小テストの合計。欠席、宿題の不提出は欠格事項。 教科書・参考書 教科書：基礎から、木内明, 国書刊行会, 2002 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 総説

開設科目	ハンゲル初級 2B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	桂文姫				
<p>授業概要 前期で習った内容を元に更に高度な構文を学びます。 授業一般目標 前期より複雑な内容が使いこなせるようになる。 成績評価方法(総合) 定期試験、小テストの合計。欠席、宿題の不提出は欠格事項。 教科書・参考書 教科書：基礎から、木内明, 国書刊行会, 2002 年</p>					

開設科目	ハンゲル初級 2B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・理(数理)・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 前期で習った内容を元に更に高度な構文を学びます。</p> <p>授業一般目標 前期より複雑な内容が使いこなせるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、小テストの合計。欠席、宿題の不提出は欠格事項。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎から学ぶ韓国語講座、木内明、国書刊行会、2002 年</p>					

開設科目	ドイツ語会話 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	Felicitas Dobra				
<p>授業概要 本授業は、まず第一に基礎的なコミュニケーション能力を身につけさせることを目的とする。文型が提示される。これらの文型は、学生によって練習され、学生の生活に関連する文例によって補強される。教科書の文章は、ドイツ事情を伝える内容である。各課の終わりに、日本語による文法の説明がある。</p> <p>授業一般目標 学生は提示された文型に従って、簡単な会話を行える程度の知識を習得することができる。話すことと発音練習がこの授業の重点である。文法は授業の目的ではないが、目標に到達するために通らねばならぬ道である。したがって、各課の文法も教授され、習得されたかどうか吟味される。文法は、コミュニケーションに有意義な練習を通じて伝えられる。教科書では、文法事項は「Bausteine」という見出しの下に現れる。学生は教科書の中に描写されたいくつかのシチュエーションによって、文化間の相違を確認することができる。次年度にも更にドイツ語を継続して学習することを希望している学生のために、次年度には同じ教科書の第二部を使用することを指摘しておく。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Farbkasten neu1. Situationen Informationen. CD 付き / 自己表現のためのドイツ語 1, 板山真由美 / 潮路ウルスラ / , 三修社, 2005 年</p> <p>メッセージ 頑張りましょう。</p> <p>教官連絡先 ド - ブラ研究室 共通教育 3 F 水曜日 12 : 30 ~ 13 : 30</p>					

開設科目	フランス語会話2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・工	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	Emde Angelika				
<p>授業概要 この授業では会話が中心です。日常的な場面を簡単な言い方や文法のパターンで訓練します。授業に定期的に参加することが必要です。フランスの音楽、映画や生活文化も紹介します。</p> <p>授業一般目標 様々なコミュニケーションの場面に応じて、基本的なパターンを練習します。必要な文法を説明し、多くの例を応用しながら、身に付けます。語彙はそれぞれの分野に合わせて導入し、段階的に増やします。聞く力や発音を特に鍛えます。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験やテストは行いませんが、定期的な出席と積極的な参加により評価します。出席：50%、参加や授業への貢献：20%、宿題・授業外レポート：30%。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教材のプリントを授業で配布します。</p> <p>メッセージ 出席は非常に大事で、積極的な参加は、成功へのカギです。</p>					

開設科目	中国語会話2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・工	単位	2単位	曜時限	水曜日7・8時限
担当教官	宇芳				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：一年生のコミュニケーション中国語、塚本 慶一 劉 穎, 白水社, 2006年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発音すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 展開2

開設科目	ハングル会話 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(一部除く)・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 文法の説明などは最小限とし、ひたすら反復練習をします。また、会話のためには語彙が必要です。半期で数百の語彙を覚えてもらいます。</p> <p>授業一般目標 簡単な会話ができるようになることを目標とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験は聞き取りを中心とします。また、毎回小テストを実施し、成績に反映させます。欠席、宿題の不提出は欠格事項です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：スタート！韓国語初級，金恵鎮，白帝社，2007 年</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語

科目類型 包括

開設科目	海外ハングル研修	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	人・教・経・理(数理)・医(看護・検査)・工・農(生機)	単位	4 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 この授業は、春休み(3月始めごろ)から韓国外国語大学で開かれる韓国語研修と、それに先立つ事前研修とで構成されています。単位を取得しようとする人は、事前研修(後期の第二セメスターに7回開講されます)を受講しなければなりません。</p> <p>授業一般目標 事前研修では、韓国に関する基礎的な知識、最低限知っておかなければならない韓国語を学びます。語学研修では、レベルに合わせた授業で、韓国語を集中的に学ぶとともに、見学、文化体験、生活などを通じ、韓国を実体験します。</p> <p>成績評価方法(総合) 事前研修の出席と、韓国外国語大学語学研修院での授業の成績で評価されます。</p> <p>メッセージ 事前研修に関しては、受講者が出席できる時間帯に変更が可能です。早めに相談してください。</p> <p>教官連絡先 wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	中国語中級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年	単位	2単位	曜時限	金曜日7・8時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 中級レベルの中国語を学習する。</p> <p>授業一般目標 中級レベルの中国語の総合的な習得を目指す。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績を80%、小テストの成績を20%として成績評価を行う。小テストによる評価は、教員の裁量により、宿題や授業への参加度(与えられた課題に対する解答など)による評価によって替えることができる。出席は欠格事項とする</p> <p>教科書・参考書 教科書: 場面別・機能別 実用中国語会話, 呉川・文光茹, 郁文堂 / 参考書: 中日辞典</p> <p>メッセージ この授業を受講するためには、中日辞典を準備する必要があります。</p> <p>教官連絡先 yimu@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	中国語中級会話2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年	単位	2単位	曜時限	水曜日5・6時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 前期に引き続き、中国語の理解能力を高める。中国語で表現する能力を身につける。日常会話から、様々な文化事象まで教える。</p> <p>授業一般目標 話す能力と聞く能力を向上させる。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験及び小テスト、受講態度により総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書: 新版 中国語さらなる一歩, 尹景春など, 白水社, 2002年</p> <p>メッセージ 予習復習が必要です。単語と文型を覚え、そして繰り返し練習する。</p> <p>教官連絡先 zhangling414@ybb.ne.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 展開1

開設科目	ハングル中級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年	単位	2単位	曜時限	木曜日7・8時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 前期の内容を基に、多様な構文を習得し、語彙を身に付ける。毎回、授業の内外で課題を課します。</p> <p>授業一般目標 更に多様な構文、語彙を習得し、辞書なしで、多様な文章の読解、作文ができることを目指すと共に、様々な状況で会話ができるようになります。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と小テスト。欠席、宿題の不提出は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書：韓国語中級, 李昌圭, 白帝社, 2000年</p> <p>教官連絡先 wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語1B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2単位	曜時限	月曜日1・2時限
担当教官	今井新悟				
<p>授業概要 Basic Japanese Japanese 1B, 2B and 3B should be taken together. 日本語初級 日本語1B,2B,3Bは一緒に受講してください。</p> <p>授業一般目標 Learn basic grammar and vocabulary, and communication strategy. 日本語の基礎的な文法、語彙、コミュニケーション方法について学習します。</p> <p>成績評価方法(総合) Evaluation is based on participation, quizzes, homework, and tests 出席、クイズ、宿題と試験によって評価します。</p> <p>メッセージ Japanese 1B, 2B and 3B should be taken together. 日本語1B,2B,3Bは一緒に受講してください。</p> <p>教官連絡先 083-933-5088 Office hour: Monday 13:00-15:00</p> <p>備考 初級前半レベル・1B～3Bの同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	今井新悟				
<p>授業概要 Basic Japanese Japanese 1B, 2B and 3B should be taken together. 日本語初級 日本語 1 B,2B,3B は一緒に受講してください。</p> <p>授業一般目標 Learn basic grammar and vocabulary, and communication strategy. 日本語の基礎的な文法、語彙、コミュニケーション方法について学習します。</p> <p>成績評価方法 (総合) Evaluation is based on participation, quizzes, homework, and tests 出席、クイズ、宿題と試験によって評価します。</p> <p>メッセージ Japanese 1B, 2B and 3B should be taken together. 日本語 1 B,2B,3B は一緒に受講してください。</p> <p>教官連絡先 083-933-5088 Office hour: Monday 13:00-15:00</p> <p>備考 初級前半レベル・1 B～3 B の同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 3 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	今井新悟				
<p>授業概要 Basic Japanese Japanese 1B, 2B and 3B should be taken together. 日本語初級 日本語 1 B,2B,3B は一緒に受講してください。</p> <p>授業一般目標 Learn basic grammar and vocabulary, and communication strategy. 日本語の基礎的な文法、語彙、コミュニケーション方法について学習します。</p> <p>成績評価方法 (総合) Evaluation is based on participation, quizzes, homework, and tests 出席、クイズ、宿題と試験によって評価します。</p> <p>メッセージ Japanese 1B, 2B and 3B should be taken together. 日本語 1B,2B,3B は一緒に受講してください。</p> <p>教官連絡先 083-933-5088 Office hour: Monday 13:00-15:00</p> <p>備考 初級前半レベル・1 B～3 B の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 4 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 日本語初級前半が終了した学習者を対象にし、文法や語彙をさらに拡充し、物事をより詳しく説明したり、話者の気持ちをより細やかに伝えたりする表現を用いてコミュニケーションができるようになること、さらには読みの比重が重くなる「中級」の学習に無理なく移行できるように、文の構造と意味・機能の総合的理解力を養成する。</p> <p>授業一般目標 新出語彙や文法項目を正しく理解する。 コミュニケーション能力を高める。 文章作成能力をつける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間テスト 5 回と期末テスト、宿題、スピーチ、小テストの結果を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書： みんなの日本語 II, 田中よね他 6 名, スリーエーネットワーク, 2005 年</p> <p>メッセージ 日本語 5 B, 6 B とセットで受講してください。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワー： 木曜日午後 e-mail:michikos@yamaguchi-u.ac.jp TEL:083-933-5985</p> <p>備考 初級後半レベル・ 4 B ~ 6 B の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 4 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	中溝朋子				
備考 初級後半レベル					

開設科目	日本語 5 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 日本語初級前半が終了した学習者を対象にし、文法や語彙をさらに拡充し、物事をより詳しく説明したり、話者の気持ちをより細やかに伝えたりする表現を用いてコミュニケーションができるようになること、さらには読みの比重が重くなる「中級」の学習に無理なく移行できるように、文の構造と意味・機能の総合的理解力を養成する。</p> <p>授業一般目標 新出語彙や文法項目を正しく理解する。 コミュニケーション能力を高める。 文章作成能力をつける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間テスト 5 回と期末テスト、宿題、スピーチ、小テストの結果を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書： みんなの日本語 II, 田中よね他 6 名, スリーエーネットワーク, 2005 年</p> <p>メッセージ 日本語 4B,6B とセットで受講してください。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワー： 木曜日午後 e-mail:michikos@yamaguchi-u.ac.jp TEL:083-933-5985</p> <p>備考 初級後半レベル・ 4 B ~ 6 B の同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 6 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 日本語初級前半が終了した学習者を対象にし、文法や語彙をさらに拡充し、物事をより詳しく説明したり、話者の気持ちをより細やかに伝えたりする表現を用いてコミュニケーションができるようになること、さらには読みの比重が重くなる「中級」の学習に無理なく移行できるように、文の構造と意味・機能の総合的理解力を養成する。</p> <p>授業一般目標 新出語彙や文法項目を正しく理解する。 コミュニケーション能力を高める。 文章作成能力をつける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間テスト 5 回と期末テスト、宿題、スピーチ、小テストの結果を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書： みんなの日本語 II, 田中よね他 6 名, スリーエーネットワーク, 2005 年</p> <p>メッセージ 日本語 4B,5B とセットで受講してください。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワー： 木曜日午後 e-mail:michikos@yamaguchi-u.ac.jp TEL:083-933-5985</p> <p>備考 初級後半レベル・ 4 B ~ 6 B の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 7 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	赤木弥生				
<p>授業概要 初級レベルで学んだ文法項目、語彙、表現を使って日本語運用能力を伸ばし、幅広いテーマに関する語彙表現や文法を学び、さまざまな状況や場面に対応できる総合的な日本語能力を培います。毎回 DVD を視聴し、場面ごとの表現について学びます。</p> <p>授業一般目標 日常生活で必要とする基礎的な四技能「聞く・話す・読む・書く」をさまざまな状況や場面に対応できるように総合的に伸ばし日本語運用能力を培います。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、授業参加、課題、期末試験を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語中級 J301, 土岐, スリーネットワーク, 1997 年；エリンが挑戦！にほんごできます, 国際交流基金, 凡人社, 2007 年</p> <p>メッセージ 初級で学んだ文法、語彙表現を使って、話したり、聞いたりできるコミュニケーション能力をつけましょう。</p> <p>教官連絡先 月曜日午後 14 時 30 分～15 時 30 分 研究室電話：083 - 933-5985 E-mail: yayoia@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 中級前半レベル・7 B～9 B の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 7 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	中溝朋子				
備考 中級前半レベル					

開設科目	日本語 8 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	赤木弥生				
<p>授業概要 初級レベルで学んだ文法項目、語彙、表現を使って日本語運用能力を伸ばすと同時に、読み、書くための基礎漢字を学びます。</p> <p>授業一般目標 日常生活で必要とする基礎的な四技能「聞く・話す・読む・書く」を総合的に伸ばし、漢字についての知識を増やし、読む、書く力をつけます。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、授業参加、期末試験、課題提出を総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語中級 J301, 土岐哲, スリーエネットワーク, 1997 年; 漢字 2100 字, 徳弘康代, 早稲田大学, 2006 年</p> <p>メッセージ 初級で学んだ漢字を復習し、さらに日常生活に必要な漢字について学びましょう。</p> <p>教官連絡先 月曜日午後 14 時 30 分 ~ 15 時 30 分 研究室電話：083 - 933-5985 E-mail: yayoia@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 中級前半レベル・7 B ~ 9 B の同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 9 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	赤木弥生				
<p>授業概要 日本の風俗習慣、文化、社会、日本人の行動様式について理解を深めます。現代日本の社会事情と自国の事情とを対照させ、比較検討しながら、文化の背景について考え、文化理解を図り、日本社会で生活や勉強が自立してできる判断能力を養います。また、地球社会の多様な文化を相対的に見ることが出来る能力を培い、グローバルなコミュニケーションが図れる能力を養います。また、山口県の固有の文化や歴史について学びます。</p> <p>授業一般目標 日本での生活に役立つ基本的な文化生活習慣について学びます。また、日本文化や学習者の文化に対する理解を通して、地球的な視点にたち日本文化をみる姿勢を養います。また、地球社会の多様な文化を理解するための相対的な文化の見方を培い、グローバルなコミュニケーション能力を伸ばし、世界のどの民族ともコミュニケーションを図る能力を養います。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、授業参加、課題、レポート、発表を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：自主教材「留学生のための日本事情」, , ; ビデオ教材「The Way of Life in Japan」, 国際交流基金, 凡人社, 2000 年; 15 のテーマで学ぶ日本事情 日本を話そう, 日本外国語専門学校, The Japan Times, 1994 年</p> <p>メッセージ グローバルな視点から日本の文化やお互いの文化について学びましょう。</p> <p>教官連絡先 月曜日午後 14 時 30 分 電話：083 - 933-5985 E-mail: yayoia@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 中級前半レベル・7 B ~ 9 B の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 10 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	赤木 彌生				
<p>授業概要 グラフや表のあるレポート、報告文、エッセイ、新聞記事などさまざまな文章スタイルにふれ、文化および科学の両分野における幅広いテーマに関する語彙表現を伸ばし、読解力、理解力を養う。いろいろな状況や場面に対応できる総合的な日本語能力を培います。</p> <p>授業一般目標 基礎的な四技能「聞く・話す・読む・書く」をさらにさまざまな状況に対応できるように総合的に伸ばす。日本語による講義、試験、レポートなどをこなすことができる文法、語彙表現を学び、聴解、口頭表現能力、読解力、作文力を伸ばします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 授業参加 期末試験 課題提出を総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語中級 J-501, 土岐哲, スリエーネットワーク, 1999 年 / 参考書：論理的な文章の書き方, 二通, スリエーネットワーク, 2000 年</p> <p>メッセージ 講義やレポート作成が簡単にできるように、総合的に日本語能力を伸ばしましょう。</p> <p>教官連絡先 月曜日午後 14 時 30 分～15 時 30 分 電話：083 - 933-5986 E-mail: yayoia@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 中級後半レベル・10 B～12 B の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 10 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	中溝 朋子				
備考 中級後半レベル					

開設科目	日本語 1 1 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 日本語中級前半を終了した学習者を対象に「読む」「書く」を柱に、「話す」能力の向上を目指す。論理的な文章作成能力、また、相手に正確に伝えられるように論理的「話す」能力を課題を通して育成する。</p> <p>授業一般目標 ・中級後半の文法項目や語彙が理解できる。 ・各課の「書いてみよう」という課題を通して、論理的な文章が書ける。 ・各課の「話してみよう」という課題を通して、相手に正確に伝えられるように論理的に話せる。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間テスト、期末テスト、漢字テスト、スピーチ、宿題の提出回数、出席状況を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語中級 J 5 0 1, 土岐哲, スリーエーネットワーク, 1999 年; 適宜プリント教材を配布する。テーマに関する参考文献の資料を配布する。</p> <p>メッセージ 日本語 10B, 日本語 12B も同時授業が望ましい。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワー：木曜日午後 e-mail:michikos@yamaguchi-u.ac.jp TEL:083-933-5985</p> <p>備考 中級後半レベル・1 0 B ~ 1 2 B の同時受講が望ましい</p>					

開設科目	日本語 1 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	今井新悟				
<p>授業概要 作文の授業です。論理的な文章の書き方の基本的なルールを学び、課題作文を通して、論理的な文章の書き方を身に着けます。</p> <p>授業一般目標 段落や論理性などの文章作成のルールについて学びます。文章を読み、論理性を検証します。自分でたくさんの文章を書きます。他の人の文章を批判的に検証します。文章を推敲します。</p> <p>成績評価方法(総合) 課題提出、授業への意欲・貢献度を総合的に判断します。欠席は4回以上で欠格条件となります。遅刻は3回で欠席1回とみなします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント教材を配布します。教科書は使いません。</p> <p>メッセージ 電子辞書必携</p> <p>教官連絡先 083-933-5088 月曜日 13時 ~ 15時</p> <p>備考 中級後半レベル・1 0 B ~ 1 2 B の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 1 3 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	河野 笙子				
<p>授業概要 上級レベルの学習者を対象に、現代社会の諸相に関する文章の読解や学習者が特に関心のあるテーマについてのアンケート調査活動などを通して、日本語の総合的運用力を高める。</p> <p>授業一般目標 上級レベルの日本語の読解、運用、表現ができる。論理的な発表やレポート作成ができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、授業への参加度、授業内・外のレポートや課題、期末試験などで総合的に行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：トピックによる日本語総合演習上級、佐々木、スリーエーネットワーク、2001年；トピックによる日本語総合演習上級用資料集、佐々木薫他5名、スリーエーネットワーク、2001年；過渡期の「日本」を考える、三牧陽子他2名、凡人社、1997年；テキストは、選んだ3冊の教科書の中から必要部分を個別にコピー・配布する。</p> <p>メッセージ 大学で学ぶために必要な日本語の訓練を楽しみながらやりましょう。</p> <p>教官連絡先 k-shoko@yamaguchi-u.ac.jp 電話 (933)5562 研究室：経済学部 C103 室 魅椿次 斃貌 隠柑 械以 腺隠胸</p> <p>備考 上級レベル・1 3 B と 1 4 B の同時受講が望ましい</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語 1 3 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	中溝 朋子				
備考 上級レベル					

開設科目	日本語 1 4 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	林伸一				
<p>授業概要 学部あるいは大学院の授業で必要とされる日本語を学ぶ。学部・大学院への橋渡しとなるような知識・技能を身につける。</p> <p>授業一般目標 日本語の知識・運用能力だけでなく、日本事情の要素も学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席を重視し、授業内レポート、授業外レポートなどの課題で成績を評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：『日本語表現法』翰林書房</p> <p>メッセージ 楽しく、役に立つ日本語を勉強しよう！</p> <p>教官連絡先 木曜 10:30 - 12:00 hayashix@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 上級レベル・13 B と 15 B の同時受講が望ましい</p>					

後期 - 一般教養教育

開設科目	哲学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	村田貴信				
<p>授業概要 歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ち止まって見つめなおしてみる機縁になるように、以下の二点を基軸に据えて講義を展開する。(1) 自己と世界とにともに関わる人知の精髓を哲学史の展開のなかに探る。(2) ものごとを広く(多面的に)深く(根源的に)考えることの意味と意義とを理解する。</p> <p>授業一般目標 (1) 哲学の根本問題について考えてみる。(2) 哲学の対象と方法とにかんする基礎的な理解を得る。</p> <p>成績評価方法(総合) およそ4週毎に1度、計3度の授業内レポート作成を課す。また、参考書についてレポート作成を課す(任意)。成績評価は、これら四つのレポートのうち、高得点の三つについて行なう。「観点別」成績評価法の項目で「小テスト・授業内レポート」(65%)、「宿題・授業外レポート」(35%)とあるのは、授業内レポート二つと参考書についてのレポート一つとを評価対象にした場合の評価割合の近似値を例示したものである。(実際には、1レポート100点満点とし、3レポートで計300点満点を3で割る。)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 初回授業時に指示する。/ 参考書: 科学技術と倫理, 石田三千雄他, ナカニシヤ出版, 2007年</p> <p>教官連絡先 0836-88-4521</p>					

開設科目	哲学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	来栖哲明				
<p>授業概要 現代は価値のグローバル化、多様化、相対化の時代だといえる。美を例にとりて考えてみれば、芸術と美の結びつきはもはや自明ではない。美しくない芸術作品が美術館で展示されることは珍しくない。善という倫理的な価値、聖などのような宗教的価値にしても、世界的視野から見ても従来に比べ判定基準が揺らいでいるといえるだろう。それは我々が自らのあり方、生き方を一義的に理解することが困難になり、自らを見失いやすい状況になっていることを意味しているといえる。この講義では美学や宗教哲学も含めた広い意味での哲学を扱い、近代のドイツ思想を中心にそれぞれの分野における古典的な思想を紹介し、批判的に吟味することで、現代に生きる我々のあり方を探る一助としたい。</p> <p>授業一般目標 哲学史や哲学の基礎概念を理解すると同時に、一つの問題について自らが哲学的・主体的に思考する態度を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験による。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 思索の道標をもとめて—芸術学・宗教学・哲学の現場から, ドイツ観念論研究会(編), 萌書房, 2007年 / 参考書: 西洋哲学史(再訂版), 岩崎武雄, 有斐閣, 1983年</p> <p>メッセージ 教科書購入が受講の条件。購入については初回の講義で指示する。</p>					

開設科目	倫理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	火曜日 3・4 時限
担当教官	豊澤一				
<p>授業概要 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』を読む 和辻哲郎(1889~1960)は、欧米の哲学・倫理学を踏まえながら、日本人なりの倫理学を構想しました(後に、浩瀚な『倫理学』全三巻の体系に結実します)。その最初に位置付くのが1934年に刊行された上記の著作です。和辻は「倫理」「人間」といった言葉の解釈から倫理的考察を始めます。そのとき、仏教・儒教にも言及します。そして導き出されたのが「間柄」的存在としての人間です。いささか古いと思われかねませんが、わたしたちの倫理的発想の基底となっていると思われしますので、考察・解説に値します。</p> <p>授業一般目標 『人間の学としての倫理学』に盛り込まれた倫理思想を理解します。そのことによって自己の考え方、ものの感じ方をとらえかえし、自己認識を深めます。</p> <p>成績評価方法(総合) 各授業時間の最後に10分程度を費やして、授業内レポートを課します(30点)。学期途中でレポートを1回、提出してください(30点)。期末試験を実施します(40点)。</p> <p>教科書・参考書 教科書:『人間の学としての倫理学』,和辻哲郎,岩波文庫,2007年/参考書:『倫理学』(一)(二)(三)(四)[全4巻],和辻哲郎,岩波文庫,2007年;『日本精神史研究』,和辻哲郎,岩波文庫,1992年;『和辻哲郎随筆集』,和辻哲郎,岩波文庫,1995年;『孔子』,和辻哲郎,岩波文庫,1988年;『風土』,和辻哲郎,岩波文庫,1979年</p> <p>教官連絡先 研究室:人文学部棟409号研究室 オフィスアワー:木曜日12:50~14:20</p>					

開設科目	生命倫理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	木曜日 3・4 時限
担当教官	谷田憲俊				
<p>授業概要 医療には医学で解決できない諸問題が存在することを理解し、自らが考えて判断できる基礎を築くことを目的とする。そのため、授業では生命倫理・医療倫理に関する様々な課題を提供し、多様な視点からの議論を紹介する。学生には、それぞれについて意見を求め、討論をしながら授業を進めていく。さらに、課題についてのレポートを求め、自己の考えを整理しながら生命倫理に関する素養を修得できるようにする。</p> <p>授業一般目標 生命倫理の諸問題について自らが考え・判断する能力を養い、真に人間的な幸福・豊かさを探求するための「礎」を築く。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席点40%、レポート点20%、試験結果40%</p> <p>教科書・参考書 教科書:インフォームド・コンセント その誤解・曲解・正解,谷田憲俊,NPO 医薬ビジネスセンター,2006年/参考書:幸せをよぶコミュニケーション,ジャック・サロメ,行路社,2004年;患者の権利,ジョージ・J・アナス,明石書店,2007年;講義資料はプリントとしては用意しないが、PowerPointファイルとして予め学生にeメールで送付することができる。</p> <p>メッセージ PowerPointファイル講義資料を希望する学生は、tanida@yamaguchi-u.ac.jpまでメールすること。なお、ファイルが大きいので、大学のアドレス以外には送れない。また、さかのぼっての送付はしないし、講義終了とともに、この受付は停止するので、試験前になってから得ることはできないので留意すること。</p> <p>教官連絡先 tanida@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	生命倫理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	金曜日 3・4 時限
担当教官	村瀬ひろみ				
<p>授業概要 近年、科学技術の発展とともに、医療をめぐる技術にも大きな変化があります。また、病気の種類や治療に対する考え方も変化してきました。従来の「おまかせ医療」では、解決できない問題が出てきています。本授業では、脳死・臓器移植や、高度生殖医療などの最先端技術について倫理問題としての側面からアプローチします。医療者としてではなく、一般の医療サービスを受ける人としての立場から、技術内容、問題点を理解できるようにします。(もちろん、医療関係者の卵の方も大歓迎です)</p> <p>授業一般目標 近年、激動の医療現場では、さまざまな利害が衝突し、また、価値を伴う判断を迫られることになってきました。そのような場合に、判断の根拠となるものが「倫理」です。本講では、生命や医療にまつわる生命倫理学の立場から、さまざまな医療環境における問題を考える力を養うことを目的とします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 基本的に、ペーパー試験のみとする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義中に指示。プリントも使用予定。 / 参考書：医療倫理 I・II, グレゴリー・E・ペンス, みすず書房, 2000 年; 医の倫理, H・プロディ, 東京大学出版局, 1983 年; 私的所有論, 立岩真也, 勁草書房, 1997 年; 毎回、参考書を指示する。</p> <p>メッセージ 意欲的な取り組みを期待しています。</p>					

開設科目	宗教学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	火曜日 3・4 時限
担当教官	Alam, Djumali				
<p>授業概要 宗教とは何か、その位置づけ、構図、研究方法について、各宗教の具体的な事例を見ながら考えていく。世界宗教として知られる制度化した宗教のみならず、民間信仰や自然宗教、または「文化としての宗教」や「生活の中の宗教」の存在と役割にも注目し、全体として宗教現象には、人間の行為、思考、生活様式、観念、規範などに関する、どのようなパターン・傾向・枠組みがあるのかを探っていく。</p> <p>授業一般目標 宗教という言葉が、いろいろな側面、定義、解釈、見方があって理解しにくくなったいま、宗教を、一方では人間にとっての普遍的な心の機能・メカニズムとして位置づけ、他方では個々の固有な文化現象として捉え、ダイナミックかつ包括的・本質的な枠組みと視点に親しむこと。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テストまたはレポートを 4 回課す (11 月、12 月、1 月、2 月)。</p> <p>教科書・参考書 教科書：使用しない。 / 参考書：必要となった場合に適宜案内する。</p> <p>メッセージ 授業はできるだけ体系的にわかりやすく、範囲を限定して行う。授業に出ることによって参加者が、毎回または全体として、宗教学に関する一定の内容と枠組みを身につけることを目指す。そのためには、参加者のほうも、毎回の授業に出席し、多少の復習をする必要がある。</p> <p>教官連絡先 ジュマリ・アラム / 電子メール: djumali@yamaguchi-u.ac.jp / ホームページ: http://alam.hmt.yamaguchi-u.ac.jp/ / 電話 (研究室): 083-933-5220 / 研究室: 人文学部 413 号室</p>					

系列 一般教養教育

分野 思想と歴史

科目類型 総説

開設科目	日本史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	森下徹				
<p>授業概要 都市の歴史を通して日本史の展開を学ぶ。そのさい伝統都市を都城と城下町からなるものとし、うち後者の継承・それとの相克のなかで現代都市が成立するという見通しに立つ</p> <p>授業一般目標 都市の歴史的な展開過程から日本史の特質を理解すること</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎回行う小テスト、および中間・期末テストの合計点</p> <p>メッセージ 受講制限を行うので、初回の授業には必ず出席のこと。</p>					

系列 一般教養教育

分野 思想と歴史

科目類型 総説

開設科目	日本史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	真木隆行				
<p>授業概要 山口からみる中世の歴史</p> <p>授業一般目標 身近な地域から歴史を捉える。歴史を見る目を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席状況、授業内コメント票の記載内容、定期試験、以上から総合的見地に立って評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリントを配布する。</p>					

開設科目	日本史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	中村友博				
<p>授業概要 山口県の遺跡；日本史といっても、この授業は考古学の授業である。山口県内にある遺跡を、古い順にスライドを使用しながら、解説します。毎回、1 遺跡を取り上げ、その遺跡の発掘調査が明らかにした事実をお話します。もし、その付近を通った時に、そういえばこの近くに遺跡があったはずだと思ひ浮かべてください。</p> <p>授業一般目標 1. 近くに遺跡があることを知ること。 2. 考古学によって過去のことを知ることができること。</p> <p>成績評価方法（総合） 期末試験と授業中のミニ・テストで評価する。授業中のミニ・テストは出席調査を兼ねるので、一般的な学力・知識を問うことが多く、一夜漬けは通用しないので注意すること。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しないが、日本考古学の概説書を自ら発見し、読破してください。/ 参考書：『山口県の遺跡散歩』山本一朗、周陽考古学研究所、平成16年。この本は、素人にもわかりやすく書かれていますが、市販されていないので、一般人は入手が難しいのが難点です。発見したら、購入をお勧めします。</p> <p>メッセージ 受講希望学生は必ず第一回目の授業に出席してください。受講生は100名以内としますので、大勢の場合は初回、選抜試験を実施します。</p> <p>教官連絡先 tomo@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：人文学部3階 オフィスアワー月曜日 16:10～17:40</p>					

開設科目	東洋史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	馬彪				
<p>授業概要 本講義は、中国伝統文化史の面より前近代の東洋史を紹介するものである。その内容は中国人の担当教員として、日本人の大学生によく聞かれる「漢字」「黄河」「兵馬俑」「故宮」「孔子」「廿四史」「天子」などに関する質問に答えるように設けた。それは中国における人間文化・空間文化・時間文化のような担当教員の独創的な組み合わせである。</p> <p>授業一般目標 近年の中国における大きな社会変化は、21世紀の中国が人類の歴史に巨大な影響を与えるということを次第にはつきりと世の人に知らしめるようになった。「一衣帯水」の隣国である日本の大学生としては、その専門を問わず、中国文化を知る必要があるといえよう。この必要に応じるため、簡潔かつ分かりやすく悠久の歴史をもつ中国文化を教えることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 成績評価は基本的に出席（30%）と試験（70%）で行う。</p>					

系列 一般教養教育

分野 思想と歴史

科目類型 総説

開設科目	東洋史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	高木尚子				
<p>授業概要 日本近代史学の礎を築いた巨人である内藤湖南(1866-1934)の東洋史学の体系、とりわけ時代区分論を手がかりに、中国史の全体像を概説する。</p> <p>授業一般目標 日本の歴史を真に理解し、現代日本人がどのような時代を生きているのかについて深く思索するためには、東洋の歴史の全体像について理解することが重要不可欠である。東洋史=中国文化発展史と定義し、東洋史の一部として日本史を深く理解した内藤湖南の東洋史学の枠組みを参照しながら、中国史の全体像を理解し、私達自身の歴史や文化に対する認識を深め、自分自身について思索する力をつける。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験により、目標の達成度を評価する。受講態度が悪い場合は、欠格とすることがある。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 適宜、プリントを配布する。/ 参考書: 内藤湖南全集 全14巻, 筑摩書房; 日本の名著41 内藤湖南, 中央公論社</p> <p>メッセージ 自ら学ぶ姿勢を求める</p>					

系列 一般教養教育

分野 思想と歴史

科目類型 総説

開設科目	東洋史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工2年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	野田徹				
<p>授業概要 中国における宦官専権の歴史を講義し、宦官専権(側近政治)が成立する過程・構造を総覧する。</p> <p>授業一般目標 政治史への関心を高め、歴史・政治に対する見識を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) ・期末試験 ・各回に課せられる小テストの回答状況および出席数(欠格条件)を見る</p> <p>教科書・参考書 教科書: 必要に応じてプリントを配布する。</p>					

開設科目	西洋史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	岩崎好成				
<p>授業概要 直接的には、なぜアウシュヴィッツの悲劇は生じたのか、との問いを軸に、「ユダヤ人」差別の歴史、特に近現代ドイツ史上のそれを分析する。が、その際に力点が置かれるのは、歴史を語る際のルールや歴史を学ぶ意義を吟味すること、更には、現代の日本に生きる「普通の人々」としての我々にも通ずる問題群を析出し、一種の教訓としてこれを考えることである。</p> <p>授業一般目標 1. 歴史学を構成する基本 (= 歴史を見、語る際の方法やルール、歴史を学ぶ意味や価値など) を習得する。2. 我々の行動や考え方を分析する際に有用な概念・視角を (ホロコースト分析から) 取り出し吟味することを通じて、人間・社会についての理解を深める。3. 以上から、< 他人事・余所事の歴史学・西洋史 > からの脱却をめざす。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業内の小テスト・小レポート (3, 4 回程) と、中間、期末レポートで評価する。なお、遅刻者は大幅に減点されるので注意。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリントを配布する。/ 参考書: 授業中に指示する。</p> <p>メッセージ 授業開始後の入室を禁ずる。受講生数の制限あり (150 名程度)、第3講以降の受講開始は認めない。</p> <p>教官連絡先 iwasaki@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 教育学部 4 階</p>					

開設科目	西洋史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	金曜日 7・8 時限
担当教官	尼川創二				
<p>授業概要 大航海時代とは、ヨーロッパ人の航海と探検によって、全世界が一つになる発端 同時にそれはヨーロッパ人による世界支配の発端でもあった が現われた時代、すなわち 15 世紀末から 17 世紀中頃までの時期をさす。まず、なぜヨーロッパ人のみが、とくに初期にあってはポルトガル人とスペイン人のみがそうした大規模な活動を行なったのかという点が問題になる。ポルトガル人とスペイン人をして、そうした活動に乗り出させたものは何であったか。また、そうした活動を可能にしたものは何であったのか。そして航海と探検に関しては後発国であったオランダとイギリスが、やがてはイベリア勢力に追いつき、追い越すのはなぜなのか。こうした問題の考察を縦軸としながら、更にまた、この時期に世界の各地で展開された諸民族、諸文化の接触・交渉・衝突を素材として、民族や宗教の問題についても考えてみたい。また、コロンブス、マゼラン、コルテス、ピサロ、ザビエル、ラス・カサスなどの強烈な人間像にもできる限り触れてみたい。</p> <p>授業一般目標 ヨーロッパの封建社会の崩壊過程からはじめて、危機に直面した西欧諸国が東方から伝わった航海術を自分なりに組み替え、立て直して、新たな環境の中で育て上げた装具で身を固め、ヨーロッパ外の世界へと乗り出していくのを見るのは、一つの快感であるが、そこそこに撒き散らされた不和と衝突のあとをたどることも、我々にとって意義深いことである。 【80 名限定。それ以上来た場合は、試験を行なう。】</p> <p>成績評価方法 (総合) 受講生制限 80 名。無断欠席 1 回につきマイナス 5 点。遅刻 マイナス 2 点。期末試験は 100 点満点。</p> <p>教科書・参考書 教科書: なし。/ 参考書: 適宜紹介する。</p> <p>教官連絡先 人文学部 4 階 407 号室。E メール: amak@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	漱石の思想 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	村上林造				
<p>授業概要 近代思想家としての夏目漱石の生涯をたどり、彼の思想展開の過程を追跡する。</p> <p>授業一般目標 近代社会の問題点と課題に対し、漱石の思想がどのような意味をもつのか理解する。</p>					

開設科目	日本文学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	尾崎千佳				
<p>授業概要 【御伽草子の作品世界 『物くさ太郎』を読む】一寸法師や浦島太郎の物語を知らない人はいないでしょう。御伽草子と総称されるこれらの作品群は、その多くが室町時代に成立し、江戸時代の半ば以降、女子供向けの読み物として、広く長らく親しまれてきました。御伽草子の主人公たちは、みな、異常な存在として出生しながらも、人にすぐれた能力を発揮し、偉大な事業を成し遂げることによって、たくいまれなる幸福を手に入れます。このような主人公の異常性こそ、御伽草子全体を貫く主題です。誰もが知っているあらすじの背後に広がっている、御伽草子の作品世界をかいま見てゆきたいと思います。</p> <p>授業一般目標 古典文学の作品世界の奥深さを感得するための、読解の基礎力を養うことを目指します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間小試験(20%)および期末試験(80%)により評価します。4回の無断欠席で期末試験の受験資格を失うので注意してください。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 御伽草子(上), 市古貞次校注, 岩波書店, 1985年; 文栄堂山大前店で販売していますので、必ず購入してください。</p> <p>メッセージ 受講希望者多数の場合は初回授業時に抽選を行う可能性があります。</p> <p>教官連絡先 研究室=人文 508 / 電話=933-5257 / E-mail = ozaki@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	漢文	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	高木智見				
<p>授業概要 初めに漢文理解に関する簡単な概説を行った後、『史記』の「陳涉世家」を講読形式で読み進める。テキストは最初から白文を用いる予定であるが、どうしても困難な場合には江戸時代の訓点のついたものを用いる。</p> <p>授業一般目標 漢文法の基本的な知識を会得して、漢字だけの文章を見ても、違和感を感じないですむような実力をつける。さらに、中国文化についての全般的な理解ができることを目指す。そのことが結局は、漢文の読解力を向上させることになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講者数により試験、あるいはレポートのいずれかを選択する。毎回、複数の受講者に自分の解読した内容を発表してもらって、授業をすすめるが、その内容も評価の一部を含む。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 / 参考書：授業中に指示する</p> <p>メッセージ 努力してください</p> <p>教官連絡先 人文学部中国哲学研究室</p>					

開設科目	外国文学(ドイツ文学)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	Hintereder-Emde, Franz				
<p>授業概要 本講義では、いくつかの作家や作品を取り上げながら、歴史的な背景やジャンルなどを紹介し、ドイツ文学の豊かさや多様性を紹介していきたいと思ひます。映画化された作品も原作と対照しながら、文学の変幻自在を楽しんでもらいたいと思ひます。講義の順番はまだ未定ですが、次の内容を準備します。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語文化圏の文学の主な流れを把握し、外国文学への関心を高め、読書のきっかけにすること。</p> <p>教科書・参考書 教科書：コピーを配布します。</p> <p>メッセージ 専攻を問わずに、文学の世界を覗いてみて下さい。きっと様々な発見があると思ひます。</p> <p>教官連絡先 tel/fax: 933-5287 mail: emde@yamaguchi-u.ac.jp office hour : 月曜日 7・8 時限(16:00~17:40)</p>					

開設科目	言語学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	有元光彦				
<p>授業概要 言語学の基礎的な項目を概説する。</p> <p>授業一般目標 (1) 言語学の基礎的な事項を修得する。(2) 言語学の考え方を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回簡単なレポートを課す。また、最終的に試験を実施する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業中に指示する。/ 参考書：授業中に指示する。</p> <p>メッセージ ことばの科学的な分析に興味がある学生に受講してほしい。</p>					

開設科目	芸術史(日本近代美術史)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	菊屋吉生				
<p>授業概要 日本の明治以降の近代日本美術史の諸問題について論じる。近年この分野では、若い研究者による観点に立った意欲的な論文、著書の発表や、あるいは各地の美術館などで、それまであまり知られなかった近代の美術動向や作品に焦点が当てられた展覧会が次々に行なわれ、飛躍的にその研究の厚みが増しつつある。この講義では、そうした近年の新しい研究成果もふまえて、とくに重要と思われるいくつかのテーマを設定しながら、日本の近代美術が抱えてきたさまざまな問題について考察してみたい。</p> <p>授業一般目標 (1) 近代日本美術に関する近年の問題点を理解する。(2) 明治以降の日本の美術の発達にまつわる近代の状況を、世界の動きと対比しながら考察する。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業のなかでレポートを書いてもらうことも考えている。試験はノートの持ち込みは認めたい。そのためノート記述はしっかりやってもらいたい。その際、授業中にその内容をふまえた上で自ら考えたことをメモしておいてもらうと役立つと思う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：テキストはとくにないが、授業のなかでレジュメを配りたい。/ 参考書：参考書に関しては、授業のなかでその都度明示する。</p> <p>メッセージ 授業の内容および使用教室のキャパシティの関係で、履修者を90名までとしたい。人数を越えた場合は初回到抽選を行なうので、必ず出席すること。</p> <p>教官連絡先 kikuya@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：教育学部2階</p>					

開設科目	芸術概論 (音楽の歴史)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	池上敏				
<p>授業概要 西洋音楽を基本にした基礎的な音楽史を講じます。当然ですが、音楽はヨーロッパのみにあるのではないのですが、なぜヨーロッパの音楽が世界の音楽の主流たり得たのか、その理由、あるいは秘密を受講生の皆さんと共に考えて行きたい。</p> <p>授業一般目標 西洋の古典音楽を中心とした音楽史の基礎的理解、文化史としての、世界史的視野からの音楽史の観念の獲得。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席状況、講義内容の理解度、期末テストに代えての提出レポートの記述内容などを総合的に判断し、評価を行う。期末試験に代えてのレポートを提出しなかった受講者は「受験せず」の扱いとする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に定めない。/ 参考書：授業時間中に必要に応じ適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 音楽を鑑賞する態度が確立している人、講義時間中に私語をしない自信のある人のみ受講可。特に音楽が鳴っている時に私語するような学生はこの科目の受講資格を満たしていない。受講希望者が極めて多く、正常な状態で講義等を行う事が困難、と判断した場合には受講制限を行う事を承知されたい。決定の方法等は授業者の裁量による。世界史の基礎的な素養があることが好ましい、正確で深い理解のためには不可欠である。</p> <p>教官連絡先 担当教員研究室 (教育学部音楽棟 109 研究室)、オフィスアワーは年度始めに決定する。</p>					

開設科目	芸術概論 (音楽)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	齋藤完				
<p>授業概要 「日本音楽とは何か」を考えつつ、その歴史を概観する。</p> <p>授業一般目標 日本音楽の自明性を批判的に考察したのちに、日本音楽史を概観する。なお、近代以降の「洋楽」ならびにそれに影響を受けて発生したジャンルをも対象とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎回実施するレポートと期末のレポート、さらには出席によって評価する。出席 50%、レポート 50% (100-[欠席回数 x 20]) x 0.5 + (レポート or 試験の得点 x 0.5) = 総合得点</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配布する。/ 参考書：日本の音、小泉文夫、平凡社；漱石が聴いたベートーヴェン、瀧井敬子、中公新書；声の国民国家・日本、兵藤裕己、NHK ブックス；ギターは日本の歌をどう変えたか、北中正和、平凡社；民謡秘宝紀行、齋藤完、白水社；いずれも読みやすい読み物なので、日本音楽への理解を深めるために参考にして欲しい。</p> <p>メッセージ 受講希望者が定員を超えた場合は、志望動機に基づく選考をおこなう(クジではない)。第一回目の授業に欠席/遅刻した者に対しては、原則として受講を認めない(定員越えにともなう選考の対象にもならない)。また、遅刻/早退に関しては厳しくチェックする。私語も厳禁。</p> <p>教官連絡先 mnsaito@yamaguchi-u.ac.jp 必ずアポイントメントをとってから来室のこと</p>					

系列 一般教養教育

分野 ことばと芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術概論(美術)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	福田隆眞				
<p>授業概要 西洋美術の近代の表現の変遷と日本美について解説し、美術教育の内容として子どもの絵について講義する。</p> <p>授業一般目標 西洋の近代絵画の表現様式を知る。日本美の特性について知る。子どもの絵の理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席とレポートを重視する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：子どもの絵は語る, 福田隆眞, 三晃書房, 2006 年</p> <p>メッセージ 出席して鑑賞して感じることを重視する。</p>					

系列 一般教養教育

分野 ことばと芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術実践(美術)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	上原一明				
<p>授業概要 彫刻世界の講義と実技をします。スライドによる作品紹介と彫刻理論の講義。古代遺跡や、仏像彫刻の古典技法などをさぐりながら、現代彫刻との関連性を探る。実技は最も基本的な粘土によるレリーフと石膏取り、テラコッタを制作する。</p> <p>授業一般目標 彫刻世界の知識を高めると共に、社会にどう関係しているのかを認識する。</p> <p>成績評価方法(総合) レポートと、作品提出。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適時プリント配布 / 参考書：適時プリント配布</p> <p>教官連絡先 上原研究室</p>					

系列 一般教養教育

分野 ことばと芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術実践(音楽)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日7・8時限
担当教官	西村順子				
<p>授業概要 ピアノの演奏実践を行う授業である。個々の目的と力量に応じて、それぞれの課題をピアノ演奏する。</p> <p>授業一般目標 各自、期末に向けて目標を立て、その目標に向けて取り組んでいく。クラシックに限らず、ポピュラーミュージックや連弾等、様々な希望もOK。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)受講者全員での試演会により、形成評価を行う。(2)出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要な楽譜を各自準備</p> <p>教官連絡先 jun.n@yamaguchi-u.ac.jp 研究室(内線5363)</p>					

系列 一般教養教育

分野 ことばと芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術実践(音楽)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日7・8時限
担当教官	成川ひとみ				
<p>授業概要 ピアノ曲の演奏に取り組む。</p> <p>授業一般目標 各自の能力と目的に適したピアノ曲を選曲し、個別の実技指導を行う。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 公開による実技試験を行う。2. 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要な楽譜を各自準備</p> <p>メッセージ 個別指導となる為、受講人数を8人程度までとする。</p> <p>教官連絡先 nr1103@yamaguchi-u.ac.jp 学内内線 5364</p>					

系列 一般教養教育

分野 ことばと芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術実践(音楽)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日7・8時限
担当教官	林真理子				
<p>授業概要 それぞれの力量に合わせた曲を教材として、体の使い方、発声、呼吸など、歌うための基本を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 発声の基本をふまえ、教材を歌う事ができる。</p>					

系列 一般教養教育

分野 ことばと芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術実践(音楽)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日7・8時限
担当教官	高橋雅子				
<p>授業概要 いろいろな合唱曲を演奏することによって、合唱の楽しさを味わい、その奥深さの一端に触れる。発声練習・パート練習・アンサンブル活動を通して、声の正しい出し方を知り、ひとりでは成し得ないハーモニーの醍醐味を味わうことを目指している。日本の代表的な合唱曲、世界の名曲や民謡、季節を感じる曲など、初心者の学生でも達成感を得られるような選曲を心がけている。</p> <p>授業一般目標 正しい声の出し方を獲得する。自分のパートを正しい音程で歌うことができる。他のパートの音を聴きながら歌うことができる。指揮者の指示にしたがって演奏できる。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席(欠格条件)演奏技能や態度など(70%)レポート(30%)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 適宜楽譜を配布する。</p> <p>メッセージ 合唱大好き人間、集まれ!</p>					

開設科目	法学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(経除く)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	三間地光宏				
<p>授業概要 「法とは何か」「わが国の法制度の概要はどうなっているか」といったことを学習したのち、契約・婚姻・離婚・相続など身近な法律問題についての初歩を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 (1) わが国の法制度の概要を理解する。(2) 市民生活を送る上で知っていると有益だと思われるような法律に関する基礎知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価は期末試験の結果による。ただし4回以上欠席した者には期末試験の受験を認めない(なお、課題をやったにもかかわらず、授業中に居眠りした場合、授業中にメールの送受信をした場合及び授業中に他の授業の準備をした場合には欠席扱いとする。)また、授業中に以下の行為を行った者も受験資格を失う。(1) 私語 (2) 飲食 (3) 大学祭等のチケットを売り買いしようとする行為 (4) その他ほかの受講者の受講を妨げる行為</p> <p>教科書・参考書 教科書：現時点では未定。第1回目の授業の際に指示する。/ 参考書：スタートライン債権法(第4版)、池田真朗、日本評論社、2005年；家族法読本、泉久雄、有斐閣、2005年；総則・物権総論(民法/内田貴著；1)第3版、内田貴、東京大学出版会、2005年；アクチュアル民事の訴訟、福永有利・井上治典、有斐閣、2005年</p> <p>メッセージ 受講の際には必ず六法(有斐閣・三省堂・岩波書店から刊行されているもの)を持参すること。</p> <p>教官連絡先 メールアドレスは授業の際に配布するプリントに記載する。現時点ではオフィスアワーは未定。</p>					

開設科目	政治学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(経除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	纈纈厚				
<p>授業概要 政治とは何か、政治学とはどのような学問なのか、について最初解説する。そこでは現代社会が政治という手段なくしては成立しないことの意味を求めていきたい。現代を生きる私たちは、すべて「政治的人間」であることを自覚して欲しい。</p> <p>授業一般目標 他者同調型ではなく、自立した一人の人間として、「市民」として主体的な判断ができる人間としての教養を身につける</p> <p>教科書・参考書 教科書：戦争と平和の政治学、纈纈厚、北樹出版、2005年 / 参考書：文民統制、纈纈厚、岩波書店、2005年；現代の戦争、纈纈厚、岩波書店、2003年；文民統制、纈纈厚、岩波書店、2005年</p> <p>メッセージ 君自身の言葉で時代を掴め</p>					

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	経済学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(経除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日 3・4時限
担当教官	兵藤隆				

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	社会学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2単位	曜時限	月曜日 7・8時限
担当教官	作田誠一郎				

授業概要 現代社会を出来るだけ広範にみていくために、社会学の基礎的な知識や分析方法について理解する。さらに、様々な問題に直面する現代社会に対して、客観的な視点に立ちながら自らの問題意識を高め、理解を深めるための基礎的な知識や社会の読み方を習得する。

授業一般目標 (1)社会学の基本的な考え方や分析視角を身につける。(2)社会学の理論や概念について学び、社会現象を社会的視点から捉える力を育成する。(3)現代社会が抱えている諸問題への意識を高め、客観的な視点から考察し理解できるようにする。

教科書・参考書 教科書：現代の社会学的解説, 山本努・辻正二・稲月正,, 学文社, 2006年

開設科目	社会学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	辰己佳寿子				
<p>授業概要 「人は一人では生きていけない」と言われますが、どのように生きているのでしょうか？人は、家族や親族、学校、会社、地域社会、国家、国際社会の中で、直接的にせよ、間接的にせよ、社会と関わりながら生活しています。また、このような社会は刻々と変わりつつあります。社会変容の中で我々はどうのように生きていけばいいのでしょうか。この講義では、それら社会と個人の関係について考えるために、身近な社会の問題から海外の問題まで様々な事例を社会学的視点から分析していきます。なお、本講義は「顔の見える講義」として展開していきますので、最初の講義で自己紹介をしてもらいます。（受講者が多い場合は初回出席者を優先します。）</p> <p>授業一般目標 社会学とは何かを理解し、社会学的な概念を用いて社会現象を理解・説明できるようにする。</p> <p>成績評価方法（総合） 授業内レポートを数回、授業外レポートを1回行い、各自プレゼンテーションをする。最後に試験を実施する。授業態度も重視する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に定めなし。必要に応じて随時資料などを配布する。/ 参考書：社会学講義, 富永健一, 中央公論新社, 1995年；君たちはどう生きるか, 吉野源三郎, 岩波書店, 2003年；社会認識の歩み, 内田義彦, 岩波書店, 1971年；その他、講義中に適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 自分を取り囲む社会へのアンテナを尖らせて、この講義に参加してください。</p> <p>教官連絡先 電話 933-5083 E-mail:tatsumi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	社会学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	高橋征仁				
<p>授業概要 この講義では、主として<青少年>をテーマに取り上げ、その現状や歴史的変容に関する様々なアプローチや調査データを検討していく。とりわけ「失われた10年」と呼ばれる1990年代の高校生の社会意識に着目して、<青少年>をめぐる言説の虚実を明らかにしていくことにする。そうした作業を通じて、<青少年>の変容と日本社会の構造的変動とをリンクしていく社会学的な視座の習得を目指す。</p> <p>授業一般目標 ・自分のこれまでの高校生活を、階層や文化、時代の異なった人の視点から相対化して捉える。・教育に付きまとう理想論を一旦保留し、丹念に事実を探求し、その結果に基づいて、分析し、議論する態度を身に付ける。・教育のあり方を、近代社会というマクロな観点とのかかわりから考察する視点を持つ。・日常生活を「あたりまえ」のこととして片付けるのではなく、様々な人間の営みや制度、システムなどの観点から複眼的に再構成していく思考様式を身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 出席レポート40点と学期末試験60点の総合点で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：失われた時代の高校生の意識, 海野道郎ほか, 有斐閣, 2008年 / 参考書：「若者の性」白書, 日本性教育協会編, 小学館, 2007年；社会統計学, 片瀬一男, 放送大学教育振興会, 2007年</p> <p>メッセージ いつの時代にも、<若者>をめぐる言説は、根拠のない、誤ったものが多いのです。なぜそうなのか、真実はどこにあるのか、などを考えることで、社会の仕組みが少しずつ見えてくることでしょう。</p>					

開設科目	地理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	荒木一視				
<p>授業概要 近年、食に対する関心が高まっています。しかし、はたして私たちはどのくらい実際に食べているものについての情報を持っているのでしょうか？あなたが夕べ食べた食材はどこで作られたものなのでしょうか。おそらく答えられる人は1人もいません。しかし、その背景には近年急速に成長しつつある食料供給システムが存在しているのです。本講義ではその一端を紹介します。</p> <p>授業一般目標 日本、韓国、中国、インドというアジア諸国の青果物流通についての認識を深めるとともに、今日の青果物供給体系が孕む問題点や課題、またそれを構築してきた背景について検討する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験あるいはレポートに加えて、授業時間中の質疑、討論の内容も評価に加える。</p> <p>教科書・参考書 教科書：アジアの青果物卸売市場、荒木一視、農林統計協会、2008 年</p> <p>教官連絡先 教育学部 4 F arakih@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	民俗学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	坪郷英彦				
<p>授業概要 民俗学は第二次大戦後の高度成長期が始まる前までの日本国内での暮らしを考える学問です。民俗学の分野は大きく有形の文化と無形の文化に分けられますが、授業では有形の分野を主に取り上げます。具体的には衣食住・生業・芸能の内容で構成します。受講するほとんどの人は高度成長期以後の環境で育った人でしょうから、できるだけ身近な話題から説き起こしたいと思います。何でも日常の出来事やものに庶民の考えや永い伝統を発見することができます。</p> <p>授業一般目標 江戸時代から昭和の高度成長期までの一般庶民の暮らしやその背後にある考えを知り、現代社会を生きる上での一つの視点を示すことを目標としています。最近には特に生活環境への関心が高まる中で、工業化社会以前の暮らしに学ぼうとする動きがあり、民俗学の成果が現代に活かされつつあります。その事例も取り上げながら現在の環境やコミュニティを考える上でのヒントを示すことができると考えています。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席日数が 70 % に満たないものは試験を受けられない。期末の定期試験成績 (70 %) と出席率 (30 %) によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は用いないが、毎回資料を配付する。 / 参考書：新訂生活文化論、中村・植田・坪郷、源流社、2002 年</p> <p>メッセージ モノを取り巻く民俗 (物質文化) を多く取り上げるので、モノに関心のある人はぜひ受講してほしい。受講希望者が多い場合、教室の収容人数他を勘案し受講制限をする場合がある。</p> <p>教官連絡先 E-mail < hide.tsu@yamaguchi-u.ac.jp > 電話 5239、研究室人文棟 213、オフィスアワー木曜日 12 時～14 時</p>					

開設科目	文化人類学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	星野晋				
<p>授業概要 文化人類学は、「文化」を手がかりに人間についての理解を深めようとする学問分野である。国際化が進む現在にあって、私たちはグローバルかつ普遍的な論理と民族的・地域的固有性の折り合いをいかにつけるかという大問題に直面している。文化人類学的な視点と方法は、文化的多様性とどのように付き合っていくかを考える際の一つの手がかりとなると思われる。本講義では、ある意味で普遍的、ある意味で多様な「病気と医療」というテーマについて検討することを通して、文化人類学的な「ものの見方」とは何かなるものかを学ぶことを目標とする。また本講義は、文化人類学入門であると同時に、その下位分野である医療人類学入門として聞くこともできる。</p> <p>授業一般目標 人間を総合的に捉えようとするという文化人類学の基本的なものの見方とアプローチを理解する。文化的多様性に対する視点と態度を学び、加えて自分や身近な人の経験を文化人類学的アプローチを用いて考察できるようになる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出欠をかねた小レポート (遅刻は授業開始後 30 分まで、それ以降は欠席とする) 定期試験 (論述形式)</p> <p>教官連絡先 hoshino@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー: 授業後 (小串では水曜日午後)</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (工除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	永崎研宣				
<p>授業概要 リコールやトラブルの隠蔽、杜撰な品質管理、甘い見通しに頼ったシステム統合のトラブルや不正な会計処理など、現在の産業社会は、様々な倫理的問題を内に抱え込んでいる。多くのケースは技術的問題と密接に関連しており、技術者にとっての工学倫理という観点から捉えられる必要がある。しかしながら、こうした問題は、同時に、政治的・経済的、その他の様々な要因を含んだものであり、しばしばそうした様々なものが複雑にからみあっている。したがってそれは、技術者のみならず、そうした問題に関わるすべての人が倫理的問題として理解していく必要がある。本講義では、産業社会におけるこうした倫理的問題について、具体的な事例をとりあげながら考えていきたい。</p> <p>授業一般目標 講義における様々な事例の検討を通じて、倫理的問題に対して用意されている様々な基準や規制、制度等についての基本的な知識を身につけ、将来直面するであろう問題に対処していける力をつけてもらう。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業の中でレポートを課す。また、最後にも、理解度を確認するためのレポートを課す。なお、出席が所定の回数に満たない者は単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: はじめての工学倫理第 2 版, 齋藤文, 坂下浩司編, 昭和堂, 2005 年; 齋藤文 編『はじめての工学倫理』昭和堂</p> <p>メッセージ 混み入った問題をきちんと整理して考えていけるような基礎力を身につけましょう。</p> <p>教官連絡先 nagasaki@yupu.jp</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	電気2年	単位	2単位	曜時間	月曜日3・4時限
担当教官	只友一行				
<p>授業概要 我々は今まで育った家庭環境や社会生活の中で通常の倫理(常識)あるいはモラルは身に付けている。ここでは、社会における企業などの組織の持つ倫理および職業人としての倫理の基本を学習する。</p> <p>授業一般目標 複雑で激動している社会における組織とそこで働くエンジニア・科学者の倫理を対象にしているので、単純に目標が設定できるものではない。事例研究を通して考え、習得して頂きたい。強いて一般化すると以下のように例示できる。(1)自分で責任を持って行動できる誇り高いエンジニア・科学者になること。(2)法令違反は絶対に許さない。(3)常に正直であること。</p> <p>成績評価方法(総合) 課題に対するレポートを各テーマに対して提出する。レポートと授業中の発表により評価する。特に出席を取らないが、発表に対する評価の中で間接的に出席が評価されることがある。</p> <p>教科書・参考書 教科書：技術者の倫理, 杉本泰治他, 丸善株式会社, 2002年</p> <p>メッセージ 眠くならない熱気に溢れる倫理の授業にします。レポートは簡潔に丁寧に自分で考えて作成しましょう。</p> <p>教官連絡先 tadatomo@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	機械2年	単位	2単位	曜時間	月曜日5・6時限
担当教官	宮本政英				
<p>授業概要 工学部を卒業する人の多くは、科学技術を利用する業務に携わる技術者になります。授業では、技術者が直面する倫理的なジレンマについて、その考え方や解決方法を、具体的な事例を取り上げ疑似体験することにより学びます。このような、主に、事例を用いた学習を通じて、技術者のプロフェッショナルとしての行動規範と責任について学びます。</p> <p>授業一般目標 技術が社会や自然に及ぼす効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解を深める。倫理的な想像力および分析力の必要性を認識し、具体的事例の分析・討論を通じて道徳的な自律性を高める。</p> <p>成績評価方法(総合) 15週目に行う期末試験の成績を40%に評価する。毎週の授業で行う、小テスト、検討課題の回答などの成績を60%に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：第三版 大学講義 技術者の倫理入門, 杉本泰治・高城重厚, 丸善株式会社, 2007年</p>					

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	知能2年	単位	2単位	曜時限	火曜日7・8時限
担当教官	中村秀明				

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	応化3年	単位	2単位	曜時限	水曜日7・8時限
担当教官	山本修一、佐伯隆、横田守久				
<p>授業概要 産業あるいは組織が社会と係わりを持つときに必要となる倫理について学習する。</p> <p>授業一般目標 産業あるいは組織が社会と係わりを持つときに必要となる倫理について、既存の事例を解説を通して実際の技術者の持つべき倫理について理解する。情報セキュリティ、知的財産権などさまざまな局面についても学習する。</p> <p>成績評価方法(総合) 講義には毎回出席し、毎回レポート提出が原則である。</p> <p>メッセージ 他の専門科目とは異なる内容ですが、卒業後社会で働くときには必ず考えなければならない課題が多いので聴講してよく考えてください。</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	感性3年	単位	2単位	曜時限	木曜日 3・4時限
担当教官	内田文雄				
<p>授業概要 技術とは何か？技術者の役割と責任、技術者の倫理、等について考える。</p> <p>授業一般目標 技術者として社会的になう役割や、責任、知的財産権、などについての基礎的な知識を得る。</p> <p>成績評価方法(総合) 各講義ごとに課したレポートなどを総合して評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：建築倫理用教材, 日本建築学会, 丸善, 2003年</p> <p>メッセージ 技術の可能性と、それに関わる技術者として、社会に対して担う責任と倫理観を養うこと。</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	機材3年	単位	2単位	曜時限	金曜日 7・8時限
担当教官	笠谷和男、溝田忠人ほか 3名				
<p>授業概要 機能材料の開発に必須の産業倫理について、主に事故例を学びその原因と技術者の役割を考える。</p> <p>授業一般目標 1. 倫理の歴史の変遷を学ぶ。 2. 産業倫理の考え方を理解し科学技術者の倫理、科学技術と社会との関わり合いを知る。 3. 事故例を学ぶことにより、事故を防ぐためにどのような行動が要請されるかを知る。 4. 工学の哲学を考える力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、宿題を総合的に評価する。出席が所定の回数に満たない者には単位を認めない。期末試験は行わない予定。</p> <p>教科書・参考書 教科書：事故から学ぶ 技術者倫理, 中村 昌允, 工業調査会, 2005年; 適宜資料を配布/ 参考書：知って得する環境・エネルギー・生命の科学, 土屋晋, 講談社サイエンティフィック, 2003年</p> <p>メッセージ 21世紀になっても日本では事故や不祥事が後を絶たない。その理由を一緒に考えたい。理系科目と異なり正解は一つではない。良く知り、良く考え、自分の意見を持てるようになって欲しい。積極的な授業参加を望む。</p>					

開設科目	社会科学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	山下訓				
<p>授業概要 現代社会の仕組みと現状・問題点を、環境問題、経済活動、政治などについて、資料集の多くの材料をもとに考えます。入門的な講義であり、一つ一つを深く掘り下げることはできませんが、社会において何が正しいのか、正しいこととされていることが時代と共に変化するという点を皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。様々な問題を提起していきたいと思ひます。</p> <p>授業一般目標 社会科学に関連する諸問題に広範囲にふれ、今後皆さんが社会の問題を考えていくための基礎知識を得ることがねらいです。単に善悪だけで判断するのではなく、意味があるか無いのかという側面からも問題を考察することも大事です。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席とレポートです。問題意識が大事ですから、全部出席してもレポートの出来が悪いときには落ちることもあります。新書を読んで感想文を書くなどの課題もあります。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『(テーマ学習) 資料集 現代社会 2008』<一橋出版> 『(豊富な資料と詳しい解説) 倫理資料集 改訂版』<数研出版> 上記2冊とも最新版</p> <p>メッセージ 社会科学に興味を学生諸君にもって貰いたいので、受講制限はしません。しかし、学生諸君を評価しなければいけません。多くのレポートだけでなく、出席代わりの調べ物を提出してもらって初めて評価の対象となります。したがって、大量のレポート・調べ物を提出しても不可になることも充分覚悟の上で履修してください。</p> <p>教官連絡先 yamasita@yamaguchi-u.ac.jp 内線 5 5 1 8 参加者と相談して決める</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	吉田香奈				
<p>授業概要 今日、私たちは様々な機会に様々な場所で学習を行っている。小学校・中学校では9年間の義務教育を受け、義務教育終了後には高等学校、専修学校、大学・短大等で学ぶことができる。また、図書館、博物館、公民館、体育施設といった社会教育施設が整備され、子どもから大人まで誰でも利用することができる。このように私たちにとって教育は身近な存在であるが、皆さんはこれまで教育そのものについてじっくりと考えたことがあるだろうか？本授業では、教育学を初めて学ぶ学生のための「入門」授業として教育の各領域について概説する。</p> <p>授業一般目標 (1) 教育の各領域の基本的事項を理解する。(2) 教育問題について関心を持ち、教育のあり方について主体的に考えることができる</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. コメントカードを毎回提出, 2. 最終日に試験を実施。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『教育の原理 - 教育学入門』, 田代直人・佐々木司編, ミネルヴァ書房, 2006年; 教科書は必ず購入すること。授業の初めに教室で配布予定。/ 参考書：参考図書は授業中に紹介する</p> <p>メッセージ 「教育」について考えてみたい人の受講を歓迎します。</p> <p>教官連絡先 大学教育センター吉田研究室(共通教育棟3階) Email: ykana@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー火曜日 13:00~16:00</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	小川 勤				
<p>授業概要 私たちは大学に入学するまでに小学校から高校まで最低 12 年間に渡って学校教育の恩恵を受けてきました。しかし、教育が人間の発達に果たす役割や教育のやり方、学校のしくみ、教育委員会のしくみ、教育課程の編成方法、教師の仕事などについて意外に知らないことが多いことに気がつきます。学校を取り巻く状況は今まさに混沌の時を向かえています。高校における必修科目の未履修問題や ADHD やアスペルガーなどさまざまな学習支援が必要な生徒の増加、少子化の中の大学入学試験の激化などの課題が山積みです。そこで本授業では、教育を初めて学ぶ学生のための「入門」授業として教育の各領域や教育の今日的な課題について、授業担当者の教員や指導主事の実践経験を交えて受講生にわかりやすく具体的に概説する。</p> <p>授業一般目標 (1) 教育の各領域の基本的事項を理解する。(2) 今日的な教育問題について関心を持ち、教育のあり方について主体的に考え、自分の意見を論理的に整理し、まとめることができる</p> <p>教科書・参考書 教科書：『教育の原理 - 教育学入門』、田代直人・佐々木司編、ミネルヴァ書房、2006 年；教科書は必ず購入すること。授業の初回到教室で販売予定。/ 参考書：参考図書は授業中に随時紹介する。授業中に使用するプレゼン用データは以下の研究室 H P からダウンロード可能（学内限定）研究室 痢濂宗 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/ogawa-t/</p> <p>メッセージ 「教育」というものに少しでも関心のある人は積極的に履修してみてください。なお、本授業は教職科目ではありませんが、教職に関心のある人の履修を大いに歓迎します。教職科目の「入門編」の位置づけになります。</p> <p>教官連絡先 小川研究室（本部棟 3 階）オフィスアワー 金曜日 午後 2 時～午後 4 時 メールアドレス:ogawa-t@yamaguchi-u.ac.jp 研究室 痢濂宗 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/ogawa-t/</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	杉山緑、友定啓子、田中理絵				
<p>授業概要 幼児期から青年期までの子どもの発達を中心に、各発達段階の特徴や課題、発達と保育・教育の関係、今日的課題などについて保育・学校現場の事例等も交えながら概略する。</p> <p>授業一般目標 子どもの発達段階について基本的理解を深めるとともに、発達を促す諸要因（保育・教育や環境など）今日的課題などについても理解する。</p> <p>成績評価方法（総合） 学期末の試験（論述形式）によって行う。担当者 3 名がそれぞれ出題し、その中から 1（または 2）問を選択する。なお、試験に際してはノートの持込を可とする。</p> <p>メッセージ 欠席が 4 回を越えた場合には学期末の受験資格を失うことになります。</p> <p>教官連絡先 担当者代表：杉山 研究室：教育学部 3 F 連絡先：083-933-5452 ryosugi@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：火曜日 10:00～12:00</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	長畑実				
<p>授業概要 深刻化する地球環境問題をはじめ、国・地方自治体の財政危機、総人口の減少、超高齢社会、格差社会の到来、凶悪・異常な犯罪の多発、地域コミュニティの衰退など世界と地域をめぐる社会経済環境は激変し、時代と社会は歴史的な転換点に直面している。こうした中、わが国では地方分権改革に向けた行政改革が急速に進められており、住民自治による地域の自立、地域の持続的発展を実現するための住民力の構築・強化が喫緊の課題となっている。本講義では以上の時代認識に基づき、社会教育・生涯学習が住民力の強化と住民を主体とした地域づくり(まちづくり)に果たす役割を明らかにするとともに、全国の先進事例を取り上げ、法制度と行政、住民自治、公民館・博物館等社会教育施設、学校との関連などの視点から、今後の社会教育・生涯学習の課題について学習する。</p> <p>授業一般目標 地方分権時代における地域内分権の課題、社会教育・生涯学習のまちづくりに果たす役割、生涯学習とまちづくりの理論と実践に関する基本的知識を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・出席状況、講義への参加態度、授業内課題、最終レポートを総合して行う。・最終レポート60%、出席・態度・発表・授業内課題40%</p> <p>教科書・参考書 教科書：使用しない。必要に応じてプリント等を配付する。/ 参考書：授業の中で適宜紹介する。</p> <p>メッセージ (1)前半は講義を中心とするが、後半は受講生による発表と討議を通して講義内容の理解を深める。また、毎回講義内容についての感想・意見・質問を記入するコミュニケーション・カードの提出を求める。(2)公民館、博物館等の社会教育施設と積極的に関わろうとする意欲と姿勢を求める。履修を希望する学生は前期期間中の週末、夏休み等を利用してできるだけ多くの社会教育施設を見学しておくこと。講義内で各自テーマを決め、発表を求める。(3)私語をするものは退場させる。</p>					

開設科目	心理学(臨床心理学)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	名島潤慈				
<p>授業概要 臨床心理学の基本的な事柄について講義する。</p> <p>授業一般目標 臨床心理学に関する講義を通して、人間の心の仕組みや不応の機制、心理療法などを受講者が理解できるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験、期末試験、出席などから総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：学校教育相談心理学, 中山 巖, 北大路書房, 2001 年</p> <p>教官連絡先 Email:najima@yamaguchi-u.ac.jp 電話：083-933-5465</p>					

開設科目	心理学(自分自身を再発見する)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	木谷秀勝				
<p>授業概要 心理学の講義では、日常の人間行動への心理学的理解を通して、人間行動の背景にある心の世界について、科学的に解明することを目的とする。</p> <p>授業一般目標 心理学を通して、自分自身や他者、あるいはさまざまな社会現象に対する多面的な視点や発想の柔軟性を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 評価は、出席点、レポート、さらに平素の講義態度で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：生活にいかす心理学 Ver.2, 古城和子編著, ナカニシヤ出版, 1999 年 / 参考書：必要な資料は適宜紹介する</p>					

開設科目	心理学(行動分析の基礎と応用)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	松岡勝彦				
<p>授業概要 主として、問題解決志向の心理学(行動分析学)の観点から、人間の行動原理について理解し、問題を解決・改善するための基本的な方法論や留意点等について習得する。</p> <p>授業一般目標 (1)心理学(行動分析学)の概要について習得する。(2)日常行動の理解と問題の解決・改善方法について習得する。(3)心理学の社会貢献(災害時のサポート等)について知る。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験が中心となりますが、中間テストも実施する予定です。</p> <p>メッセージ 人数制限を行いますので、初回には必ず出席してください(100名未満とする)。原則として初回に出席した人のみ履修を認めます。日常場面における私たちの行動について理解を深めるため、受講生同士によるグループ討論を積極的に行います。</p> <p>教官連絡先 kmatsu@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	心理学(心と社会の心理学)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	小杉考司				
<p>授業概要 心とはなにか、生きているとはどういうことか、集団とはなにか、社会とはなにかを原理的に解き明かしてゆく試み 授業一般目標 “社会的な存在”という観点から人・集団・社会を見ることができるようになる。 成績評価方法(総合) レポートによる 教科書・参考書 教科書：ソシオン理論入門, 小杉他, 北大路書房, 2006年 教官連絡先 小杉研究室 kosugi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	心理学(心のとらえ方)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2単位	曜時限	木曜日 9・10時限
担当教官	田邊敏明				
<p>授業概要 本講義は、心理学の概念や理論がどのような見方から生まれたかを心のとらえ方(比喩)から解説する。授業では、知覚、認知、学習などの領域ごとに概念や理論を説明していくが、そのなかで、各概念および各理論がどのようなとらえ方(比喩)から成り立っているかについても触れる。心理学の歴史を眺めると、心を機械に見立てたり、有機体に見立てることが行われてきた。最近では状況や文脈からの見方もある。心理学の概念は仮説構成体と呼ばれ、他の学問から借りてきた見方で説明されることが多い。さらにそれらの概念や理論はその時代に流行した見方を反映している。理論をただ暗記するのではなく、その理論が導かれた背景まで気づきたい。</p> <p>授業一般目標 心理学の概念を、ただ理解するだけでなく、それが導かれてきた背景まで気づけるような授業にしたい。その方法の一つが心理学概念がどのようなとらえ方(比喩)から成り立っているかを明らかにすることである。受講生には、心の見方にもその背景があることに気づいてもらいたい。</p> <p>成績評価方法(総合) 基本的には期末試験を重視するが、途中で行う課題の提出も重要な評価対象となる。さらに、心理学の理論や概念を理解するのはもちろんのこと、それらがどのような基本的とらえ方から成り立っているかについての興味関心や、自分なりに理解していく姿勢が見られるかどうかにも評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：比喩から学ぶ心理学：心理学理論の新しい見方, 田邊敏明著, 北大路書房, 2000年 メッセージ 受講希望者は最初の授業に必ず出席してください。その出席で受講許可を終了します。 教官連絡先 ttanabe@yamaguchi-u.ac.jp, オフィスアワー 火曜日 18:00~19:00</p>					

開設科目	発達心理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(生資除く)	単位	2単位	曜時限	月曜日 9・10時限
担当教官	清 俊夫				
<p>授業概要 年齢の変化に伴う心や行動の変化を発達というが、従来は、出生から青年期が終わるまでの上昇方向への変化を、主として発達とみなしてきた。しかしながら、高齢化社会の到来と、急激な社会変動に伴い、人間の一生の変化を発達として捉える生涯発達心理学の考え方が優勢となってきた。この生涯発達の段階を、この授業では10段階に区別し、それぞれの発達現象を記述するとともに、発達の危機とその克服をもあわせて理解することを目指す。</p> <p>授業一般目標 乳児期から幼児期、児童期、青年期、成人期を経て、老年期に至りまでの発達現象を理解するとともに、各段階での危機とその克服に関する基本的考え方を理解し、援助を必要とする人の理解と援助のための基礎を作る。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験50%、小テスト40%、出席10%(3回以上欠席したものは0点、遅刻1回につき-1点)。出席を確認してから、断りなく、教室を抜け出したものは、1回であっても、出席点はなくなる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：パーソナリティ発達論 - 生涯発達と心の危機管理 -、岡堂哲雄、金子書房、2000年 / 参考書：”Life-Span Development, 6th ed.”, J. W. Santrock, McGraw-Hill, 1997年</p> <p>メッセージ 発達心理学が必修の者を除き、前期に心理学の単位を修得済みの者以外は、この授業を履修できない。必修のものも、前期に心理学を履修し、期末試験を受けていなければ、この授業を履修できない。</p> <p>教官連絡先 seitoshi-ygc@umin.ac.jp office phone:0836-22-2802 office hours:月曜日から金曜日まで随時(授業、会議等の時間を除く)</p>					

開設科目	医療心理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護・検査3年	単位	2単位	曜時限	金曜日 3・4時限
担当教官	山田治, 清俊夫				
<p>授業概要 現在の医療は、医の倫理、患者の権利、インフォームドコンセント(説明と同意)に始まり、臓器移植、遺伝子治療、リハビリテーション、終末期医療、脳死、まで幅広い領域で多くの問題を抱えている。本講義では、これらの基盤となる患者に生じる心理的問題を考察し、患者理解・支援に必要なコミュニケーションの取り方を明らかにする。具体的には、傾聴技法をA.E.Iveyらのマイクロカウンセリング技法を講義で説明しながら演習を行う。</p> <p>授業一般目標 医療従事者として患者との関わりを持つためには、まず、自分の性格を知る必要がある。自分の性格を理解した上で、患者とのコミュニケーション上どのような関わり方が有効であるかを考察する。とくに病気で苦しむ患者の気持ちや患者を取りまく環境を知るためには、傾聴技法がとくに有効であることを理解する。傾聴技法を中心とした「基本的な関わり技法」をビデオや演習を通じて理解・体得することを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)授業中に小テストを2回行う。(2)「行動変容をおこすためにはどうすればよいか?」について用紙5枚以上で作成し、提出する。(3)試験を期末の1回実施する。以上を、下記の観点、割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には、単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：マイクロカウンセリング 基本的傾聴技法、福原真知子 訳、丸善株式会社、1999年; 演習に関しては教科書を事前に必ず読んでおくこと。 / 参考書：マイクロカウンセリング, Allen E. Ivey, 福原真知子、楳山喜代子他訳、川島書店、1985年</p> <p>メッセージ 質問は積極的に発言して下さい。</p> <p>教官連絡先 居るときはいつでもどうぞ、入室時には専攻と氏名を名乗って下さい。</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	火曜日 1・2 時限
担当教官	梶原健佑				
<p>授業概要 日本国憲法についての基本的な知識を講義する。「憲法」という法は、誰に宛てられた法であるか、何を定めている法なのかといった点を、近代立憲主義思想を手がかりに検討する。具体的事例を参考にして、日本国憲法と現実社会との関わりについて扱うことになる。</p> <p>授業一般目標 憲法の基礎的概念の意味を理解し、日々生起する政治・社会のニュースを(憲)法的にみることができるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験の成績のみで評価する。ただし、受講態度を減点要素として考慮することもありうるので注意されたい。</p> <p>教科書・参考書 教科書：これでわかる!? 憲法〔第2版〕, 阪本昌成(編), 有信堂, 2001年; 必要に応じてレジュメ等を配布することがある。</p> <p>メッセージ 日常の政治・社会のニュースに関心のある学生の履修を望みます。高校で学ぶ憲法の知識を一步超えた「憲法学」にふれてください。</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	木曜日 7・8 時限
担当教官	川野祐司				
<p>授業概要 2005年秋の衆議院選挙圧勝の勢に乗って、自由民主党は日本国憲法の改正試案を発表した。もちろん、こうした出来事は今に始まったことではなく、日本国憲法は常に政権与党の改憲圧力にさらされ続けてきた、という異様な過去をもつ。もちろん、憲法の基本性格が政権担当者を法の下に拘束する、というものである以上、権力者にとっては「めの上のこぶ」に等しい存在であることは古今東西を問わない。ただ、そこには一つに政治・社会風土における日本的な特質が検出され、もう一つに戦後史の影が大きく反映されている。この講義では、昨年発表された自民党憲法改正試案を出発点として、その基本性格を分析する中から、日本国憲法の本来もつべき価値を抽出し、さらに過去へ遡って憲法改正論の推移をたどろうとするものである。</p> <p>授業一般目標 上述したとおり、憲法は生きた政治を相手にする法であるとともに、きわめて原理的な(哲学的とさえいえる)考察を必要とする法である。したがって、講義は多面的な性格をもたざるをえないが、「憲法改正論」を手がかりとして、その全貌に及ぼうとするものである。したがって、間違っても中学・高校の延長上にはない、と頭を切り替えて臨んでほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 私の講義では、基本的に定期試験での成績をほぼ100%として評価する。講義外でのレポートなども加味することはありうるが、夏期休業前に講義を全部終える、との制度「改変」のため、一冊分厚い書物を読んで、長いレポートをみっちり書いてもらう、という手法は事実上不可能となった(それに拍車をかけているのが「ハッピー・マンデー」とやらである。これも「法律上の制度」である)。また、実社会では、おおむね「結果すべての一発勝負」が「評価」であることや、「多面的な観点からの評価」のごときは「学校」の中での甘い言い訳に過ぎないことも十分承知しておかれない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない/参考書：講義の展開に応じて指示する</p> <p>教官連絡先 オフィス・アワーは設定していないが、種々の理由から、在室は不定時なので、事前に e-mail でアポイントメントを取っていただきたい。</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工(電気・知能・感性・循環)	単位	2単位	曜時限	木曜日 9・10時限
担当教官	上杉信敬				
<p>授業概要 わが国の最高法規である憲法について考察する。その際、国民が主権者であることを踏まえて、国民主権、三権分立、人権保障、平和主義などについてみていく。</p> <p>授業一般目標 現行日本国憲法の内容について基本的なことを理解すること。</p> <p>教科書・参考書 教科書：開講時に指示する。/ 参考書：開講時に指示する。</p> <p>メッセージ 憲法が規定する重要原則—国民主権、三権分立、人権保障、平和主義、などについて考えよう。</p> <p>教官連絡先 内線 5 5 8 8</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	実践、情報、健康、総文	単位	2単位	曜時限	金曜日 5・6時限
担当教官	石龍潭				
<p>授業概要 本講義では、近代立憲主義の基本原則及び日本国憲法の保障する基本的人権の内容を中心に説明していく予定である。日本国憲法に対して、学生諸君には主体的な認識と解釈を形成してもらいたい、その素材を幅広く、具体的に提供したいと考えている。</p> <p>授業一般目標 日常生活のいたるところに憲法問題が潜んでいることを知り、そうした問題に対して憲法の基本的知識を活用して一通りの説明が出来るようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 筆記試験による。</p> <p>教科書・参考書 教科書：開講時に指示する。/ 参考書：開講時に指示する。</p> <p>メッセージ 日頃から新聞の政治欄・国際欄に興味を持ってもらいたい。</p> <p>教官連絡先 質問等のある学生は、気軽に私の研究室に来てください。(研究室：経済学部 A 棟 408 室)</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	理	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	入江祥子				
<p>授業概要 日本国憲法の基本事項(基本原理、歴史、人権)を中心に、ニュースや判例をまじえて講義する。</p> <p>授業一般目標 (1)主権者に必要な素養を身につける。(2)憲法改正問題を考えるにあたっての必要知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)毎回授業の最後に小テストを実施する。(2)期末試験を実施する。(3)受講態度も考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 毎回レジュメを配布する。欠席回のレジュメは再配布しないので、各自で対処すること。</p> <p>メッセージ 日本国憲法について問題意識をもった学生の受講を望む。</p> <p>教官連絡先 質問等は授業時間の前後にお願いします。</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	経・医・農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	入江祥子				
<p>授業概要 日本国憲法の基本事項(基本原理、歴史、人権)を中心に、ニュースや判例を交えて講義する。</p> <p>授業一般目標 (1)主権者に必要な素養を身につける。(2)憲法改正問題を考えるにあたっての必要知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)毎回授業の最後に小テストを実施する。(2)期末試験を実施する。(3)授業態度も考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 毎回レジュメを配布する。欠席回のレジュメは再配布しないので、各自で対処すること。</p> <p>メッセージ 日本国憲法について問題意識をもった学生の受講を望む。</p> <p>教官連絡先 質問等は授業時間の前後にお願いします。</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	木曜日 7・8時限
担当教官	川野祐司				
<p>授業概要 2005年秋の衆議院選挙圧勝の勢に乗って、自由民主党は日本国憲法の改正試案を発表した。もちろん、こうした出来事は今に始まったことではなく、日本国憲法は常に政権与党の改憲圧力にさらされ続けてきた、という異様な過去をもつ。もちろん、憲法の基本性格が政権担当者を法の下に拘束する、というものである以上、権力者にとっては「めの上のこぶ」に等しい存在であることは古今東西を問わない。ただ、そこには一つに政治・社会風土における日本的な特質が検出され、もう一つに戦後史の影が大きく反映されている。この講義では、昨年発表された自民党憲法改正試案を出発点として、その基本性格を分析する中から、日本国憲法の本来もつべき価値を抽出し、さらに過去へ遡って憲法改正論の推移をたどろうとするものである。</p> <p>授業一般目標 上述したとおり、憲法は生きた政治を相手にする法であるとともに、きわめて原理的な(哲学的とさえいえる)考察を必要とする法である。したがって、講義は多面的な性格をもたざるをえないが、「憲法改正論」を手がかりとして、その全貌に及ぼうとするものである。したがって、間違っても中学・高校の延長上にはない、と頭を切り替えて臨んでほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 私の講義では、基本的に定期試験での成績をほぼ100%として評価する。講義外でのレポートなども加味することはありうるが、夏期休業前に講義を全部終える、との制度「改変」のため、一冊分厚い書物を読んで、長いレポートをみっちり書いてもらう、という手法は事実上不可能となった(それに拍車をかけているのが「ハッピー・マンデー」とやらである。これも「法律上の制度」である)。また、実社会では、おおむね「結果すべての一発勝負」が「評価」であることや、「多面的な観点からの評価」のときは「学校」の中の甘い言い訳に過ぎないことも十分承知しておかれない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない/参考書：講義の展開に応じて指示する</p> <p>教官連絡先 オフィス・アワーは設定していないが、種々の理由から、在室は不定時なので、事前にe-mailでアポイントメントを取っていただきたい。</p>					

開設科目	比較教育概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2単位	曜時限	月曜日 5・6時限
担当教官	小川勤				
<p>授業概要 様々な国の教育制度や学校制度を知ることを通して、それぞれの国の教育制度の特徴について理解を深める。これと同時に日本の教育をより良いものにしていくためにはどうしたらよいかを考える。また、世界の教育を比較する意義や目的を理解すると共に、学力向上や教育改革の手法やその成果についても考察する。</p> <p>授業一般目標 世界の教育制度や学校制度を理解するとともに、教育が経済発展や社会開発に対して果たす役割について考察することができる。また、世界の教育制度との比較研究を通して、日本の教育を再評価し、どのようにしたら日本の教育を改善していくについて考察する力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) テストの成績、出席状況、宿題レポートの提出状況、議論への参加度合いをもとに総合的に判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に教科書は指定しないが、授業の中で参考書や資料等を示し、授業を進めていく。/参考書：世界の学校、二宮皓、学事出版、2006年；授業の中で指示する。授業に関連した資料をその都度配布する。授業終了後に、授業で使用したプレゼンを私の研究室の痢濠坪坊惱櫻垢襪里罵 儂垢襪海函 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~ogawa-t/</p> <p>メッセージ ・毎回授業終了後に、授業に対する感想や質問を授業評価シート(ESシート)に記入してもらう。・必要に応じて、留学生に授業に参加してもらい、出身国の教育事情などを話してもらう機会を設けることもある。</p> <p>教官連絡先 研究室(本部棟3階) オフィスアワー 金曜日 午後2時~午後4時 メールアドレス:ogawa-t@yamaguchi-u.ac.jp 研究室痢濠宗 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~ogawa-t/</p> <p>備考 平成19年度「世界の教育と学校」の名称変更</p>					

開設科目	大学入試論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	富永倫彦				
<p>授業概要 いまや、大学入試は若者たちの進路決定に重要な意味を有するばかりか、初等教育段階に至るまで教育とそれを取り巻く社会に及ぼす影響は計り知れず大きい。本授業では、今日の大学入試が抱える諸課題について概説し、その解決策を考える。レポート、プレゼンテーション、ディベートなども取り入れた学生参加型の授業形態とする。</p> <p>授業一般目標 受講者にとって身近な大学入試を事例として、様々な社会現象を分析し課題探求能力や問題解決能力、さらには企画力、表現力をも養成する。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) コメントカードを毎回提出 (40%) (2) レポート提出 (30%) (3) ディベート・プレゼンテーション等 (30%) で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：参考資料は授業内でプリント配付する。 / 参考書：参考資料は授業内でプリント配付する。</p> <p>メッセージ 本授業は「大学入試」を通して身近な話題を議論したり考えたりするものです。自己表現が苦手な人も大歓迎。AO 学生も大歓迎です。</p> <p>教官連絡先 アドミッションセンター長室 (共通教育棟 2 階) E-mail:tom21@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー火曜日 13:00 ~ 16:00</p>					

開設科目	マーケティング入門	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	藤田健				
<p>授業概要 新製品開発・広告製作・価格決定・流通管理。これらはすべて、企業におけるマーケティング活動です。この授業では、企業におけるマーケティングの考え方やマネジメント手法を平易に解説します。マーケティングをはじめて学んでみたい人、2 年次以降のゼミでマーケティングを専攻したいと考えている人に適した基礎的な授業です。</p> <p>授業一般目標 1. マーケティングの基礎的な概念を理解する 2. 現実のマーケティング行動を分析する</p> <p>成績評価方法 (総合) レポート (30%) , 期末試験 (70%)</p> <p>教科書・参考書 教科書：1 からのマーケティング [第 2 版], 廣田章光・石井淳蔵編著, 碩学舎, 2004 年 / 参考書：ゼミナールマーケティング入門, 石井淳蔵、嶋口充輝、栗木契、余田拓郎著, 日本経済新聞社, 2004 年</p> <p>メッセージ 授業中の私語は厳禁です。</p> <p>教官連絡先 初回授業時に公表する。</p>					

開設科目	会計の話	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	中田範夫				
<p>授業概要 会計領域のテーマを中心に広く経営学にわたる話題を講義する。</p> <p>授業一般目標 会計や経営に関する話題にはどのようなものがあるのかを明らかにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業の中でその日の授業について何回かのレポートを書いてもらう。出席とレポート、並びに試験によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：テキストは使わない。レジュメを配布する。</p>					

開設科目	性をめぐる今日の状況	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	山本真弓				
<p>授業概要 「性」は誰もが自分の問題として考えることのできるテーマであり、また、時代により、文化によりその捉えかたが異なるものでもあります。この講義は、「性」をテーマに同じ題材の映画を鑑賞し、議論を通じて互いの考え方の違いを認識・理解するとともに、学生相互を一定の基準のもとで互いに評価するという授業です。人間社会には数字による評価が馴染まないものがあります。人文社会科学系の学問の多くはそのような分野です。「性」にまつわる価値観は地域、時代によって実に多様であり、そこに「正しさ」を見出すことはできません。</p> <p>授業一般目標 この授業はいわゆる講義を中心とするものではありません。性に関連する分野で扱われている諸概念については、最低限紹介するにとどめ、むしろ、学生たちが性について等身大に考えること、そしてそれを文章にすること、さらに、他の学生の文章を読んで異なる意見を理解すること、そのうえで、自らの意見を再考すること、を目標としています。さらに、学生たちが相互評価をするために「評価とは、なにか」について考え、その経験を通して、多様な価値や文化に基づく事象をどのように捉え、自らと異なる他者(例えば、性的他者)を自分のなかでどう位置づけるかを学ぶことも目指しています。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、学生同士の相互評価と期末試験の結果の総合</p> <p>メッセージ 相互評価方式を取り入れた学生相互の討論を行なう。欠席は基本的に認めない。やむをえない理由があるとき(忌引き等)は、事前もしくは病気の場合は直後に書面で欠席届けを提出のこと。</p> <p>教官連絡先 mayumi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	経営理論と応用	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	有村貞則				

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	個人の財務設計	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	城下賢吾				

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	世界経済入門	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	尹春志				
<p>授業概要 現在の世界経済を知る上で特徴的なトピックスを取り上げ、基礎的な内容を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 現代世界経済について薄く幅広い知識を見につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験で判断する。</p>					

系列 一般教養教育

分野 人間と社会

科目類型 総説

開設科目	契約と不法行為	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	油納健一				
<p>授業概要 民法に規定のある、契約法と不法行為法を講義する。</p> <p>授業一般目標 民法の基礎知識と法的に考える能力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席と定期試験で評価する。定期試験は、事例式論述問題によって行ない、出席していなければ合格できない内容(友達から借りたノートを見て勉強しても合格できない内容)にする。それゆえ、毎回講義に出席し法学センスを養っておかなければ、合格は難しい。病気、家庭の事情、就職活動等で遅刻・早退・欠席した者に対して、救済することはない。なお、欠席とみなされたにもかかわらず出席を認めるようにしつこく主張したり、雑談・筆談して講義を妨害するなど、教員の指示に従わない者は不合格とする。試験の持込は認めない。また、試験の範囲は、講義の中で話したことすべて(雑談を除く)とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書を購入する必要がある。これらは最初の講義で提示する。</p> <p>メッセージ 民法の勉強は難しいので、まじめに勉強しないと単位は取れません。</p>					

開設科目	大学論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	吉田香奈				
<p>授業概要 現代の日本では、大学を取り巻く政治的、社会的、経済的、国際的な状況がかつてないほどに大きく変動している。大学はもはや「知の聖域」として存続することが難しく、社会の変化とともに大きく変わらざるを得ない状況にある。本授業では、日々私たちが学習活動や課外活動を行う「大学」という社会組織について概説し、各領域の課題についてグループディスカッションを行う。授業の最後にグループ発表を行う。なお、授業で取り上げる内容は次のとおりである。1) 一年次教育、2) 共通教育とカリキュラム、3) 授業評価、4) 学生生活と学生支援</p> <p>授業一般目標 「大学」という組織に関する基本的な事項について理解するとともに、大学そのものを様々な角度から考察し、問題点や改善策の検討を行うことを通じて課題探求能力や問題解決能力を向上させる。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) コメントカードを毎回提出 (20%)、(2) グループディスカッション・作業への貢献 (20%)、(3) グループ発表 (30%)、(4) グループ発表のまとめをレポートとして提出 (30%)。なお、出席が所定の回数に満たない場合は単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：参考資料は授業内で配布します。/ 参考書：『高等教育概論 - 大学の基礎を学ぶ -』、有本章・羽田貴史・山野井敦徳編著、ミネルヴァ書房、2005 年；『大学教育学』、京都大学高等教育研究開発推進センター編、培風館、2003 年；『岐路に立つ大学』、館昭・岩永雅也、放送大学教育振興会、2004 年</p> <p>メッセージ 本授業は異なる学部の学生がグループになって「大学」という身近な話題をディスカッションするところに特徴があります。ディスカッションの苦手な人でも参加できるように工夫されています。</p> <p>教官連絡先 大学教育センター吉田研究室(共通教育棟 3 階) Email: ykana@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー火曜日 13:00-16:00</p>					

開設科目	数学の考え方	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	人・教 (一部除く)・経	単位	1 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	北本卓也				
<p>授業概要 数学の基礎を演習を交えながら学ぶ。</p> <p>授業一般目標 命題論理の否定を作れるようになること。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 (30%)、授業内課題 (20%)、試験 (50%) により行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント等を配布する。/ 参考書：離散数学, Seymour Lipschutz, オーム社, 1995 年</p> <p>メッセージ 再試験は実施しませんので、きちんと試験の準備をしてください。</p>					

系列 一般教養教育

分野 自然科学

科目類型 総説

開設科目	地球科学の考え方	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	人・教・経	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	永尾隆志				
<p>授業概要 地球で起きているいくつかの現象を例に，地球科学の考え方を学び，さらに地球の将来について考える。</p> <p>授業一般目標 地球で起こっている現象について，興味をもち，説明できるような基礎的な力を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合）（1）授業の内容に関するレポートの提出を求め，それを評価する（2）試験。以上を下記の観点・割合で評価する。なお，出席が所定の回数に満たないものには単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない。必要にうじてプリントを配布する。 / 参考書：授業の中で紹介する。</p> <p>教官連絡先 理学部 340 号室，e-mail: tnagao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般教養教育

分野 自然科学

科目類型 総説

開設科目	物理学の考え方	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	人・教・経	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	田澤輝武				
<p>授業概要 近代物理学の模範である力学の確立に至る過程を例として，物理学の考え方や物理学の方法について説明する。</p> <p>授業一般目標 物理学は，我々の生活の隅々まで浸透している。力学の発展の歴史を例にとり，その物理学の考え方に少しでも慣れ身に付けることを目指します。</p> <p>成績評価方法（総合） 最終回に課すレポートによって評価します。6 回以上の出席とレポートの提出が単位取得のための必要条件です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：市販の教科書は用いません。毎回プリントを配付します。 / 参考書：授業の時に示します。</p> <p>メッセージ 「継続は力なり」というように授業には必ず出席すること。</p> <p>教官連絡先 理学部 217 号室</p>					

開設科目	数学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	経 (1-200)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	柏木芳美				
<p>授業概要 ミクロ経済学の理解のために必要な基本的な数学の事柄と 1 変数関数の微分について概説する。ミクロ経済学では「限界」や MR, MC などという言葉が頻繁に出てくる。これは微分を意味していて、微分の知識無くしてはミクロ経済学の本質的な理解は困難である。また、公務員試験でもこの講義程度の微分の知識はなくてはならない。関連する公務員試験の問題もある程度解説する。予備知識としては数学 II あるいは、AO 入試及び推薦入試合格者に配られた入学前指導が理解されていれば十分である。一番大切なのはやる気とその持続である。</p> <p>授業一般目標 微分は関数を調べる強力な道具である。その基本をしっかりと身につけて、ある程度の計算ができてミクロ経済学に応用できることがこの授業の目標である。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験と期末試験の平均が 60 点以上が合格。演習問題には詳しい解説を付けてあるので毎回出す宿題をしっかりと解いておくように。解けない問題は授業又はオフィスアワーで質問すること。小テストは、周りの人と相談してもよく、授業内容の理解の確認が目的である。遅刻・欠席をしないように心懸けること。尚、テキストの誤植指摘に最大 20 点の点数を与える。</p> <p>教科書・参考書 教科書：数学概論 第 3 版, 柏木芳美, 2007 年; 生協で販売する。</p> <p>メッセージ 演習問題をコツコツと解くこと。分からないところは遠慮なく質問すること。その為にオフィスアワーもある。やる気とその持続が一番重要である。</p> <p>教官連絡先 E-mail:kashi-y@yamaguchi-u.ac.jp, 電話:933-5595, 研究室:経済学部 C213。オフィスアワーは授業開始時点で伝える。</p>					

開設科目	数学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	経 (201-)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	渋谷綾子				
<p>授業概要 高等学校で学んだ数学を基礎に、経済分野で必要になる数学を学ぶ。様々な関数、微分、最適化、統計、線形代数、確率に関わる一般的な知識を身につけ、思考力を養う。</p> <p>授業一般目標 次のことを理解する。・1 次関数 ・2 次関数 ・指数、対数 ・関数とグラフの関係 ・方程式について ・複利計算、連続複利、現在価値、割引の計算 ・微分について ・関数の形状と解法について (最適化問題の解法) ・統計に関わる一般的知識 ・線形代数の基礎 ・不確実性と確率の関係について</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 70%、小テスト・授業内レポート 30% を目安に、総合的に成績を決定する。小テスト・授業内レポートは予告なしに授業時間内に実施するので、欠席すると減点になることがある。</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回の授業でプリントを配布します。そのプリントの設問に答えることで授業が進行していきます。ただし、自分の考え方を別に記すノートも授業にはもってきてください。プリントが授業ノートにもなるので、なくさないこと。/ 参考書：講義プリントを配布する予定です。</p> <p>メッセージ 関数、グラフ、方程式、微分、最適化、統計、確率</p> <p>教官連絡先 shibuya@yamaguchi-u.ac.jp 研究室は C 棟 2 階。在室中 (電気がついているとき) はいつでも入室可。あらかじめメールで連絡してくればより確実です。</p>					

開設科目	数学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	飯寄信保・笠井伸一				
<p>授業概要 人文系の学生を対象に、数学への入門を概説する。</p> <p>授業一般目標 2人の担当者それぞれが話題を選び、前半と後半で2つの話題について学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) テストまたはレポート及び出席による。</p> <p>メッセージ 演習問題を解くことが重要です。分からないところは遠慮なく質問して下さい。その為にオフィスアワーもあります。</p>					

開設科目	現代化学総説	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	西口毅				
<p>授業概要 本講では、大競争時代を生きるのに有効性を持つと同時に、「自然について学ぶことの面白さ」が伝わる授業をめざしたい。それができるためには、高いレベルを保ちつつも、高校で化学を履修していない人でも理解できる分かりやすさと、新しい発見が必要であろう。日常的現象、生命現象、環境問題、社会的諸問題などを、「それはなぜ起こるのか」という観点から解説する。最も身近な化学反応である燃焼については、毎回行う演習実験によって学ぶ。最も身近な化学反応である燃焼については、毎回行う演習実験によって学ぶ。すべての授業はパソコンからスクリーンに出力しながら行う。授業で使ったスライドは、全て Web ページ (http://www2.to/chemistry) からダウンロードできるので、予習、復習に役立てて欲しい。学生諸君の質問(日頃の疑問など)にもできるだけ答えたい。電子メールによる質問にも答える。メール画面は、Web ページに付いている。</p> <p>授業一般目標 多くの人にとって、これからの時代に必要なものは、できるだけ広い範囲の職務内容に適応できる幅広い知識と常識であろう。いま必要だと言われる「生きる力」とは何か。私は「豊かな常識+豊かな行動力」だと思う。この講義の目的も、自然科学の常識を豊かにすることである。そして、その目的を達成するには、自然科学的常識の必要性を学生諸君に納得してもらうことが必要である。授業では、授業内容に関連する練習問題を提示するので、それらを解いてみることを望ましい。授業の終了時には、問題を出し、その答を紙に書いてもらう。授業中に理解できなかったことを、その解答用紙に書いておくと、次回の授業開始時にそれについての解説が行われるであろう。この授業では、疑問を残さないようにしてもらいたい。また、学生諸君が、社会人になったときに自信をもって生きられるようにすること、つまり、自信をもって生きるために必要な能力と価値観の習得の手助けをすることが、教育でめざすべきものであると思うので、授業に時間的余裕があれば、これに関連することがらについての個人的意見も話す。それらも批判的に検討してもらいたい。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は、主として、期末テストの点数に基づいて評価する。希望者が過半数を超えれば中間テストも行う。中間テストを行った場合には、期末テストと中間テストの比重は1:1である。テストの成績が合否のボーダーラインに近い人には、出席点を考慮することもある。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 現代の生活と物質, 西口 毅, 化学同人, 1996年 / 参考書: プリントを数種類配布する。</p> <p>メッセージ 学生諸君にとって重要なことは、単位を取るのではなく、将来に備えることであろう。このような観点から、時間的余裕があれば、諸君が生きる時代についての私見を話すこともある。</p>					

系列 一般教養教育

分野 自然科学

科目類型 総説

開設科目	現代生物学総説	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	宮川 勇、室伏 擴				
<p>授業概要 この授業では遺伝子、タンパク質、細胞をキーワードとして、現代生物学の基本的考え方を学ぶ。そして、生物学に関するニュースに関心を抱き、内容を理解できるよう基本的な知識を修得する。</p> <p>授業一般目標 現代生物学の基本的考え方を学ぶ。生物学に関するニュースについて内容を理解できるようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 試験とレポートにより総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は指定しない。</p> <p>教官連絡先 室伏 擴 e-mail: murofusi@yamaguchi-u.ac.jp 宮川 勇 e-mail: miyakawa@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般教養教育

分野 自然科学

科目類型 総説

開設科目	現代生物学総説	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	祐村稔子				
<p>授業概要 ヒトを含めすべての生物は「細胞」という共通の基本単位から構成されています。一方、「細胞」を構成する部品：細胞小器官は単なる生体分子の集合体で、すでに生きてはいません。このように「細胞」は、「生命」と「物質」の境界をなす「生命の最小単位」といえます。本講義ではこのような「細胞」の構造と機能について、分子レベルでの解説を行ないます。加えて、近年驚くべき進歩をみせるバイオテクノロジーの基礎知識についても、身近な話題を中心に紹介し解説します。</p> <p>授業一般目標 「細胞」に関する分子レベルの知識は、生命を理解する上で必要不可欠な基礎知識です。加えて今日、医療、農業、工業とさまざまな分野にわたり、日常生活の隅々にまで浸透しつつある多くのバイオ関連技術およびマスコミに氾濫するバイオ関連情報を、正しく理解し評価するためにも必須です。本講義では、正しい知識に基づいて、何が有益で何が危険なのかを自ら考え判断し、生命科学の進歩をいたずらに恐れる事なく未来を見極める知識、能力を身につけることを目標とします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験(テキスト、ノート、プリント参照可) 80% 宿題ミニレポート 20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：生きもののからくり 改訂版, 中村和行、山本良実、祐村恵彦 共著, 培風館, 2006 年</p> <p>メッセージ 古典的生物学にとどまらず、物理学、化学、地球科学も含む自然科学全般の知識に基づいて生命を理解することを目指します。幅広い興味と知的好奇心、そして意欲的に学んで下さるをみなさんの受講をお待ちしております。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: discoideum@yahoo.co.jp</p>					

系列 一般教養教育

分野 自然科学

科目類型 総説

開設科目	現代生物学総説	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	加藤 美知代				
<p>授業概要 生物の基本単位の細胞について、物質構成、生命活動を支える仕組み、細胞が集まって多細胞生物を構成する仕組み、新たな生命を作り出す生殖、遺伝や生物群集の中で生命活動を維持するための機能等について解説する。また、現在の生物学の知見を利用した技術についても述べる。</p> <p>授業一般目標 生命現象について、生物とはどのようなものかを解説し、現代生物学の考え方と基礎的知識を習得出来る様にする。</p> <p>成績評価方法 (総合) レポート(30%) 期末試験(50%) 授業態度(20%) で評価します。 期末試験の内容は講義内容が理解出来ているかどうかについてとその理解により自分の考えがまとめられているかにより評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 / 参考書：ダイナミックワイド 図説生物, , 東京書籍, 2007 年 ; プリント配布</p>					

系列 一般教養教育

分野 自然科学

科目類型 総説

開設科目	現代地球科学総説	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	武田賢治				
<p>授業概要 地震や火山の噴火に遭遇するたびに、地球がダイナミックな生き物であることを実感する。現代地球科学は、こうした地球表層の変動メカニズム、さらには地球深部のダイナミクスについても明らかにしつつある。また、137 億年の宇宙の壮大なドラマの中で誕生し、46 億年という長大な歴史を刻んできた地球の発展過程や生命史についての知見を飛躍的に増大させてきている。本講義では、現代地球科学が明らかにしてきた地球についての知識・理論を、地球解明の手段などを交えながら、平易に解説する。</p> <p>授業一般目標 私たちのすみかである地球について理解を深める。とくに、地学的位置よりわが国の宿命である地震や火山噴火について、その仕組みを理解するとともに、関心をもち、防災対策等に積極的に立ち向かう態度を養う。</p> <p>教官連絡先 takeda@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：教育学部 4 階 オフィスアワー金曜日 16:00-17:00</p>					

系列 一般教養教育

分野 自然科学

科目類型 総説

開設科目	生命を科学する	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(検査除く)	単位	2単位	曜時間	月曜日 5・6時限
担当教官	佐々木功典 ほか				
<p>授業概要 医学・生物学に関する一般的知識を細胞レベルから臨床レベルまでの広い範囲にわたって理解できるようにいくつかの領域を例としてわかりやすく講義する。</p> <p>授業一般目標 医学・生物学に関する一般的現象を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価は基本的に出席(30%)と試験(70%)で行う。</p>					

系列 一般教養教育

分野 自然科学

科目類型 総説

開設科目	人間とバイオテクノロジー	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(検査除く)	単位	2単位	曜時間	金曜日 5・6時限
担当教官	滝本晃一、松富直利、松井健二				
<p>授業概要 生命の基礎は遺伝子です。遺伝子組み換えや遺伝子治療、遺伝子による個人の識別など遺伝子 DNA は私達の生活の中に深く関わっています。本授業では、遺伝子について概説し、遺伝子を傷つける環境要因としての紫外線について述べ、さらに遺伝子技術について概説する。我々の廻りには多種多様な食品が存在するが、それらの機能的性質や化学的特性、バイオサイエンス利用について述べる。全ての食物の基礎である植物を機能的に付加価値の高いものにするために従来から改変が加えられてきたが、それらについて紹介するとともに、植物遺伝子組み換えについて現状とその方法について開設する [注意] レポート提出など3名の教官全ての課題を満たすことが評価の条件。</p> <p>授業一般目標 バイオテクノロジーの背景となる生物学的知識を得、生命現象の基礎である遺伝子について理解を深め、さらに、バイオがどのように役立っているか、どのような可能性があるか、どのような問題があるかを考える素養を身につける。また、それらをもとにして我々の生活にどのように利用応用されているかを知る。</p> <p>成績評価方法(総合) 3名の教官がそれぞれ筆記試験をするか講義の内容についてレポートを課す。3名の教員全ての試験受験あるいはレポート提出をした者のみにについて成績評価を行う。</p> <p>メッセージ 3名の教員が担当します。順序は変更することがあります、授業で注意事項やレポート・試験のことを伝えますので、出席すること。3名の教員の試験やレポートを総合評価する。ケイタイの着信音がならないようにセットしておくこと。</p> <p>教官連絡先 電話 5868(滝本)、5853(松富)、5850(松井) オフィスアワー 随時</p>					

開設科目	宇宙と人間	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(検査・獣医除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日 5・6時限
担当教官	藤澤健太				
<p>授業概要 「宇宙」は極めて大きなスケールであり、その大きさゆえに我々「人間」の生活や感覚とはなんら関係がないようにも思える。しかし我々が使う時間は天体の運行に由来するものであるし、天気予報、テレビ放送やカーナビにも人工衛星技術が使われている。我々の身体を作っている物質は恒星内部の原子核反応によって作られたものであり、そもそも我々は宇宙の中に存在している。このように考えると、「宇宙」と「人間」にはいろいろな接点があると思えてくる。両者にはどのような関係があるのか自分で追求してみる、これが講義の概要であり、同時に目標である。</p> <p>授業一般目標 講義を通じて自分で調べ、考え、発表し、それが他者の考えと相互作用をする、ことを目標としている。簡単に言えば、宇宙と人間について知る、そして考えることが目標である。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席とレポート(随時)によって総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特になし。</p> <p>メッセージ 前半は基礎的な天文学の講義ですが、後半は様々なテーマについて考えて見ます。「宇宙」を題材にして、科学の考え方を講義したいと思っています。</p> <p>教官連絡先 藤澤健太(理・231)083-933-5673</p>					

開設科目	社会科学のためのやさしい統計学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	経	単位	2単位	曜時限	金曜日 9・10時限
担当教官	野村淳一				
<p>授業概要 統計学とは具体的に何を明らかにするための学問であるかを解説する。講義では理論の解説は最小限にとどめ、具体的な応用例を多く解説・計算しながら、統計学的センスを養うよう努める。ジャンボ宝くじの期待賞金額の計算、池にいる魚の数の推定、学習塾の効果の検証など、電卓を用いて実際に計算・考察してみる。また、社会科学で用いられる社会調査(アンケート調査等)を利用する際の注意点も併せて解説する。</p> <p>授業一般目標 統計学の基礎的な理論を習得し、統計学の見方・考え方を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験によって判定する。ただし、講義毎の質問書、小テスト提出などによる加点を考慮する。評価割合は期末試験 80%、質問書・小テスト 20%。</p> <p>教科書・参考書 教科書：入門統計学, 木下宗七, 有斐閣ブックス, 1996年; 経済統計学と同じ教科書です。/ 参考書: 「社会調査」のウソ リサーチ・リテラシーのすすめ, 谷岡一郎, 文春新書, 2000年</p> <p>メッセージ ルートの計算できる電卓を用意すること。</p> <p>教官連絡先 nomuraj1@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワーは週3回、1時間程度設ける(講義中に指示)</p>					

開設科目	社会科学のためのやさしい統計学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	渋谷綾子				
<p>授業概要 社会科学を学んでいく過程で、統計学の考え方を知らないで理解困難な壁に突き当たってしまうことがよくあります。この授業では基本的、かつ社会科学を理解するのに必要な統計学の知識を紹介します。受講者は初めて統計学を学んでいる人と想定して無理のない学び方を採用したいと思います。</p> <p>授業一般目標 基本統計量に関する知識と理論を習得する。社会科学で使用される数式や記号について、統計学を通して理解する。統計的な見方・考え方を知る。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験によって判定する。ただし、講義ごとの計算問題への取り組みと出席状況も考慮する。評価割合は期末試験 80 %、計算問題と出席状況 20 %。</p> <p>教科書・参考書 教科書：入門統計学, 木下宗七, 有斐閣ブックス, 1996 年</p> <p>メッセージ ルートの計算のできる電卓を授業にもってきてください。</p> <p>教官連絡先 shibuya@yamaguchi-u.ac.jp 研究室は C 棟 2 階。在室中 (電気がついているとき) はいつでも入室可です。</p>					

開設科目	社会科学のためのやさしい統計学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教 (一部除く)	単位	2 単位	曜時限	
担当教官	宜名眞勇				
<p>授業概要 授業の概要：平均・分散・標準偏差・共分散・相関係数・寄与度・寄与率・各種変化率、等の統計量の成り立ちを理解し、統計データの要約や分析上の意義を学ぶと共に、回帰分析を中心に推定や検定の意義と目的を理解することを中心に解説を行う。</p> <p>授業一般目標 各種統計概念の意味と使用法の基礎を修得し、社会的経済的現象への応用法を検討する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 成績評価のウエイトは、中間テストが 15 %、最終試験が 85 % である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：確率・統計の仕組みがわかる本, 長谷川勝也, 技術評論社, 2000 年; プリントを適宜配布する。/ 参考書：経済統計, 田中勝人, 岩波書店, 2005 年</p> <p>メッセージ 短期の勝負なので栄養を補給して備えてください。</p> <p>教官連絡先 ginama@hiroshima-u.ac.jp</p> <p>備考 集中授業</p>					

開設科目	理工学のための統計学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教(一部除く)・理・農(生機除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日 7・8時限
担当教官	笹井理恵				
<p>授業概要 統計及び統計的資料の偶然性を含む数字から必然性を見出す統計学は、経済学、社会学、医学、理学、工学、経営学等殆どの分野で応用される。この講義では、統計学の入門として確率の理論と、それによってデータから必然性を見出す手法の基礎を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 観測された統計あるいは統計的資料が、なんらかの確率的法則性に従う現象確率変数の1つの実現値であるとみなすことによって、このような数値の分析を具体的な例題によって実習する。</p> <p>成績評価方法(総合) レポートの評価、期末試験の成績の総合点による。また、出席は、欠格条件である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：概説 確率統計、前園 宣彦 著、サイエンス社、2003年；販売店：山口大学生協</p> <p>メッセージ 授業には統計計算ができる電卓を用意すること。</p>					

開設科目	医学のための統計学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学	単位	2単位	曜時限	木曜日 3・4時限
担当教官	市原清志				
<p>授業概要 バイオサイエンスにおける統計学の役割と使い方を、身近な例題を解きながら学習する。医学における実験的研究において、その結果の判定で重要となる統計的仮説検定法(有意差検定法)を中心に解説する。検定法は、データの形式によって多種多様であるが、その原理は共通である。それらを分類すると、大きくパラメトリック法とノンパラメトリック法に分かれる。それぞれの原理と使い分けをわかりやすく解説する。また様々な現象の背景となる要因を分析する上で重要となる、分散分析法および相関・回帰分析法の基本的な考え方についても学習する。授業は、さいころや色玉を使った標本抽出実験とコンピュータ・シミュレーションをふんだんに取り入れることで、統計の数理を感覚的に把握できるようにすると共に、多数の演習問題を実際に解いてゆくことで、即実践力が身に付くように工夫している。</p> <p>授業一般目標 ・医学研究における統計学の役割が分かる ・仮説(有意差)検定の原理が分かる ・パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違いとその使い分けが分かる ・クロス集計結果の検定とその解釈をできる ・相関係数と回帰直線を求められ、分析結果を解釈できる。 ・統計量の分布型を分析でき、基準範囲を設定できる ・統計データの偏りとその原因・解消法を理解している</p> <p>教科書・参考書 教科書：バイオサイエンスの統計学、市原清志、南江堂 / 参考書：解説・実験・演習プリントを適時配布、講師が開発した汎用統計ソフト StatFlex を利用</p> <p>メッセージ 12月に希望者には補講を一度行います。再試験は行いませんが、定期試験前の小テスト(1回を予定)で成績不良の場合には補講を行います。</p> <p>教官連絡先 E-mail: ichihara@yamaguchi-u.ac.jp Tel/Fax: 0836-22-2884(大学) 9:00~18:30</p>					

開設科目	医学のための統計学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護・検査	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	市原清志				
<p>授業概要 バイオサイエンスにおける統計学の役割と使い方を、身近な例題を解きながら学習する。医学における実験的研究において、その結果の判定で重要となる統計的仮説検定法(有意差検定法)を中心に解説する。検定法は、データの形式によって多種多様であるが、その原理は共通である。それらを分類すると、大きくパラメトリック法とノンパラメトリック法に分かれる。それぞれの原理と使い分けをわかりやすく解説する。また様々な現象の背景となる要因を分析する上で重要となる、分散分析法および相関・回帰分析法の基本的な考え方についても学習する。授業は、さいころや色玉を使った標本抽出実験とコンピュータ・シミュレーションをふんだんに取り入れることで、統計の数理を感覚的に把握できるようにすると共に、多数の演習問題を実際に解いてゆくことで、即実践力が身に付くように工夫している。</p> <p>授業一般目標 ・医学研究における統計学の役割が分かる ・仮説(有意差)検定の原理が分かる ・パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違いとその使い分けが分かる ・クロス集計結果の検定とその解釈をできる ・相関係数と回帰直線を求められ、分析結果を解釈できる。 ・統計量の分布型を分析でき、基準範囲を設定できる ・統計データの偏りとその原因・解消法を理解している</p> <p>教科書・参考書 教科書: バイオサイエンスの統計学, 市原清志, 南江堂 / 参考書: 解説・実験・演習プリントを適時配布、講師が開発した汎用統計ソフト StatFlex を利用</p> <p>メッセージ 12月に希望者には補講を一度行います。再試験は行いませんが、定期試験前の小テスト(1回を予定)で成績不良の場合には補講を行います。</p> <p>教官連絡先 E-mail: ichihara@yamaguchi-u.ac.jp Tel/Fax: 0836-22-2884(大学) 8:30~18:30</p>					

開設科目	環境学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	藤間充				
<p>授業概要 20世紀後半の産業の発展は我々の生活を著しく豊にした。しかしその一方で、地球温暖化、大気・水質の汚染、森林や野生生物の減少などの環境問題を引き起こしてきた。21世紀は環境の世紀とも言われ、人類の持続的な発展のためには様々な環境問題に対処することが急務である。しかしながら、実際には環境問題への対策は遅々として進んでいないのが現状である。環境問題は多岐に渡るが、本講義では我々にとってもっとも重要である食料生産と環境の関係を考えることにより、環境の実情、対策の方策などについて講述する。</p> <p>授業一般目標 環境問題について多面的に理解し、人類が置かれている現状を把握することを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回授業終了時に行う小テスト、数回のレポート、および期末試験を総合して評価する。</p> <p>メッセージ 本講義は農学部学生が対象であるが、受講生数に余裕がある場合に限り、他学部の学生を若干名受け入れる。</p> <p>教官連絡先 農学部附属農場</p>					

開設科目	科学史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	川崎勝				
<p>授業概要 本講義では、われわれが知る形での「科学技術」が形成されていった歴史を、時代的・国家的文脈を重視しながら概観します。主な舞台となるのは、18世紀末から現代にかけての西洋社会です。それ以前と比較したとき、この時代・地域の最大の特徴は、それまではごく一部の特権層のみ享受されていた自然に関する知識が公共化かつ制度化し、技術と結びついたことです。これにより、科学は経済的にも軍事的にも現代社会において支配的な力を発揮するようになり、最終的に国家の支柱となっていきます。このプロセスに関して、国別の社会的文脈に留意しながら、なぜそのようなことが生じたのかに重点をおいて授業を進めていきます。</p> <p>授業一般目標 高度科学技術社会（ハイテク社会）で主体的な生活者として生きていくために、現代の科学技術が成立する経緯に関する必須の基本知識を習得し、主体的かつ客観的に考察する態度を涵養する。さらには、歴史に対して「なぜ」という疑問を発することができる能力を養うこと、近未来の科学技術社会への洞察力を養うことが全体を通じての影の大きな目標である。</p> <p>成績評価方法（総合） 学期末に行う論述式の筆記試験がメインとなりますが、「質問・感想カード」の内容を元にして「参加点」を加味します。また、任意提出のレポート課題を出します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：科学の社会史（増訂版）、古川安、南窓社、2000年 / 参考書：ハイテク社会を生きる、調麻佐志・川崎勝他、北樹出版、2003年</p> <p>メッセージ 歴史は決して「暗記物」ではありません。むしろ「想像力」の学問です。人工的な文理の壁を越え、歴史好きな方を歓迎します。なお、もし受講希望者が100名を超えた場合には、「受講動機」などの簡単なレポートに基づくセレクションを行いますので、受講希望者は必ず初回に参加してください。授業に関する情報を随時 Web 上の「kawasaki's room」(http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/kawasaki/index.html)に掲載します。参照してください。</p> <p>教官連絡先 mailto:kawasaki@yamaguchi-u.ac.jp（上記アドレスにメールを送る際には、できるだけケイタイからのメールは避けてください。また、適切な件名を付けるとともに、自分が誰であるのかを名乗ってください）研究室 医学部（小串キャンパス）時間帯は相談に乗りますので、上記アドレスにメールをお送り下さい。</p>					

開設科目	技術概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工, 農 (生資)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	合田公一				
<p>授業概要 主要工業製品において最多使用される鉄と鋼の製法技術史について概述するとともに、近代産業の発展において果たした製鉄、製鋼技術の役割について触れる。さらに、鋼の性質について冶金学および材料力学的観点から講述する。また、技術の発展にもなう地球環境問題についても概述する。</p> <p>授業一般目標 製鋼技術について理解するとともに、技術発展が地球環境問題といかように関連するかについて考察できることを目指す。</p> <p>成績評価方法（総合） 授業への参加意欲、数回のレポート点および試験結果から総合的に判定する。後半においては、授業ごとのミニレポートが課され、それらの評価は成績に影響する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は使わない。資料を配布する。後半部では、講述後に Web (HP) 上で講述内容を配信する。</p> <p>教官連絡先 電子メール：godat@yamaguchi-u.ac.jp ykatoh@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般教養教育

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	生命科学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	山本芳実・和田直己・西垣一男				
<p>授業概要 本授業は、農学部3人の講師により、現代生命科学をそれぞれの側面から論じる。受講者は、いきもの好きであることを希望する。</p> <p>授業一般目標 新聞やテレビ等で目にし、耳にする生命科学の様々なニュースに対して、自分なりの判断が出来るようになることが目標である。</p> <p>教科書・参考書 参考書：生きものからくり(改訂版)、中村・裕村・山本共編、培風館、2006年；山本は下記の参考書を用いる。 「生きものからくり(改訂版)」中村・裕村・山本共編、培風館 2006</p> <p>教官連絡先 山本芳実 農学部獣医放射線学講座(生化学研究室)農学部209号室 Tel & Fax: 083-933-5909 E-mail : yamataka@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：いつでも</p>					

系列 一般教養教育

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	生命科学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	井上慎一村上柳太郎				
<p>授業概要 人間は生き物であり、全ての生物がそうであるように、種が有する固有の性質に従って生きている面が意外なほど多い。生物の性質は、設計図である遺伝子が決定しているのだが、そのような遺伝子がどのような経緯で生じたものか、また、人生のさまざまな局面において、生き物としての性質がどのような様相を示すのか、など、生き物としての人間について、現代生命科学の視点から洞察する。</p> <p>授業一般目標 人間の性質や行動、人類として抱えるさまざまな問題を“生物”という観点から理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席・2回(井上、村上)のレポートの評価による。</p> <p>教科書・参考書 参考書：生命科学はこんなにも面白い。柳田充弘著。日本経済出版社(2000) 生命科学と人間、中村桂子著、NHK ブックス (1989) Science as a way of knowing, by John A. Moore, Harvard (1993)</p> <p>教官連絡先 村上柳太郎：ryu@yamaguchi-u.ac.jp 内線 5696 井上慎一：inouye@yamaguchi-u.ac.jp 内線 5711</p>					

開設科目	デザイン工学入門	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(医学・農除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日 7・8時限
担当教官	木下武志				
<p>授業概要 現在、様々な分野で曖昧なまま使われている「デザイン＝モダン・デザイン」という語句について、産業革命に端を発する問題解決手法としての形象化行為であり、「芸術(アート)」とは異なる産業技術であることを理解する。実技課題(色彩学演習・平面構成)表現実践を軸に展開し、課題制作の上で必要となる関連分野(構成理論, 色彩学, デザイン論)の解説と連携させていくので、体験的に内容を理解してもらいたい。</p> <p>授業一般目標 (1)デザイン行為に求められる色彩の基礎について理解する。(2)色彩学演習・平面構成課題作成の表現技術の基礎を知る。(3)錯視図形についての基本を理解する。(4)平面図学について基本を理解する。本科目は、デザインに関する基礎的な知識、技法を有する産業技術者の養成を目指して、基礎デザイン教育に関連する専門科目を学習する。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)出席確認(2)授業の中で錯視図形と図学の作図を各7回行う。(3)ホームワークで色彩学演習と平面構成の表現実践課題を6回制作し、提出する。(4)教科書の内容に関するレポートを1600字程度で作成し、提出する。(5)期末テストを実施する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 美の構成学 パウハウスからフラクタルまで, 三井秀樹, 中公新書, 1996年; デザインの色彩, 中田満雄, 北島 耀, 細野尚志, 日本色研事業株式会社, 1983年 / 参考書: JAGDA 教科書 VISUAL DESIGN volume1 平面・色彩・立体構成, (社)日本グラフィックデザイナー協会教育委員会編纂, 六耀社, 1997年</p> <p>メッセージ 設定されたレベル以上の制作物を期限内に仕上げることが肝要である。授業時間の制約から、課題作品の制作やレポート等はホームワークとなり、授業内では課題内容の説明や中間チェック、講評のみとする。表現実践にポスターカラー用の彩色画材・用具一式が必要となる。</p> <p>教官連絡先 t.kino10@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	いのちと発達	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(農除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日 7・8時限
担当教官	岡野こずえ				
<p>授業概要 科学としての医学と実際に行われる医療が、人間社会の中でどのような意味を持ち、将来の課題を有しているかを理解する。狭い範囲の医学と医療に限定せず、生命や発達、人の心や行動、社会システムなど学際的な関連領域を含めて学習対象とする。取り上げた学習対象について、その概要、社会における現状と課題について考察を深め、引き続くそれぞれの分野における専門教育への幅広い視点を持った学習動機付けに寄与できることを目標とする。</p> <p>授業一般目標 日本の医学・医療の現状あるいは問題を実際に医学・医療の現場に従事している医師あるいは医学・医療の従事者の話から明らかにしてもらい、それを通して、医学・医療の問題に今後いかに接していくのかとか、「いのち」と発達の問題などについて考える機会になれば目標を達成できたと考えたい。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業中に提出したレポート、出席を含めた授業への参加状況によってコーディネータが総合的に評価する。各講義分担教官は提出されたレポートの内容を5点満点(5~0点)で評価する。評語 優 : 総合評価 80点以上 良 : 総合評価 70点以上 可 : 総合評価 60点以上 不可 : 総合評価 60点未満、または出席のみでレポート未提出 知識・理解、思考・判断を測定するレポートを主とし、関心・意欲、態度を測定する授業への参加度を従とする。出席は欠格事項として扱う。”</p> <p>教科書・参考書 教科書: 医の現在, 高久史磨編, 岩波書店, 1999年</p>					

開設科目	心とその座	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(農除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	渡邊義文				
<p>授業概要 新書版程度の教科書を用い、医学部を主とした各学部教官による専門領域を反映した講義で構成する。</p> <p>授業一般目標 科学としての医学と実際に行われる医療が、人間社会の中でどのような意味を持ち、将来の課題を有しているかを理解する。狭い範囲の医学と医療に限定せず、生命や発達、人の心や行動、社会システムなど学際的な関連領域を含めて学習対象とする。取り上げた学習対象について、その概要、社会における現状と課題について考察を深め、引き続きそれぞれの分野における専門教育への幅広い視点を持った学習動機付けに寄与できることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業中に提出したレポート、出席を含めた授業への参加状況によってコーディネータが総合的に評価する。・レポート内容 40～60%、出席・参加状況 40～60%の重みで評価する。各講義分担教官は提出されたレポートの内容を5点満点(5～0点)で評価する。・評価 優：総合評価80点以上 良：総合評価70点以上 可：総合評価60点以上 不可：総合評価60点未満、または出席のみでレポート未提出 知識・理解、思考・判断を測定するレポートを主とし、関心・意欲、態度を測定する授業への参加度を従とする。出席は欠格事項として扱う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：検討中</p>					

開設科目	日本の医療	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(農除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	藤宮龍也				
<p>授業概要 新書版程度の教科書を用い、医学部を主とした各学部教官による専門領域を反映した講義で構成する。</p> <p>授業一般目標 科学としての医学と実際に行われる医療が、人間社会の中でどのような意味を持ち、将来の課題を有しているかを理解する。狭い範囲の医学と医療に限定せず、生命や発達、人の心や行動、社会システムなど学際的な関連領域を含めて学習対象とする。取り上げた学習対象について、その概要、社会における現状と課題について考察を深め、引き続きそれぞれの分野における専門教育への幅広い視点を持った学習動機付けに寄与できることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業中に提出したレポート、出席を含めた授業への参加状況によってコーディネータが総合的に評価する。・レポート内容 40～60%、出席・参加状況 40～60%の重みで評価する。各講義分担教官は提出されたレポートの内容を5点満点(5～0点)で評価する。・評価 優：総合評価80点以上 良：総合評価70点以上 可：総合評価60点以上 不可：総合評価60点未満、または出席のみでレポート未提出 知識・理解、思考・判断を測定するレポートを主とし、関心・意欲、態度を測定する授業への参加度を従とする。出席は欠格事項として扱う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：”日本の医療：統制とバランス感覚”，池上直己，J.C. キャンベル著，中央公論社，1996年；池上直己他，日本の医療、中公新書</p>					

開設科目	現代の科学技術	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	月曜日 3・4時限
担当教官	久保 洋, 山鹿光弘, 宮本文穂, 村上ひとみ, 成富 敬, 藤沢健太, 宮川 勇				
<p>授業概要 21世紀の今日、発展した科学技術は想像できないほどの豊かな社会と生活を提供してきました。便利で安全な車・快適な生活・安心できる環境・いろいろな目的に使える携帯。でもこの生活を支えているのは、科学技術のおかげです。本当は大変な努力によって作られた科学と技術のおかげ。分からなくても生活できるなんてうそぶくのは大間違い。世界に冠たる日本の科学技術のそのさわりを見ていきましょう。電子機器・電子計算機・集積回路・宇宙科学・現代物理学などの分野で技術開発がどのように行われてきたか、そしてこれからの技術開発をどのように伸ばすのかを考えよう。</p> <p>授業一般目標 いろいろな分野の技術開発について、どのように発展してきたのかを学び、これからの技術者が、どんな考えて次の世代の技術開発に向かえばよいのかを一緒に考えながら、技術者魂を 培う。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業で説明された、キーワードを的確につかみ、説明ができるか？または、それに対して自らの発言がなされているか？などを問う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は使わずに、各先生のパワーポイントや当日の配布資料にてもとづいて説明します。/ 参考書：授業の中で、参考書を紹介する場合があります。</p> <p>メッセージ 各分野の話をよく聞いて、感じたことを積極的に発言してください。</p> <p>教官連絡先 各授業にて、連絡します。</p>					

開設科目	香り人間	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	水曜日 3・4時限
担当教官	渡辺雅夫				
<p>授業概要 この講義では、香りサンプルを提示しながら、「香り」と人間のかかわりを歴史的、生理学的、心理学的な面から考えていく。嗅覚生理学を基礎にして講義が組み立てられているが、香りの効用と利用について解説していく予定である。</p> <p>授業一般目標 我々の生活環境にある香りへの認識を深め、香りの作用について科学的な知識を持ち、香りとの上手なつきあい方を考えてもらうことを目的とする。また地域環境(文化を含めた)の保全を目指した、環境省の「かおり風景100選」事業(2001年秋選定)への理解を深めることを目的とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内に設問に答えてもらう小テスト、宿題/授業外レポート、期末試験1回を行う。下記の割合で総合的に評価する。授業の出席状況について、75%以上であること。</p> <p>教科書・参考書 教科書：資料プリントを配付する予定。/ 参考書：毎回の授業で紹介する。</p> <p>メッセージ 教室の都合により人数制限することがある。多人数講義となることが予想されるが、遅刻をせず、私語を慎み、携帯電話の電源を切るなど受講マナーを守ること。</p> <p>教官連絡先 E-mail: masao.w@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 理学部3号館113号室(内線5767) オフィスアワー 月曜日14:30~16:00</p>					

系列 一般教養教育

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	環境と気象学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	水曜日 3・4時限
担当教官	早川誠而				
<p>授業概要 地球環境の悪化が人類の生存に影響を及ぼすことが懸念されている。私たちの生活は日々の天気変化のみならず、気候変動や地域の環境特性などに大きく左右されている。過去において地域的・局所的であった自然環境の悪化が現在においては地球規模の広がりを見せている。気象と気象現象に関わる基礎、気象学の基礎理論に加え、新たな見地や今日的なテーマを含めて解説し、気象予報士試験レベルの演習を通して気象学に関する知識を深め、気象学的視点から環境問題を正しく理解する力を養成する。</p> <p>授業一般目標 子供のころから毎日の天気や気象現象に興味を持ち、より深く学びたい人や物理学の原理法則が身近な大気現象にどのように応用されているかなどに興味を持っている人などに気象学に関する理解を深めることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回の小テスト(50点)と最終回のテスト(50点)の総合点で評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 時々プリントを配布/ 参考書: 一般気象学, 小倉義光, 東京大学出版会; 気象と地球環境の科学, 二宮洗三, オーム社, 2006年; 耕地環境の計測・制御, 早川誠而ほか, 養賢堂, 2001年</p>					

系列 一般教養教育

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	自然と科学(最新の化学・材料科学とその応用)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工	単位	2単位	曜時間	水曜日 3・4時限
担当教官	中山・森田・赤田・小松・江頭・鬼村・酒多				
<p>授業概要 化学とその応用に関し、無機化学・電気化学・触媒化学・結晶化学・生命化学・高分子化学の各分野における歴史と最近のトピックスを概説します。また、それぞれの分野における、新エネルギーの開発、エネルギーの変換・輸送・蓄積・有効利用・低環境負荷化などにかかわる化学技術および材料技術を紹介しします。</p> <p>授業一般目標 1. 化学とその応用に関する歴史と最新の化学研究におけるトピックスの概要を理解する。 2. エネルギーという観点から最新の化学技術および材料技術の応用例の概要を理解する。 3. 化学技術の応用例を通して、自然と科学の関わりについて理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験、小テスト、宿題を総合的に評価する。出席が所定の回数に満たない者には単位を認めない。期末試験については、試験方法を事前に説明する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 適宜、プリントなどを配布する/ 参考書: 「知って得する環境・エネルギー・生命の科学」, 土屋晋, 講談社サイエンティフィック, 2002年</p>					

開設科目	暮らしの中の動物	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	那須哲之				
<p>授業概要 農学部獣医学科の各教官の専門分野の立場から、われわれの暮らしに係る動物について、さまざまな角度から平易に解説・考察し、動物に対する興味と理解を深めると共に、命の不思議さ、尊さ、人と動物の共存の重要性等を考える。</p> <p>授業一般目標 家畜から提供される肉、卵、乳は私たちの食生活の必需品です。伴侶動物は私たちの心を豊かにしてくれます。また、野山には野生動物が暮らしています。この授業を通じて動物と人間の共存についての考えを深めてもらいたい。</p>					

開設科目	人間と植物	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	山内直樹・高橋肇				
<p>授業概要 人間は、植物を作物として栽培することで食料の安定供給を実現し、人口の急速な増加とともに現在の繁栄の礎を作ってきた。食料に関する科学は、高度な文明を身につけた人間にとって、もはや生産量の増加のみにとどまらず、品質、流通、貯蔵といった商品としての経済性にまで及んでいる。一方、植物は食料として利用されるだけでなく、人間の生活に溶け込み、人間の心に働きかけている。農業においても、従来の食料生産という枠を飛び出し、アグロビジネスという新分野が生まれている。本講義では、このような人間と植物との関係を、農業を中心に両担当者がそれぞれの見方で論じる。</p> <p>授業一般目標 本講義では食料の生産とその後の流通・貯蔵に関して講義することにより、人間と植物、特に農作物との係わりについて理解することを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 成績評価は山内 5 0 , 高橋 5 0 で評価し、その合計で示す。</p> <p>教科書・参考書 教科書： 使用しない</p> <p>教官連絡先 yamauchi@yamaguchi-u.ac.jp, tadashi@agr.yamaguchi-u.ac.jp 研究室：農学部 3 階 3 3 0 号室，農学部 1 階 1 2 8 号室 オフィスアワー：山内 金曜日 午後 1 時～ 5 時 高橋 月～金曜日 午前 7 時～ 8 時</p> <p>月・火・木・金曜日 1 2 時～ 1 2 時 3 0 分</p>					

系列 一般教養教育

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	環境と人間	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日 3・4時限
担当教官	赤田倫治, 後藤伴延, 田中 秀平, 陳 禮俊, 藤原 勇, 比嘉 充, 山崎鈴子, 山本豪紀				
<p>授業概要 地球環境の問題が深刻さを増す昨今、本当に環境に対して何が出来るか。問題解決のために必要なことは確かな視点と科学技術である。この講義では環境にかかわる諸問題を、自然科学・工学・農学・社会科学の側面から考える。</p> <p>授業一般目標 環境と人間にかかわる諸問題を、自然科学・工学・農学・社会科学の観点から多角的に理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テストとレポートにより評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書： 齋藤勝裕、山崎鈴子著、環境化学、東京化学同人、2007年</p>					

系列 一般教養教育

分野 健康とスポーツ

科目類型 総説

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	医学	単位	1単位	曜時限	火曜日 5・6時限
担当教官	丹信介				
<p>授業概要 この授業では、生活習慣病(成人病)に影響を及ぼす生活習慣の中で、主に身体活動(運動)不足を取り上げ、生活習慣病と身体活動(運動)との関わりや生活習慣病予防を中心とした健康の維持増進のための身体活動(運動)の具体的実践方法、留意点について解説する。また、食生活のあり方も生活習慣病を引き起こす一因となるので、この点についても授業の中で取り上げる。</p> <p>授業一般目標 生活習慣病予防のための身体活動(運動)、食生活の意義、重要性について理解する。また、生活習慣病予防を中心とした健康の維持増進のための身体活動(運動)が具体的に実践できるよう、その方法に関する基本的な知識を身につける。さらに、健康の維持増進のために運動を行う際の留意点についての知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験) = 60~80% 小テスト/授業内レポート = 欠格条件 宿題/授業外レポート = 20~40% 授業態度や授業への参加度 = 欠格条件 出席 = 欠格条件</p> <p>教科書・参考書 教科書： 授業時にプリントを配布する。</p> <p>メッセージ 授業では、講義形式だけでなく、適宜、演習や実習も行います。その中には、運動を行うこともあるかもしれません。</p> <p>教官連絡先 丹 信介 Email: tan@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp 電話: 933-5388 研究室: 教育学部 436-2 オフィスアワー: 月 12:50~14:20</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	農	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	森田俊介				
<p>授業概要 中高年者に多く発症する心臓病・糖尿病・脳卒中などの成人病は、別名生活習慣病とも言われ、青年期から中年期にかけての運動不足・偏った食事・過度のストレスなどの生活習慣がその原因の1つとして考えられている。したがって学生諸君が生涯にわたって健康を保持・増進していくためには、適度な運動・バランスのとれた食事・十分な休養に配慮した生活習慣を学生時代から身につけておかなければならない。この授業では、「あなたの日常生活を見直そう」と題して、健康づくりのための運動の基本的な考え方とその実践方法を中心に教授する。</p> <p>授業一般目標 この授業では、健康づくりのための運動と食事の基本的な考え方とその実践方法を学習し、在学中及び卒業後もそれらを活用できるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験（60％）、レポート成績（40％）、出席状況によって総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：必要に応じて授業中にプリントを配布する。</p> <p>メッセージ 例年通り、授業開始後の入室を認めない。</p> <p>教官連絡先 電話 933-5385 shunsuke@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	人社・数理	単位	1 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	塩田正俊				
<p>授業概要 近代化に伴う生活様式の省力化・機械化は、運動不足状態を作りだし、その健康への影響が心配されるようになっている。本講義では、運動生理学、バイオメカニクス等の研究成果を、なるべく学生諸君の健康の保持・増進のための実践的な知識となるよう解説する。</p> <p>授業一般目標 体の基本的構造機能を理解し、それぞれに対する運動や食事の影響を考える。また、どの程度の運動や食事が必要であるかについて、実生活に即して考えられるようにする。</p> <p>成績評価方法（総合） 学期末試験の結果と授業中の小レポートの内容を主な評価の対象とする。欠席＝欠格条件 2/3 以上出席が単位認定のための最低必要条件です。遅刻は 2 回で 1 回欠席として扱います。</p> <p>教科書・参考書 教科書：複数のテキストから抜粋した資料を毎時間配布する。</p> <p>メッセージ 遅刻、私語、飲食は厳禁。</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	言語・物情	単位	1 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	杉浦崇夫				
<p>授業概要 労働や日常生活が機械化されたことにより、我々の生活は便利かつ快適になった。その反面、身体活動の減少により、さまざまな運動不足の弊害が見られるようになった。このような現状において、その対策として日常生活において積極的に運動することの重要性が認識されている。しかしながら、運動はそのやり方によっては事故（最悪の場合、死）を引き起こす可能性もあることを忘れてはいけない。本講義では、身体運動時の生理・生化学的变化を概説し、健康の保持増進のためのプログラムについて紹介する。</p> <p>授業一般目標 本講義では、健康の保持増進のための身体運動の意義を生理・生化学的に理解するとともに、健康の保持増進のために運動を実践する際に必要な基本的考え方ならびに具体的方法について理解修得することを目的とする。</p> <p>成績評価方法（総合） (1) 毎回の授業においてレポートを課す。(2) 期末試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 なお、欠席が 4 回以上の者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント等を配布 / 参考書：講義中に指示する。</p> <p>メッセージ 授業中は、他人に迷惑になる行為は絶対に行わない。</p> <p>教官連絡先 E-mail takahito@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 0839335387, 研究室 教育学部 484-1, オフィスアワー 在室時は、いつでも</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	学教(教科)	単位	1 単位	曜時間	木曜日 3・4 時限
担当教官	上地広昭				
<p>授業概要 行動科学の視点から、運動行動と健康の関係について説明し、運動行動を説明する理論・モデルを紹介する。</p> <p>授業一般目標 運動行動が健康に果たす役割、および運動行動に関する理論・モデルの理解</p> <p>成績評価方法（総合） 出席率と定期試験の成績により評価する（ただし、欠席 3 回未満の学生のみを評価対象とする）。</p> <p>教官連絡先 教育学部 体育・スポーツ心理学研究室</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	情報・健康	単位	1 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	上田真寿美				
<p>授業概要 健康問題は、今や国民の最大の関心事である。健康の維持・増進のため、また QOL(生活の質)を向上するために、運動・スポーツをどのように行えばよいのだろうか。この授業では、現代生活における健康と運動の意味、運動と心身の関連および健康生活のための運動の意義について概説する。</p> <p>授業一般目標 現代社会における健康問題について理解し、現代生活における健康と運動の意義、運動と身体や心の健康の関係、健康な生活を送るための運動について説明できるようになる。また、具体的な運動の実践方法についても説明し、実施できるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 授業内レポートを数回行う。2. 関心のある健康問題や運動に関するレポートを宿題をして課す。3. 最後に試験を実施する。以上から評価する。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配付</p> <p>メッセージ 履修者が多い場合は抽選を行うことがあるので、初回は必ず出席のこと。遅刻は他学生へも迷惑がかかるので厳禁とする。皆さんの習熟度によっては授業内容を変更することもある。</p> <p>教官連絡先 E-mail: masumi-u@yamaguchi-u.ac.jp 通常は宇部キャンパス(医学部医学科医療環境学講座)にいます。</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	経(1-150)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	森田俊介				
<p>授業概要 中高年者に多く発症する心臓病・糖尿病・脳卒中などの成人病は、別名生活習慣病とも言われ、青年期から中年期にかけての運動不足・偏った食事・過度のストレスなどの生活習慣がその原因の1つとして考えられている。したがって学生諸君が生涯にわたって健康を保持・増進していくためには、適度な運動・バランスのとれた食事・十分な休養に配慮した生活習慣を学生時代から身につけておかなければならない。この授業では、運動に着目して、健康づくりのための運動の基本的な考え方とその実践方法を実習を通して教授する。</p> <p>授業一般目標 この授業では、健康づくりのための運動の基本的な考え方とその実践方法を学習し、在学中及び卒業後もそれらを活用できるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(60%)、レポート成績(40%)、出席状況によって総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：新版 運動処方、池上晴男、浅倉書店、1997年；必要に応じてプリントを配布する</p> <p>メッセージ 例年通り、授業開始後の入室は認めない</p> <p>教官連絡先 電話 089-33-5385 shunsuke@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	看護・検査	単位	1 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	丹信介				
<p>授業概要 この授業では、生活習慣病（成人病）に影響を及ぼす生活習慣の中で、主に身体活動（運動）不足を取り上げ、生活習慣病と身体活動（運動）との関わりや生活習慣病予防を中心とした健康の維持増進のための身体活動（運動）の具体的実践方法、留意点について解説する。また、食生活のあり方も生活習慣病を引き起こす一因となるので、この点についても授業の中で取り上げる。</p> <p>授業一般目標 生活習慣病予防のための身体活動（運動）、食生活の意義、重要性について理解する。また、生活習慣病予防を中心とした健康の維持増進のための身体活動（運動）が具体的に実践できるよう、その方法に関する基本的な知識を身につける。さらに、健康の維持増進のために運動を行う際の留意点についての知識を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験（中間試験と期末試験）＝60～80％ 小テスト / 授業内レポート＝欠格条件 宿題 / 授業外レポート＝20～40％ 授業態度や授業への参加度＝欠格条件 出席＝欠格条件</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業時にプリントを配布する。</p> <p>メッセージ 授業では、講義形式だけでなく、適宜、演習や実習も行います。その中には、運動を行うこともあるかもしれません。</p> <p>教官連絡先 丹 信介 Email: tan@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp 電話: 933-5388 研究室: 教育学部 436-2 オフィスアワー: 月 12:50～14:20</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	経 (151-300)	単位	1 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	塩田正俊				
<p>授業概要 近代化に伴う生活様式の省力化・機械化は、運動不足状態を作りだし、その健康への影響が心配されるようになってきている。本講義では、運動生理学、バイオメカニクス等の研究成果を、なるべく学生諸君の健康の保持・増進のための実践的な知識となるよう解説する。</p> <p>授業一般目標 体の基本的構造機能を理解し、それぞれに対する運動や食事の影響を考える。また、どの程度の運動や食事が必要であるかについて、実生活に即して考えられるようにする。</p> <p>成績評価方法（総合） 学期末試験の結果と授業中の小レポートの内容を主な評価の対象とする。欠席＝欠格条件 2/3 以上出席が単位認定のための最低必要条件です。遅刻は 2 回で 1 回欠席として扱います。</p> <p>教科書・参考書 教科書：複数のテキストから抜粋した資料を毎時間配布する。</p> <p>メッセージ 遅刻、私語、飲食は厳禁。</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	経 (301-)	単位	1 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	杉浦崇夫				
<p>授業概要 労働や日常生活が機械化されたことにより、我々の生活は便利かつ快適になった。その反面、身体活動の減少により、さまざまな運動不足の弊害が見られるようになった。このような現状において、その対策として日常生活において積極的に運動することの重要性が認識されている。しかしながら、運動はそのやり方によっては事故（最悪の場合、死）を引き起こす可能性もあることを忘れてはいけない。本講義では、身体運動時の生理・生化学的变化を概説し、健康の保持増進のためのプログラムについて紹介する。</p> <p>授業一般目標 本講義では、健康の保持増進のための身体運動の意義を生理・生化学的に理解するとともに、健康の保持増進のために運動を実践する際に必要な基本的考え方ならびに具体的方法について理解修得することを目的とする。</p> <p>成績評価方法（総合） (1) 毎回の授業においてレポートを課す。(2) 期末試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 なお、欠席が 4 回以上の者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント等を配布 / 参考書：講義中に指示する。</p> <p>メッセージ 授業中は、他人に迷惑になる行為は絶対に行わない。</p> <p>教官連絡先 E-mail takahito@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 0839335387, 研究室 教育学部 484-1, オフィスアワー 在室時は、いつでも</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	学教(幼児)・学教(障害)・学教(国理)・実践・総文	単位	1 単位	曜時間	木曜日 3・4 時限
担当教官	上地広昭				
<p>授業概要 行動科学の視点から、運動行動と健康の関係について説明し、運動行動を決定する要因、および運動行動を説明する理論・モデルを紹介する。また、グループワークにおいて、運動行動を促進させるためのプログラム開発に取り組む。</p> <p>授業一般目標 運動行動が健康に果たす役割、運動行動の決定因、および運動行動に関する理論・モデルの理解</p> <p>成績評価方法（総合） 出席率と定期試験の成績により評価する（ただし、欠席 3 回未満の学生のみを評価対象とする）。</p> <p>教官連絡先 教育学部 体育・スポーツ心理学研究室</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	生化・地球	単位	1 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	上田真寿美				
<p>授業概要 健康問題は、今や国民の最大の関心事である。健康の維持・増進のため、また QOL(生活の質)を向上するために、運動・スポーツをどのように行えばよいのだろうか。この授業では、現代生活における健康と運動の意味、運動と心身の関連および健康生活のための運動の意義について概説する。</p> <p>授業一般目標 現代社会における健康問題について理解し、現代生活における健康と運動の意義、運動と身体や心の健康の関係、健康な生活を送るための運動について説明できるようになる。また、具体的な運動の実践方法についても説明し、実施できるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 授業内レポートを数回行う。2. 関心のある健康問題や運動に関するレポートを宿題をして課す。3. 最後に試験を実施する。以上から評価する。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配付</p> <p>メッセージ 履修者が多い場合は抽選を行うことがあるので、初回は必ず出席のこと。遅刻は他学生へも迷惑がかかるので厳禁とする。皆さんの習熟度によっては授業内容を変更することもある。</p> <p>教官連絡先 E-mail: masumi-u@yamaguchi-u.ac.jp 通常は宇部キャンパス(医学部医学科医療環境学講座)にいます。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習(バレーボール)	区分	実技	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	牧野共明				
<p>授業概要 スポーツは現代に生きる人間にとって教養の一つである。それは、「体力や健康の維持・増進」という面のみでなく、スポーツを「人間として豊かに生きる」という観点から実践することを求めている。そして、そのためにはスポーツの価値をトータルにとらえることが必要となってくる。また、スポーツは授業で行ったり、大学のクラブで行ったりするだけではなく、大学を卒業してからも地域や企業内のクラブ等で続けることが求められる。しかし、現在そこには多くの問題が内包されている。そして、それらが解決できないために、スポーツ教室やクラブを続けられないという状況もたくさん生まれている。この授業では、そのようなことを踏まえ、生涯、スポーツと十分に関わるためにどのような知識や技能・技術が必要なのかということを考えながら、「バレーボールそのものの面白さ」も追求しつつバレーボールの実技を行う。</p> <p>授業一般目標 (1) スポーツをするための必要条件である、「人とかかわる能力」を一層身につけるため、グループ作りやある程度のルール作りを受講者が話し合いながら決めていく。(2) 実技においては、ゲーム中心に行い、バレーボールの戦術・戦略を経験を通して学ぶ。(3) スポーツをするために必要な場作りを実技を通して実際に学習する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席及び実技試験の成績等による総合評価で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業時に資料を配布する。/ 参考書：授業時に紹介する。</p> <p>メッセージ 授業では討議をする場が設定されている。みんなの前で自分の意見を積極的に言ってほしい。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：makino@yamaguchi-jc.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習(硬式テニス)	区分	実技	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	塩田正俊				
<p>授業概要 テニスは技術(ラケット・ワーク)、体力(フット・ワーク)そして精神力(ヘッド・ワーク)を要求される、かなりタフなスポーツである。しかし、老若男女をとわず体力、年齢に応じて楽しめるスポーツである。生涯スポーツとして、健康の保持増進に十分寄与するスポーツである。この授業では、基本技術をマスターし、ゲームおよびゲーム進行(審判法)を学習する。また、テニス特有のマナーなどについても学習する。</p> <p>授業一般目標 テニスは生涯スポーツとして、健康の保持増進に十分寄与するスポーツである。テニス技術は一見簡単にマスターできるように見えるが、実際コートにたってプレーをしてみるとなかなか思いどおりにいかない。まずは基本的な技術をマスターすることから始め、最終的には楽しくゲームができるまでをねらいに行う。</p> <p>成績評価方法(総合) 欠席4回以上は評価しない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配付</p> <p>メッセージ 天候や皆さんの習熟度に応じて授業内容を変更することがあります。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習(フィットネストレーニング)	区分	実技	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	河合洋祐				
<p>授業概要 フィットネスとは健康で活動的に行動できる能力を表す言葉である。適切な身体運動を継続していると運動に対して身体が適応し、フィットネスが向上する。フィットネスを高めるための適切な身体運動は個人の身体的条件によって異なる。本実習ではフィットネスを高め、ゆとりある日常生活を送るために必要なトレーニングの基本的考え方と個人の身体的条件に適した運動の実施方法を実技を通して習得する。また、トレーニング機器を安全かつ効果的に使用する方法を紹介する。</p> <p>授業一般目標 本実習ではフィットネスを高め、ゆとりある日常生活を送るために必要なトレーニングの基本的考え方を理解し、個人の身体的条件に適したトレーニングの実施方法を実技を通して習得するとともに、トレーニング機器の安全かつ効果的な使用方法を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 欠席3回以内で、トレーニングの記録とレポートを提出することが単位認定の条件である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜プリントを配布する。/ 参考書：授業の中で紹介する。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習(空手)	区分	実技	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	上地広昭				
<p>授業概要 本講では、沖縄空手道(上地流)の稽古を行う。講義内容は、礼儀作法、基本動作、型、ミットトレーニング、および護身術を中心に行う。本講は、初心者向けに構成されているため、受講生の性別、運動経験、および空手歴は一切問わない。</p> <p>授業一般目標 沖縄空手道を通して、礼儀作法、基本動作、および護身術を習得することを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席状況により評価する(3回以上の欠席は不可とする)。</p> <p>メッセージ 服装は、動きやすい服装ならば、空手衣でなくても構わない。ただし、安全面から、金具の付いている服装(金属のファスナーは可)や、ピアス・指輪を付けての練習は禁ずる。爪は各自切っておく。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: uechi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習(バスケットボール)	区分	実技	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	友定保博				
<p>授業概要 バスケットボールはアメリカで生まれたポピュラーなスポーツです。5人対5人のオールコートでの攻防は早くて激しく、初心者が自分以外の9人の動きを見て合わせることは大変むずかしい。そこでゴール1つ、ハーフコート、3人対3人という、ストリートバスケットやハーフコートバスケットなどで楽しむ人も多くなっています。本実習では3 on 3を基本に、グループ学習を進めることで、バスケットボールの楽しみ方を共有してほしい。</p> <p>授業一般目標 将来、スポーツをいろいろな場で実施し、みんなで楽しめるようにすることが目標です。具体的な目標は、1.グループメンバーの知性を結集して有効なフォーメーションプレーをつくる、2.作戦の成功のため協力して練習内容を創意工夫をする、3.ルールの理解を図り、みんなでバスケットボールのゲームを楽しめるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 評価は、グループごとの戦術づくりや練習計画・実施の状況などを中心に、以下の観点・方法で評価する。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>メッセージ 3 on 3で、バスケットボールの醍醐味を楽しもう!</p> <p>教官連絡先 tomo-y@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バレーボール)	区分	実技	開設期	後期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時間	木曜日 1・2 時限
担当教官	渡壁史子				
<p>授業概要 スポーツは文化の一つとして捉えることができるが、中でもバレーボールは近代に入って意図的に作られたスポーツ種目である。本授業では、バレーボールの楽しさを追求していくとともにバレーボールの運営、技術、戦略について理解していく。さらにバレーボールを含めたスポーツを「体力や健康の維持・増進」という面のみでなく、「人間として豊かに生きる」という観点から実践することを求めている。また、今日ではスポーツは授業で行ったり、大学のクラブで行ったりするだけではなく、大学を卒業してからも地域や企業内のクラブ等で続けることが求められる。しかし、現在そこには多くの問題が内包されている。そして、それらが解決できないために、スポーツ教室やクラブを続けられないという状況もたくさん生まれている。この授業では、そのようなことを踏まえ、生涯、スポーツと十分に関わるためにどのような知識や技能・技術が必要なのかということを考えながら実技を行う。</p> <p>授業一般目標 (1) スポーツをするための必要条件である、「人とかかわる能力」を一層身につけるため、運営に必要なグループ作りやある程度のルール作りを受講者が話し合いながら決めていく。(2) ゲームを軸に、バレーボールの戦術・戦略・審判法を経験を通して学ぶ。(3) バレーボールをするために必要な場作りを実技を通して学ぶ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席及び実技試験の成績等による総合評価で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業時に資料を配布する。/ 参考書：授業時に紹介する。</p> <p>メッセージ 話し合いながら授業を進めていくので、自分の意見が言え、人の意見が聞ける能力を身につけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：watakabe@yamaguchi-jc.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (硬式テニス)	区分	実技	開設期	後期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時間	木曜日 1・2 時限
担当教官	吉野信朗				
<p>授業概要 テニスというスポーツの楽しさは、その発生から考えてラリーを続けることにある。この授業では、初心者及び初級者を中心に、ラリーを続けるという楽しみを味わいながら、ゲームに必要な技術を習得し、テニスというスポーツの実践能力を養います。</p> <p>授業一般目標 本授業では、テニスの基本的な個人的技能(グラウンド・ストローク、ボレー、サービス、スマッシュ、) 応用的な技能、ゲームに必要なフォーション、基本的ルールを学習・習得するとともに、生涯にわたってスポーツを実践する態度を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 技能の習熟度、授業態度及び授業への出席状況から評価する。なお、欠席が4回以上の者には単位を与えない。</p> <p>メッセージ 授業の性格からして、きちんと出席し実践することが大切です。それによって初めてスポーツの楽しさ、おもしろさを感じ取ることができます。</p> <p>教官連絡先 083-972-2880【山口芸術短期大学】</p>					

系列 一般教養教育

分野 健康とスポーツ

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (サッカー)	区分	実技	開設期	後期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	海野勇三				
<p>授業概要 ここでは、サッカーを教材に、チームを編成して共同的な学習を展開していく。リーグ戦を中心として、チームごとに練習計画に沿った活動を進めていき、ゲームを分析しながら、戦術理解とチーム力を高めていきたい。また、スポーツとしてのサッカーの発生と発展の歴史についても学習する。</p> <p>授業一般目標 チームでの役割分担に基づいて、共同的な学習活動を展開することができる。また、練習とゲーム分析を通じて、攻撃と防御の技能を向上させ、戦術理解を深めることができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席状況、課題レポート、およびグループでの共同的な取り組みの状況等をもとに総合的に評価する。</p> <p>メッセージ グループで共同しながら、自主的な運営のもとに練習とゲームを進めていきます。スポーツのすばらしさを体感して欲しい。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス : yunno@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般教養教育

分野 健康とスポーツ

科目類型 総説

開設科目	スポーツの医学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (学教 (教科 (数))・生資除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	武藤正彦ほか				
<p>授業概要 スポーツの楽しさは誰もが知っていますが、医学的に見てもスポーツは健康増進と疾病予防のためにとっても重要です。「スポーツの医学」では、スポーツが身体に与える影響や病気との関りについて臨床医学の観点から多角的に学びます。</p> <p>授業一般目標 健康増進と疾病予防に対するスポーツの重要性を理解するために、スポーツが身体に与える影響や病気との関りについて学習する。</p> <p>成績評価方法 (総合) レポート又は小テストの成績と、出席により総合的に評価する。なお、出席日数が極端に低い者はそれだけで不合格とする。</p> <p>教官連絡先 mmuto@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 主題

分野 健康とスポーツ

科目類型 包括

開設科目	ライフスタイルと健康	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(学教(数))除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	細井栄嗣				
<p>授業概要 人の健康状態が生活様式に左右されることは、今や広く知られている事実である。人々の意識は高齢化社会の到来に伴い、いかに長生きできるかではなく、いかに死ぬまで健康でいられるかに向けられるようになった。本講義では健康な生活を送るために欠かせないいくつかの要因について取り扱う。</p> <p>授業一般目標 栄養学の基礎、すなわちそれぞれの栄養素の働きについて理解する。運動やその他の活動と活性酸素の害との関係について正しい知識を身につける。また生活習慣病の予防法について理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、期末試験で評価。出席が70%に満たない者は不可。</p> <p>教科書・参考書 教科書：五訂増補食品成分表 2008, 香川芳子監修, 女子栄養大学出版社, 2008年 / 参考書：プリントを配布</p> <p>メッセージ 教科書は講義中にも頻繁に使用するので必ず購入すること</p> <p>教官連絡先 E-mail hosoi@yamaguchi-u.ac.jp Tell 933-5826 研究室 農学部 126、オフィスアワー：水曜日の昼休み+随時</p>					

系列 一般教養教育

分野 総合教養

科目類型 総説

開設科目	ボランティアと自主活動	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時限	月曜日 9・10時限
担当教官	辻多聞				
<p>授業概要 大学を出て出て地域の人たちと出会おう。地域には様々な人たちがいて、金儲けを目指さないいろいろな活動を行っています。そういう活動が学生にとってどんな意味があるのか、感動や喜びを体験者に語ってもらい。実際の活動にも触れてもらいます。</p> <p>授業一般目標 ・ 地域の自主活動に関する基本的な事項について理解する ・ 地域の自主活動の各領域の概要と課題を説明できる ・ 自主活動について関心・意欲を持つことができる</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回のレポート(感想)60% + 最後の報告会の報告 40%で評価します。</p> <p>メッセージ 定員30名です。たいへん人気のある授業なので、最初の回に志望動機をかいてもらい、それをもとに30名を選考することになると思います。最初の回には必ず出席して下さい。</p>					

開設科目	キャリアデザイン	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日 7・8時限
担当教官	辻多聞				
<p>授業概要 キャリアデザインとは、一言で言うならば「人生設計」です。キャリアをデザインしていくうえで、5つの事項に誰しもが遭遇します。(1)長期にわたることなので、不確実でデザインのしようがない。(2)なにが起こるかかわからないので、偶然に身を任せたいほうがいい。(3)いつもキャリアの問題を考えているのはうっとうしい。(4)時代は、働く個人にキャリアについて考えるように要請し始めている。(5)節目のときだけは絶対に強く意識してデザインすべきものがキャリアだ。(5)を除くと上記項目はキャリアデザインを行っていくうえでの葛藤といえます。皆さんは、大学生活をすでに半年以上終えました。そして大学生活にもそろそろ慣れてきたことと思います。一方で自身のキャリアについて考えながら大学生活を送っていかねばならない時期を迎えたとも言えます。つまり、すでに上記葛藤に遭遇している、もしくは近々遭遇する可能性がある状態です。葛藤に対する回答は自らの力で導き出すしかないと考えます。しかし何のヒントもなく回答を出すことは非常に難しいと思われまます。本講義が、自身のキャリアを見つめてみる、デザインしてみる、さらにそのために大学生活で何をすべきかが見出せるきっかけとなることを願っています。</p> <p>授業一般目標 自分自身のキャリアデザインについて真剣に考えてみることを、さらに自身で考えたキャリアデザインにそって、より有意義に大学生活をすごすための目標を明確にすることを、この講義の目標とします</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜資料を配布する / 参考書：授業内で紹介する</p> <p>メッセージ 将来的には、一部をのぞいてほぼ皆さんは就職することになります。まずはキャリアデザインの一步として就職というものを知ってもらいたいと思います。次にキャリアデザインを進めるうえで、人とのコミュニケーションが非常に重要になります。この講義を通して自己表現能力を磨いてもらいたく思います。最後に、先人の様々な体験談から、自らのキャリアをデザインするきっかけ、さらにそれを実現するための大学生活のすごし方のヒントを見つけてもらいたいと思います。</p> <p>教官連絡先 ttsuji@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	クローズアップ・ドイツ	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	Hintereder-Emde Franz				
<p>授業概要 山口大学やその他の機関でドイツにかかわる研究をしているいろいろな人々が、ドイツでの生活体験や自分の研究分野に基づいて、「ドイツの映画」「ドイツの絵画」「ドイツの経済や日常生活」「ドイツの社会保障制度」「ドイツの映画」「ドイツの飲食文化」「ドイツと環境」といった視点から、ドイツについての情報を提供する。基本的には一人の講師が2回にわたって講義する。</p> <p>授業一般目標 2004年5月1日に10カ国が新たに加入し、現在25カ国からなっている「EU」が現代の世界で果たしている役割は計り知れないし、中東情勢が依然として不安定な現在その存在意義が今後一層高まることは確実である。この授業の目標は、ドイツ語の履修を問わずに、学生に、「EU」の中で中心的な役割を果たしているドイツの真の姿を様々な角度から伝えることで、ドイツをより身近に感じるようになってもらいたいということにある。対象学生は、2年生以降となっているが、1年生も奮って聞いていただきたい。異文化理解や外国語へのオリエンテーションにもつながると思われる。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内レポート=30%未満。各担当教官ごとに課題を出し、100点満点で成績をつける。マネージャーがそれを取りまとめ、計算し最終成績とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：各担当者が適宜教材を配布する。</p> <p>メッセージ 各担当教官の講義一週目に「質問の時間」をもうけるので、「二週目に聞きたいこと」があれば、口頭ないしは文書で申し入れるべく準備しておくこと。講義で紹介されるのはドイツの一面にすぎない。その他の事柄についても出来るだけ自分で興味を持って調べるようにして欲しい。</p> <p>教官連絡先 tel/fax: 933-5287 mail: emde@yamaguchi-u.ac.jp office hour: 月曜日 7・8時限(16:00~17:40)</p>					

開設科目	山口県の地域政策	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時間	水曜日 3・4時限
担当教官	辻田昌次				
<p>授業概要 我々の生活している山口県について、皆さんはどれだけ知っているでしょうか。この授業は、県知事や教育長をはじめとする県の各部局の政策責任者や経験者から直接、山口県の産業や教育・福祉・環境・健康などの各分野の現状・問題点さらには今後進むべき方向などについての講義を受け、山口県行政についての概要を知るとともに、関心を深め、山口県のイメージや自分の意見・考え方を形成することを目指す。また、授業を通じて、市町村合併や行政改革など激変する地方自治・地方行政のあり方を考える契機となることを目指す。このため、県・市町職員、教員等の公務員志望の学生の受講を歓迎する。</p> <p>授業一般目標 山口県について関心を深める。山口県の概況を知る。山口県が何をどのように取り組んでいるかを知る。山口県についてのイメージを形成する。山口県についての自分の意見・考えを形成する。地方自治・地方行政の現状・問題点・あり方を認識する。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト・授業内レポートおよび出席点で評価する。</p>					

開設科目	知の広場 - 人と学問 -	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時間	水曜日 7・8時限
担当教官	富永倫彦 外 14名				
<p>授業概要 さまざまな分野で活躍する専門家や著名人を講師として学外から招き、多様な分野における生き方を知ることによって、自らの人生設計に役立つ教養講座とする。</p> <p>授業一般目標 さまざまな専門領域や生き方に触れ、必要に応じてその分野の専門家や文献にアクセスできる能力を養う。また、講師自身の専門家および社会人としての体験から、それぞれの専門領域の社会的位置づけや将来への展望、さらには人間としての生き方を学ぶこと。この授業を契機として、学生が学問や社会や人間について問題意識を持つようになることが望まれる。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講者には毎回小レポートを提出してもらう。講師により最後の講義の後半で試験またはレポートを課すこともある。</p>					

開設科目	メディア情報処理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日 3・4時限
担当教官	熊谷武洋				
<p>授業概要 本講義は Adobe 社の Illustrator というソフトを利用し、コンピュータを用いたグラフィック デザインを行う。初心者を対象としているが、単に操作方法だけにとどまらず画像情報処理の基本原理やデザイン理論についても言及する。テキストは以下を用いる。 http://mis.edu.yamaguchi-u.ac.jp/kaisetu/note_text_2003/13/index.html</p> <p>授業一般目標 本講義は、簡単なグリーンカードやサークル勧誘ポスター、CD ジャケットなどを制作できる程度の操作方法を修得し画像情報処理における基本的な概念を理解することを目標としている。</p> <p>成績評価方法(総合) 提出された課題制作について、その制作過程、完成度についてそれぞれ総合的に評価する</p> <p>教官連絡先 E-mail:kumagai@yamaguchi-u.ac.jp 電話:083-933-5403</p>					

開設科目	アクティブラーニング	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日 7・8時限
担当教官	羽根拓也, 藤井文武				
<p>授業概要 変革の時代において必要なのは、既存の知識や状態に縛られることなく、常に上を目指し、「進化」し続ける力である。本コースでは、生涯に渡って使い続けることができる「自己成長の技術」を指導する。大学内で授業を受ける時に役立つ「学ぶ技術」から、大学外での活動を通してのキャリアアップの方法、ひいては卒業後、社会に出てから役立つ「ビジネス向上力」まで、いわゆる「生きる力」につながる人間力の向上を目指す。</p> <p>授業一般目標 1. キャリアアップ編：自分の人生を計画的に向上させていく技法を習得する。 2. ビジネス編：社会に出て通用するビジネス力を習得する。 3. スクール編：学校で役立つ学ぶ技術を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 以下の各項目について独立に評価を行い、その合計点を最終成績とする。(1)【出席点】「単なる出席」という状態に対する加点ではなく、「講義に参加し、教授される各種手法を能動的に身に付けようと努力すること」に対する評価点である。(2)【宿題・授業外レポート】講義中に提示されるレポート課題に対して回答レポートを提出してもらい、それを採点評価する。(3)【プレゼン評価】如何に自分が良いアイデアを持っているようとも、それを他者に対して的確かつ説得力のある形で提示できなければそのアイデアは陽の目を見ない...との観点から、講義中に提示する特定のテーマについてプレゼンテーション大会を実施し、それを採点評価する。受講者数にもよるが、プレゼンは基本的にはグループ単位で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：限界を突破する 学ぶ技術, 羽根拓也, サンマーク出版, 2004年; ジコピー道場, 羽根拓也, 日本実業出版社, 2004年</p> <p>メッセージ これから先、皆さんは様々な状況において様々な問題に遭遇し、それを解決しながら何かを成し遂げていくことになりませう。その際に、「上手なやり方」を知っているか否かで、実際の達成度や達成感、自己成長度などかなりの差が出てきます。この授業では、今後皆さんが内に秘めた能力を開花させ、社会との関わりの中で自らも成長しながら貢献する上で知っておくと得をする「上手なやり方」のエッセンスを、講義と参加型の演習を通じて習得することを目標としています。ぜひこの講義を活用して手法を習得し、実践の場でその活用を行っていくことで、自分の人生を組み立てていくことのできる「人間力あふれる自分」を作っていくてください。</p> <p>注)講師の都合により、時間割どりの通常授業と土曜日の集中授業を併用して開講する予定です。</p> <p>教官連絡先 本講義は、米大学での指導実績をもち、企業の社員教育などで評価の高い(株)アクティブラーニングの代表取締役社長 羽根拓也氏をメインの講師として向かえ、山口大学ベンチャービジネス(VB)育成施設が実施するものです。本講義に関する問い合わせには、VB育成施設が窓口となっておりますが、VB育成施設では対応が困難な事項については、必要に応じてアクティブラーニング事務局へ転送する形を取ります。そのため、問合せは基本的にはメールでお願いします。学内で対応可能と思われる事項についてのみ、電話での問合せでも対応可能です。 <連絡先> VB育成施設 藤井: vbl@yamaguchi-u.ac.jp (電話) 083 6-85-9850</p>					

開設科目	自然科学と現代社会 A	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (医除く)	単位	2 単位	曜時間	木曜日 9・10 時限
担当教官	朝日孝尚, 木内功, 浦上直人, 末竹規哲, 岩尾康宏, 阿部憲孝, 青島均, 三浦保範				
<p>授業概要 現代社会は自然科学によって支えられています。これからの社会で起こるさまざまなことに対処するためには、自然科学の基礎知識や考え方を身に付けておくことが不可欠です。これは理系の人だけでなく文系の人についても言えることです。この授業では、高校での履修を前提としないで、自然科学(数学, 物理学, 情報科学, 生物学, 化学, 地球科学の6分野)の基礎知識や考え方を文系の人にもわかりやすく講義します。</p> <p>授業一般目標 自然科学の基礎知識や考え方を理解して身に付け、それらに基いて考えることができるようになることを目指します。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内レポート, 授業外レポートで総合的に評価します。出席は欠格条件とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書: テキストは使用しません。</p> <p>教官連絡先 朝日孝尚, 理学部 1 号館 242 号室, hcc30@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 他の授業担当の関係で、時間割確定後に担当教員の変更があるかもしれません</p>					

開設科目	変動期の地域社会の課題	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (医除く)	単位	2 単位	曜時間	金曜日 7・8 時限
担当教官	辻正二				
<p>授業概要 1990年代初頭に激しくなったグローバル化の波は、インターネットなどの普及と相俟って地域社会を大きく変えた。そればかりが人口構造の高齢化、2000年に入ってから市町村合併などにより、地域社会は、豊かな大都市と貧しい地方都市という二極化の構図が鮮明になりつつある。こうした中、今日、地域社会は、過疎化や高齢化などからの脱却が求められている。この講義では、地域社会の変動を捉え、それからの脱出の方途としての施策や実践などを学ぶことを目指しています。</p> <p>授業一般目標 (1) いま日本の都市と農村に何が起きているか、都市と農村を研究する視点を学ぶ。(2) 地域社会が抱えている問題や課題を理解し、それらを総合的に把握する。(3) 地域社会の抱えているを解決するためには、どのようなまちづくりが必要かを学ぶ。</p> <p>メッセージ 地域社会に何が求められているか、問題意識をもって考える姿勢を育ててください。</p>					

開設科目	キャリアデザイン	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(医除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日 9・10時限
担当教官	辻多聞				
<p>授業概要 キャリアデザインとは、一言で言うならば「人生設計」です。キャリアをデザインしていくうえで、5つの事項に誰もが遭遇します。(1)長期にわたることなので、不確定でデザインのしようがない。(2)なにが起こるかかわからないので、偶然に身を任せようがいい。(3)いつもキャリアの問題を考えているのはうっとうしい。(4)時代は、働く個人にキャリアについて考えるように要請し始めている。(5)節目のときだけは絶対に強く意識してデザインすべきものがキャリアだ。(5)を除くと上記項目はキャリアデザインを行っていくうえでの葛藤といえます。皆さんは、大学生活をすでに半年以上終えました。そして大学生活にもそろそろ慣れてきたことと思います。一方で自身のキャリアについて考えながら大学生活を送っていかねばならない時期を迎えたとも言えます。つまり、すでに上記葛藤に遭遇している、もしくは近々遭遇する可能性がある状態です。葛藤に対する回答は自らの力で導き出すしかないと考えます。しかし何のヒントもなく回答を出すことは非常に難しいと思われまます。本講義が、自身のキャリアを見つめてみる、デザインしてみる、さらにそのために大学生活で何をすべきかが見出せるきっかけとなることを願っています。</p> <p>授業一般目標 自分自身のキャリアデザインについて真剣に考えてみることを、さらに自身で考えたキャリアデザインにそって、より有意義に大学生活をすごすための目標を明確にすることを、この講義の目標とします</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜資料を配布する / 参考書：授業内で紹介する</p> <p>メッセージ 将来的には、一部をのぞいてほぼ皆さんは就職することになります。まずはキャリアデザインの一步として就職というものを知ってもらいたいと思います。次にキャリアデザインを進めるうえで、人とのコミュニケーションが非常に重要になります。この講義を通して自己表現能力を磨いてもらいたく思います。最後に、先人の様々な体験談から、自らのキャリアをデザインするきっかけ、さらにそれを実現するための大学生活のすごし方のヒントを見つけてもらいたいと思います。</p> <p>教官連絡先 ttsuji@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	パソコンSOS2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	月曜日 11・12時限
担当教官	北本卓也、西口毅				
<p>授業概要 大学教育の問題点の一つは、学生自らが「発見し、はぐくみ、かたちにする」機会の乏しさである。受身の授業だけでは、問題探求・解決能力を育てることができない。本授業では、学生がパソコンSOSセンターにおけるパソコンユーザ支援に主体的に取り組み、その活動を通して「発見し、はぐくみ、かたちにする」ことを実体験する。</p> <p>授業一般目標 パソコンSOSセンターの学生スタッフとしての活動・体験を通して、パソコンのスキルを向上させ、問題解決能力、文書作成能力、自己表現力を身に付ける。また「パソコンSOS1」の既修得者はSA(ステューデントアシスタント)として、履修者の指導を行い、指導能力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席率80%未満を欠格条件とし、毎回のレポート作成と学期末の報告書作成を総合的に評価する。</p> <p>メッセージ パソコン相談員として活動するので、誰でも受講できるというわけではありません。受講希望者に対して、初回に能力診断テストを行い、パソコンに関するスキルが一定の水準以上の学生に履修を認めます。「パソコンSOS1」の既修得者については、無条件に履修を認めます。パソコンのトラブルなどで悩んでいる人の役に立ちたいという意欲を持つ学生を歓迎します。なお、授業の性格から、パソコン相談を行うことが授業への出席となります(曜日は希望に応じて決定)</p>					

開設科目	生命と倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	利部聡、粟屋剛、今井千文、内山新吾、川上義則、田中マキ子、野間伸次、波多江忠彦、杉山緑、松原幸恵、山口和人、瀬織厚、山本真弓				
<p>授業概要 人は、たった1匹の精子と、数百万個のうちの1個の卵子が会って長い人生を開始する。せっかくこの世に生を受けた命も、光を見ることなく闇から闇に葬り去られたり、生まれてこなかったほうがよかったと、治療停止をされたりする新生障害児もいる。成長しても、いじめに会って命を奪われ、戦争でも殺される。人の命を支えるために殺される家畜や実験動物の命はどうか。私達は、こういった問題をどのように考えたらよいのだろう。命を取りまく問題をいろいろな角度から取りあげ、「命」と「倫理(人の道)」をとともに考え、講義する。</p> <p>授業一般目標 皆さんの知的欲求を刺激し、大学で身に付けなければならない自己学習能力(理解能力・計画能力・情報能力)を養うことも目的とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業に出席し、4000字程度の感想文を提出してください。おもにこの2点で評価いたします。</p> <p>メッセージ 山口で考えられる最高の講師に依頼しました。「いのち」をさまざまな切り口から論じ、みんなで考えてみませんか。毎回講師が変わり、「いのち」というテーマがこれほどまでに奥深いと実感させられます。後期は就職活動・教育実習等で受講できないことがあると思います。相談に応じます。順番は講師の都合で変わることがあります。</p> <p>教官連絡先 利部 聡(かがぶ さとし) 電話:083-933-5910 居室:農学部北ウイング 211号室 オフィスアワー:金曜日11時から12時。在室時は随時</p>					

開設科目	地域と出会う - 地域とともに自主活動	区分	講義	開設期	後期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	水曜日9・10時限
担当教官	辰己佳寿子				
<p>授業概要 キャンパスの外を出て地域の人たちと出逢おう。地域の問題を理解し、地域おこしの取り組みに参加し、学びのプロセスの中で、地域のあり方について考えます。また、地域での自主活動を通して自分自身を見つめ直しましょう。</p> <p>授業一般目標 地域での自主活動を通して、地域を見る目を養う。</p> <p>教科書・参考書 教科書:特に定めなし。必要に応じて随時資料などを配布する。/参考書:特に定めなし。必要に応じて随時資料などを配布する。</p> <p>メッセージ 当事者性をもって地域の人々と関わらしましょう。自分自身に対峙するチャンスです。</p> <p>教官連絡先 電話 933-5083 E-mail:tatsumi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	現代経営学事情	区分	講義	開設期	後期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時間	水曜日3・4時限
担当教官	長谷川、古川、柳田、有村、内田、藤田(健)、城下、成富、中田、山下、石田、藤田(智)				
<p>授業概要 この授業では、経営学に関するオムニバス方式の講義をおこなう。経済学部経営学科の各教員が専門領域の基礎知識と最新のトピック・研究内容について、学生にわかりやすく説明する。</p> <p>授業一般目標 経営学で議論されている問題に関心を持ち、問題の所在や内容を知る。</p> <p>成績評価方法(総合) 1.学期末レポート(60%):各教員がそれぞれ担当した領域から課題を出す。受講者はその課題の中から一つの課題を選択し、レポートを作成して提出する。2.小レポート(40%):各トピックの関心事・感想等を出席カードに記入し、提出する。3.出席(欠格条件):8割以上の出席を必須とする。出席回数が開講回数の8割に満たない場合、単位を認めない。</p> <p>教科書・参考書 教科書:経営学をやさしく学ぶ,山口大学経済学部経営学科,中央経済社,2005年 メッセージ 授業の順番・内容は変更になることがあります。</p>					

開設科目	キャリアと就職	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工3年	単位	2単位	曜時間	水曜日5・6時限
担当教官	平尾元彦				
<p>授業概要 キャリアとは、職業経験、働く力。仕事にかかわる人生経路を意味する言葉である。学生は皆、大学を卒業(あるいは大学院を修了)して新たな活躍のステージへと移行するが、自分自身の将来のキャリアを考えて進路選択をすることが望ましい。その最初の活動が大学生の就職活動であり、大学院への進学を含む進路選択活動である。本講義は、「自分のキャリアは自分で考える」ための考え方を理解するとともに、働くための基礎知識を得ることを目的とするものであり、経済・社会、会社、そして自己理解のための理論および現実を学ぶことで、将来のキャリア選択や、現実問題として直面する就職活動に役立つ知識と方法論の習得をめざす。技術者としてのキャリア形成の考え方や大学院で学ぶことの意義、工学部学生の就職活動の進め方など工学部独自のメニューを盛り込みながら講義を進める。授業は講義形式で行うが、一人一人が自分の問題としてキャリアを考えることができるように、宿題レポートを多数とり入れた実践的な講義をめざしている。学んだことは自分の就職活動にいかしてほしい。</p> <p>授業一般目標 自分のキャリアを考えることの重要性を理解し、その方法論習得する 働く前に知っておくべき経済・社会・企業に関する基礎知識を習得する キャリア意識を高め、学業ならびに就職活動への意欲を増す</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出を求めるミニレポートのほか、課題レポート(宿題)にて評価する。レポートは「キャリアインタビュー」「キャリアモデル」「技術人材インタビュー」の3回を予定している</p> <p>教科書・参考書 教科書:講義中に資料を配布する/参考書:講義中に紹介する</p> <p>メッセージ 総合科目「キャリアと就職」は、前期4コマを吉田キャンパスで開講、後期は常盤キャンパスで水曜日5・6限の1コマ開講する。履修できるのはいずれか一つである。各回の授業内容は別途掲示にてお知らせするとともに、第一回目の講義で説明する。なお、本講義は原則として3年生以上を対象とする。</p> <p>教官連絡先 e-mail:hirao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	知的財産権論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工3年	単位	2単位	曜時間	水曜日 11・12時限
担当教官	堤宏守, 森 浩二, 山本豪紀, 高海克彦, 原田直幸, 中村秀明, 木村友久				
<p>授業概要 知的財産権は、人の知的・精神的活動の所産としての創作物を支配する権利を指しており、例えば、特許、実用新案のような発明に対して与えられるもの、意匠のようにデザインに対して与えられるもの、などが有ります。これらの権利は、現代社会を側面から支えているものであり、自分の開発した技術を実際に利活用する際に重要な役割を果たしています。この講義では、知的財産の基礎について学ぶほか、特許情報などの検索演習も行い、知的財産の実践的な利活用ができるための基礎を習得することを目指します。</p> <p>授業一般目標 (1) 知的財産(権)についての基礎的な用語などを理解できる。(2) 特に特許に関連した事項、発明の定義、特許になる発明、特許出願から登録までの流れなどを理解し、説明できるようになる。(3) 特許明細書の形式について知るとともに、明細書に記載されている内容を読み取ることができるようになる。(4) 特許電子図書館(IPDL)や山口大学特許情報検索システム(YUPASS)の使い方を理解し、必要な情報検索ができるようになる。(5) IPDLやYUPASSを利用して得られた特許情報などを整理し、簡単なパテントマップが作成できるようになる。(6) パテントマップなどから、様々な情報を読み取ることができるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 出席は、欠格条件とする。(2) 出席確認を兼ねた小レポート、小テストを行うことがある。(3) 成績評価は(2)及び課題レポート、定期試験により総合的に判断する。(4) 演習時の成果物も評価の対象とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義開始時に指示する。/ 参考書：講義開始時に指示する。</p> <p>メッセージ 企業などに就職したときに知的財産(権)について知っていることは、一つの強みになります。特許情報検索演習などがあるので、積極的な参加をお願いします。基礎知識の段階から講義を行うので、特に用意は必要ありませんが、身の回りの特許を使っている製品などを少し意識して探しておいてください。</p> <p>教官連絡先 講義開始時に連絡します。</p>					

開設科目	アジアの言語と文学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	3年(経・理・農), 2年(人・教)	単位	2単位	曜時間	木曜日 3・4時限
担当教官	富平美波				
<p>授業概要 人文学部の講座再編により、平成19年度から新設されたアジア言語文学講座が、講座全体としてはじめて取り組むオムニバス形式の授業です。高年次(3年生)の学生を対象に、教員12名が、これまでに培った学識を基礎とし、それぞれの得意とする領域・話題について、簡潔かつ平易に説きます。話題は1回ずつ完結していますが、全体を通じて受講すれば、アジアの言語の多様性とその特質、日本や中国の文学的伝統とその歴史の変遷が、おのずと理解できることと思います。</p> <p>授業一般目標 日本語・中国語・韓国語(朝鮮語)の歴史と現状はどのようなか、それらを含むアジアの言語を世界の言語全体の中に位置づけて見たとき、どのような特質が現れてくるか、日本文学・中国文学に見られる伝統と新しい動きはどのようなか、以上の諸点について、若干の基礎的知識を理解させ、合わせて、「今ある自分」をアジアの歴史と地域的広がりの中で捉え直すための動機付けを行います。</p> <p>成績評価方法(総合) 各回の講義の最後約15分間ほどを割いて、講義中に指示した課題についての小レポートを作成させ、講義担当者が採点する。毎回の得点を集計して最終評価を決定する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：授業中に各回の講義担当者が適宜指示します。</p> <p>メッセージ オムニバス形式の授業です。講義の先生は毎回交代しますので、マネジャーの業務に支障のないよう、遅刻せずに来てください。</p>					

開設科目	キャリア形成とコミュニケーション	区分	講義	開設期	後期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	木曜日 5・6時限
担当教官	平尾元彦				
<p>授業概要 コミュニケーション能力は、企業が新入社員に求める能力の第一にあげられる基本的な能力であり、これから職業社会に乗り出す学生にとってコミュニケーションスキルの獲得は重要な課題となっている。本講義は、キャリア形成の基本的な考え方を理解した上で、職業人として必要なコミュニケーション能力の向上を目的とするものであり、一部にグループ学習をとり入れた実践形式で講義を行う。学んだことは就職活動にいかしてほしい。グループワークを行うため受講者を30名以内とし、希望者多数の場合は抽選を行う。</p> <p>授業一般目標 キャリア形成の重要性を理解し、自己表現力を向上させる</p> <p>成績評価方法(総合) 授業への参加、授業中のプレゼンテーションで評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義中に資料を配布する / 参考書：講義中に紹介する</p> <p>メッセージ この講義はコミュニケーションを学ぶものであり、当然ながら授業においてもコミュニケーション能力が求められる。現段階において得意である必要はないが、講義に積極的に参加して能力を高めたいという強い意欲は必要である。時間内に小グループでのグループワークを行う。はじめて出会う学生との集団作業に積極的に取り組まなければならない。各回の講義内容は別途掲示にてお知らせする。受講生は必ずすべての回に出席すること。</p> <p>教官連絡先 hirao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	時間学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	金曜日 3・4時限
担当教官	青山拓央他7名				
<p>授業概要 時間学研究所のスタッフによる授業(8名程度の講師が交代で行なう)。体内時計の機構、時とは何か、生命の発生と絶滅、社会的時間など、時間学の研究成果を分かりやすく学び、その面白さを知るとともに、自分にとっての時間の問題を考える。</p> <p>授業一般目標 多岐にわたる専門分野の講義から、時間学の成果と、時間をあつかうための幅広い知識とを習得し、時間と人間社会に対する理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 各講師により、授業内レポートあるいは小テストを実施し、その結果で評価を行なう。そのため、各講義への出席はもちろん、講義内容を意欲的に理解する姿勢が重要となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：時間学入門(仮題・2008年刊行予定)、辻 正二ほか、恒星社厚生閣、2007年；本教科書は、授業を担当する各講師により、講義内容に沿うかたちで執筆されている。受講者は所持することが望ましい。 / 参考書：『やわらかな生命の時間』、井上慎一、秀和システム、2006年</p>					

開設科目	自然科学と現代社会 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	3年(経・理・農),2年(人・教)	単位	2単位	曜時限	金曜日 9・10時限
担当教官	内藤博夫(マネージャー),小宮克弘(数学),野崎浩二(物理),山本隆(情報),川俣純(化学),山中明(生物),三浦保範(地球),平尾元彦(就職・進路) 以上8名				

授業概要 自然科学は、現代社会の営みと深い関わりを持ちながら発展してきました。近い将来、社会に出て大学で培ってきた教養や技量を発揮しなければならない学生諸君にとって、自然科学の幅広い知識や考え方を有効に活用できるようになることは、自身の素養に深みを与えるという点で大切なことです。また、企業活動や研究活動を始めとする様々な社会活動においては、既知の知識だけでは対応できず、新しい知識を吸収し伝えなければならない場面に遭遇することも多々あります。このような状況を踏まえて、この授業では、自然科学各分野の話題を題材にして、必要な知識を如何に吸収し分かり易く伝えるかを小論文形式で練習します。また、これらの練習を通して、身近に迫った自身の進路選択に対してどのように備えるかを考えます。授業は、基本的に2週を1セットとして展開されます。第1週目では、自然科学各分野の話題を講義し、それに関する課題を提示します。第2週目では、提示された課題について、小論文形式のレポート作成を行います。第1週目に講義される話題についてはガイダンス時に発表します。また、授業計画中間の第8週では、就職と進路についての講義を行い、進路選択のための情報提供を行うとともに、期末レポートの課題を提示します。

授業一般目標 場面ごとに提示される課題に対して、問題解決に必要な知識を見つけ出し、それらを的確に伝える能力を身に付けるとともに、学生自身が将来の進路選択の準備を整えることを目指します。

成績評価方法(総合) 出席、隔週のレポート、期末レポートにより総合的に判断する。

教科書・参考書 参考書：参考書備考：適宜プリント等を配布する

メッセージ 講義の順番は変更する事がありますが、意欲的に取り組んでください。

教官連絡先 理学部1号館137号室(内藤研究室)

備考 他の授業担当の関係で、時間割確定後に担当教員の変更があるかもしれません

後期 - 專門基礎教育

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	数理・物情	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	大城紀代市				
<p>授業概要 理工系学問の基礎である微分積分学，特に二変数と三変数関数の微分法と積分法を中心に講義する。</p> <p>授業一般目標 二，三変数微分積分学の基本的概念を理解し，その計算法を習得する。偏微分法・重積分法，合成関数の微分公式，累次積分の公式など，多変数微分積分学における様々な概念や手法を理解し，習熟する。さらに，それらの理解と習熟のもとに，理系分野における様々な問題への数学的解決能力を養う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：入門微分積分，三宅敏恒，培風館，2000 年</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学 (1-43)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	柏木孝夫				
<p>授業概要 理工系学問の基礎である微分積分学において，一変数関数・二変数関数の積分法を理解させ，計 算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 一変数関数、二変数関数の積分学の基本的な概念を理解し，計算法を習得する。二重積分法、変数変換による二重積分法など、微分積分学における 様々な概念や、手法を理解し、習熟する。さらに、それらの概念の理解のもとに、理系 分野における 様々な分野の分野の問題を解決できるような応用力を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験と講義中に適宜行う問題演習の取り組み状況により、以下の割合で総合的に判 定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：工学・理学を学ぶための微分積分学，三好哲彦・加藤崇雄・菊政勲，共立出版，2005 年；取扱店 (大学生協) / 参考書：微分積分学についての各種演習書</p> <p>メッセージ わからないことは遠慮なく質問すること</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学 (44-)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	笹井理恵				
<p>授業概要 解析学全般の入り口でもある解析学を学ぶことにより、専門分野において数学的アプローチのできる実力を養う。数学 II では、積分学に重点を置く。</p> <p>授業一般目標 一変数、多変数の関数の積分について学ぶ。多変数関数の積分を学び、積分の変数変換の公式が自在に応用できることを目指す。</p> <p>教科書・参考書 教科書：工学理学を学ぶための微分積分学、三好哲彦、加藤崇雄、菊政勲、共立、2 年</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	再履修クラス	単位	2 単位	曜時限	月曜日 11・12 時限
担当教官	岡田真理				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分 (偏微分) と積分 (重積分) について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教官連絡先 okada@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	再履修クラス	単位	2 単位	曜時限	月曜日 11・12 時限
担当教官	西山高弘				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分(偏微分)と積分(重積分)について考える。練習問題をなるべく多く解き、理解を深めるとともに応用力を養う。</p> <p>授業一般目標 偏微分や重積分の意味を理解し、実際に自分で計算できるようになること。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間テスト 30%、期末テスト 70%の割合で評価する。欠席が多い場合は「不可」となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない/参考書：数学 I の教科書または参考書</p> <p>メッセージ 授業中の演習では、問題を自ら考えて解き、できなかった箇所は後日に再度解いてみるなど、積極的に授業に参加することが望ましい。</p> <p>教官連絡先 研究室：本館北 2 F</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	渡邊正				
<p>授業概要 高等学校で学んだ微積分学の内容を確実に理解させる。また、応用する能力を確実に定着させる為に、演習をレポート形式で行う。</p> <p>授業一般目標 微積分学の演習が主な内容であり、演習問題が解ける様になるのが目標であるので、レポート問題を毎日出題するので、必ず次週に提出すること。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分と積分, 岡本和夫, 実教出版, 1998 年</p> <p>メッセージ 基礎的な内容であるから、時間をかけて問題を解けば必ず解けるので、あきらめずに挑戦すること</p> <p>教官連絡先 E-mail tadashi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	生化・地球	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	尼野一夫				
<p>授業概要 理系学生にとって必要不可欠な解析学の初歩である二変数関数の偏微分法、重積分法についてその概念の理解と計算方法を修得させる。</p> <p>授業一般目標 多変数関数特に二変数関数に関する微分積分学の基本的な概念を理解し、偏微分法、重積分法におけるさまざまな手法や応用を身につけ、正確な計算ができる能力を養う。さらに、これらを用いて、理工系各分野でのさまざまな問題を解決できる応用力を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として中間試験と定期試験だけで評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分, 石原 繁, 浅野重初, 裳華房, 2003 年</p> <p>メッセージ 毎回授業は講義中心であるから毎回予習を行うこと。その日に習った内容はその日のうちに理解するように努力すること。</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	A の 1 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	柏木孝夫				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分 (偏微分) と積分 (重積分) について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験等を行わない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 前期の数学 I と同じ教科書です。 / 参考書: 微分積分学についての各種演習書</p> <p>メッセージ わからないことは後にまわさないですぐに質問等してください</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	A の 2 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	井上 透				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分のの基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 主として中間試験と期末試験で評価するが、演習・レポート等も加味する。出席については欠格条件とする。再試験等はありません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年；前期の数学 I と同じ教科書です。</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	A の 3 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	笹井理恵				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分のの基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年；前期の数学 I と同じ教科書です。</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	A の 4 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	大城紀代市				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分のの基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年；前期の数学 I と同じ教科書です。</p> <p>教官連絡先 oshiro@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	B の 1 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	重永和男				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分のの基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。この科目は確かな基礎力を有する技術者を指して、数学、自然科学、情報処理の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年；前期の数学 I と同じ教科書です。</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	B の 2 クラス	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	安藤良文				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に 応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論，高橋泰嗣・加藤幹雄，サイエンス社，1998 年；前期の数学 I と同じ教科書です。</p> <p>教官連絡先 理学部 1 3 1 室</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	B の 3 クラス	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	木内功				
<p>授業概要 理工学系問の基礎である微分積分学において、二変数関数の偏微分と重積分を理解させ、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 二変数関数の微分積分学の基本的な概念を理解し、計算方法を習得する。合成関数の微分法、累次積分の公式など、微分積分学における様々な概念や手法を理解し、習熟する。さらに、それらの概念の理解をもとに、理系分野における様々な分野の問題を解決 できるような応用力を養う。この科目は以下の理学系の学習・教育目標に対応します。（A）確かな基礎力を有する技術者を 目指して以下の能力を身につける。A-1 数学、自然科学、情報処理の基礎力</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と定期試験だけで評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論，高橋泰嗣・加藤幹雄，サイエンス社，1998 年；後期から受講される学生は、"山口大学生 協" に注文してありますから、購入してください。</p> <p>メッセージ 毎回授業は講義中心であるから毎回予習を行うこと。その日に習った内容はその日のうちに理解するように努力すること。</p> <p>教官連絡先 研究室：理学部本館 1 3 9 号室 オフィスアワー：特に設けていない</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	B の 4 クラス	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	内藤博夫				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分 (偏微分) と積分 (重積分) について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として中間試験と期末試験及び演習で評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年 ; 前期の数学 I と同じ教科書です。</p> <p>教官連絡先 理学部 1 2 9 室</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	B の 5 クラス	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	宮澤康行				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分 (偏微分) と積分 (重積分) について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験, 期末試験, レポートで評価する。出席については欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年 ; 前期の数学 I と同じ教科書です。</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	B の 6 クラス	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	増本誠				
<p>授業概要 数学 I で学んだ一変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に二変数関数の微分(偏微分)と積分(重積分)について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分の基本的な概念の理解と計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識や問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験・期末試験と小テストで評価する。出席については欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 前期の数学 I と同じ教科書です。</p> <p>教官連絡先 理学部本館 1 階 1 3 0 号室 内線 5 6 6 0 E-mail: masumoto@yamaguchi-u.ac.jp (差出人の所属学部学科名・学年・氏名のうち、一つでも明記されていないメールは受理しない。)</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	社建	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	松野好雅				
<p>授業概要 電磁気学の基本法則、及びその応用について学ぶ。講義では各法則を身近な具体例をあげながら説明し、種々の電磁現象に対する理解を深める。</p> <p>授業一般目標 1. 電気、磁気に関するガウスの法則、並びにその使い方を理解する。 2. アンペールの法則(電流のつくる磁場)及びその使い方を理解する。 3. 電磁誘導を理解する。 4. 直流、及び交流回路の基礎を理解する、 5. 交際単位系を理解し、自在に使えるようになる。この科目は以下の社会建設工学科の学習・教育目標に対応します。(A) 確かな基礎力を有する技術者を旨して以下の能力を身につける。 A-1 数学、自然科学、情報処理の基礎力</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験、及び学期末試験の 2 回の試験で総合的に評価する。配点は各 5 0 % とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 第 3 版 基礎物理学, 原 康夫, 学術図書出版, 2006 年</p> <p>メッセージ 予習、復習をきちんとやること。講義ノートをとること。</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学・看護・検査	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	白石清				
<p>授業概要 物理学の基礎の一つである電磁気学の初歩を講義する。これを理解するために必要な数学 知識も適宜講義する。また、出来る限り多くの演習もやりたい。</p> <p>授業一般目標 電磁気学の基礎的な概念(電場, 磁場, ポテンシャル)を理解し, さらに専門的な学習につなげる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 物理の基礎, 長岡洋介, 東京教学社, 2000 年 物理学 I の教科書と同じ / 参考書: 絶対わかる電磁気学, 白石清, 講談社サイエンティフィク, 2006 年</p> <p>教官連絡先 理 2 0 5</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	学教(教科(数))・情報(表現)・理(物情除く)・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	増山和子				
<p>授業概要 物理学は自然科学の中でも最も基礎的な学問のひとつであり、将来の専攻分野を学ぶ場合に基礎となる物理学を十分に理解しておくことが必要である。前期に「力学」を履修したことを受け、後期ではもう一つの重要な内容である「電磁気学」について、初等的な事項から出発して具体的な現象と結びつけて説明し、電磁気学の基礎を講義する。</p> <p>授業一般目標 電磁気学は電気及び磁気に関する物理現象を扱っており、現代社会において、テレビ、コンピュータを初めとする電気・電子技術の基礎となるものである。電場、電流、磁場、電磁誘導などの電磁気学の概念を学び、電磁気現象に対する理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 数回の課題レポートと試験結果をもとに、以下の割合で総合的に評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 物理の基礎, 長岡洋介, 東京教学社, 2000 年; 前期の物理学 I の教科書を、引き続き使用する。 / 参考書: プリントを配布する</p> <p>メッセージ 授業に出席し、演習レポートを確実に解いて提出すること。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: masiyama@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	学教(教科(数))・情報(表現)・理(物情除く)・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	田澤輝武				
<p>授業概要 物理学は自然科学の中でも最も基礎的な学問のひとつであり、将来の専攻分野を学ぶ場合に基礎となる物理学を十分に理解しておくことが必要である。前期に「力学」を履修したことを受け、後期ではもう一つの重要な内容である「電磁気学」について、初等的な事項から出発して電磁気学の基礎を講義する。</p> <p>授業一般目標 物理学の基礎であるとともに、将来の専門分野を学ぶ際に必要となる電磁気学(この講義では電磁気学の基礎)について説明する。物理学では対象とする自然現象すべてを数学的な方程式の形で表わされる普遍的な法則を用いて数量的に分析・解明する。このような物理における分析的な考え方・方法を具体的な問題を通して身につけるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 数回の課題レポートと試験結果をもとに、以下の割合で総合的に評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者は履修放棄をしたものとみなす。</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回、あらかじめ次回の講義プリントを配付する。/ 参考書：参考書については初回の講義で提示する。</p> <p>メッセージ 予習、復習をきっちりやっていることを前提にする。授業には必ず出席し、演習レポートを確実に解いて提出すること。</p> <p>教官連絡先 理学部 217号室</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	物情	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	原純一郎				
<p>授業概要 力学、熱力学と並んで古典的な物理学の基礎を形成する電磁気学の講義を行なう。数学的な準備を多少した後、静的な電場の記述から始まり、定常電流、電流と磁場、さらに進んで動的な電磁場について入門的解説をする。電磁気学は目に見えない「場」を扱う学問なので、初めて習う者には取り付きにくい面がある。この講義では、具体的な例題を数多く取り上げ、それを基本法則から理解する過程を丁寧に説明する。</p> <p>授業一般目標 実験事実を支えられた積分形の電磁気学の法則について学ぶ。簡単な電荷分布が作る電場や電流分布が作る磁場の様子を考察し、様々な電磁現象を基本法則にもとづき解析する力を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 宿題・授業外レポートを課す。定期試験を実施する。以上と出席の状況とにより総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は指定しない。/ 参考書：授業のはじめにいくつか紹介する。</p> <p>メッセージ 電磁気学では、微分・積分に加え、ベクトル代数やベクトル解析など数学の基礎知識が必要です。数学 I、数学 II を履修すると良いでしょう。</p> <p>教官連絡先 理学部 206 室。</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工 2 年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 11・12 時限
担当教官	真田篤志				
<p>授業概要 物理学は現在の物質文明を支える自然科学の基礎となる大変重要な学問である。その中でも「力学」と並び様々な科学技術の基礎となる「電磁気学」について、具体的な現象と結びつけながら基礎知識を修得する。</p> <p>授業一般目標 1. 電磁気学の基本法則（クーロンの法則、ガウスの法則）について説明できる。2. コンデンサの原理を理解し、電気容量を求める事が出来る。3. 電流と磁場の関係を理解し、電流の作る磁場の強さ、および電流が磁場から受ける力の強さを求めることが出来る。4. 電磁誘導の基本法則について説明することが出来る。5. 交流回路における抵抗（インピーダンス）の概念を理解する。</p> <p>成績評価方法（総合） 出席状況、演習および定期試験の結果をもとに、総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：第3版基礎物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 2006年</p> <p>メッセージ 予習・復習を十分に行い、講義内容の理解を深めて下さい。</p> <p>教官連絡先 工学部本館(北)235号室</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	応化	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	鍋木修				
<p>授業概要 古典的(非量子的)場の理論の典型としての電磁気学の基礎に関する講義です。電荷・電流に付随した場として、それぞれ電場・磁場を導入し、それらが満たす法則について解説します。また、電場・磁場中での荷電粒子の運動や、導体の電氣的性質についても学んでもらいます。</p> <p>授業一般目標 電場・磁場の概念をしっかりと身につけて、それらに基づいて電磁気学的現象を把握できるようになること。</p> <p>成績評価方法（総合） 中間・期末の2回のテストを中心に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：第3版基礎物理学, 原康夫, , 2006年</p> <p>教官連絡先 未定</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	機械	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	只友一行				
<p>授業概要 電磁気学は電気及び磁気に関する物理現象を扱っており、現代社会において、テレビ、コンピュータを初めとする電気・電子技術の基礎となるものである。電場、電流、磁場、電磁誘導などの電磁気学の概念を学び、電磁気現象に対する理解を深める。</p> <p>授業一般目標 機械工学の理系基礎および工学基礎分野において、特に物理学(電磁気学の基礎)に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験、期末試験を基本に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 第3版基礎物理学, 原康夫, 学術図書, 2006年</p> <p>メッセージ 教科書をよく読み、理解を深めるために演習問題を確実に解いて下さい。</p> <p>教官連絡先 tadatomo@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	電気	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	真田篤志				
<p>授業概要 物理学の基礎としての「波動」「光」「熱」について解説する。我々に身近な波動、光、熱に関係した現象の物理学におけるとらえ方を理解するための考え方に重点をおく。また、波動、光、熱に関連したマクロな現象が、原子分子などのミクロな世界にどのようにつながっているかを学ばせる。</p> <p>授業一般目標 波動、光、熱についてのさまざまな現象を理解でき、またマクロな現象とそのもととなるミクロな原子分子の振る舞いの繋がりを理解できるようになる。確かな基礎力を有する技術者を目指して数学、自然科学、情報処理の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 演習、宿題、定期試験を総合的に評価し、採点する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 第3版基礎物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 2006年</p> <p>教官連絡先 研究室: 工学部本館(北)235号室</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	知能	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	内藤裕志				
<p>授業概要 電磁気学は電気及び磁気に関する物理現象を扱っており、現代社会において、テレビ、コンピュータを初めとする電気・電子技術の基礎となるものである。電場、電流、磁場、電磁誘導などの電磁気学の概念を学び、電磁気現象に対する理解を深める。</p> <p>授業一般目標 知能・情報工学の理系基礎および工学基礎分野において、特に物理学（電磁気学の基礎）に関する専門知識、問題解決に活用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 中間試験、期末試験を基本に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：第3版基礎物理学, 原康夫, 学術図書, 2006 年</p> <p>メッセージ 教科書をよく読み、理解を深めるために演習問題を確実に解いて下さい。</p> <p>教官連絡先 naitou@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	感性	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	鍋木修				
<p>授業概要 古典的（非量子的）場の理論の典型としての電磁気学の基礎に関する講義です。電荷・電流に付随した場として、それぞれ電場・磁場を導入し、それらが満たす法則について解説します。また、電場・磁場中の荷電粒子の運動や、導体の電気的性質についても学んでもらいます。</p> <p>授業一般目標 電場・磁場の概念をしっかりと身につけて、それらに基づいて電磁気学的現象を把握できるようになること。</p> <p>成績評価方法（総合） 中間・期末の2回のテストを中心に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：第3版基礎物理学, 原康夫, , 2006 年</p> <p>教官連絡先 未定</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	循環	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	田澤輝武				
<p>授業概要 前期の「力学」と同じく、物理学の基礎であるとともに、将来の専門分野を学ぶ際に重要となる電磁気学について説明する。</p> <p>授業一般目標 物理学の基礎であるとともに、専門分野の学習に必要な物理学（この講義では電磁気学の基礎）を学び、科学・技術が対象とする自然現象すべては数学的な方程式で表わされる普遍的な法則を用いて数量的に分析・解明できるという物理的な考え方・方法を具体的問題を通して身につけるようにする。</p> <p>成績評価方法（総合） 数回の課題レポートと試験結果をもとに、以下の割合で総合的に評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者は履修放棄したものとみなす。</p> <p>教科書・参考書 教科書： 毎回、あらかじめ次回の講義プリントを配布する。 / 参考書： 参考書などについては初回の講義で提示する。</p> <p>メッセージ 予習、復習をきっちりとやっていることを前提に講義します。授業には必ず出席し、演習レポートは確実に解いて提出すること。</p> <p>教官連絡先 理学部 217号室</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護・検査	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	田中経彦				
<p>授業概要 保健学科検査技術専攻学生を対象に、医療検査、基礎研究で骨格となる分析化学の原理、技術を学習する。レポート提出の形で演習する。以後の化学系教科書を読解できる基盤知識（教科書の記述に疑問が見出せるレベル）と専門での分析系実習に必要な基礎知識を与える。数学、物理の公式原理についても確認しながら説明していく。</p> <p>授業一般目標 検査技術専攻学生に必要な基礎化学知識の理解。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験と小テストの点数による</p> <p>教科書・参考書 教科書： 分析化学実験、内海諭他、東京教学社、1991年； 予定</p> <p>メッセージ 検査を対象にします。</p> <p>教官連絡先 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/tatehiko/po-login/index.html ここから質問とその回答を掲載したページへ行けるようにします。授業の終わりに質問を受け付けるつもりですが、不足であれば水曜日の昼休みに後日連絡する教室に質問受付のためにはいます。メール連絡先： tatehiko@yamaguchi-u.ac.jp 0836-22-2857</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	知能	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	梶原忠彦				
<p>授業概要 有機化学の基礎を修得するために、まず最小限の基礎原理を説明する。次に、それにもとずいて各種の有機反応を理解することによって、有機化学の基礎を確かなものにする。</p> <p>授業一般目標 有機化合物の結合や構造および反応を電子、分子軌道、立体化学などのごく限られた基礎原理から理解することによって、有機化学の基礎を系統的に身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)ショートテスト(毎回実施)およびレポート。(2)中間テストの実施および演習。(3)期末試験の実施。なお、出席が所定の回数に満たない者には、単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書、テキストは、使用しない。講義、演習は、プリントおよびプロジェクターで行う。/ 参考書：適当な参考書は講義の中で、適宜紹介する。</p> <p>教官連絡先 E-mail: kajiwara@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	感性	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	岩田祐之				
<p>授業概要 有機化学の基礎的な概念を述べ、主要な有機化合物の化学結合、分類、命名法、化学構造、物理的および化学的性質、反応、合成法などの有機化学の概要を説明する。また、有機化合物を取扱う実験・研究に必要な基礎知識を身につけることを目的とする。</p> <p>授業一般目標 有機化学が、生命現象や生活環境に大きく関わりを持っていることを理解し、またそれらは全て化学反応の組み合わせであることを理解する。一般に、原子の構造と化学結合、命名法や化学構造、化学反応、芳香族化合物の反応性・配向性から有機合成などが理解できるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間・期末試験および出席(レポートを含む)によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：マクマリー有機化学概説第6版, John McMurry 他著/伊東 眞 訳/児玉 三明 訳, 東京化学同人, 2007年</p> <p>教官連絡先 岩田祐之(農学部本館 231 室) 電話 5899 E-mail: hiwata@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	生機・獣医	単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	岩田祐之・中市統三・森本将弘・本道栄一				
<p>授業概要 有機化学の基礎的な概念を述べ、主要な有機化合物の化学結合、分類、命名法、化学構造、物理的および化学的性質、反応、合成法などの有機化学の概要を説明する。また、有機化合物を取扱う実験・研究に必要な基礎知識を身につけることを目的とする。</p> <p>授業一般目標 有機化学が、生命現象や生活環境に大きく関わりを持っていることを理解し、またそれらは全て化学反応の組み合わせであることを理解する。一般に、原子の構造と化学結合、命名法や化学構造、化学反応、芳香族化合物の反応性・配向性から有機合成などが理解できるようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間・期末試験および出席 (レポートを含む) によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: マクマリー有機化学概説第 6 版, John McMurry 他著 / 伊東 三 訳 / 児玉 三明 訳, 東京化学同人, 2007 年</p> <p>教官連絡先 岩田祐之 (農学部本館 231 室) 電話 5899 E-mail: hiwata@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	応化	単位	2 単位	曜時間	火曜日 3・4 時限
担当教官	野口三千彦				
<p>授業概要 有機化学の基礎を体系づけて学ぶコースです。有機化合物の基本元素である「炭素」を中心にその性質と反応を学習します。この授業ではアルカンから始まり、コンホメーション・光学異性・立体異性・求核置換反応・脱離反応などの有機化学のもっとも基礎的な範囲について学習します。また、3次元的な分子構造の理解を助けるために、分子模型を積極的な利用も行います。</p> <p>授業一般目標 コース終了時には、修了者は 1. アルカンやシクロアルカンのコンホメーションに対する正しい理解と評価が得られ、2. 光学異性体や立体異性体について、その存在と命名および3次元的な構造把握ができ 3. 求核置換反応と脱離反応について反応様式とその特性を理解していることを目標とします。さらに、4. これらの知識を利用して初歩的な有機反応に関する議論ができることで、この後の専門科目である有機化学 I に対してスムーズに橋渡しできる、ことも期待されます</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験と期末試験を主として評価する。また小テスト、レポート、出席状況も評価の対象に含まれる。出席状況を定期試験の欠格事項にすることはしないが、出席しなければ理解できないので毎回必ず出席してください。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 「現代有機化学(上)第4版」, ボルハルト・ショアー, 化学同人, 2004年; 教科書のほかに HGS 分子構造模型 C: 有機化学学生実習用セット, 丸善 も必須です。講義の理解を助けるための「参考資料」を HP からダウンロードしてください。</p> <p>メッセージ 有機化学はそれほど難しいものではありませんが、英語などの語学の勉強とよくにしています。毎日少しずつ継続的に勉強してください。</p> <p>教官連絡先 工学部応用化学科; E-mail: org-chem@yamaguchi-u.ac.jp; Tel: (0836)85-9261; 工学部本館 4 階北側 432 号室; 水曜日 5,6 時限</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	循環	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	山本豪紀				
<p>授業概要 ものをつくり、ものを対象とした研究を行う分野において、ものの本質や特性を知ることなく、これを進めることは不可能である。人間が生産・使用・消費するものの大部分が有機化合物であることを鑑みると、高度な研究能力をもって、環境関連分野をはじめとする様々な分野で社会に貢献できる人材養成のためには、一連の有機化合物に対する知識が不可欠である。そこで、本講義では脂肪族炭化水素、芳香族炭化水素、ハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル等の構造と性質、およびそれらの反応について説明するとともに、有機化合物の反応における基本的な原理・法則や、工学と有機化学との関わりについても解説する。</p> <p>授業一般目標 (1) 理系学生として最低限必要な有機化学の基礎的な事項について理解する。(2) 一般的な有機化合物の構造、性質、反応について知る。(2) 有機化合物について関心をもち、工学の中での有機化合物の役割を積極的に理解しようとする態度を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 詳細は第1回目講義のガイダンスで行うが、中間試験、期末試験、課題レポート、講義への取り組みの積極性を総合的に評価する。出席が所定の回数に満たない者は不合格となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: ブルース有機化学概説, Paula Y. Bruice 著, 大船泰史・香月 昴 訳, 化学同人, 2006年 / 参考書: グリーン・ケミストリー, 吉村 忠与志 他著, 三共出版, 2001年</p> <p>メッセージ 有機化学にも数学や物理と同じように「公式」があります。公式を理解し、利用できるようになると、有機化学は難しくありません。また、今ではたくさんの有用な情報がインターネット上にあります。講義に関連する多くの情報もインターネット上にありますので、それを上手に利用してください。但し、間違った情報には気をつけて下さい。</p> <p>教官連絡先 工学部本館南4階 h-yimmt@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	社建	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	中野昭夫				
<p>授業概要 有機分子の構造、有機化学反応の基礎を最初に講義する。次に生命体を構成する生体物質や環境に影響を及ぼす有機分子等について学んで行く。化学 I に続き、食と健康や環境を有機化学の観点から学んで行く。</p> <p>授業一般目標 学問の進歩に伴い、科学の全ての分野で分子レベルでの解明が進みつつある。本講義は、有機化合物の分子構造及び有機化学反応の基礎を学ぶことにより、身の回りのさまざまな現象を分子レベルで理解して戴くことを第一の目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験の結果(理解度)を最重要項目とするが、関心度(毎回の小テスト、レポート)と出席状況も評価に加える。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教養の現代化学(新版), 多賀光彦 他, 三共出版, 2006年 / 参考書: 図表で学ぶ化学, "大城芳樹, 平嶋恒亮著", 化学同人, 1999年</p> <p>メッセージ 出席を重視します。最終授業でノートチェックを行います。期末試験にノート、テキスト持ち込み可とします。</p> <p>教官連絡先 Email:a-nakano@toua-u.ac.jp</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工 2 年	単位	2 単位	曜時限	木曜日 11・12 時限
担当教官	岡本浩明				
<p>授業概要 現代社会の中で多くの化学物質とりわけ有機化合物が生活や先端技術を支える材料として広く用いられているだけでなく、新たな機能を求めて今なお新たに創出されています。この有機化合物を支配している原理としての「有機化学」を学ぶことにより、ただ単に有機物質の製造だけでなく生命科学、生活科学や環境科学との関わりを理解させ、化学工業が社会の中で果たしている役割の一端を示したいと考えています。</p> <p>授業一般目標 高等学校で学ぶ「化学」は物理化学、無機化学、分析化学および有機化学をまとめたものでした。その中で「有機化学」は教科書の後半部に配置されており、多くの学生諸君にとってはただ覚えるだけ（もちろん理解したうえで）の課題であったかも知れません。本講義では有機化学の基礎的概念や身の回りにおける有機化合物を学ぶことにより、「覚えるだけの有機化学」を「その面白さを楽しむ有機化学」に変換させることを目標としています。</p> <p>成績評価方法（総合） レポート、中間試験および期末試験結果と出席状況により総合的に判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：マテリアルサイエンス有機化学、伊与田正彦 横山 泰 西長 亨、東京化学同人、2007 年</p> <p>教官連絡先 研究室：本館北側 4 階 434 オフィスアワー：事前にメールで連絡してください。 E-mail:oka-moto@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	学教(教科(数))・情報(表現)・数理・物情・地球・生資	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	石黒勝也				
<p>授業概要 有機系化学(有機化学、生化学、高分子化学、薬理学等に関する分野)の基礎を理解する。近年、多様な分野で「ナノ」が重要なキーワードとなっているように、大学で自然科学を学ぶ学生は、たとえ化学を専門としない立場であっても、近い将来、分子スケールで機能する素子について理解できる能力が必ず必要とされる。この講義では、有機化学の基礎となる分子の性質や化学反応性について、原理的な面を主に学習する。</p> <p>授業一般目標 基本的な原理を理解することにより、分子の構造や化学反応について、暗記するのではなく、考えて判断できる力を養ってほしい。</p> <p>成績評価方法（総合） 中間試験、期末試験、レポート、出席、小テストなどにより総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義・演習等は全てプロジェクトを用いて行い、また、プリントを配布する。資料等は Web 上で公開する。化学式の作成及び分子構造の描写等にコンピュータを使用するため、ノート型 PC を持参すること。 / 参考書：はじめて学ぶ大学の有機化学、深沢義正・笛吹修治、化学同人、2001 年</p> <p>メッセージ 積極的な取り組みを期待します。</p> <p>教官連絡先 E-mail kagaku2@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 5727, 研究室 総合研究棟 208 室, オフィスアワー 木曜日 17:00~18:30</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	機械	単位	2 単位	曜時間	金曜日 3・4 時限
担当教官	右田耕人				
<p>授業概要 有機化合物を立体化学と酸塩基の 2 つの面から解説し、主要な有機化学反応を立体化学的な説明を行う。</p> <p>授業一般目標 有機立体化学における基礎概念を理解し、有機分子の構造の多様性について理解を深める。次に、有機化合物の酸・塩基の強さを有機電子論によって理解する。更に、典型的な有機化学反応の機構について学ぶ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験により知識・理解目標などの到達度を評価するが、講義の中で行う小テストで段階での到達度を確認し、宿題によって内容の理解を補強する。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：有機化学のしくみ、加藤明良、鍋島達弥、三共出版、2001 年</p> <p>メッセージ 有機化学の楽しさを味わい、有機化学の能力をつけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 総合研究棟 208 号室 (電話 083-933-5733) migita@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：金曜日 17:00 ~ 18:30</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	電気	単位	2 単位	曜時間	金曜日 3・4 時限
担当教官	藤原勇				
<p>授業概要 多種多様な有機化合物の構造、性質や反応が、どのような考え方に基づいて体系的に理解されているのかを、構造論と反応論を中心に、なるべく身近な有機化合物を例にして説明する。各回の講義内容は、教科書の順序にしたがって下記のようにする予定である。また、一方通行になりがちな講義を補い、受講者の理解を深めるため、毎回演習問題およびレポートを課し、レポートは次の週の月曜日午後 4 時まで解答の提出を求める。質問や感想、希望なども、この解答用紙に記入しておけば、できるだけ個別に回答する。次回の最初に、提出されたレポート等を返却し、演習問題等の略解を示して必要な説明を加える。</p> <p>授業一般目標 有機化合物の構造・性質・変化について、基本的な理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験 (30 点満点) 期末試験 (50 点満点) 平常点 (毎回の演習問題への取り組みと出席状況) を総合して評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：有機化学 (改訂版)、小林啓二、裳華房、1997 年；山口大学生協ブックセンターにて販売</p> <p>メッセージ わかりにくいところは放置せずに、質問に来てください。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワーは原則としてありませんので、自由に来てください</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	梶原忠彦				
<p>授業概要 有機化学の基礎を修得するために、まず最小限の基礎原理を説明する。次に、それにもとずいて各種の有機反応を理解することによって、有機化学の基礎を確かなものにする。</p> <p>授業一般目標 有機化合物の結合や構造および反応を電子、分子軌道、立体化学などのごく限られた基礎原理から理解することによって、有機化学の基礎を系統的に身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)ショートテスト(毎回実施)およびレポート。(2)中間テストの実施および演習。(3)期末試験の実施。なお、出席が所定の回数に満たない者には、単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書 テキストは、使用しない。講義、演習は、プリントおよびプロジェクターで行う。/ 参考書: 適当な参考書は 講義の中で、適宜紹介する。</p> <p>教官連絡先 E-mail: kajiwara@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	学教(教科(理))・情報(表現)・理	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	祐村恵彦・藤島政博				
<p>授業概要 現代生物学では、分子から生物を理解しようとしている。そのため生物を構成する分子を理解することは生物学を学ぶ上で必須であるといえる。社会問題となっている、エイズ、SARS、狂牛病、鳥インフルエンザについても分子レベルの知識が必要になる。この授業では生物を構成する分子をその構造から理解する。</p> <p>授業一般目標 生物を分子の高次な集合体としてとらえ、生物を構成する分子を構造から理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、レポートを重視する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: いきものからくり, 中村和行・高橋進, 培風館; 生化学入門, 相原英孝, 東京教学社</p> <p>メッセージ 分からないままにしないで、ぜひ質問してください。</p> <p>教官連絡先 祐村 総合研究棟 401 オフィスアワー月曜 12:00-13:00 藤島 理学部 3 号館 103 オフィスアワー月曜 12:00-13:00</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	生資	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	高橋肇				
<p>授業概要 本講義では、生物が「生き物」としてもつ基本的特性を学び、生命現象や生物に関する理解や知識を深めることで、生命の本質を探る基礎を身につけることを目的とする。生物は、細胞を単位とし、代謝によって必要な物質やエネルギーを得て生きている。生物は、生殖によってふえ、親の形質が遺伝子によって子に伝えられる。さらに生物は、刺激に反応してからだの状態や働きを調節し、集団をつくって生活している。このような生物のもつ共通の特性を柱として生物学を学んでいく。</p> <p>授業一般目標 高校で学習する生物学から始めて、専門教育へスムーズに移行できるだけの学力をつける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 前週までの講義内容を習得したかどうかを確認しながら、講義をすすめていく。このため、毎週、講義開始から15分間の小テスト(7点満点)を行い、これらと期末テストとの総合計点(100点満点)により成績を評価する。欠席・0点以外の答案には再提出により修正箇所に対して配点の1/2の得点を与える。なお、小テストですべてを誤答して0点となった場合、あるいは欠席または遅刻により受験せずに0点となった場合は、レポートを提出することで小テストの満点7点の1/2の3.5点を与える。</p> <p>メッセージ 小テストは、前週の講義内容から出題する。講義時間中にヒントを与える。再提出の解答方法・0点(欠席)に対するレポート作成方法 間違った設問についても、正しく修正されれば各回のテストが完全に修正された段階で減点された分の半分の得点を与える。解答は答案の裏面に行うこととし、記述問題では自身で横20文字のマス目を作成して、穴埋め問題では単語を書き込む枠と番号を作成して、その中に正解を書き込むこと。なお、再々提出は、別紙に正解・不正解に関わらずその回の小テストの問題文、解答文を含めたすべてをまるごと記述して提出する。小テストで0点となった場合、あるいは授業に欠席または遅刻して小テストを受験できなかった場合、レポートを作成して提出することで満点の1/2の得点を与える。レポートはその小テストの対象となる授業で配布されたプリントに書かれてあることすべて(図表等も含めて)をA4の用紙に手書きにて書き写したものとす。すべてが正しく記載されていることを確認した後、得点を与える。</p> <p>教官連絡先 連絡先: tadashit@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー 月~金曜日 7:00~8:00 月・火・木・金曜日 12:00~12:30</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	生機	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	滝本晃一				
<p>授業概要 生命を形作っている物質、細胞の構造、タンパク、脂質、糖などの生体成分の基本的事項、細胞増殖、遺伝現象、DNAの構成成分、構造、遺伝における役割、遺伝子の複製、遺伝情報の取り出し、遺伝子操作技術などの基礎的事柄について概説する。予習や復習に役立つ本として特に特定のもの是指定しませんが、図書館にある本はどれも役に立つと思います。</p> <p>授業一般目標 生物全般にわたっての基礎的理解をめざす。そのために、生命の構造やそれを構成している成分を知り、さらに生命の継続として遺伝及び遺伝物質を十分理解する。その上でそれらの知識や理解が生物機能科学科の専門科目を学ぶ上での基礎となることを目指す。遺伝現象は生命の基本であるので、DNAや遺伝子について比較的多くの時間を割く予定である。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業の範囲内で重要なところについて期末試験(筆記)をします。理解の期間中に小テストをして断片的に覚えるのではなく、それぞれを関連づけて有機的に理解するようにつとめて下さい。記述を求める問題も出題します。</p> <p>メッセージ 教科書を使用する場合はあらかじめ掲示で知らせる。スクリーンに文章や絵を投射して講義を進めるので、特に視力に問題がある人は前の方に座ること。マナーを守ること。授業中ケイタイの着信音が鳴らないようにしておく。授業中飲み食いしない。授業中出入りしない。遅刻しない。適宜プリントを配付するが、口頭での説明や映写図の要点をメモするよう。</p> <p>教官連絡先 研究室 農 404, オフィスアワー 随時</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	梅田昭子				
<p>授業概要 細胞、特に動物細胞の構造と機能を理解し、細胞はどのように生命を維持し増殖していくのかを解説する。また、動物は個々の細胞が分化して組織・臓器を形成すること、その過程は卵の分割からどの時期に行われるのか等について解説する。さらに各細胞に存在する染色体と遺伝子について理解し、遺伝の原理をメンデルの法則からヒトの遺伝子病までを理解できるよう講義するつもりである。</p> <p>授業一般目標 各組織や臓器を形成している細胞の構造と機能を学び、発生時の細胞の分化について理解する。また、染色体と遺伝子、遺伝、遺伝子型と表現型、遺伝子発現の機構、ヒトにおける遺伝子病および遺伝子診断について理解を深めることを目的とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 授業中に行う理解度を判定するための小テストおよび期末テスト、また適宜こちらから出した課題に対するレポートにより総合評価を行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：〈基礎固め〉生物、村松瑛子、安田正秀、化学同人、2005年；〈基礎固め〉生物 村松瑛子、安田正秀著 化学同人発行 ISBN4-7598-0896-5</p> <p>メッセージ 予習と復習をよくおこなって下さい。</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工 2 年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	村瀬ひろみ				
<p>授業概要 この講義では、生物学の基本を学ぶ。生物の体の仕組みや、生態系、進化について幅広くフォローする予定である。生物学は現代社会との関わりも深く、ニュースなどの話題となっている技術（クローンなど）についてもとりあげる。</p> <p>授業一般目標 生物学の基礎がわかり、生物学に関連した先端技術についても、新聞、ニュースなどを見て理解できることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 試験によります。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布。授業中に指示。/ 参考書：進化論という考え方、佐倉統、講談社現代新書、2002年；新しい生物学の教科書、池田清彦、新潮社、2001年；サル学の現在（上）（下）、立花隆、文春文庫、1996年；授業中に、他の参考文献について指示します。</p> <p>メッセージ 積極的な参加を期待します。</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	澤田知夫、中井彰、江本政広、藤永竜太郎、西川潤、東慶直、山縣芳明、安達泰弘、川道穂津美、赤田純子、中村和行、井上幸江、藤本充章				
<p>授業概要 医学生のための生物学という観点から、専門で学ぶ解剖学・生理学・生化学の学問への導入を行うことで、ヒトの生命を維持するしくみを総合的に理解する。</p> <p>授業一般目標 ヒトの生命を維持するしくみを理解するために、器官や細胞の構成とその機能と調節、生殖と発生、さらに遺伝現象を学ぶ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 最終試験 = 80 % 授業態度 = 20 % 出席が満たない、あるいは授業態度がきわめて不良な場合には、最終試験の受験できない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Essential 細胞生物学, 中村住子・松原謙一 監訳, 南江堂, 2005 年; 指定された教科書・参考書は、専門科目においても教科書・参考書として使用される。/ 参考書: ギャノン生理学, 星猛 他訳, 丸善, 2004 年</p> <p>メッセージ 講義出席 2 / 3 以上は受験資格への要件であり、筆記試験で評価します。専門過程への導入となる主として哺乳類・ヒトを対象とした生物学ですが、同時に生物としてのヒト・自分自身を知るための学習でも有ります。一定の知識修得を求めますが、むしろ生物を理解するための骨格となる概念や、各回ごとに学習対象となる生命現象の概要・生体システムの概要を把握するように予習・復習してください。</p> <p>教官連絡先 電子メール: 澤田知夫: roretzi@yamaguchi-u.ac.jp 中井 彰: anakai@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	生物学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	安溪貴子				
<p>授業概要 私たちが会おう生き物を、測定機器や電子顕微鏡ごしではなく、自分の五感をつかって直接観察し、研究する、そんなマクロの生物学がもつ魅力を伝えたい。ア) 研究方法の特徴、イ) 生物の多様な生活の面白さと不思議、ウ) 個体群・群落・群集、社会、生態系といったレベルの異なる世界のとらえ方、生物多様性など、地球生命系全体に共通する考え方・捉え方。エ) 地球の生命がかくも多様である事実の意味を問い、いのちあるものの一員としての「わたし」のあり方と果たすべき役割を考える。</p> <p>授業一般目標 いのちあふれる奇跡の星 = 地球に展開する多様な生命のあり方とその関係の不思議について学ぶ。身近な所にある「命」に気づき、その現状を知って理解し、生命の歴史、ヒトと自然とのかかわりの歴史にも視野をひろげて、未来についても考える力を養いたい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎回の小レポートと最後にするテストで採点。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書は使いません。講義中にプリントを配布します。参考書なども随時紹介します。/ 参考書: 生態学 個体・個体群・群集の科学, M. Begon, J.L. Harper, C.R. Townsend, 京都大学学術出版会, 2003 年; 講義時にプリントを配布します。</p> <p>メッセージ 戸外に出たり、生き物そのものに触れたりする時間を持ちます。その機会をできるだけ楽しみながら、「いのち」への感性を育ててください。</p> <p>教官連絡先 t@ankei.jp</p>					

開設科目	生物学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	学教(教科(数))・情報(表現)・理	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	松村澄子				
<p>授業概要 生物はこの地球上で 20 億年以上をかけ、多くの種類に進化した。多様な生物の進化の道筋(系統)や、からだの作りの特徴、分類の基本について学ぶ。また後半では多様な生物が共に生きるしくみについて学ぶ。</p> <p>授業一般目標 1. 学名や分類の基本を理解する。2. 多様な動物を体制を元にして比較する力を身につける。3. 脊椎動物からヒトまでの進化の筋道を理解する。3. ヒトの自然界における位置について考察する。4. 生物多様性の意義を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)授業中に小テストを 10 回程度行なう。(2)2~3 回重要な課題について宿題レポートを課す。字数や様式はそのつど指示する。(3)中間、期末と 2 回の試験を実施する。以上を下記の観点、割合で評価する。なお小テストは、各時間内に設問を課し提出させるので、出席状況の確認も兼ねる。またテスト範囲は前半、後半に分割して行なうので、それぞれにおいて出席が所定の回数に満たないものには、単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 参考書：教養の生物学, 越田豊, 培風館, 1988 年</p> <p>メッセージ 遅刻者への寛容な対応は行なわない。生物学の基礎知識が十分でない人も講義は内容を反復復習しながら進めるので、まじめな履修を心がけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 E-Mail: batmatsu@yamaguchi-u.ac.jp 電話：9 3 3 - 5 7 2 3 オフィスアワー：金曜日 3・4 時限</p>					

開設科目	生物学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護・検査・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	渡辺雅夫				
<p>授業概要 生理学、行動学、生態学分野のさまざまなレベルで見られる生物現象を解説する。種々の調節が行われる場での情報のあり方を考えていく。</p> <p>授業一般目標 生物のメカニズムの精巧さに触れ、それに驚きを感じることで、生命に対する探究心を養う。生物の多様性について認識を新たにし、同時にこの多様な生物が驚くべき共通性をもっていることを理解する。地球上における生物による物質変換の概略を理解し、地球環境における生物の重要性を認識する。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内小テストを 2 回行い、宿題レポート課題を提示する。中間、期末の 2 回試験を行う。これらを下記の割合で、総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：資料プリントを配付する予定である。/ 参考書：授業中に提示する。</p> <p>教官連絡先 研究室：理学部 3 号館 113 号室 (内線 5767) オフィスアワー：月曜日 14:30~16:00</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎

科目類型 総説

開設科目	生物学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	獣医	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	山本芳実				
<p>授業概要 本講義は、生物学 I に連続して開講される。本講義では、現代生物学の基本的考え方—分子のレベルで生命現象をみる—を様々な生命現象の理解をとおして学ぶ。</p> <p>授業一般目標 生物のメカニズムに精巧さに触れ、それに驚きを感じることで、生命に対する探究心を 養う。生物の細小単位である細胞を中心に、構成分子について物理や化学の視点を踏ま えて生命への理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験をおこなう。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎生化学 第2版, Voet D., et al/田宮他訳, 東京化学同人, 2007 年 / 参考書：生きもののからくり (改訂版), 中村・裕村・山本編, 培風館, 2006 年</p> <p>教官連絡先 農学部獣医放射線学講座 (生化学研究室) 農学部 2 0 9 号室 Tel & Fax: 083-933-5909 E-mail : yamataka@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：いつでも</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎

科目類型 総説

開設科目	地球科学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	理	単位	2 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	永尾隆志				
<p>授業概要 地球の生成や発達の歴史を学ぶための基礎知識を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 地球科学の基礎的な事項をを理解し、地球の過去・現在・未来を考える。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 授業中に小テストや授業内レポートを作成する。(2) 最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎地球科学, 西村祐二郎ほか, 朝倉書店, 2002 年</p> <p>メッセージ 講義内容に関して、自発的に学習する習慣を身につけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 研究室：理学部南棟 3 階 340 室 e-mail tngao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎

科目類型 総説

開設科目	地球科学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・農	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	池田幸夫				
<p>授業概要 「役に立つ地球科学」をモットーにして講義する。前半は地震、後半は気象について、自然災害と環境問題と関連づけて講義する。高校で地学を学んでいないことを前提に授業を行う。</p> <p>授業一般目標 自然災害と自然環境に関する現代的諸問題を科学的に理解し、主体的に判断できる学力を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 主として試験によって評価する。出席はとるが、出席回数による評価はしない。ただし、欠席回数が多いものについては単位を認めないことがある。</p> <p>メッセージ 高校で地学を履修していなくても理解できるように授業を工夫するので、積極的に授業に参加していただきたい。</p> <p>教官連絡先 教育学部 218 室</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎

科目類型 総説

開設科目	地球科学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	千々和一豊				
<p>授業概要 地球科学の諸分野(地質、地球物理、海洋、気象、天文)の基礎的内容を取り扱う。高等学校でも地学を受講していない学生にも理解できるように平易な解説を試みる。</p> <p>授業一般目標 人類を含む地球生命体を育む地球の特徴、その地球に見られる様々な自然現象とその背景、天体の動きや宇宙の広がりなど、自然の姿を理解し、われわれの生活が自然界と密接に関係していることを認識するのが目標である。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリント配布 / 参考書: 地学図解(最新版), , 第一学習社</p> <p>教官連絡先 千々和一豊(教育・理科教育選修) chijiwa@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	物理学実験A	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	物情・生化・生資・生機	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	野崎浩二, 輪島清明				
<p>授業概要 力学、光学、熱力学、電磁気学等の分野に渡って設定された基礎的な実験テーマについて、自らの手で実験を行い、測定結果の処理、解析をし、その結果について考察を加え、実験レポートを作成する力を養うことを目指している。実験は原則として二人一組で行い、また、実験は授業計画の所に記したA～Mの13テーマをローテーション表(ガイダンス後に掲示)に従い、毎回1テーマずつ行うという形で実施する。</p> <p>授業一般目標 ・様々な物理現象を実験的に検証することを通して、物理学に対する基礎知識を習得し、深く物理現象を理解する。・実験に必要な基礎的な技術や解析方法を修得し、レポートにまとめて報告する力を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 単位の認定は、出席率が80%以上であること、実施したテーマの全レポートが提出されていること。出席していてもレポートが提出されなければ、そのテーマは欠席と見なす。授業態度・授業への参加度は、実験中の見回り及び当日の実験結果の報告等を通して判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 山口大学共通教育物理学実験, 山口大学共通教育物理学実験テキスト編集グループ, 山口大学生協, 2006年; 実験テキストを販売する。販売方法は学期初めに掲示するので、ガイダンスまでに必ず購入しておくこと。</p> <p>メッセージ 次回のテーマについての予習を必ずしておき、手際よく実験を行うこと。</p> <p>教官連絡先 野崎浩二; 理学部 236 号室, nozaki@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー随時</p>					

開設科目	物理学実験B	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	医学	単位	1 単位	曜時限	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	藤澤健太, 山本惺史				
<p>授業概要 力学、光学、熱力学、電磁気学等の分野に渡って設定された基礎的な実験テーマについて、自らの手で実験を行い、測定結果の処理、解析をし、その結果について考察を加え、実験レポートを作成する力を養うことを目指している。実験は原則として二人一組で行い、また、実験は授業計画の所に記したA～Kの11テーマをローテーション表(ガイダンス後に掲示)に従い、毎回1テーマずつ行うという形で実施する。</p> <p>授業一般目標 ・様々な物理現象を実験的に検証することを通して、物理学に対する基礎知識を習得し、深く物理現象を理解する。・実験に必要な基礎的な技術や解析方法を修得し、レポートにまとめて報告する力を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 単位の認定は、出席率が80%以上であること、実施したテーマの全レポートが提出されていること。出席していてもレポートが提出されなければ、そのテーマは欠席と見なす。授業態度・授業への参加度は、実験中の見回り及び当日の実験結果の報告等を通して判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 実験テキストを販売する。販売方法は学期初めに掲示するので、ガイダンスまでに必ず購入しておくこと。</p> <p>メッセージ 実験テーマについて必ず予習をしておき、手際よく実験を行うこと。</p> <p>教官連絡先 理学部本館 231号室</p>					

開設科目	物理学実験B	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	知能・社建・電気・看護・検査	単位	1 単位	曜時間	金曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	松尾栄治, 倉井 聡, 河村 圭, 嶋村修二, 篠原紀幸, 増山和子, 岸本祐子				
<p>授業概要 物理学実験では、力学・熱力学・光学・電磁気学などの物理学の基礎分野から選択される6テーマについて実験を行う。実験データを整理して考察したレポートを作成し提出する。</p> <p>授業一般目標 基本的な物理現象を測定する実験装置の使い方に慣れ、その現象の原理を理解する。また、実験データを整理して考察する実験レポートの書き方を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 実験態度と実験レポートの内容により成績を評価する。単位取得のためには、全ての(6テーマの)実験を行い、全ての実験レポートを提出して受理されなければならない。提出されたレポートの内容が不十分な場合は、再提出を指導される。やむを得ない事情により欠席する場合は、事前に担当教員に相談すること。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 山口大学共通教育 物理学実験 2008年度版, 山口大学共通教育物理学実験テキスト編集グループ, 山口大学生協同組合, 2008年 / 参考書: 理科年表「物理学I・II」のテキスト, ,</p> <p>メッセージ 実験を行う前日までに、テキストに目を通して予習をすること。また、物理学実験ホームページ: http://w-physics.liberal.yamaguchi-u.ac.jp/ から Web コンテンツを見て、実験装置などについて予習すること。</p> <p>教官連絡先 連絡先: 共通教育係</p>					

開設科目	化学実験A	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	生化	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	谷誠治、他2名				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験I・II、物理化学実験および総合実験の5つの実験から指定された4つを行う。1つの実験は各々3日間で行う。有機化学実験では化粧石けん、色素、ビニロン等の合成を、分析化学実験ではセミクロ定性分析法による金属陽イオン分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を行う。総合実験では身のまわりにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 化学実験における試薬や器具の扱い方を体験し、実験操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に対する理解を深める。また、実験開始までに準備しておくべきこと(フローチャートの作成や問いの答えの記入など)、実験中の心がまえ、および、実験報告書の書き方を学ぶ。文献調査も必須である。</p> <p>成績評価方法(総合) 宿題/授業外レポート = 70% 授業態度や授業への参加度 = 30% 出席 = 欠格条件(特別な理由のない限り、3回以上の欠席で不可とする)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 化学実験テキスト(2008年度)を大学生協で販売します。毎年更新しますのでガイダンス時までに必ず購入してください。 / 参考書: 現代の生活と物質(4刷), 西口毅著, 化学同人, 2000年; ライフサイエンス基礎化学, 青島均, 右田たい子著, 化学同人, 2000年; セミクロ無機定性分析, 林謙次郎, 中間碩一郎, 鈴木光泰著, 東京化学社, 1981年; 無機半微量分析(分析ライブラリー / 日本分析化学会編; 1) 第2版, 松浦二郎, 西川勝, 栗村芳実著, 東京化学同人, 1978年; 毎回問題を課しますから、図書館などで調べて回答してください。</p> <p>メッセージ 実験には多くの労力とお金をかけています。実験は社会で働くときと同じように、準備、作業、調査、報告を含んでいます。毎回きちんと予習をして実験に臨み、期限までにレポートや課題を提出してください。その際、参考書の貸し出しも行っていますのでぜひ活用してください。自分自身でやることにより、社会に出たときの力となります。いやいややるのではなく、苦しい中にも喜びを見い出しながら取り組んでください。なお、他人のレポートを写すなどした場合は、両者とも不可とします。</p> <p>教官連絡先 谷誠治 / E-mail; stani@yamaguchi-u.ac.jp / 電話; 083-933-5737 / 研究室; 理学部本館 433号室・随時(講義や会議などの用事がない限りいつでもOKです)</p>					

開設科目	化学実験A	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	生資	単位	2 単位	曜時間	金曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	青島均				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験、物理化学実験、および総合実験から指定された二つの実験を行う。有機化学実験では化粧石けん等の合成を、分析化学実験では金属陽イオンの分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を、そして、総合実験では身のまわりにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 化学実験における試薬や器具の扱い方など基礎的な実験法を習得し、実験を通じて操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に対する理解を深める。また、フローチャートの作成、実験中の心がまえ、実験報告書の書き方を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 「出席」と知識・理解の目安となる「課題(予習など)およびレポート」を重視するが、関心・意欲・技能・技術をはかる「実験態度」も評価する。課題やレポートは期限までに提出すること。提出しない場合は欠席として処理する。3回以上の欠席者は不適格とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書名: 化学実験テキスト(2006年度) 販売店: 山口大学生協 / 参考書: セミクロ無機化学定性分析, 林・中間・鈴木, 東京化学社, 1981年; 無機半微量分析第2版, 松浦・西川・栗村, 東京化学同人, 1978年; 現代の生活と物質, 西口 毅, 化学同人, 1996年; ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000年</p> <p>メッセージ 上記以外にも多数の参考書が用意されているので、予習・復習に十分活用して欲しい。</p> <p>教官連絡先 青島均/E-mail:aoshima@yamaguchi-u.ac.jp/電話:083-933-5762/研究室:理学部本館4階403号室/オフィスアワー:随時</p>					

開設科目	化学実験B	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	医学	単位	1 単位	曜時間	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	谷誠治、他2名				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験Ⅰ・Ⅱ、物理化学実験および総合実験の5つの実験から指定された2つを行う。1つの実験は各々3日間で行う。有機化学実験では化粧石けん、色素、ピニロン等の合成を、分析化学実験ではセミクロ定性分析法による金属陽イオン分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を行う。総合実験では身のまわりにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 化学実験における試薬や器具の扱い方を体験し、実験操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に対する理解を深める。また、実験開始までに準備しておくべきこと(フローチャートの作成や問いの答えの記入など)、実験中の心がまえ、および、実験報告書の書き方を学ぶ。文献調査も必須である。</p> <p>成績評価方法(総合) 宿題/授業外レポート = 70% 授業態度や授業への参加度 = 30% 出席 = 欠格条件(特別な理由のない限り、2回以上の欠席で不可とする)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 化学実験テキスト(2008年度)を大学生協で販売します。毎年更新しますのでガイダンス時までには必ず購入してください。/ 参考書: セミクロ無機化学定性分析, 林・中間・鈴木, 東京化学社, 1981年; ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000年; 現代の生活と物質(4刷), 西口 毅, 化学同人, 2000年; 無機半微量分析(分析ライブラリー/日本分析化学会編; 1) 第2版, 松浦二郎, 西川勝, 栗村芳実, 東京化学同人, 1978年; 毎回問題を課しますから、図書館などで調べて回答してください。</p> <p>メッセージ 実験には多くの労力とお金をかけています。実験は社会で働くときと同じように、準備、作業、調査、報告を含んでいます。毎回きちんと予習をして実験に臨み、期限までにレポートや課題を提出してください。その際、参考書の貸し出しも行っていますのでぜひ活用してください。自分自身でやることにより、社会に出たときの力となります。いやいややるのではなく、苦しい中にも喜びを見い出しながら取り組んでください。なお、他人のレポートを写すなどした場合は、両者とも不可とします。</p> <p>教官連絡先 谷誠治 / E-mail; stani@yamaguchi-u.ac.jp / 電話; 083-933-5737 / 研究室; 理学部本館433号室・随時(講義や会議などの用事がない限りいつでもOKです)</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎(実験)

科目類型 総説

開設科目	化学実験B	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	電気・社建・看護・検査	単位	1単位	曜時限	金曜日5・6・7・8時限
担当教官	青島均、伊原靖二、理新任、中山雅晴、鬼村謙二郎				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験、物理化学実験、および総合実験から指定された二つの実験を行う。有機化学実験では化粧石けん等の合成を、分析化学実験では金属陽イオンの分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を、そして、総合実験では身のまわりにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 化学実験における試薬や器具の扱い方など基礎的な実験法を習得し、実験を通じて操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に対する理解を深める。また、フローチャートの作成、実験中の心がまえ、実験報告書の書き方を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 「出席」と知識・理解の目安となる「課題(予習など)およびレポート」を重視するが、関心・意欲・技能・技術をはかる「実験態度」も評価する。課題やレポートは期限までに提出すること。提出しない場合は欠席として処理する。2回以上の欠席者は不適格とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書名: 化学実験テキスト(2006年度) 販売店: 共通教育講義棟売店 / 参考書: セミクロ無機化学定性分析, 林・中間・鈴木, 東京化学社, 1981年; 無機半微量分析第2版, 松浦・西川・栗村, 東京化学同人, 1978年; 現代の生活と物質, 西口 毅, 化学同人, 1996年; ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000年</p> <p>メッセージ 上記以外にも多数の参考書が用意されているので、予習・復習に十分活用して欲しい。</p> <p>教官連絡先 青島均/E-mail:aoshima@yamaguchi-u.ac.jp/電話:083-933-5762/研究室:理学部本館4階403号室/オフィスアワー:随時</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎(実験)

科目類型 総説

開設科目	生物学実験	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	獣医	単位	2単位	曜時限	火曜日7・8・9・10時限
担当教官	利部聡・佐藤晃一、佐藤宏、角川博哉、前田健、加藤大智				
<p>授業概要 獣医師を目指すものとして、動物の取り扱い法をはじめとして、基礎的な事項を実際の動物で学ぶ。最初の5回は全員を対象として実験を行い、以後班に別れ実験計画を立案するところから主体的に取り組む。さらに、成果を学会形式で発表する。</p> <p>授業一般目標 生きている動物を用いて、麻酔・剖検・観察ができるようになること。適切な研究テーマを探し出し、実験計画を立て、結果を出し、それから導き出される結論を考察する態度を培う。</p> <p>メッセージ 生きている実験動物を扱うので、命を粗末にしないように。</p> <p>教官連絡先 利部 聡(かがぶ さとし) 電話:083-933-5910 居室:農学部北ウイング211号室 オフィスアワー:金曜日11時から12時。在室時は随時</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎(実験)

科目類型 総説

開設科目	生物学実験	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	生機	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	宮田浩文 他				
<p>授業概要 生物に関わる学問分野では様々な生き物を教育研究に用い、それを通じて地球上の生命 全体に関わる学問の進展に寄与している。諸君がこれから教育をうけていく学問分野の 多くは、実験をして確かめ新たな問題点を発見していく実証の科学である。これから生物学・農学教育を受けていくにあたって、基礎となる事項について、農学部生物機能科学科の教官が解説・指導する。</p> <p>授業一般目標 本実験は、生物の形態、発育、体内成分、代謝生理及び分子遺伝の教育を受けるのに必要な基本的実験手法および結果のまとめ方を修得し、この実験を通じて生命現象の科学的アプローチの仕方を会得することを目的とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 実験中の態度とレポートの総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：テーマ毎にテキストを配布する。</p> <p>メッセージ 時間厳守</p> <p>教官連絡先 代表 宮田(農学部419) 月曜日午前中</p>					

系列 専門基礎教育

分野 理系基礎(実験)

科目類型 総説

開設科目	地球科学実験	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	地球	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8・9・10 時限
担当教官	今岡照喜・福地龍郎				
<p>授業概要 地球科学研究の基礎となる、地形図や航空写真の読み方を習得するとともに、野外において実践的にそれらを活用できる能力を養う。また、実験室で天然の鉱物や岩石を観察し、その成果をレポートとしてまとめる。また、巡検においては、地質について現地で詳しい説明を聞くと共に、露頭を観察したり化石を採集したりし、地質観察力を養成する。</p> <p>授業一般目標 地形図や航空写真が正しく読めること、諸岩石・鉱物を識別する力、野外で岩石のいろいろな産状を正しく把握し、それを正確に記述する力、偏光顕微鏡下で鉱物識別する力を涵養する。</p> <p>成績評価方法(総合) 秋吉台・秋芳洞巡検(土曜日に実施)は実験2回分にカウントします。レポートにより判定します。2回以上欠席した場合は、単位を認めません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配布します。</p> <p>教官連絡先 今岡(imaoka@yamaguchi-u.ac.jp) 福地(fukuchi@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp), オフィスアワー：時間のあるときはいつでも</p>					

通年 - 初期教育

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	塚田 広人				
<p>授業概要 内容は二つあります。 I 3冊ほどの新書版の本を読みます。（これまでの例）1、『シンプル人生の経済設計』森永卓郎、中公新書、2002年2、『パパラギ』立風書房、1981年3、『社会認識の歩み』内田義彦、岩波新書、1971年4、『豊かさとは何か』暉峻淑子、岩波新書、1989年5、『豊かさの条件』暉峻淑子、岩波新書、2003年 読み方は順番に何ページかづつ読んできて、その内容をみなに説明するというものです。そのために、いくつかの班に分かれて、割り当てられたところを班で読み、感想などを出し合い、発表内容をまとめてきます。 II 時事問題を考えます。 時事問題とは毎日のニュースのことです。新聞が主な材料になります。ゼミナールの授業の中で、15分から20分ぐらいをこのための時間にあてます。毎回二人が新聞記事から紹介をし、それについての意見交換をします。</p> <p>授業一般目標 授業の一般目標 I の目標 社会をどう考えたらいいかを考える 今の日本経済の状況について考えます。（「経済って何だろう？」）現在の日本社会・現代社会の進む方向について考えます。（「社会の進歩とは何だろう？」）社会を理解する方法について考えます。（「社会ってどうしたら理解できるんだろう？」） II の目標 今の社会でどんな問題が起こっているかを知る。大学入学までは、広い知識を身に付けました。こんどはその使い方を考えるときです。そのために、今私たちの周りでは何が問題なのかを知りましょう。15週で30のトピックに触れることができます。</p> <p>成績評価方法（総合） 出席、報告、議論参加を総合します。</p> <p>教科書・参考書 教科書： 教科書備考： 授業開始時に購入方法を指示します。</p> <p>メッセージ 入学おめでとう！これからの大学生活の4年間を、楽しみながら、人生、人間、社会についてじっくり学問してください。（楽しみながら学問する＝楽問する。自分のつきあたった問題について考えることは楽しい、やりがいのあることです。）</p> <p>教官連絡先 電話 083-933-5558 メール ht@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー 一応水曜日 1時半－3時。なお在室時はいつでも質問可。</p>					

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	植村 高久				
<p>授業概要 この授業はアクティブな大学生活を送りたい人向けです。1) まず大学生活の意義や考え方を確認します。2) 次に大学生活に必要なものとその選択方法を考えます。3) 最後に大学生活の中心になる「テーマ」を各自で模索します。（具体的内容は前期・後期の授業開始時にスケジュールを配布します）</p> <p>授業一般目標 参加者全員が完全燃焼の、自分で満足できる大学生活を送れるような力の知恵を身につけること。</p> <p>成績評価方法（総合） 最終報告に対する相互評価を中心（50%）とし、授業内報告（25%）と演習参加度（25%）を加えて評価します。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期, 後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	寺地 伸二				
<p>授業概要 新書版の本を読んで、経済学の考え方を身につけてもらいたいと思います。いくつかの班に分かれて、割り当てられたところを班で読み、発表内容をまとめてきます。他の班から感想などを出し合ってもらいます。このセミナーを通じて、毎日の新聞やテレビのニュースでとりあつかわれる時事問題に興味をもってもらいたいと思っています。</p> <p>授業一般目標 経済学には独自の考え方があります。経済学的な思考のセンスを身につけることで、今私たちの周りにある問題を自分なりに考えられるようになります。たとえば、お金がない人を助けるには、どうやって助ければいいのでしょうか?いろいろな方法があると思いますが、経済学を勉強すれば、いままでと違った方法を思いつくかもしれません。</p> <p>成績評価方法（総合） 出席、報告、議論参加を総合します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：未定、</p> <p>メッセージ 入学おめでとう。これからの大学生活の4年間を大切に過ごしてください。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期, 後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	山田 正雄				
<p>授業概要 大学に入ってから、自分の考えを発表し、相手に伝えるということが、とても大切になってきます。この授業では、発表をする際の道具である PowerPoint の使い方をマスターし、それを使って発表の練習をしていきます。</p> <p>授業一般目標 PowerPoint をマスターし、プレゼンテーションの技術を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 発表、参加姿勢、出席により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：できる PowerPoint 2007, 井上 香緒里, インプレスジャパン, 2007 年</p> <p>メッセージ PowerPoint がインストールされたノートパソコンを用意してください。</p>					

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時間	金曜日 3・4 時限
担当教官	濱島 清史				
<p>授業概要 社会問題（特に労働経済論、社会政策論の内容）について取り扱う。具体的には、若年労働（フリーター、ニート）、女性労働（ワーク・ライフ・バランス＝男女の仕事と生活の調和、パート労働等）、少子高齢化、年金・介護などのテーマから、グループを作ってもらって、レポート作成、プレゼンテーション（パワーポイントでの発表）、ディスカッション（円陣を組んで議論）、ディベート（賛成反対に分かれて討論）などをやっていきたい。</p> <p>授業一般目標 将来、社会に出てから有益な知識を得て、コミュニケーション能力を向上させること。充実した大学生活を送るために、何をなすべきか、獲得していくか、目標を決めて実現していく一助となるセミナーとしたい。</p> <p>成績評価方法（総合） レポート、グループ発表で評価。ディスカッション、ディベートなども評価に入る。ただし、結局は期末レポートの比重が最も大きくなるだろう。評価基準は、開講後、改めて明瞭に示す。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜、指示する。 / 参考書：適宜、指示する。</p> <p>メッセージ 知識はどこまで伸びやかで優しいものです。共に学んでいきましょう。</p> <p>教官連絡先 A 2 2 3 研究室</p>					

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	古川 澄明				
<p>授業概要 授業の概要：経営とは、何か、経営学とは、何であろうか。この授業では、企業の経営に関わる種々の問題を取り上げます。企業には、多くの人々が組織を形成してその構成員として働き、給与を得ています。その企業は、家族的な小さな企業から、世界各国において事業活動を展開する大企業まであります。事業分野も、金融業から、家電、PC、食品、水産、鉄鋼、商業など、多岐にわたります。国の経済・産業を支えようと ともに、自らの存続のために、国内はもとより、国際市場で、日夜、存亡をかけた競争をしています。皆さんは、最近、ニュースで「ライブドア」や、その他の企業問題を知っていると思います。そこには、どのような経営問題があるのでしょうか。授業では、そうした企業の経営に関する基礎知識を学ぶために、「経営理論」、「経営戦略」、「組織」、「イノベーション」、「日本の経営」、「年功システム」、「女性の勤労問題」など、多様な問題を取り上げます。</p> <p>授業一般目標 授業の目標 経営学の基礎知識を学びます。グループ・ディスカッション方式で、賑やかに、楽しく学ぶ方式を採用します。将来、ビジネス社会、あるいは公務員として、活躍するための基礎的な経営学知識を習得できるでしょう。とくに「公認会計士」、「税理士」、「中小企業診断士」など、ビジネスに関わる国家資格を取得したい方に役立つでしょう。そうした資格取得者は、社会的にも、企業に入っても、高い評価を得ています。本授業では、「中小企業診断士」受験者向けのテキストを利用します。そうした資格を取得したいと希望する学生に役立つでしょう。多くの資格取得者が学生時代に資格を得ています。もっとも多くの取得者はビジネスマンです。この資格は、会社で高い評価が得られるからでしょう。成果は自分の努力量に応じて得られます。単なる関心で受講を希望する方は遠慮して頂きたい。真剣に資格でも取ってやろうと意欲と実行力をもつ学生に受講して頂きたい。単なる腰掛的受講者、席を暖めるだけの受講者には、厳しい試験となるでしょう。逆に、勉学に燃える受講者には、その燃え上がる意欲に油を注がれるものとなるでしょう。自分の将来を自覚し、大学卒業後に有力企業に入って活躍したいという夢をもって、大学時代にそのための「自分への投資」をしたいと考える方、ご参加ください。</p> <p>成績評価方法（総合） 3人チームを作り、毎回、1チームがテキストをまとめて報告し、討論をする。報告、討論参加回数、出欠がすべて点数で、毎回、評価され、当該授業日の評価点となる。成績は、毎回の評価点の平均点。試験は、実施しない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『2006年度版 中小企業診断士 スピードテキスト 1 企業経営理論』コード番号：1658、定価 2,310 円（本体価格＋税）最初の授業で指示、事前に購入しないこと。 / 参考書：授業開始後に指示します。</p> <p>メッセージ 楽しく、自分を育てる意識で学ぼう。</p> <p>教官連絡先 事前アポで、常に、面談可能。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎ゼミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎ゼミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期, 後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	長谷川 光圀				
<p>授業概要 経営学の基礎を、テキストを利用して、解読し、理解させる。</p> <p>授業一般目標 経営学の基礎を理解させることである。</p> <p>教科書・参考書 教科書：経営学をやさしく学ぶ, 山大・経済学部経営学科編, 中央経済社, 2006 年</p>					

系列 初期教育

分野 基礎ゼミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎ゼミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期, 後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	石田 成則				
<p>授業概要 論文作成のための資料収集や論文の構成・論旨展開等、専門論文・レポート作成上のマナーと技術を習得する。</p> <p>授業一般目標 具体的なテーマに沿って、レポートを作成し、それを相互評価することで、実践的にマナーや技術を身に付ける</p> <p>成績評価方法（総合） 提出されたレポート</p> <p>教科書・参考書 教科書：レポート・論文の書き方入門, 河野哲也, 慶應義塾大学出版会, 1998 年；レポート・論文のまとめ方, 古郡延治, ちくま新書, 1997 年</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	武居 奈緒子				
<p>授業概要 このセミナーの目的は、マーケティングに関する基本的知識を習得することである。マーケティングとは、企業の市場創造活動である。このようにマーケティングを捉えると、我々の日常生活の中で、様々なことがマーケティングと関わっていることがわかる。このセミナーを通して、時代を読む目を養ってもらえたらと思う。</p> <p>授業一般目標 マーケティングの基礎的知識を習得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『消費行動』、武居 奈緒子、晃洋書房、2000 年</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	柳田 卓爾				
<p>授業概要 企業の価格戦略に関する諸問題を、理論的に把握するための枠組みを検討する。</p> <p>授業一般目標 企業の価格戦略についての諸問題を知り、理論的に捉えるための枠組みを理解する。</p> <p>成績評価方法（総合） 担当箇所の報告（プレゼンテーション）30 % クラスへの貢献度 20 % 期末試験 50 % 出席は欠格条件（80 % 以上の出席が、期末試験の受験資格である）</p> <p>教科書・参考書 教科書：ケースで学ぶ価格戦略・入門、上田隆穂編、有斐閣、2003 年 / 参考書：ゼミ中に、適宜、紹介する。</p> <p>メッセージ 初回に、セミナーの進め方等について、詳しく説明します。報告の担当箇所も決めるので、必ず出席して下さい。</p>					

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	米谷 健司				
<p>授業概要 多くの人にとって大学生生活は楽しいものです。しかし大学で学ぶことを楽しいと感じる人は少ないようです。また楽しいと感じる人もそれに気がつくまでかなりの時間がかかります。「私は勉強するために大学に入ったんだ!」と意気込む経済学部の新入生も、1ヵ月経てば「ミクロ経済やらマクロ経済やらを学んでなんか役にたつの?」「簿記を知らなくて、別にいいじゃん!」と言い切っけてしまいます。こうした新入生のいわゆる 5 月病は、ある理論に従って唯一の解答を導くという高校までの思考パターンから脱却できていないために起こります。5 月病にかかることなく大学で楽しく学ぶためには、高校までの思考パターンとは逆の思考パターン、つまり自分で理論を作り出すという思考パターンを訓練する必要があると私は思っています。この授業では、企業経営（ビジネス）の現場を素朴な目線で観察することによって、そこから浮かび上がる問題を発見し、それを理論化するという思考パターンを練習します。大学で楽しく学ぶためのきっかけを提供できればと思っています。</p> <p>授業一般目標 高校までの思考パターンから、大学で楽しく学ぶための思考パターンに転換することを目標にします。実際の企業活動を分析対象とすることから、アニュアルレポートの内容や日本経済新聞（あるいは日経ビジネスなど）に掲載されている記事の内容をある程度理解できるようにします。また、グループ単位での作業、講義中のディスカッション、パソコン（ワード、エクセル、パワーポイント）の利用など、2 年次から始まるゼミ活動の基礎的能力の習得も目指します。</p> <p>成績評価方法（総合） 報告内容、授業中のディスカッションの貢献度で評価します（出席することが前提です）。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書はとくに指定しません。/ 参考書：講義中に適宜、紹介します。</p>					

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	河野 眞治				
<p>授業概要 このセミナーでは二つのことをします。一つは研究方法を学ぶこと、もう一つは経済学の本を読むこと、です。前者については、(1) テーマを発見する、(2) 文献を探す（統計資料も含む）、(3) レポートにまとめる、(4) 発表する、(5) 討論する、の 5 段階を丁寧に学びます。後者については、古典を中心に 10 冊程度本を読んで書評を書いてもらいます。この演習は 2 単位ですが、授業は毎週行います。ただし「遊び」があっても結構です。</p> <p>授業一般目標 経済学とは何か、どのように学んだらよいか、を学びます。</p> <p>成績評価方法（総合） レポート、発表、討論への参加で評価する。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	今津 武				
<p>授業概要 大学では単に授業で教員から知識を与えられる（教えられる）だけでなく、自らが課題を見つけ、その課題について資料を集め、その内容を理解し、その理解に基づき課題に対する自らの考えをまとめ、発表することが求められてきます。このセミナーでは、21 世紀の世界の大きな課題である「格差」と「貧困」をテーマに、学生自らが調べ、まとめ、発表する学習方法にふれてもらいます。</p> <p>授業一般目標 世界の経済に関するテーマについて、資料を集め、それを理解し、自分の意見として発表する方法を学ぶとともに、同じテーマについて議論し、他の学生の考えや意見を聞き理解する力を養ってもらいます。</p> <p>成績評価方法（総合） 1．授業態度・授業への参加度（質疑への参加等、出席率は重要な要因）、発表内容およびその方法を総合的に評価する。 2．出席が所定の回数に達しない場合は、単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は使用せず、必要な資料は教員から配布する。 / 参考書：テーマごとに必要があれば参考図書を紹介する。</p> <p>メッセージ 世界の人口は 67 億人といわれ、そのうちの 80 %は開発途上国に住んでいます。そうした世界の経済が今どうなっているのかを楽しく学びながら、調べ、まとめ、発表するという大学における学習方法にふれてください。</p> <p>教官連絡先 E-mail : imazu@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：経済学部 C 棟 2 階（218 号）</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	李 海峰				
<p>授業概要 21 世紀の初頭今日、不況の長期化、戦争や暴力の横行、腐敗や悪政治、失業の増大など、社会経済は混迷しつつある。国際社会は中国をはじめ、途上国の市場化による高度経済発展による格差の拡大、東アジア諸国の経済関係の変化、多国籍企業に代表される巨大企業の存在、そしてアメリカ覇権体制の維持による戦争の勃発など、国際社会経済の構造はどのようになっているのか、考察します。</p> <p>授業一般目標 国際社会経済についての研究理論、実証研究方法の基礎をマスターすることを目標とする。</p> <p>メッセージ 充実しておもしろい学問の道を探求しましょう、</p> <p>教官連絡先 研究室</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	安里 全勝				
<p>授業概要 刑法総論はどのような内容を持つかを理解して貰う。刑法の意義、性質、機能、犯罪の成立要件、構成要件論、違法論、責任論、共犯論、刑罰論の順に考察していく。</p> <p>授業一般目標 刑法総論の内容を考察することにより、刑法総論の学問的体系を理解して貰う。</p> <p>成績評価方法（総合） 日頃の出席状況・レポート</p> <p>教科書・参考書 教科書：刑法総論，安里全勝，成文堂，2008 年</p>					

系列 初期教育

分野 基礎セミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期、後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	澤田 正				
<p>授業概要 大学時代を通じての学習と学生生活に役立つようなグループディスカッション、ディベートなどの方法を取り入れながら、税についての話題、法的な考え方の基本や、コミュニケーション技術を学ぶ。積極的な参加が求められる。</p> <p>授業一般目標 大学生としての生活と学習方法の基本をしっかりと身に付ける。</p> <p>成績評価方法（総合） 出席と授業への参加度合い、クラスへの貢献度、レポートなどによって成績を評価する。特に出席を重視する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じ、資料やプリントを使用する。</p> <p>メッセージ 最初が肝心です。初心忘れずでがんばりましょう。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス sawadat@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 基礎ゼミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎ゼミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期, 後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	中村 美紀子				
<p>授業概要 本ゼミナーは、経済法学科志望フレッシュマンを対象とした2部構成のゼミです。第1部は演習（orゼミ）という形式の授業です。教科書「会社はなぜ事件を繰り返すのか 検証戦後会社史」を担当者による発表形式で輪読していきます。その際、リーガルリサーチ精通のための第一歩として学内リソースの有効活用法を習得します。その他、コーチングに挑戦、合ゼミ等の企画も用意しています。第2部は必修的基礎ゼミ部活動です。ソフトボール部になります。野球歴10年の専属コーチとの練習を重ね、チームワークの確立およびソフトボール技術を向上させます。その他、春期・秋期の社会奉仕活動として学内草取り大会にも参加します。</p> <p>授業一般目標 授業の部の目標としては、適切な様式を整えたレジュメを書くための能力を高める、効果的なプレゼンテーションをするための能力を高める、リーガルリサーチを容易にこなす能力を高める、コーチングの手法によるコミュニケーション能力を高める、を挙げておきます。部活の部の目標は、春期ゼミ対抗ソフトボール大会・秋期ソフトボール大会での優勝です。この2つの目標へ向かっての活動を通して、大学生活を円滑に進めていくマナーも習得できるでしょう。全体的にアクティブでフットワークのいいゼミを目指します。</p> <p>成績評価方法（総合） レジュメ作成およびプレゼンの工夫、ルール遵守、ゼミへの貢献度等を総合的に勘案します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：会社はなぜ事件を繰り返すのか 検証戦後会社史、奥村宏、NTT出版、2004年；リーガルリサーチ（第3版）、監修・指宿信他、日本評論社、2008年 / 参考書：会社はどこへ行く、奥村宏、NTT出版、2008年</p> <p>メッセージ 欠席が避けられない場合は事前に連絡することを授業の部のルールとします。フレッシュマンゼミナー1日目から部活に入りますので、当日はソフトボールのできる服装で来てください。道具のある人は持参してください。</p> <p>教官連絡先 研究室C棟209, オフィスアワー火曜日 10:20 11:50。</p>					

系列 初期教育

分野 基礎ゼミナー

科目類型 総説

開設科目	基礎ゼミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期, 後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	吉川 信将				
<p>授業概要 企業活動とそれを規制する各種の法令について、主要な法令の存在意義やどのように運用されているのかなどを、企業不祥事等の時事的問題を交えながらできる限り平易に解説する。</p> <p>授業一般目標 企業が現在の経済社会に占める役割の大きさとその活動を規制する法令とのあり方について基本的な理解を深める。</p> <p>成績評価方法（総合） 筆記試験またはレポートにより理解度を判定し、出席状況や受講姿勢を加味して最終的評価を決定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：別途、開講時までに掲示するか、開講時に指定する。 / 参考書：授業中に適宜紹介する。</p> <p>教官連絡先 経済学部C棟224研究室</p>					

開設科目	基礎ゼミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期, 後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	篠原 淳				
<p>成績評価方法（総合） 指示された内容を誠実に実施できているかを出席、課題、報告等を総合的に判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業で指示する / 参考書：授業で指示する</p> <p>メッセージ 大学に入ってはじめてのゼミです。専門ゼミではありませんが協力しながら勉強を進めてください。</p> <p>教官連絡先 在室していれば原則可能ですが、会議等で不在のこともあるので必ずメールで連絡をとってみてください。 a.shino@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	基礎ゼミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期, 後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	朝日 幸代				
<p>授業概要 本授業の目的は、観光および地域経済に関する知識を増やし、現在直面する多様な問題を知ること、そしてその解決のために必要な考え方・そのための能力を養うことです。そのために、経済学、観光および地域経済に関する現状さらに地域経済政策の基礎となる資料等を使って、学びます。また、観光および経済に対する数量分析を行える能力を養うためのコンピュータ実習を取り入れて行く予定です。また、学生が興味を持つテーマにあわせて、レポート作成やプレゼンテーション技術のサポートを行います。 演習 II、卒業論文演習の学生との交流、他のゼミとの交流も積極的に取り入れて、大学生生活を有意義に過ごせるようにバックアップもしていきます。 地域経済や観光を学ぶために必要な体験をしていただける場の提供を検討し、進めていく予定です。</p> <p>授業一般目標 ・現実の観光、社会や経済問題について理解をする。 ・大学で自ら学ぶことの楽しさを体験してもらう。 ・授業で取り扱う文献や資料を理解し、経済学、経済分析の奥の深さを知ってもらう。 ・観光や経済に関するレジメを作成する能力およびプレゼンテーションする能力を養う。</p> <p>成績評価方法（総合） レジメの作成や様々なプレゼンテーションへの取り組み、コンピュータ講義、ゼミで行う学外研修をはじめとする観光と経済を学ぶための活動への積極的かつ意欲的な参加について評価します。 ゼミは出席することが何よりも大変重要です。すべて出席をするのは前提ですが、2 度欠席した場合は欠格条件により評価を出すことができません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜指示をする。 経済、観光、地域経済に関する情報についてプリントで配布する。 / 参考書：経済学を学ぶ、岩田規久男、筑摩書房、2001 年； 本田勝一『日本語の作文技術』朝日文庫、朝日新聞社</p> <p>メッセージ 山口大学経済学部によろこそ！山口大での新しい 4 年間の生活のはじまりですね。 このゼミナー受講者は、ぜひ共通科目における経済関連科目、経済学科、観光政策学科における経済に関する数多くの授業を積極的に履修して下さい。 基礎ゼミナーは毎週授業に参加することによって学べる内容も多いこと、ともに学ぶ友人たちとコミュニケーションできる場でもあります。必ず出席して下さい。このゼミナー（ゼミ）は、学生の皆さんが主役です。学生同士が協力しながら、学ぶことで刺激し合える仲間のゼミナー（ゼミ）になれば、ゼミナーを担当する者として大変うれしく思います。先輩との交流や学外研修も取り入れていきます。山口大学経済学部での 4 年間がすばらしいものになっていただける 1 つのきっかけになれるゼミナーであることを目指したいと思います！みんなで楽しいゼミにしましょう。</p> <p>教官連絡先 asahi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	基礎セミナー（経済）	区分	講義	開設期	通年（前期, 後期）
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	陳 禮 俊				
<p>授業概要 今日では、人類の生産力（対自然支配力）はかつてなく巨大な水準に到達している。そのため、自然環境の状態は、自然生態系によって決まるというよりは、人間活動のあり方如何によって大きく規定されるという歴史的段階に突入している。それゆえ、人間活動の設計を一步誤るならば、人間活動の基盤そのものを崩壊させてしまうような環境破壊を招く危険性もかつてなく飛躍的に高まっているといわなければならない。こうした現代の環境破壊をめぐる現実とその危険性の一層の高まりは、実は現代の経済学に対する大きな挑戦でもある。ここに新しい学問としての「環境経済学」が誕生せざるを得ない強い現実的要請がある。</p> <p>授業一般目標 本基礎セミナーは、環境経済学の分野において、それに関わる基礎文献を輪読し、ゼミ参加者における理解、分析能力を高め、行うべき政策に関して自ら評価できるような水準まで、必要な知識を身に付けることを目標にしている。</p> <p>成績評価方法（総合） 成績評価は基本的に、出席（40%）、課題レポート（30%）と報告（30%）で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：環境経済学、植田和弘、岩波書店、1996年；アジア環境白書 1997/98、日本環境会議「アジア環境白書編集委員会」編集、東洋経済新報社、1997年</p> <p>教官連絡先 研究室：経済学部 A302 室 電 話：083-933-5526 E-mail：lichun@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp</p>					

通年 - 外国語教育

開設科目	医学英語 2	区分	講義	開設期	通年(前期,後期)
対象学生	医学5年	単位	2単位	曜時限	月曜日 9・10時限
担当教官	山下裕司				
<p>授業概要 臨床医学において、カルテ記載や患者説明において、最低限必要な英語医学用語を学習する。</p> <p>授業一般目標 医学教育モデルコアカリキュラムに沿って、必ず習得する必要がある医学専門用語に対応する英単語を習得する。それにより、医学英語論文を理解できるようにする。また、英語を用いて、患者に病態を説明したり、カルテを記載できるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 各診療科の臨床実習1において、必修の英語医学用語の習得状況を把握し、臨床実習1終了時に各診療科の合計点で評価する。</p>					